（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事

図 面 リ ス ト

建 築 工 事

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-００１	特記仕様書 №１	A-０３５	３歳児保育室・職員室 断面詳細図	A-０６９	４歳児保育室（B） 展開図－０２	A-１０３	建具表（６）	S-００１	構造特記仕様書
A-００２	特記仕様書 №２	A-０３６	職員室 断面詳細図	A-０７０	職員室 展開図－０１	A-１０４	建具表（７）	S-００２	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）
A-００３	特記仕様書 №３	A-０３７	３歳児保育室 断面詳細図	A-０７１	職員室 展開図－０２	A-１０５	撤去建具表（１）	S-００３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）
A-００４	特記仕様書 №４	A-０３８	午睡室・厨房 断面詳細図	A-０７２	３歳児保育室（A） 展開図－０１	A-１０６	撤去建具表（２）	S-００４	鉄骨工作標準図（１）
A-００５	特記仕様書 №５	A-０３９	０歳児保育室・早出遅出保育室 断面詳細図	A-０７３	３歳児保育室（A） 展開図－０２	A-１０７	撤去建具表（３）	S-００５	鉄骨工作標準図（２）
A-００６	特記仕様書 №６	A-０４０	２歳児・１歳児保育室 断面詳細図	A-０７４	３歳児保育室（B） 展開図－０１	A-１０８	改修後 詳細図（１）	S-００６	ボーリング柱状図
A-００７	特記仕様書 №７	A-０４１	改修前 幼稚園 平面図	A-０７５	３歳児保育室（B） 展開図－０２	A-１０９	改修後 詳細図（２）	S-００７	基礎伏せ図・基礎詳細図
A-００８	特記仕様書 №８	A-０４２	改修前 保育園 平面図	A-０７６	３歳児保育室（C） 展開図－０１	A-１１０	改修後 詳細図（３）	S-００８	基礎詳細･その他詳細図（１）
A-００９	特記仕様書 №９	A-０４３	改修後 遊戯室 平面詳細図	A-０７７	３歳児保育室（C） 展開図－０２	A-１１１	改修後 詳細図（４）	S-００９	その他詳細図（２）
A-０１０	特記仕様書 №１０	A-０４４	改修後 ５歳児保育室 平面詳細図	A-０７８	午睡室 展開図－０１	A-１１２	改修後 詳細図（５）	S-０１０	梁伏せ図･軸組図
A-０１１	特記仕様書 №１１	A-０４５	改修後 ４歳児保育室 平面詳細図	A-０７９	午睡室 展開図－０２	A-１１３	改修後 詳細図（６）	S-０１１	鉄骨詳細図-１･継手詳細図
A-０１２	特記仕様書 №１２	A-０４６	改修後 職員室・３歳児保育室 平面詳細図	A-０８０	保健室 男子職員更衣室 展開図－０１	A-１１４	改修後 詳細図（７）	S-０１２	鉄骨詳細図-２
A-０１３	特記仕様書 №１３	A-０４７	改修後 厨房・午睡室 平面詳細図	A-０８１	保健室 男子職員更衣室 展開図－０２	A-１１５	改修後 詳細図（８）	S-０１３	改修前　土間伏図
A-０１４	特記仕様書 №１４	A-０４８	改修後 ３歳児保育室 平面詳細図	A-０８２	早出遅出保育室 展開図－０１	A-１１６	改修後 詳細図（９）	S-０１４	改修後　土間伏図
A-０１５	設計概要、外部仕上表・内部仕上表 №１	A-０４９	改修後 早出遅出保育室・保健室等 平面詳細図	A-０８３	早出遅出保育室 展開図－０２	A-１１７	改修前 家具配置図	S-０１５	既存鉄骨梁伏図･鉄骨リスト（１）
A-０１６	内部仕上表 №２	A-０５０	改修後 ２歳児・１歳児保育室等 平面詳細図	A-０８４	０歳児保育室 展開図－０１	A-１１８	改修後 家具配置図	S-０１６	既存鉄骨梁伏図･鉄骨リスト（２）
A-０１７	内部仕上表 №３	A-０５１	遊戯室展開図－０１	A-０８５	０歳児保育室 展開図－０２	A-１１９	家具詳細図（１）		
A-０１８	敷地求積図・建物求積図	A-０５２	遊戯室展開図－０２	A-０８６	１歳児保育室 展開図－０１	A-１２０	家具詳細図（２）		
A-０１９	法チェック１ 採光計算･排煙計算	A-０５３	遊戯室展開図－０３	A-０８７	１歳児保育室 展開図－０２	A-１２１	家具詳細図（３）		
A-０２０	法チェック２ 換気計算	A-０５４	遊戯室展開図－０４	A-０８８	２歳児保育室 展開図－０１	A-１２２	家具詳細図（４）		
A-０２１	法チェック３ 消防無窓･各室面積表	A-０５５	倉庫（A）展開図	A-０８９	２歳児保育室 展開図－０２	A-１２３	家具詳細図（５）		
A-０２２	防火区画図	A-０５６	５歳児保育室（A）展開図－０１	A-０９０	相談室(会議室) 展開図	A-１２４	改修前 外構図		
A-０２３	改修前 配置図 兼 平面図	A-０５７	５歳児保育室（A）展開図－０２	A-０９１	厨房 展開図－０１	A-１２５	改修後 外構図		
A-０２４	改修後 配置図 兼 平面図･附近見取図	A-０５８	５歳児保育室（B）展開図－０１	A-０９２	厨房 展開図－０２	A-１２６	遊具参考図（１）		
A-０２５	改修前 屋根伏せ図	A-０５９	５歳児保育室（B）展開図－０２	A-０９３	厨房 展開図－０３	A-１２７	遊具参考図（２）		
A-０２６	改修後 屋根伏せ図	A-０６０	倉庫（C）展開図	A-０９４	改修前 天井伏せ図	A-１２８	仮設計画図（第１工区）		
A-０２７	改修前 立面図－０１	A-０６１	女子職員更衣室 展開図－０１	A-０９５	改修後 天井伏せ図	A-１２９	仮設計画図（第２工区）		
A-０２８	改修前 立面図－０２	A-０６２	女子職員更衣室 展開図－０２	A-０９６	改修前 建具指示図	A-１３０	仮設計画図（第３工区）		
A-０２９	改修後 立面図－０３	A-０６３	廊下 展開図－０１	A-０９７	改修後 建具指示図	A-１３１	仮設計画図（第４工区）		
A-０３０	改修後 立面図－０４	A-０６４	廊下 展開図－０２	A-０９８	建具表（１）	A-１３２	仮設計画図（第５工区）		
A-０３１	断面図	A-０６５	廊下 展開図－０３	A-０９９	建具表（２）	A-１３３	仮設計画図（第６工区）		
A-０３２	遊戯室 断面詳細図	A-０６６	４歳児保育室（A） 展開図－０１	A-１００	建具表（３）	A-１３４	工事概略工程表		
A-０３３	５歳児保育室 断面詳細図	A-０６７	４歳児保育室（A） 展開図－０２	A-１０１	建具表（４）				
A-０３４	４歳児保育室 断面詳細図	A-０６８	４歳児保育室（B） 展開図－０１	A-１０２	建具表（５）				

内田構造建築工房

図　面　リ　ス　ト

電　気　設　備　工　事				機　械　設　備　工　事					
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
Ｅ－００１	特記仕様書　No. 1	Ｅ－０３２	弱電設備図（撤去図）	Ｍ－００１	特記仕様書（１）				
Ｅ－００２	特記仕様書　No. 2	Ｅ－０３３	自動火災報知設備図（撤去図）	Ｍ－００２	特記仕様書（２）				
Ｅ－００３	特記仕様書　No. 3	Ｅ－０３４	２工区　幹線動力設備仮設図	Ｍ－００３	改修後　給排水衛生設備　平面図				
Ｅ－００４	高圧単線結線図（改修前・改修後）	Ｅ－０３５	４工区　幹線動力設備仮設図	Ｍ－００４	改修後　厨房平面詳細図				
Ｅ－００５	分電盤結線図　１	Ｅ－０３６	５工区　幹線動力設備仮設図	Ｍ－００５	改修後　消火設備　平面図				
Ｅ－００６	分電盤結線図　２	Ｅ－０３７	２工区　自動火災報知設備仮設図	Ｍ－００６	消火設備平面詳細図、消火設備圧力損失計算書				
Ｅ－００７	分電盤結線図　３	Ｅ－０３８	３工区　自動火災報知設備仮設図	Ｍ－００７	消火水槽（ポンプ室付）詳細図（参考図）				
Ｅ－００８	幹線系統図	Ｅ－０３９	４工区　自動火災報知設備仮設図	Ｍ－００８	改修後　空調設備機器表				
Ｅ－００９	幹線動力設備図	Ｅ－０４０	５工区　自動火災報知設備仮設図	Ｍ－００９	改修後　空調設備　平面図				
Ｅ－０１０	幹線動力設備　詳細図			Ｍ－０１０	改修後　換気設備機器表				
Ｅ－０１１	厨房電源設備図			Ｍ－０１１	改修後　換気設備　平面図				
Ｅ－０１２	照明器具姿図			Ｍ－０１２	改修前　給排水衛生設備　平面図				
Ｅ－０１３	電灯設備図			Ｍ－０１３	改修前　給排水衛生設備　平面詳細図				
Ｅ－０１４	非常照明・誘導灯設備図			Ｍ－０１４	改修前　給排水衛生設備　厨房平面詳細図				
Ｅ－０１５	コンセント設備図			Ｍ－０１５	改修前　空調設備　平面図				
Ｅ－０１６	弱電機器図　１			Ｍ－０１６	改修前　換気設備　平面図				
Ｅ－０１７	弱電機器図　２			Ｍ－０１７	改修前　厨房機器器具表				
Ｅ－０１８	弱電機器図　３			Ｍ－０１８	改修前　厨房設備　平面図				
Ｅ－０１９	非常放送設備図			Ｍ－０１９	改修後　厨房設備　器具表				
Ｅ－０２０	弱電設備図			Ｍ－０２０	改修後　厨房設備　平面				
Ｅ－０２１	火災報知設備　系統図								
Ｅ－０２２	自動火災報知設備図								
Ｅ－０２３	自動火災報知設備図（天井裏）								
Ｅ－０２４	非常用発電機図（参考）								
Ｅ－０２５	非常用発電機出力計算書								
Ｅ－０２６	既設分電盤結線図								
Ｅ－０２７	厨房電気設備図（改修前）								
Ｅ－０２８	幹線動力設備図（撤去図）								
Ｅ－０２９	電灯設備図（撤去図）								
Ｅ－０３０	コンセント設備図（撤去図）								
Ｅ－０３１	拡声設備図（撤去図）								

工事特記仕様書

Ⅰ．工 事 名

（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園
及び津市立高岡幼稚園改修その他工事

Ⅱ．工事概要

１．工事場所	津市 一志町高野 地内
２．敷地面積	6,810.417 ㎡
３．工事内容	
棟名称	(仮称)一志こども園
構　造	既設棟：鉄骨造　増築棟：鉄骨造
建築面積	2,207.674 ㎡
延べ面積	1,983.495 ㎡
工事項目	建築工事（増築工事、改修工事）、外構工事

Ⅲ．建築工事仕様

1．共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」平成28年版）(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事偏」平成28年版）

2．特記仕様

1)項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。
2)特記事項は、〇印の付いたものを適用する。
3)項目に記載の（　）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 １）　建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年版） ２）　建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成24年版） ３）　津市公共建築物等木材利用方針
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※　工事契約後、速やかに調査し、施工計画書等を作成のうえ現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※　作業着手までの園内調査は、事前に保育園、幼稚園及び市監督員の承諾を得るものとし、保育園等の運営に影響を与えない範囲とする。 ※　工事用水、電力については、既存の施設を無償で利用できる。ただし、保育園等の運営に影響を与えないように事前に打ち合わせのうえ計画すること。 ※　工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と事前に十分協議し、作業及び通行時等の安全確保・災害防止に努めること。 ※　工事期間中も保育等を行っているため、緊急かつ必要な場合は、市監督員以外の者も施工者に指示することがあるが、その場合はその指示に従うこと。 ※　本工事における諸官庁への届出及び手続き等は、速やかに行い、工事の遂行に影響が無いよう努めること。なお、建築基準法第７条の６第１号に基づく特定行政庁の仮使用の承認検査及び中間検査については、別紙概略工程表を参照すること。（図面番号：A-134） ※　建設作業に伴って発生する騒音及び振動は、低騒音・低振動に努め、特定建設作業を行う際には、騒音規制法等に基づき関係機関へ適切に届出を行い作業に着手すること。なお、周辺住民から苦情があった際は、工事を一時中断し、誠意をもって対応を行い、再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※　はつり工事等の騒音・振動等を伴う作業は、１２時から１５時を避けて行うこと。 ※　工事車両の出入りについては、時期・時間帯を考慮し、児童、保護者及び施設関係者の安全確保に十分配慮すること。なお、８時から９時１５分までの登園時間帯を避けること。 ※　工事期間中、周辺住民等へ危害を与えることがないようにするとともに、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないように万全の注意を払うこと。 ※　場外退出時には車両足廻りの洗浄等を行い、敷地周辺を汚損等しないようにすること。 ※　常時誘導員を配置し、敷地内及び工事車両出入口周辺の安全確保を徹底すること。 ※　工事車両及び工事関係車両を周辺道路に駐車しないこと。 ※　工事着手前に、現況把握の為に破損箇所等があれば、市監員立合いのもと写真に記録しておくこと。 ※　工事期間中、工事に起因し既存施設に破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに、市監督員に報告書を提出すること。 ※　設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの、並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

③発生材の処理等（1.3.11）

⊙本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

⊙別紙 特記仕様書による

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有⊙無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	⊙有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	⊙有・無	・手作業 ⊙手作業、機械作業の併用
屋根	⊙有・無	・手作業 ⊙手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	⊙有・無	・手作業 ⊙手作業、機械作業の併用
その他（乗入ｺﾝｸﾘｰﾄ土間）	⊙有・無	・手作業 ⊙手作業、機械作業の併用

・ 引渡を要するもの　（・無　　・図示　　）
・ 特別管理産業廃棄物　・有（　　）　処理方法（　　）
・ アスベスト成形板等解体時の留意点
　1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
　2.可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
　3.飛散されない様にすること。
　4.保護具及び作業着を着用すること。
　5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
　6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

⊙ 再資源化を図るもの　⊙コンクリート塊
⊙アスファルトコンクリート塊
⊙建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、Dを提示する。

④建設副産物情報交換システムの利用

再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が１億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。

また、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑤三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

6.電気保安技術者（1.3.3）

適用する

⑦技能士（1.5.2）

職種別に可能なものについては積極的に活用のこと

⑧建築材料等

1）　本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2）　本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、Ｆ☆☆☆☆以上とする。

⑨化学物質の濃度測定（1.5.9）

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ
◯	学校,教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅						
	その他						

対象箇所（⊙図示（施工前 12箇所、施工後 23箇所）　・（　　））
測定方法（⊙パッシブ法　　・アクティブ法　）
報告書提出部数　2部

⑩特別な材料の工法

標準仕様書、改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑫工事写真

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。
提出部数　１部　用紙は上質紙とする。

⑬完成図書（1.7.2）

⊙ 作成する　⊙ 完成図　⊙ 保全に関する資料　・（　　））
⊙ 完成図作図範囲（設計図の訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第２７条及び第２８条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本２部により提出すること。

⑭完成写真

⊙ デジタルカメラで撮影し、全てＬ版相当サイズで印刷する。
（Ａ４版用紙に１ページあたり３枚）　１部
箇所数は外観４面各室２面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮設備工事との取合い

施工範囲
⊙図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
⊙図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
・駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図
⊙設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯設計GL

⊙ 図示

⑰養生その他

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

⑱事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲既存部分等への処置(1.3.13)

工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

⑳消防法関係の手続き

1）　消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
⊙本工事　（⊙建築工事　・電気設備工事　・機械設備工事）
・別途工事
２）防火対象物使用開始届出書
書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

㉑労働安全衛生法に基づく労働生害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第２項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉒不正軽油の使用の禁止

1）一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2)調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3)是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

23.屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-001
縮　尺 NS	図面名 特記仕様書 No.1	（原図A2）

② 仮設工事

1.監督員事務所 (2.3.1)

・設置する。

監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2.監督員事務所の備品 (2.3.1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所　構内既存の施設　・利用できる　⊙利用できない

④工事用水　構内既存の施設
⊙利用できる（・有償　⊙無償）　・利用できない

⑤工事用電力　構内既存の施設
⊙利用できる（・有償　⊙無償）　・利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

⑥足場　設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

⑦交通誘導警備員　配置　⊙図示

⑧既存部分の養生 (改2.3.1)
既存部分の養生　⊙図示
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（　　）
保管場所　・構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
⊙行う　・行わない

⑧既存部分の養生 (改2.3.2) (改 表2.3.2)
屋内の仮設間仕切り　・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種
合板　厚さ　・9㎜　・（　　）
せっこうボード　厚さ　⊙12.5㎜　・（　　）
合板又は石こうボードの塗装　・行う　・行わない
仮設扉　設置箇所　・図示（図面番号：　　）
種別　アルミ製片開き戸

③ 土工事

①埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)
種別　・A種　⊙B種　・C種　・D種

②建設発生土の処理 (3.2.5)
⊙自由処分
・処分地指定　処分地（　　）
・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km

3.山留めの撤去 (3.3.3)
・撤去　・存置

④ 地業工事

①杭の施工管理　杭工事特記仕様書による。

②適用基準　本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。国土交通省告示第468号　「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

③施工記録　受注者は、杭の施工期間中は、１週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

④根拠資料　共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

⑤試験杭及び試験掘 (4.2.2)
⊙試験杭　位置、本数及び寸法　図示（基礎伏せ図）
・試験掘　位置、本数及び寸法　図示

⑥杭の支持地盤　支持地盤の位置、種類　⊙図示（柱状図）

⑦水平方向の位置ずれ　（ 100 ）mm以下

8.杭の載荷試験 (4.2.3)
試験方法　・鉛直載荷　・水平載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置　・図示（図面番号：　　）　載荷荷重　（　　kN）
報告書　・提出部数　2部

9.地盤の載荷試験 (4.2.4)
試験方法　・平板載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置　・図示（図面番号：　　）　載荷荷重　（　　kN）
報告書　・提出部数　2部

10.既製コンクリート杭 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.7)
・PHC杭
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・F種
・SC杭
・PRC杭
・上記以外の建築基準法に基づく杭
（参考表）

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考

先端形状　・開放型　・閉そく型
施工方法
・打込み工法　設計支持力（　　）
打込み杭の推定支持力の算定方法（　　）
・打撃工法
・プレボーリング打撃併用工法
（掘削深さ　設計GL　m　掘削径　mm）
・セメントミルク工法
・オーガーの支持地盤への掘削深さ
・（　）m　・図示（図面番号：　　）
・杭の支持地盤への根入れ深さ
・（　）m　・図示（図面番号：　　）
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
継手　・アーク溶接　・無溶接継手（工法：　　）
杭頭の処理　・行う　・行わない

⑪.鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2) (4.4.4) (4.3.3) (4.3.5) (4.3.6) (4.3.7)
⊙鋼管杭　・SKK400　⊙SKK490
・H形鋼杭　・SHK400　・SHK490M
径　・300　・350　・400　・450　⊙（ 165.2 ）
長さ　（ 3.0 ）m
先端形状　・開放形　⊙羽根付閉塞型
補強方法　・補強バンド　・（　　）
継手　・JISA5525(鋼管ぐい)
施工方法
・打込み工法　設計支持力（　　）
打込み杭の推定支持力の算定方法（　　）
・打撃工法
・プレボーリング打撃併用工法
（掘削深さ　設計GL　m　掘削径　mm）
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
⊙拡翼付鋼管杭回転工法
杭頭の処理　⊙行う　・行わない
杭頭補強筋 6-D13 定着長さ500mm以上

12.場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3) (4.5.4) (4.5.5) (表4.5.1)
施工方法
・アースドリル工法　・リバース工法
・オールケーシング工法　・鋼管コンクリート杭工法
拡底　・行わない　・行う（　　）
孔壁の超音波測定　・行う　・行わない
帯筋　・図示（図面番号：　　）
鉄筋かごの補強
・標準仕様書[4.5.3](a)(iii)による　・図示（図面番号：　　）
コンクリートの種別　・A種　・B種
設計基準強度　（　　）N/mm²
セメントの種類　・高炉セメントB種　・（　　）
最小かぶり厚さ　（　　）mm
構造体強度補正値（S）・３N/mm²　・（　　）

13.地盤改良
・（ 地盤柱状改良 ）工法
・六価クロム溶出試験　・室内配合試験
・一軸圧縮試験

⑭砂及び砂利地業 (4.6.3)
厚さ(mm)　・60　⊙（ 100 ）
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑮捨コンクリート地業 (4.6.4)
厚さ(mm)　⊙50　・（　　）
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑯床下防湿層 (4.6.5)
施工範囲　⊙図示
ポリエチレンフィルム厚さ　⊙0.15mm以上　・（　　）
⊙防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

⑤ 鉄筋工事

①鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	径	備　考
⊙SD295A	⊙D16以下	
・SD295B	・（　　）	
⊙SD345	⊙D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

2.溶接金網 (5.2.2)
網目の形状、寸法
鉄線の径（mm）・4　・5　・6　・（　　）
寸法(mm)　・100×100　・150×150　・（　　）

③内法直径 (5.3.2)
90°未満の折曲げの内法直径　⊙図示（図面番号：　S-02　）

④継手 (5.3.4)

	径	部　位
⊙重ね継手	D16以下	
⊙ガス圧接	D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
⊙標準仕様書[5.3.4](c)(1)
・図示（図面番号：　　）
継手位置
⊙各部配筋参考図による
・図示（図面番号：　　）
鉄筋定着
⊙標準仕様書[表5.3.4]　・図示（図面番号：　　）

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)
軽量コンクリートで土に接する部分
⊙無し　・有り(適用箇所：　　)
最小かぶり厚さ　（　　）mm
耐久性上不利な部分(塩害を受けるおそれのある部分等)
⊙無し　・有り(適用箇所：　　)
最小かぶり厚さ　（　　）mm

⑥各部配筋 (5.3.7)
⊙図示

⑦圧接完了後の試験 (5.4.9)
抜取試験方法　⊙超音波探傷試験　・引張試験

8.機械式継手及び溶接継手 (5.5.2)
・機械式継手　種類（　　）　工法（　　）
品質の確認方法（　　）
不良部分の修正方法（　　）
鉄筋相互のあき（　　）mm
・溶接継手　工法（　　）
品質の確認方法（　　）
不良部分の修正方法（　　）
鉄筋相互のあき（　　）mm

⑥ コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.11.1) (6.11.3) (6.10.1)
普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適 用 箇 所	施工時期	スランプ
⊙18(N/mm²)	土間		⊙18(cm)
⊙21+S(N/mm²)	基礎、躯体		⊙18(cm)
⊙18(N/mm²)	捨てコンクリート		⊙18(cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ

・常時土又は水に直接接する部分　図示（図面番号：　　）

②コンクリートの類別 (6.2.1) (表6.2.1)
類別　⊙Ⅰ類　・Ⅱ類
・大臣認定品　図示（図面番号：　　）

③コンクリートの仕上り (6.2.5)
合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別
・A種　⊙B種　・C種

④セメント (6.3.1) (表6.3.1)
種類　⊙普通ポルトランドセメント、混合セメントA種
・（　　）
高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
・適用箇所　図示（図面番号：　　）

⑤骨材 (6.3.1)
アルカリシリカ反応性による区分
⊙AL（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・A(安全と認められる骨材を使用)
なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・特殊な骨材の使用
・フェロニッケルスラグ細骨材
・銅スラグ細骨材
・電気炉酸化スラグ骨材
・再生骨材Ｈ

⑥混和材料 (6.3.1) (6.3.2)
混和剤の種類、使用方法、使用量
⊙標準仕様書［6.3.1］(d)(i)、標準仕様書［6.3.2］(2)(vi)
・（　　）
混和材の種類、使用方法、使用量
⊙標準仕様書［6.3.1］(d)(i)、標準仕様書［6.3.2］(2)(vi)
・（　　）

⑦型枠 (6.8.2) (6.8.3) (表6.8.1)
材料　⊙複合合板　（厚さ(mm)　⊙12　・（　　））
打増し厚さ　⊙図示
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法
・断熱材の兼用
・ＭＣＲ工法用シート
スリーブの材種、規格等
⊙標準仕様書[表6.8.1]　・図示（図面番号：　　）

⑧コンクリート強度試験 (6.9.3)
圧縮強度試験の供試体の材齢
⊙材齢28日　・型枠脱型用
⊙材齢28日を超え91日以内

9.寒中コンクリート (6.11.2)
適用期間（　　）
・調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める

⑩暑中コンクリート (6.12.2)
構造体強度補正値(S)
⊙6　N/mm²　・（　　）

11.マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)
適用箇所　・図示（図面番号：　　）
セメントの種類
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・普通ポルトランドセメント

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-002
縮 尺 NS	図 面 名 特記仕様書 No.２	（原図A2）

スランプ　・15cm　・（　　）
混和剤　・標準仕様書[6.13.2](b)(1)
・（　　）

12.無筋コンクリート (6.14.1)
適用箇所　標準仕様書[6.14.1]
・上記以外の適用箇所（　　）
設計基準強度　・18(N/mm²)　・（　　）(N/mm²)
スランプ　・15cm　・18cm

13.流動化コンクリート (6.15.1)
適用箇所
・図示(図面番号：　　)

⑦ 鉄骨工事

①施工管理技術者 (7.1.4)
⊙適用する

②製作工場 (7.1.3)
（株）日本鉄骨評価センター又は（株）全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・J　⊙R　・M　・H　・S

③鋼材 (7.2.1)
材質、形状及び寸法　⊙図示

④高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)
種類
⊙トルシア形高力ボルト2種(S10T)
・JIS形高力ボルト2種(F10T)
・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)
高力ボルトの径
⊙図示
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙図示
すべり係数試験
⊙行わない　・行う　試験方法等　・（　　）
JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合
・回転量（　　）°

⑤普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.4.2)
ボルト及びナットの材料等、ボルトの径
⊙図示
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙図示

6.溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.4)
摩擦面の処理
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法
・すべり耐力試験　試験方法等　・（　　）
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示(図面番号：　　)

⑦ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) (表7.2.3)
適用箇所及び種類
構造用　⊙図示・SNR400B　・（　　）
建方用　・図示（図面番号：　　）・SS400　・（　　）
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み
・A種　・B種　・C種
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
⊙標準仕様書[表7.2.3]
・図示（図面番号：　　）
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法
⊙図示
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙図示

⑧溶接材料 (7.2.5)
材料
⊙標準仕様書[7.2.5](a)(b)以外の溶接材料
（　　）

⑨ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ (7.2.6)
種類及びねじの呼び等
⊙図示
建築用ターンバックル胴　⊙割枠式　・（　　）
建築用ターンバックルボルト　⊙羽子板ボルト　・（　　）

10.ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ (7.2.7)(7.7.8)
材質、形状及び寸法　・図示
溶接方法　・図示

⑪柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)
柱底均しモルタルの工法、厚み
⊙A種（50)mm　・B種（　)mm
無収縮モルタルの材料及び調合
⊙標準仕様書[7.2.9](b)　・（　　）

12.材料試験等 (7.2.10)
板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験
・JIS G 0901により行う

⑬仮組 (7.3.10)
⊙行わない　・行う
仮組を行う範囲
・図示（図面番号：　　）

⑭溶接作業における技能資格者 (7.6.3)
溶接作業の技量付加試験
⊙行わない　・行う

⑮溶接部の開先 (7.6.4)
開先の形状
⊙図示

⑯溶接施工 (7.6.7)
エンドタブの切除
・適用箇所　図示（図面番号：　　）
板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・低応力高サイクル疲労を受ける部位　図示（図面番号：　　）
スカラップの形状　⊙図示

⑰溶接部の試験 (7.6.11)
試験の種別
⊙超音波探傷試験　・（　　）

溶接区分	AOQL(%)	検査水準	備　考
現場溶接	・2.5 ・4.0		・計数連続生産型抜取検査
工場溶接	・2.5 ⊙4.0	⊙6	

⑱錆止め塗装 (7.8.3)
鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の鋼製ｽﾘｰﾌﾞの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)
⊙標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]　（　　）種
耐火被覆材の接着する面への塗装
⊙行わない　・行う
適用箇所　図示（図面番号：　　）
種類
・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]（　　)種
・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2]（　　)種

⑲耐火被覆 (7.9.2)

部　位	種　別	仕　様
梁（増築部）	半乾式吹付ﾛｯｸｳｰﾙｱ25	直吹き、1時間耐火
柱、梁（防火壁周り）	半乾式吹付ﾛｯｸｳｰﾙｱ25	直吹き、1時間耐火
母屋（防火壁周り）	半乾式吹付ﾛｯｸｳｰﾙｱ10	直吹き、30分耐火

⑳軽量形鋼構造 (7.11.2)
接合部（ボルト接合の場合）
⊙普通ボルト接合　・（　　）

⑧ ・押出成形セメント板 ブロック・ALCパネル

1.補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4) (8.2.5) (8.3.3)
種類　・空洞ブロック16
・図示(図面番号：　　)
圧縮強さ、正味厚さ、モデュール呼び寸法
・図示(図面番号：　　)
各部の配筋　・図示(図面番号：　　)
コンクリートの調合　・標準仕様書[表8.2.2]以外のとき
・21N/mm²　・（　　）

2.コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2) (8.3.3)
ブロックの種類　・標準仕様書[表8.3.1]
・図示(図面番号：　　)
圧縮強さ、正味厚さ、モデュール呼び寸法、ブロックの厚さ
・図示(図面番号：　　)
各部の配筋　・図示(図面番号：　　)
化粧　・有り　・無し

③ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)

種類	単位荷重(N/mm²)	呼び寸法 厚さ(mm)	呼び寸法 幅(mm)	構法	耐火性能
⊙外壁パネル	・（　）	・100 ⊙（50）	・（　）	⊙A種　・B種	・（　）時間 ⊙無し
・間仕切壁パネル	・（　）	・100 ・（　）	・（　）	・C種　・D種 ・E種	・（　）時間 ・無し
・屋根パネル	・（　）	・100 ・（　）	・（　）	・F種	・（　）時間 ・無し
・床パネル	・（　）	・100 ・120 ・150	・（　）	・F種	・（　）時間 ・無し

パネル幅を300mm以下とする部分　・適用あり
外壁、屋根及び床パネル構法
風圧力に対応した工法　・適用あり
出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅(mm)　・（　　）
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する（材料：　　）

④押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)

種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法
⊙外壁パネル	⊙フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	⊙（60）	⊙（600）	⊙A種 ・B種
・間仕切壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・（　）	・（　）	・B種 ・C種

パネル相互の目地幅（mm）
⊙長辺 8以上、短辺 15以上　・（　　）
出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅（mm）⊙15　・（　　）
目地及び隙間の処理　・（　　）
外壁パネル構法
風圧力に対応した工法　・適用あり
間仕切壁パネル構法
パネルに欠き込みを行う場合
・パネル開口の限度　・図示（図面番号：　　）

⑨ 防水工事

1.アスファルト防水 (表9.2.3)～(表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3)

種　別	施　工　箇　所

改質アスファルトシート
種類　・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]　・図示（　　）
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類　・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]　・図示（　　）
絶縁用シート
・ポリエチレンフィルム（厚さ　0.15mm以上）
・フラットヤーンクロス（70g/㎡）
押え金物
・アルミ製　L30×15×2.0　・図示（　　）
断熱材
・屋根保護防水断熱工法
種類　（　　）　厚さ　（　　）mm
・屋根露出防水断熱工法
種類　（　　）　厚さ　（　　）mm
(表9.2.3)～(表9.2.6) 屋根保護防水
立ち上がり部の保護コンクリート　・図示(図面番号：A-17,20)
乾式保護材　・使用する
立上り部保護れんが　・JIS R 1250　・（　　）
(表9.2.7) 脱気装置
・設置数量　図示(図面番号：　　)　種類（　　）
(表9.2.7) 屋根露出防水における仕上塗料
(表9.2.8)・図示(図面番号：　　)　種類（　　）　使用量（　　）
(表9.2.9) 屋内防水密着工法における保護層
・図示(図面番号：　　)
(9.2.4) 防水層の下地モルタル塗り
・図示(図面番号：　　)
立上がりのコンクリート打放し仕上げの種別
種類　・B種　・（　　）

(9.2.4) 屋根露出防水絶縁断熱工法
ルーフドレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置
・図示(図面番号：　　)

2.改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)

種　別	施　工　箇　所

改質アスファルトシート
種類　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示（　　）
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示（　　）
(9.3.3) 仕上塗料
・図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）
脱気装置
・設置数量　図示（図面番号：　　）　種類（　　）
断熱材
・屋根露出防水絶縁断熱工法
種類　（　　）　厚さ（　　）mm

3.合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3)

種　別	施　工　箇　所

ルーフィングシート
種類　・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]　・図示（　　）
(9.4.2) 絶縁用シート
・発砲ポリエチレンシート　・（　　）
固定金具　材質、寸法形状（　　）
・図示（図面番号：　　）
断熱材　材質、厚さ（　　）
・図示（図面番号：　　）
(9.4.3) 仕上塗料
・図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）
S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法
立ち上がり面のシート厚さ　・15mm　・（　　）mm
屋内保護密着工法
モルタル塗り厚さ　・（　　）mm
(9.4.4) 床塗りの工法　・標準仕様書[15.2.5](b)(2)(3)　・（　　）
保護コンクリートの厚さ　・（　　）mm
立上り部の保護モルタル塗厚さ　・7mm以下　・（　　）mm
(9.4.4) 目地処理（S-F1、S-F2、SI-F1、SI-F2、S-C1）
PC下地、ALC下地でS-C1の場合　・図示（図面番号：　　）
増張り（S-F1、SI-F1、S-C1）
PC入隅部、ALC下地でS-C1の場合　・図示（図面番号：　　）
機械的固定工法
風圧力に対応した工法　・図示(図面番号：　　)

4.塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

施　工　箇　所	種　別
	X-1
	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置（X-1）
・設置数量　図示　種類（　　）
保護層（　　）　・図示（図面番号：　　）
仕上塗料
・図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）
防水工事の保証書の提出及び保証年限
・保証年限10年　・その他（　　）
＜保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各２通提出する。防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける＞

5.ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3)(9.6.4)
適用部位　・図示（図面番号：　　）
防水層の種別及び工程　・C-UI　・C-UP
下地処理((b)(1)から(3)以外の場合)　・図示（図面番号：　　）

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-003
縮　尺 NS	図面名 特記仕様書 No.3	（原図A2）

⑥シーリング
(9.7.2)
(9.7.3)
(表9.7.1)

⊙ 標準仕様書[表9.7.1]による

施　工　箇　所	目地寸法	種　類
目地、サッシ廻り	20×10	MS-2
水切り	20×10	MS-2

(9.7.5) 接着性試験
・ 簡易接着性試験　　・ 引張接着性試験

10 石工事

1.天然石
(10.2.1)
(表10.2.1)
(表10.2.2)

使用部位	種類（名称）	品質	寸法・厚さ（mm）	表面仕上げ	工法	形状
床		・ 2等		・ 粗磨き ・（　）		
壁		・ 1等		・ 水磨き ・（　）		

(10.1.3) 割付　・標準仕様書[10.1.3](a)　・図示(図面番号　　)
(10.1.5) 粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・（　　）
(表10.2.1) 清掃における床面ワックス　・使用する
(10.3.2) ジェットバーナー仕上面　・手加工あり　・機械加工バフ仕上あり
石裏面処理
・適用する
石裏面処理
・適用する

2.テラゾ
(10.2.1)
(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・ 大理石	・ 1.5～12mm	・ 300型 ・ 400型	・（　）

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法（mm）	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・ 片面 ・ 両面	・（　）	・（　）

(10.1.3) 割付　・標準仕様書[10.1.3](a)　・図示(図面番号：　　)
(10.1.5) 清掃における床面ワックス　・使用する

3.その他の材料
(10.3.2)
取付用モルタル　・ 図示(図面番号：　　)
目地用モルタル　・ 図示(図面番号：　　)
石裏面処理材　・ 図示(図面番号：　　)
裏打ち処理材　・ 図示(図面番号：　　)
ドレンパイプ　・ 図示(図面番号：　　)
充填材料　・ 図示(図面番号：　　)

4.外壁湿式工法
(10.2.2)
(10.2.3)
(10.3.2)
(10.3.3)
受け金物の材質、形状、寸法
・ 図示（図面番号：　　）
ドレンパイプの材質
・ 樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き 25～35φ
・（　　）
下地ごしらえ
・ 流し筋工法　・ あと施工アンカー工法
・ あと施工アンカー横筋流し工法
アンカーの材質及び径　・ SS400 M12　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
シーリング材　・ 適用する
伸縮調整目地
位置　・ 標準仕様書[表11.1.1]　・ 図示（図面番号：　　）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・ 図示（図面番号：　　）

5.内壁空積工法
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.4.2)
受け金物の材質、形状、寸法
・ 図示（図面番号：　　）
下地ごしらえ
・ あと施工アンカー横筋流し工法　・ あと施工アンカー工法
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
シーリング材　・ 適用する
伸縮調整目地
位置　・ 6mごと　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

6.乾式工法
(10.2.2)
(10.5.2)
(10.5.3)
取り付け工法
・ スライド方式　・ ロッキング方式
たぼ用穴の位置　・図示（図面番号：　　）
風圧力に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
目地
目地幅(mm)　・ 8以上　・（　　）
シーリング材　・ 適用する

7.床及び階段の石張り
(10.3.3)
(10.6.2)
(10.6.3)
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 屋内4mm以上、屋外3～6mm
・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材　・ 適用する
伸縮調整目地
位置　・ 標準仕様書[10.6.2](e)(2)(ｉ)
・ 図示（図面番号：　　）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

8.アーチ、上げ裏等の石張り
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.7.1)
(10.7.2)
取付工法　・ 外壁湿式工法　・ 内壁空積工法　・ 乾式工法
取付け金物　・ 標準仕様書[10.2.2](c)　・（　　）
吊金物及び化粧吊りボルト
・ 設ける
吊金物　・ ステンレス(SUS304)　径6mm長さ80mm(加工物)
吊りボルト　・ ステンレス(SUS304)　M10　化粧ナット付き
及び他の部材と取り合う箇所
アンカーの材質及び径　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
伸縮調整目地
位置　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

9.笠木、甲板等
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.5.3)
(10.7.1)
(10.7.3)
取付工法　・ 外壁湿式工法　・ 内壁空積工法　・ 乾式工法
取付け金物　・ 標準仕様書[10.2.2](c)　・（　　）
取付け代(乾式工法の場合)(mm)
・ 標準仕様書[10.5.3](b)　・（　　）
アンカーの材質及び径　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び形状　・（　　）
石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)
・ 適用する　図示(図面番号：　　)
目地　一般目地
目地幅(mm)　・（　　）
シーリング材　・ 適用する
伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)
位置　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・ 図示（図面番号：　　）

10.隔て板
(10.7.4)
石材の厚さ　・（　　）

11 タイル工事

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
(11.1.3)
位置　・ 標準仕様書[表11.1.1]
・ 図示(図面番号：　　)

2.陶磁器質タイル張り
(表11.2.3)
(11.2.2)
(11.3.2)
(11.3.4)
(表11.3.2)

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	耐滑り性	区分（きじ） Ⅰ類（磁器）	Ⅱ類（せっ器）	Ⅲ類（陶器）	うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性

・ 役物　（　　）
・ タイルの試験張りを行う
・ 見本焼きを行う
(11.2.7) セメントモルタル塗り又は接着剤あと張り工事
(11.3.7) コンクリート素地面の処理
・ 適用箇所　図示(図面番号：　　)
・ 目荒し工法　・ ＭＣＲ工法
接着剤あと張り工事
シーリング材
打継、ひび割れ誘発目地　・PU－2　・（　　）
伸縮、その他目地　・MS-2　・（　　）

3.陶磁器質タイル型枠先付
(表11.4.1)
(11.4.2)
(11.4.3)
種別
・ タイルシート法　・ 目地桟法　・ 桟木法
タイル型枠先付け面のせき板の種別　・（　　）

⑫ 木工事

①木材
(12.1.4)
(表12.1.1)
(12.2.1)
(12.4.1)
(12.5.1)
(12.6.1)
(12.7.1)
(表12.2.1)

見え掛り部の表面仕上げ
・ A種　⊙ B種　・ C種
適用箇所　（　額縁　）
木材の含水率

部材名称	種別
下地材	⊙ A種　・ B種
造作材	⊙ A種　・ B種

樹種　⊙ 図示

②製材
(12.2.1)(b)(1)

製材
「製材の日本農林規格」による製材

	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用針葉樹製材	・図示	・（　　）	
造作用針葉樹製材	⊙図示	⊙（ 1等 ）	
広葉樹製材	・図示	・（　　）	・10%以下

(12.2.1)(b)(2)
(表12.2.2)
(表12.2.3)
「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、防虫処理、難燃処理及び含水率
・ 図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　⊙ A種　・（　　）

樹種

部位	樹　種	県産材
額縁	米栂	
その他	図示	

代用樹種の使用　・禁止する

3.集成材等
(12.2.1)
造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

	樹種・寸法・形状	等級	化粧薄板厚さ
造作用集成材	・図示	・（ 1等 ）	
化粧ばり造作用集成材	・図示	・（　　）	
化粧ばり構造用集成材	・図示		

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率
・ 図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　・ A種　・（　　）

4.単板積層材
(12.2.1)
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
厚さ、表面の品質及び防虫加工
・ 図示（図面番号：　　）
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ、表面の品質、含水率及び防虫加工
・ 図示（図面番号：　　）

⑤床張り用合板及びその他の合板
(12.2.1)

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ
床捨板等	針葉樹合板	Ⅰ類	1級	D以上		21

構造用合板の強度等級
・ 図示（図面番号：　　）
パーティクルボード
表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等
・ 図示（図面番号：　　）

6.防腐・防蟻処理
(12.3.1)
(12.3.2)
薬剤加圧注入
適用部位、保存処理性能区分　・ 図示（図面番号：　　）
薬剤の塗布等
処理方法　・ 標準仕様書[12.3.1](3)(ⅱ)　・（　　）
摘要箇所　・（　　）
ボード原料接着剤への薬剤混入
・（　　）
防虫処理
・（　　）

⑬ 屋根及びとい工事

1.長尺金属板葺
(13.2.2)
(13.2.3)
(表13.2.1)

屋根葺形式	材種	厚さ（mm）	下葺の種類	備考
段付横葺	・ ｶﾗｰGL鋼板	・0.6	・ アスファルトルーフィング940	有効幅275内外

耐風圧及び積雪荷重に対応した工法
・ 図示（図面番号：　　）
雪止め　・ 図示（図面番号：　　）

②折板葺
(13.3.2)
(13.3.3)

緊結方法	板厚(mm)	山の高さ（mm）	山のピッチ（mm）	耐力区分
⊙ 重ね形 ・ はぜ締め形	・ 0.8 ⊙ 0.6	・ 90 ⊙（ 85 ）	・（　）	・（　）

材種	軒先面戸板
⊙ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合板めっき鋼板 ・（　　）	⊙ あり ・ なし

断熱材　種別　・ ガラス繊維シート　⊙ (ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ)
厚さ(mm)　・ 5　⊙（ 4 ）
防火性能　・（　　）
風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・ 図示（図面番号：　　）

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-004
縮　尺 NS	図 面 名 特記仕様書 No.4	（原図A2）

3.粘土瓦葺
(13.4.2)
(13.4.3)

種　類	大きさ	産　地	役物の種類	棟の工法

雪止め瓦　・使用する
瓦桟木の材種、寸法　・杉又は桧　21×15　・(　　)
棟補強用心材の材質、寸法　・杉又は桧　40×30　・(　　)
下葺材料の種類　・(　　)
風圧力及び積雪荷重に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
桟木の留付け工法　・図示（図面番号：　　）
棟の工法　・標準仕様書[13.4.3](d)　・図示（図面番号：　　）

④とい
(13.5.2)
(表13.5.1)
(13.5.3)
(表13.5.5)
材種　⊙硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)　・配管用鋼管(白管)
・(　　)
鋼管製といの防露巻工法
・標準仕様書[表13.5.5]　・(　　)

⑭ 金属工事

1.あと施工アンカー
(14.1.3)
引抜き耐力の確認試験　・実施する
設計用引張強度　・(　　)

②ステンレス
(14.2.1)
表面仕上げ　⊙HL仕上げ　・(　　)

③アルミニウム
(14.2.2)
(表14.2.1)
表面処理の種別　⊙標準仕様書[表14.2.1]
・A-1　・A-2　・B-1　・B-2　・C-1　・C-2　・D
常温乾燥形の塗装　・(　　)
陽極酸化被膜の着色方法　⊙二次電解着色　・(　　)

4.鉄鋼の亜鉛めっき
(14.2.3)
亜鉛めっきの種別
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・F種

⑤軽量鉄骨天井下地
(14.4.2)
(表14.4.1)
(14.4.3)
(表14.4.2)
(14.4.4)
野縁などの種類
屋内　⊙19形　・(　　)
屋外　・25形　・(　　)
屋外の野縁受等の間隔　・図示
吊りボルトの補強方法（@900mm超）　・図示
吊りボルトの水平補強、斜め補強
・天井ふところ≧1.5m　・標準仕様書[14.4.4](h)
・図示(図面番号：　　)
・天井ふところ＞3.0m　図示
・耐震天井　図示(図面番号：　　)
・耐風圧の補強　図示(図面番号：　　)

⑥軽量鉄骨壁下地
(14.5.3)
(表14.5.1)
スタッド、ランナーの種類
⊙標準仕様書[表14.5.1]　・図示(図面番号：　　)
スタッドの高さ5m超
・図示(図面番号：　　)

7.金属成形板板張り
(14.6.2)
(14.6.3)

施工箇所		
材　種	・アルミニウム ・ステンレス　・鋼	
形　状	・スパンドレル形 ・パネル形	
表面処理	・	

取付け用下地　・図示(図面番号：　　)
長尺ものにおける伸縮調整継手
・設ける　図示(図面番号：　　)

⑧アルミニウム製笠木
(14.7.2)(14.7.3)
(表14.7.1)
部材の種類　⊙図示　・250形　・300形　・350形　・400形
表面処理　⊙(B-2)

9.手すり
(14.8.2)

材種	表面処理の種別	施工箇所
アルミニウム	・標準仕様書[表14.2.1]の種別(B-1種) ・(　　)	
鋼	・標準仕様書[表14.2.2]の種別(　　種) ・(　　)	
ステンレス	・HL程度 ・(　　)	

10.タラップ
(14.8.3)

材種	表面処理の種別	施工箇所
鋼	・標準仕様書[表14.2.2]の種別(　種)	屋内
ステンレス	・	

⑪天井見切縁

⑫点検口

材種　・アルミニウム合金製　⊙塩化ビニル製

取付箇所	材種	寸法	形式
⊙天井	⊙アルミニウム製	⊙450角 ・600角	⊙額縁タイプ ・目地タイプ
・床	・アルミニウム製	・450角 ・600角	・額縁タイプ ・目地タイプ

⑮ 左官工事

1.モルタル塗り
(15.2.2)
(15.2.5)
既製目地材　・使用する　図示（図面番号：　　）
床の目地　・図示（図面番号：　　）
下地モルタルの接着力試験（外壁タイル張り等）　・実施する

2.セルフレベリング
(15.4.2)
③仕上塗材仕上
(15.5.2)
(表15.5.1)
種類　・せっこう系　・セメント系

種 類	呼 び 名	仕 上 形 状		工 法
薄付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状		・吹付け
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク		
	・(　　)	・(　　)		・(　　)
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
			・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて
	・外装厚塗材Si	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
	・外装厚塗材E		・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて ・ローラー
	・(　　)	・(　　)		・(　　)
複層仕上塗材	⊙複層塗材E ・複層塗材RE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ⊙凹凸状		・ローラー ⊙吹付け
	・(　　)	・(　　)		・(　　)
軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状		・吹付け ・こて

内装薄塗材、内装厚塗材（吸放湿性を有するもの）
・JIS A 6909 調湿形
複層仕上塗材の耐候性　⊙耐候形３種　・(　　)
外装厚塗材Cの上塗材
・セメントスタッコ以外の場合　材所要量(　　kg/㎡)

(表15.5.2)
複層仕上塗材の上塗材の種類

樹 脂 種 類	溶 媒 種 類	外　観
⊙アクリル系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	⊙水系	⊙艶有　・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無

(15.5.4)　ALCパネルの内壁目地　・V形目地付き　・(　　)
(15.5.7)　仕上塗材の所要量等の確認方法　・標準仕様書[表15.5.4]　・(　　)

4.マスチック塗材塗り
(15.6.2)
(表15.6.1)
種別　・A種　・B種
仕上材塗り　種類（　　）

5.ロックウール吹付け
(15.8.3)
仕上げ吹付け厚さ　(　　)mm

⑯ 建具工事

1.防火戸
(16.1.3)
防火戸の指定　・図示
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの
・図示

2.見本の製作等
(16.1.4)
建具見本の製作　・実施する
特殊な建具の仮組　・実施する

3.防犯建物部品
(16.1.6)
防犯建物部品　・図示（図面番号：　　）

④ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具
(16.2.2)
(16.2.4)
(表16.2.1)
(表14.2.1)
(16.2.5)
外部建具の性能等級等
・A種　⊙B種　・C種　・(　　)
表面処理　種別　⊙B-2　・(　A-2　)　⊙標準色　・特注色
内部建具
表面処理　種別　・B-2　・(C-2)　・標準色　・特注色
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
建具の見込み寸法　・[表16.2.1]　・図示（図面番号：　　）
結露水の処理方法　・(　　)
水切り板、ぜん板等　・図示（図面番号：　　）

⑤網戸
(16.2.3)
形式　⊙可動式　・固定式
網の材質　・合成樹脂　・ガラス繊維入り合成樹脂
・ステンレス（SUS316）　⊙(　合成樹脂製　)
網　目　・16メッシュ　⊙18メッシュ　・(　　)

6.樹脂製建具
(16.3.2)
(16.3.3)
(16.3.4)
(16.8.2)
外部建具の性能等級等
・A種　・B種　・C種　・(　　)
外部建具の遮音性能等級
・T-A種　・T-B種　・(　　)
外部建具の断熱性能等級
・H-A種　・H-B種　・H-C種　・(　　)
ガラス　・複層ガラス　・(　　)
建具枠見込み寸法　・図示（図面番号：　　）
表面色　・標準色　・特注色
水切り板　ぜん板　・図示（図面番号：　　）
丁番　・[表16.8.3]　・図示（図面番号：　　）

7.鋼製建具
(16.4.2)
(表16.4.1)
(表16.2.1)
(16.4.3)
(16.4.4)
(表16.4.2)
簡易気密型ドアセット　・図示
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
鋼板の種類、めっき付着量
・JIS G 3302　・Z12　・F12　・(　　)
・JIS G 3317　・Y08　・(　　)
鋼板類の厚さ　・[表16.4.2]　・図示（図面番号：　　）
H>2400超 又は W>950超　・図示（図面番号：　　）

8.鋼製軽量建具
(16.5.2)
(16.5.3)
(16.5.4)
簡易気密型ドアセット　・図示
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
鋼板類の表面仕上げ
・塗装　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板
・ステンレス鋼板（・HL　・鏡面）
召し合せ、縦小口包み板等の材質
・鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合板押出形材
鋼板類の厚さ　・[表16.5.1]　・図示（図面番号：　　）
H>2400超 又は W>950超　・図示（図面番号：　　）

9.ステンレス製建具
(16.6.2)
(16.6.3)
(16.6.4)
(16.6.5)
簡易気密型ドアセット　・図示
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
ステンレス鋼板　・SUS304　・(　　)
表面仕上げ　・HL　・鏡面仕上げ
曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ

10.木製建具
(16.7.2)
(表16.7.1)
(表16.7.6)
(表16.7.3)
(16.7.4)
建具材の含水率　・A種　・B種　・C種
フラッシュ戸、戸ぶすまの合板
種類、材面の品質　・図示
接着の程度　・1類（水掛り）、2類（その他）　・(　　)
フラッシュ戸の形状
表面板の厚さ　・標準仕様書[表16.7.6]　・(　　)
引戸の召合わせ　・いんろう付き　図示
かまち戸　かまち、鏡板の樹種　・図示(図面番号：　　)
ふすま　上張の種類　・図示(図面番号：　　)
縁の仕上げ　・図示(図面番号：　　)
枠及びくつずりの材料　・図示
戸の見込み寸法　・図示

⑪建具用金物
(16.8.2)
(表16.8.1)
(16.8.3)
(16.8.4)
マスターキー　⊙製作する　・製作しない
・監督員と協議の上システムを決定する
キーボックス　⊙要　・不要
金物の種類、見え掛かり部等の材質等
⊙標準仕様書[表16.8.1]　・図示（図面番号：　　）
レバーハンドル、クレセント等の取付け位置
⊙監督員と協議の上システムを決定する

12.自動ドア開閉装置
(16.9.2)
(表16.9.1)
(表16.9.2)
(16.9.2)
(16.9.3)
開閉方法
・スライディングドア　・スイングドア
・図示(図面番号：　　)
センサー種類　・図示(図面番号：A-40)
性能値
スライディングドア　・標準仕様書［表16.9.1］　・(　　)
スイングドア　・標準仕様書［表16.9.2］　・(　　)

13.自閉式上吊り引戸装置
(16.10.3)
性能値
・標準仕様書［表16.10.1］　・(　　)

14.重量シャッター
(16.11.2)
(表16.11.1)
シャッターの種類　・図示（図面番号：　　）
開閉機能による種類　・図示（図面番号：　　）
管理用シャッター、外壁用防火シャッター

管理用シャッターのシャッターケース　・図示（図面番号：　　）
鋼板の種類　・図示（図面番号：　　）
・めっき付着量　・Z12　・F12　・(　　)

15.軽量シャッター
(16.12.2)
(表16.12.1)
(16.12.3)
(16.12.4)
開閉機能による種類　・図示（図面番号：　　）
・耐風圧強度(　　Pa 以上)
スラットの材質、めっき付着量
・JIS G 3312　・Z06　・F06　・(　　)
・JIS G 3322　・AZ90　・(　　)
スラットの形状
・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

16.オーバーヘッドドア
(16.13.2)
(16.13.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス

耐風圧性能の区分　JIS A 4715　・(　　)

⑰ガラス
(16.14.2)
(16.14.3)
(16.14.4)
(表16.14.1)
板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等
⊙図示
留め材　⊙シーリング　・ガスケット(　　)
ガラス溝の寸法、形状等
⊙標準仕様書[表16.14.1]　・図示(図面番号：　　)
熱線反射ガラスの映像調整　・実施する

18.ガラスブロック積み
(16.14.5)
表面形状、寸法、厚さ　・図示(図面番号：　　)
壁用金属枠、補強材　・図示(図面番号：　　)
力骨の材質等　・SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋　・(　　)
化粧目地モルタルの色　・(　　)
シーリング材の種類　・(　　)
化粧カバーの材質、形状等　・図示（図面番号：　　）
風圧力に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
目地幅、伸縮調整目地　・標準仕様書[16.14.5](b)(2)　・(　　)

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-005
縮　尺 NS	図 面 名　特記仕様書 No.5	（原図A2）

17 カーテンウォール工事

1.種類
(17.1.1) ・メタルカーテンウォール(種類　　)
(17.1.3) ・PCカーテンウォール

2.性能等
(17.1.3) 耐風圧性(　B種　)
(17.2.2) 耐震性(　　)
(17.2.2) 水密性(　　)
(17.3.2) 気密性(　　)
耐火性(　　)
耐温度差性(　　)
遮音性(　　)
断熱性(　　)
性能の確認・判定方法(　　)
シーリング材の種類
断熱材(　　)

3.メタルカーテンウォール
(17.2.3) カーテンウォールの材料

材料	規格等	見え掛り部の仕上げ	映像調整
・アルミニウム製 ・(　　)	・標準仕様書[16.2.3] ・(　　)	・A-1 ・A-2	・行う

(表17.2.1)
(17.2.5) 製品の寸法許容差　・標準仕様書[表17.2.1]
(17.2.6) ガラス溝の寸法、形状等　・カーテンウォール製作所の仕様による
・図示(図面番号：　　)

取付け
躯体付け金物取付け位置の寸法許容差
・標準仕様書[表17.2.2]　・(　　)
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差
・標準仕様書[表17.2.3]　・(　　)
ガラスの取付け　・構造用ガスケット(図示(図面番号：　　))

4.PCカーテンウォール
(17.3.3) カーテンウォールの材料
コンクリートの種類及び品質
(17.3.4) 鉄筋　・SD295A　・(　　)
(17.3.5) 補強鉄線　・3.2　・(　　)
(17.3.6) 耐火目地材　・(　　)
(17.3.9) 配筋　・図示(図面番号：　　)
先付け材料
・サッシ枠　・ゴンドラ用ガイドレール　・(　　)
製品の寸法許容差　・標準仕様書[17.3.13]による　・(　　)
表面仕上げ材　・磁器質タイル
石材(　・花こう岩　・大理石　・(　　))
取付け
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差
・標準仕様書[表17.3.2]　・(　　)
ガラスの取付け　・構造用ガスケット(図示(図面番号：　　))

⑱ 塗装工事

①材料
②施工一般
(18.2.2)
～(18.14.2)
防火材料の指定箇所(室内側すべて)

塗料塗り 種類	塗料塗り 種別	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類
DP			鉄鋼面	・A種 ・B種 ・C種	
EP	・A種 ・B種		ボード面	・A種 ・B種	
SOP	・A種 (・)B種		木部	(・)A種 ・B種	
NAD	・A種 ・B種		ボード面	・A種 ・B種	

3.耐候性塗料塗り(DP)
(18.7.2)
(表18.7.1)
(18.7.4)

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	コンクリート,ECP面における種別
鉄鋼面		・1級　・2級 ・3級	

⑲ 内装工事

①ビニル床シート張り
(19.2.2)

種類	色柄	厚さ(mm)	継目
・NC　・NF (・)(　FS　)	(・)無地 ・柄物	・2.0 (・)(2.5)	(・)溶接 ・突付け
・(　　)	・無地 ・柄物	・2.0 ・(2.5)	・溶接 ・突付け

2.ビニル床タイル張り
(19.2.2)

寸法	種類		厚さ(mm)
・300×300	・コンポジションビニル床タイル	半硬質	・2.0
・450×450	・コンポジションビニル床タイル	軟質	・(　　)
	・ホモジニアスビニルタイル		・(　　)

3.特殊機能床材
(19.2.2)
・帯電防止ビニルシート・床タイル　寸法(　　mm)
厚さ(　　mm)　種類(　　)
・視覚障害者用床タイル
材質(・ビニル床タイル　・(　　))
寸法(・300×300　・(　　))
・耐動荷重性床シート
種類(　　)　寸法(　　)　厚さ(　　mm)
・ゴム床タイル
種類(　　)　寸法(　　)　厚さ(　　mm)
・防滑り性床シート　種類(　)　性能(　)　厚さ(　)

④ビニル幅木
(19.2.2)
高さ　(・)図示
厚さ　・図示(図面番号：　　)　(・)1.5mm以上
下地　・モルタル　・ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ　・木造
(・)(プラスターボード)

⑤施工
(19.2.3)
継目　・突付け　(・)熱溶接工法

6.ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き
(19.3.3)
(19.3.4)
(表19.3.1)
(表19.3.2)
織りじゅうたん

種別	色柄	パイル形状	織り方
・A種 ・B種 ・C種	・無地 ・柄物 (標準品)	・ループ ・カット ・カット、ループ併用	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・総厚	工法
・タフテットカーペット	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	パイル長 ・5～7mm ・4～6mm	・グリッパー ・全面接着
・ニードルパンチカーペット	・無地 ・柄物		総厚さ ・(　　)	・全面接着
・タイルカーペット	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	総厚さ、サイズ ・6.5mm・ ・500角・	・全面接着

・帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)
タイルカーペットの敷き方
平場　・市松敷き　・模様流し　・図示(図面番号：　　)
階段部分
・市松敷き　・模様流し　・図示(図面番号：　　)
下敷き材　・第2種2号、呼び厚さ8mm
・図示(図面番号：　　)
見切り、押え金物
・材質(　　)　・種類(　　)
・形状(図面番号：　　)

⑦合成樹脂塗床
(19.4.2)
(表19.4.4)
(表19.4.5)
～(表19.4.8)
・弾性ウレタン塗床材(JISK 5970)
仕上げ
・平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
(・)エポキシ樹脂塗床材(JISK 5970)
仕上げ
(・)薄膜流し展べ仕上げ(・平滑　(・)防滑)
・厚膜流し展べ仕上げ(・平滑　・防滑)
・樹脂モルタル仕上げ(・平滑　・防滑)
・塗膜型塗床材仕上げ

8.フローリング張り
(19.5.2)
(19.5.4)
(19.5.5)
(19.5.6)
(19.5.7)
材料　・単層フローリング
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(1等)　・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ(1等)
・ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ(1等)
・複合フローリング
・釘留め工法

材料	種別	樹種
・フローリングボード(根太張用)		・なら ・(　　)
・複合フローリング(直張用)	・A種 ・B種 ・C種	・なら(塗装品) ・合成樹脂発泡シート

防湿処理　・図示(図面番号：　　)

・接着工法

材料		樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	裏面緩衝材
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(直張用)		・なら(塗装品)			・合成樹脂発泡シート
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ(直張用)					
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(直張用)	・C種 ・A種 ・B種				
・ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ(直張用)			・図示(　　)	・図示(　　)	・図示(　　)

現場塗装
仕上げ　・ウレタン樹脂ワニス塗り(・A種　・B種)
・オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・生地のままワックス塗り
・(　　)

9.畳敷き
(19.6.2)
(表19.6.1)
種別　・A種　・B種　・C種　・D種
・D種の畳床TK-(・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ)

⑩せっこうボード、その他のボード及び合板張り
(19.7.2)
(表19.7.1)
(19.7.3)
(表19.7.4)
(表19.7.5)

材種	種別	厚さ(mm)	
(・)せっこうボード		壁	・9.5(準不燃) (・)12.5(不燃)
		天井	
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ		壁	・12.5(準不燃)
(・)化粧せっこうボード	(・)ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様	・9.5(不燃)	
	・木目模様	(・)9.5(準不燃)	
・ロックウール化粧吸音板	・普通 ・立体模様	・9 ・(　　)	
・化粧けい酸カルシウム板	・普通 ・立体模様	・6 ・(　　)	
・けい酸カルシウム板	・ﾀｲﾌﾟⅡ0.8FK	・(6)	
・強化せっこうボード	・(　　)	・12.5　・21	

合板張り
(・)普通合板　表面の樹種　(・)生地のまま
・(透明塗料塗り)ﾗﾜﾝ　・(不透明塗料塗り)しな
・(　　)
品質(　　)　厚さ(　　mm)
接着の程度　・1類(湿潤箇所)　・(　　)m)
防虫処理　・(　　)
・天然化粧合板　化粧板の種類　・(　　)
厚さ(　　mm)
接着の程度　・1類(湿潤箇所)　・(　　)m)
防虫処理　・(　　)
・特殊加工合板　化粧加工の方法
・オーバーレイ　・プリント
・塗装　・(　　)
表面性能(　　)　厚さ(　　mm)
接着の程度　・1類(湿潤箇所)　・(　　)m)

遮音シール材
・適用する(・シーリング材　・ジョイコンパウンド)
合板類の張付け　・B種　・A種
せっこうボードの目地工法
(・)継目処理　・突付け　・目透し
下地　(・)軽量鉄骨　・木造　・(　　)

11.吸音材張り
(19.7.2)

材種	種別	厚さ(mm)	工法
・吸音用グラスウールボード ・グラスウール成型板	・2号32K	・25	・グラスクロス19メッシュ張り(小口共) ・化粧ボタン止め(タテ、ヨコ共@300程度)

特定フロンを含まないもの

⑫壁紙張り
(19.8.2)

施工箇所	材料	防火性能	品質
壁面	ビニルクロス	準不燃	量産品

素地ごしらえ
せっこうボード面　(・)B種　・A種
コンクリート面　・B種　・A種
モルタル・プラスター面　・B種　・A種

⑬断熱材
(19.9.2)

施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)
壁	(・)ｸﾞﾗｽｳｰﾙ断熱材	24K	50,100mm
土間下、躯体間緩衝材	(・)押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	2種b	50,100mm
	・硬質ウレタンフォーム断熱材		
	・フェノールフォーム断熱材		
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		
	・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)		
	・A種硬質ウレタンフォーム保温材		
	・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)		
	・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)		

⑳ ユニット及びその他工事

1.フリーアクセスフロア
(20.2.2)

施工箇所	所定荷重	高さ(mm)	床仕上材及び厚さ(mm)	備考
	複合施設床用	300mm程度	・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ・12mm ・(　　) ・ビニル床タイル (　　)mm	・帯電防止 ・漏えい抵抗 ・(　　)
	一般床用	300mm程度	・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ・12mm ・(　　) ・ビニル床タイル ・(2.5mm)	・帯電防止 ・漏えい抵抗 ・(　　)

試験方法　20.2.2(2)(i)～(iv)
寸法精度　20.2.2(5)(i)～(iii)

2.可動間仕切
(20.2.3)
組立て方式
・スタッド式　・パネル式　・スタッドパネル式
寸法及び形状　・図示
表面材の材質及び仕上げ　・図示
遮音性　・高遮音

3.移動間仕切
(20.2.4)
操作方法　・手動式　・電動式
表面材の材質及び仕上げ　・図示
遮音性　・高遮音
ハンガーレールの取付け下地の補強
・標準仕様書[20.2.4](c)(3)　・図示(図面番号：　　)
ハンガーレールの固定方法
・溶接　・あと施工アンカー(材質：　　、寸法：　　)

4.トイレブース
(20.2.5)
表面仕上　・メラミン樹脂系化粧板(高圧)
・ポリエステル樹脂系化粧板
幅木　・図示
扉小口の材質　・ステンレス製　・アルミ製

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	(仮称)一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-006
縮尺 NS	図面名 特記仕様書 No.6	(原図A2)

⑳ ユニット及びその他工事

5.階段滑り止め (20.2.6)
・ ステンレスSUS304製　ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)
・ (　　)
寸法　・ 約35mm　・ 図示(図面番号：　　)
工法　・ 接着工法　・ 埋込み工法

6.黒板及び ホワイトボード (20.2.8)
黒板の種類　・ 焼付け　・ (　　)
黒板の色　・ 緑　・ (　　)
ホワイトボード　・ 標準仕様書[20.2.8](b)

7.鏡 (20.2.14)
厚さ　・5mm　・ (　　mm)

⑧表示 (20.2.10)

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
⊙ 室名札	⊙ アクリル	・ 5mm ⊙ 3mm	⊙ (250x80)	⊙ シート意匠仕上	⊙ 平付
・ ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	・ タモ集成材	・ 20mm	・ (200x200) ・ (300x200)	・ シート意匠仕上	・ 平付 ・ 突出
・ 室名札	・ ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ		・ (50x50)		

・ 衝突防止表示　図示（図面番号：　　）
・ 非常用進入口表示　図示（図面番号：　　）

9.煙突 ライニング (20.2.11)
煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材　・ ｿﾞﾉﾗｲﾄ系けい酸ｶﾙｼｳﾑ
・ 心材付き繊維積層
適用安全使用温度　・ (　　℃)

10.ブラインド (20.2.12)

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類
・ 横形ブラインド	・ アルミニウム合金 ・ (　)	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ (　)	・ 25 ・ (　)	・ 鋼製 ・ (　)
・ 縦形ブラインド	・ アルミニウム合金 ・ (　)	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ (　)	・ 80 ・ 100 ・ (　)	・ (　)

11.ロール スクリーン (20.2.13)
操作方法　・ スプリング式　・ コード式　・ 電動式
寸法及び材種　・ 図示(図面番号：　　)

⑫カーテン及び カーテンレール (20.2.14)
カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ ドレープ ・ レース ・ 図示(　)	・ フランスひだ ・ 箱ひだ　・ つまひだ ・ プレーンひだ　・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動
・ 暗幕 (遮光(　)級)	・ (　　)	・ (　)	・ (　)

カーテンレール　⊙ アルミ製　・ ステンレス製
強さ区分　⊙ 10-90　・ (　　)
形状　⊙ シングル　・ ダブル
断面形状　⊙ 角形　・ C形　・ D形

13.プレキャスト コンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)
補強鉄線の径　・ 3.2mm　・ (　　)
設計基準強度Fc　・ 図示(図面番号：　　)
配筋　・ 図示(図面番号：　　)
取付方法　・ 図示(図面番号：　　)

14.間知石 間知ブロック積 (20.4.2) (20.4.3)
材種　・ (　　)
種類及び質量区分　・ 図示(図面番号：　　)
積み方　・ 谷積み　・ 布積み
目塗り　・ (　　)
伸縮調整目地　・ 材種（　　）・ 厚さ（　　mm）

21 排水工事

1.排水管 (21.2.1) (表21.2.1)
排水管用材料

材種	管の種類	呼び径	備考

2.排水桝等 (21.2.1)
・ 排水桝
種類及び寸法　・ 図示
・ 適用荷重（車両用）
・ 排水溝
種類及び寸法　・ 図示
・ ふた/グレーチングの種類

材質	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	備考
図示	図示	図示	図示	図示

3.地業の材料 (21.2.1)
・ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利又は切込砕石
・ 砂の粒度試験

4.埋め戻し土 (21.2.1)
・ B種　・ A種　・C種　・ D種　・ 建設汚泥から再生した処理土

5.施工 (21.2.2)
遠心力鉄筋コンクリート管
厚さ、種類　・図示（図面番号：　　）
硬質ポリ塩化ビニル管
基床の厚さ、種類　・図示（図面番号：　　）
継手　・接着剤　・ゴム輪

6.街きょ 縁石、側溝 (21.3.1) (21.3.2)
コンクリート縁石、側溝
形状、寸法　・図示
地業
材料　・　標準仕様書[4.6.2]　・図示（図面番号：　　）
厚さ　・　100mm　・図示（図面番号：　　）

22 舗装工事

1.路床 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.2) (22.2.4) (22.2.5)
路床の材料（厚さは図示（図面番号：　　））
・ 遮断層　・ 川砂　・ 海砂又は良質な山砂
・ 凍上抑制層　・ 切込み砂利　・ 砂　・ (　　)
・ フィルター層　・ 砂
路床安定処理　・ 行う
添加材料による安定処理
種類　・ 普通ポルトランドセメント
・ フライアッシュセメントB種　・ 生石灰(　　)号
・ 消石灰(　　)号
添加量(　　)kg/m³(目標CBR　・ 5以上　・ (　　))

ジオテキスタイル　・ 適応する
盛土に用いる材料
・ A種　・ B種　・C種　・ D種　・ 建設汚泥から再生した処理土
C種の場合：建設発生土受入量(　　)m3
片道の運搬距離(　　)km
試験　・ 路床土の支持力比(CBR)試験
・ 路床締固め度の試験
・ 現場CBR試験

2.路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3) (表22.3.2) (22.3.5)

舗装の種類	舗装の厚さ(mm) 車道部	歩道部	路盤材料
・ アスファルト舗装	・ (50)	・ (30)	・ 再生クラッシャラン
・ カラー舗装	・ (　)	・ (　)	・ クラッシャラン
・ 透水性アスファルト舗装	・ (　)	・ (　)	鉄鋼スラグ
・ インターロッキングブロック舗装	・ (　)	・ (　)	・ クラッシャラン ・ (　)
・ (ｺﾝｸﾘｰﾄ土間)	・ (120)	・ (　)	

3.アスファルト舗装 (22.4.2)～(22.4.6) (表22.4.1)～(表22.4.6)
舗装厚　・ A-5-15　・ (A-5-20)
・ A-3-10　・ (A-3-15)
表層及び基層の種類
・ 加熱アスファルト混合物　・ 再生加熱アスファルト混合物
路盤材料
・ クラッシャラン　・ 再生材クラッシャラン　・ (　　)
シールコートの施工　・ 行う（適用範囲　図示（図面番号：　　））
試験　・ アスファルト混合材等の抽出試験

4.コンクリート舗装 (22.5.2)～(22.5.6)
早強セメント　・ 使用しない　・ 使用する
注入目地材料　・ 低弾性タイプ　・ 高弾性タイプ
目地　・種類(　)　・間隔(　)
構造　・標準仕様書［図22.5.1］　・ (　　)

5.カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3)
種類
・ 加熱系　構成及び厚さ(　　)
混合物　・ アスファルト　・ 石油樹脂系
添加材　・ 着色骨材　・ 自然石
・ 常温系
着色部下部　・ アスファルト舗装　・ コンクリート舗装

6.透水性アスファルト舗装 (22.7.2) (表22.7.1)
舗装材料及び厚さ
ストレートアスファルト
厚さ(mm)　・ (　)　・ 図示(図面番号：　　)

7.ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)

舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ (　)	・ 60 ・ (　)	目地 ・ 砂　・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し
・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ (　) 歩道部 ・ 60 ・ (　)	表面加工 ・ 標準品 ・ (　)
	・ 植生用ブロック		・ 80 ・ 100	
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ (　)		・ 80～100	施工方法 ・ うろこ張り ・ (　) 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

8.砂利敷き (22.9.2)
・ 通路部　・ A種　・ B種　・ (　　)
・ 建物周囲　・ B種　・ A種　・ (　　)

23 植栽工事

1.植栽地の確認 (23.1.3)
・ 土壌の水素イオン濃度(pH)試験　・ 行う
・ 電気伝導度類(EC)の試験　・ 行う
(　　)の試験　・ 行う

2.植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.2)
植栽基盤整備工法
・ 樹木　(　・ A種　・ (C種))
・ 芝及び地被類　(　・ B種　・ (　))
有効土層　面積　・ 図示
厚さ　・ 図示
排水設備　・ 設ける
(　・ 暗きょ　・ 開きょ　・ 排水層　・ 縦穴排水　・ (　))
埋込み用土　・ 現場発生の良質土　・ 客土
土壌改良材　・ (　　)

3.植樹 (23.2.2) (23.3.3)
樹木の種類　・ 図示
寸法　・ 図示
株立数　・ 図示
刈込み　・ あり　・ なし
支柱材
・ 丸太(防腐処理方法　・ 加圧式防腐処理方法　・ (　))
・ (　　)
支柱形式　・ 鳥居形　・ ハツ掛け系　・ (　　)
幹巻き用材料　・ 幹巻き用テープ　・ わら　・ もこ

4.新植樹木の枯補償 (23.3.4)
引渡しの日から　・ 1年　・ (　　)

5.移植樹木の枯損処理 (23.3.6)
引渡しの日から　・ 1年　・ (　　)

6.芝 (23.4.2) (23.4.3)
種類　・ コウライシバ　・ ノシバ　・ (　　)

7.屋上緑化 (23.5.3) (23.5.4)
植栽基盤及び材料
・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・ 図示(図面番号：　　)
排水量　・ 軽量骨材(層の厚さ：　　)　・ 板状成形品
植込み用土　・ 改良土　・ 人工軽量土
樹木の材種　図示(図面番号：　　)
寸法　図示(図面番号：　　)
株立数　図示(図面番号：　　)
・ 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等
・ 図示(図面番号：　　)
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
・ 図示(図面番号：　　)
支柱　・ 図示(図面番号：　　)
かん水装置　・ 図示(図面番号：　　)

24 外構工事

1.旗竿
材種　・ アルミニウム製　・ (　　)
形式　テーパー付き　・ ロープ式　・ ハンドル式
脚部　・ 埋込式　・ ベース式
高さ(m)　・ 5　・ 6　・ 7

2.フェンス
・ ネットフェンス　・ 網材種(・ ビニル被覆鉄線　・ (　))
・ メッシュフェンス
網材種(・ 樹脂皮膜　・ 工場塗装　・ (　))
・ 格子フェンス
網材種(・ 樹脂皮膜　・ 工場塗装　・ (　))

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-007
縮尺 NS	図面名 特記仕様書 No.7	（原図A2）

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水
(3.1.4)
(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

工 法	種 別	施 工 箇 所
・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3	
・ P1E ・ P2E	・ E-1 ・ E-2	

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )

(3.3.2) 断熱工法の断熱材 (P1BI,P2AI,T1BI,P0DI,M3DI,M4DI)
材質 ・( )
・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板３種ｂ（スキンあり）
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
厚さ ・( )
ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示（図面番号： ）

(3.3.3)(b)(2)
(3.3.3)(C) 脱気装置 (M3D,P0D,P0DI,M3DI,M4DI)
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号： ）、材質（ ））
・ 設けない
・ 仕上塗料 種類（ ） 使用量（ ）

(3.3.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・（ ）
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・（ ）
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
屋上排水溝の適用 ・ 適用する
立上り保護 ・ 乾式保護材（ ）
・ れんが（材種 ・ ＪＩＳ R1250）

2 改質アスファルトシート防水
(3.4.2)
改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・（ ）
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・（ ）
粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・（ ）
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・（ ）
断熱工法の断熱材 (M3ASI,M4ASI,P0ASI)
材質、厚さ（ ）
図示 ・（ ）

(3.4.3)
(表3.4.1)～
(表3.4.3)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2	陸屋根	

脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号： ）、材質（ ））
・ 設けない

3 合成高分子系ルーフィングシート防水
(3.5.2)
ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・（ ）
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・（ ）
絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状 ・図示（ ）
断熱工法の断熱材 (P0SI,S4SI,S3SI,M4SI)
材質、厚さ（ ）
・図示（ ）

(3.5.3)
(表3.5.1)～
(表3.5.3)

工法	種別	種別	仕上塗料
・ S3S ・ S3SI	・ S-F1(SI-F1) ・ S-F2(SI-F2)		

(3.5.3) 脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号： ）、材質（ ））
・ 設けない
(3.5.4) 既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
目地処理 ・ 図示（図面番号： ）
増張り ・ 図示（図面番号： ）
保護層の施工・ 図示（図面番号： ）

④ 塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(a)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ P0X (・) L4X	・ X-1 (・) X-2		

脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号： ）、材質（ステンレス））
(・) 設けない

(3.6.3)(b)

工法	種別	施工箇所
・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2 ・	

保護層 ・ 図示（図面番号： ）

⑤ 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(3.2.6)(c)(2)
(3.2.6)(c)(6)
(M4AS,M4ASI,M4C,M4DI) ・ 行う ・ 行わない
(L4X) ・ 行う (・) 行わない

⑥ シーリング
(3.7.2)
(表3.7.1)
材料
(・) 改修標準仕様書[表3.7.1]による

種類	材種	施工箇所
・ SR-1	シリコーン系	
・ SR-2	シリコーン系	
(・) MS-2	変成シリコーン系	図示
・ PS-2	ポリサルファイド系	
・ PU-2	ポリウレタン系	

(3.7.4～7) 工法
(・) シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
（ボンドブレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm）
(3.7.8) シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (・) 行わない

⑦ とい
(3.8.2)
(表3.8.1)
材種 (・) 硬質ポリ塩化ビニル管（カラー） ・ 配管用鋼管（白管）
・（ ）
工法 (・) 改修標準仕様書(3.8.3)による

8 アルミニウム製笠木
(3.9.2)(c)
(表3.9.1)
部材の種類
・ 押出し250形
・ 押出し300形
・ 押出し350形
・ 板材折曲げ形（本体幅（ ）mm、板厚 ・ 2.0mm ・（ ））
(3.9.3)(b) 固定金具の間隔（ mm）
固定方法 ・（ ）
(3.9.2)(d) 表面処理 ・（ ）
(3.9.3) 工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示（図面番号： ）
下地補修の工法 ・ 図示（図面番号： ）
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示（図面番号： ）
笠木固定金具の工法 ・ 図示（図面番号： ）
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

4 外壁改修工事

1 施工数量調査
・ 行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・（ ）
調査項目 ・ ひび割れ部（・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上）
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等（ ・ 足場 ・ ゴンドラ）
報告書 ２部（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

2 改修工法の種類
(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ ALC(t=50-t=100) 塗装仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Vｶｯﾄ補修 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル撤去工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り

3 改修工法等
・ 樹脂注入工法
(4.2.2)(a)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入間隔（ ）
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入口間隔（ ）
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入口間隔（ ）
材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜取り個数（ ）
・ 抜取り部分補修方法（ ）

(4.2.2)(b) ・ Ｕカットシール材充填工法
(4.3.5)
(4.4.6)
(4.5.6)
材料 ・ シーリング用材充填
（ ・ＰＵ－１ ・ ＰＵ－２ ・（ ））
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(c) ・ シール工法
(4.3.6)
(4.4.7)
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(d) ・ 充填工法
(4.3.7)
(4.4.8)
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(g) ・ モルタル塗替え工法
(4.4.9)
材料 ・ 既製目地材の適用及び形状（ ）
仕上げ厚（ ）

(4.2.2)(e) ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
(4.4.10) アンカーピンの本数 ・ 標準 ・（ ）
(図4.4.1) 材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）

(4.2.2)(e) ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
(4.4.11) アンカーピンの本数び注入口の数 ・ 標準 ・（ ）
(図4.4.2) 材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）

(4.2.2)(e) ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
(4.4.12) アンカーピンの本数び注入口の数 ・ 標準 ・（ ）
(図4.4.2) 材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）

(4.2.2)(f) ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
(4.4.13) 注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・（ ）
(図4.4.3) 材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）
呼び径 ・ ６mm ・（ ）

(4.2.2)(f) ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
(4.4.14) 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・（ ）
(図4.4.4) 材料 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ）
呼び径 ・ ６mm ・（ ）

(4.2.2)(f) ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
(4.4.15) 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・（ ）
(図4.4.4) 材料 ・ ポリマーセメントスラリー（ ）
・ 注入口付アンカーピン（ ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４） ・（ ））
呼び径 ・ ６mm ・（ ）

(4.2.2)(h) ・ タイル部分張替え工法
(4.5.7) 材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
				Ⅰ類(磁器)	Ⅱ類(せっ器)	Ⅲ類(陶器)			

・ 役物（ ・ 一体成形 ・ 接着加工）
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(h) ・ タイル張替え工法
(4.5.8)
(表4.5.4)

タイルの種別	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5～8
		・ 改良積み上げ張り	4～7
		・ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・ マスク張り	3～4
	・ 小口未満	・ モザイクタイル貼り	3～5

(4.5.15) ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数（ 本）

(4.2.2)(h) ・ 目地ひび割れ部改修工法
(4.5.16) ・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
（位置 寸法 × ）
検査 シーリング接着性試験
・ 行う（ ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験）

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２ 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-008
縮 尺 NS	図 面 名 特記仕様書 No.８	（原図A2）

④ 塗り仕上げ
(4.2.2)(j)
(表4.2.4(その1)
(その2))

種　類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて
		・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー
		・着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて
	・（　　）	・（　　）	・（　　）
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材Ｃ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて
	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材Ｅ	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・こて ・ローラー
	・（　　）	・（　　）	・（　　）
複層仕上塗材	(・) 複層塗材Ｅ ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材Ｅ ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状	ローラー
		・ 凸部処理 (・) 凹凸模様	吹付け
	・（　　）	・（　　）	・（　　）
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材Ｅ ・ 可とう形改修塗材RE	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー
	・ 可とう形改修塗材CE	・ ゆず肌状	吹付け
	・（　　）	・（　　）	・（　　）

・ 外装厚塗Ｃの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量（　　kg／m2）

(4.7.2)　・ マスチック塗材塗り　・ Ａ種　・ Ｂ種
(表4.7.1)　仕上材塗り（　　）

(表4.2.5)　複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外　観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無
(・) アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	(・) 水系	(・) 艶有　・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有　・ 艶無　・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有　・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有　・ 艶無

（注）　艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)　既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	図示
・ 塗膜はく離剤工法	
・ 水洗い工法 ・ デッキブラシ ・ 高圧ポンプ	

(4.6.4)　下地調整
(・) C-1　・ C-2　・ CM-2　・ E　・（　　）

⑤ 建具改修工事

① 改修工法
(5.1.3)
(・) かぶせ工法
(・) カバー工法　・ 持出し工法　・ ノンシール工法
(・) 撤去工法
・ はつり工法　(・) 引抜き工法

② 防火戸
(5.1.4)
(・) 例示仕様　・ 個別認定（認定番号：　　）
(・) 自動閉鎖機構　・ 図示

③ 見本の製作
(5.1.5)
・ 製作する　(・) 製作しない

4 防犯建物部品
(5.1.7)
・ 図示（図面番号：　　）

5 ブラインドボックス等
(5.1.6)(c)
・ 再使用する　・ 再使用しない

⑥ アルミニウム製建具
性能等級等　・ Ａ種　(・) Ｂ種　・ Ｃ種
(5.2.2)　・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
(5.2.4)　・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
(表5.2.1)　・ 耐震ドアセット（等級　　）
・ 結露水の処理方法　・ 図示（図面番号：　　）
(表5.2.2)　アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
・ 外部に面する建具
・ B-1　(・) B-2　・（　　）
・ 内部に面する建具
・ C-1　(・) C-2　・（　　）

⑦ 網戸
(5.2.3)(e)
(・) 可動式　・ 固定式
防虫網の材質
(・) 合成樹脂製　・ ガラス繊維入り合成樹脂製　(・) ステンレス(SUS316)製　・ サラン
網目
・ 16メッシュ　(・) 18メッシュ

8 樹脂製建具
(5.3.2)～(5.3.5)
(表5.3.1)～
(表5.3.3)
性能等級等
・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
ガラス　・ 複層ガラス　・（　　）
建具枠見込寸法　・ 図示（図面番号：　　）
水切り　・ 図示（図面番号：　　）
ぜん板　・ 図示（図面番号：　　）
丁番　・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による　・ 図示（図面番号：　　）

⑨ 鋼製建具
(5.4.2)
鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
(・) 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　(・) S-5　・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
(5.4.3)　(・) めっき付着量　JIS G 3302　(・) Z12　・ F12　・（　　）
JIS G 3317　・ Y08　・（　　）
(5.4.4)　・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ　・ 図示

⑩ 鋼製軽量建具
(5.5.2)　鋼製軽量建具の性能等級
(・) 簡易気密性ドアセット
(5.5.5)　・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
(5.2.2)(b)　・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
(5.5.3)　・ 耐震ドアセット（等級　　）
(5.5.4)　・ H>2400又はW>950の建具
(5.7.3)(a)　鋼板類の厚さ　・ 図示
(5.2.3)(a)
表面仕上げ
・ 塗装
・ ビニル被覆鋼板
(・) カラー鋼板
・ ステンレス鋼板（　・ HL　・ 鏡面）

⑪ ステンレス製建具
ステンレス製建具の性能等級
(5.6.2)　・ 簡易気密性ドアセット
(5.4.2)　・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　・ S-5　(・) S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
(5.6.3)　材料　(・) SUS304　・（　　）
(5.6.4)　表面仕上げ　(・) HL仕上げ　・（　　）
(5.6.5)　曲げ加工　(・) 普通曲げ　・ 角出し曲げ

⑫ 建具用金物
(5.7.2)　金物の見え掛かり部等の材質等
(・) 改修標準仕様書(表5.7.1)による
・ 図示（図面番号：　　）
(5.7.4)　マスターキー　(・) 製作する　・ 製作しない
引渡用鍵箱　(・) 必要　・ 不要

13 自動ドア開閉装置
(5.8.2)　開閉装置の性能値
・ 図示（図面番号：　　）
(5.8.3)　センサーの種類
(表5.8.3)　・ 図示（図面番号：　　）
(5.8.3)(f)　凍結防止措置　・ あり　・ なし

⑭ 自閉式上吊り引戸装置
(5.9.3)　自閉式上吊り引戸装置の性能値
(・) 改修標準仕様書(表5.9.1)による　・（　　）

15 重量シャッター
(5.10.2)　種類
・ 一般重量シャッター　・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター　・ 防煙シャッター
耐風圧強度（　　Pa以上）
(5.10.2)(c)　開閉機能
(表5.10.1)　・ 上部電動式（手動併用）　・ 上部手動式
(5.10.2)(f)　一般重量シャッターのシャッターケース
(5.10.3)　・ 設ける　・ 設けない
・ めっき付着量　・ Z12　・ F12　・（　　）

16 軽量シャッター
(5.11.2)　開閉形式
・ 上部電動式（手動併用）　・ 手動式
(表5.11.1)　耐風圧強度（　　Pa以上）
(5.11.4)　スラットの材質及び形状
・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量　JIS G 3312　・ Z06　・ F06　・（　　）
JIS G 3322　・ AZ90　・（　　）

17 オーバーヘッドドア
(5.12.2)
型式及び機構
セクション材料
・ スチールタイプ　・ アルミニウムタイプ　・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧強度（　　Pa以上）
開閉方式
・ バランス式　・ チェーン式　・ 電動式
収納形式
・ スタンダード形　・ ローヘッド形　・ ハイリフト形　・ バーチカル形
(5.12.3)　ガイドレール
・ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ ステンレス鋼板

⑱ 板ガラス
(5.13.2)(a)
(5.13.4)
(・) 図示

⑲ ガラス留め材
(5.13.2)(b)
(・) シーリング　・ ガスケット（　　）

⑳ ガラス溝の寸法、形状等
(5.13.3)
・ 図示
(・) 改修標準仕様書（表5.13.1）による

21 ガラスブロック積み
(5.13.5)
ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ　・ 図示（図面番号：　　）
金属枠、補強材　・ 図示（図面番号：　　）
化粧カバー　・ 図示（図面番号：　　）
工法　・ 図示（図面番号：　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥ 内装改修工事

① 一般事項
(6.1.3)(b)　既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改 修 範 囲
(・) 天井	(・) 図示
(・) 壁	(・) 図示
(・) 床	(・) 図示

(6.1.3)(c)　天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
(・) 図示
(6.1.3)(f)　天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
(・) 図示

② 既存床撤去、下地補修
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
(6.2.2)(a)(1)　(・) 行う　・ 行わない
(6.2.2)(a)(2)　合成樹脂塗り床材の除去等
・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法
(6.2.2)(c)　改修後の床の清掃範囲
(・) 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・（　　）

3 既存壁撤去、下地補修
(6.3.2)
既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
・（　　）

④ 木下地等　表面仕上げ　・ Ａ種　(・) Ｂ種　・ Ｃ種
(6.5.1)(c)　木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	種　別
下地材	(・) Ａ種　・ Ｂ種
造作材	(・) Ａ種　・ Ｂ種

(表6.5.1)
(6.5.2)(a)(2)
(表6.5.2)

(6.5.2)(b)(1)　製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用 針葉樹製材	(・) 図示 （図面番号：　　）	(・)（ ２級 ）	・（　　）
造作用 針葉樹製材	(・) 図示 （図面番号：　　）	(・)（ 上小節 ）	・（　　）
広葉樹製材	・ 図示 （図面番号：　　）	・（　　）	・（　　）

(6.5.2)(b)(2)　「製材の日本農林規格」以外の製材
(6.5.2)(b)(3)　樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率　・ 図示（図面番号：　　）
(表6.5.3)　造作材の材面の品質　(・) Ａ種　・（　　）
樹種

部　位	樹　種	県　産　材

(6.5.2)(b)(3)　代用樹種の使用　・ 禁止する　(・) 禁止しない

(6.5.2)(c)(i)　造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部　位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚さ
造作用集成材	(・) 図示	(・)（ １等 ）	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示	・（　　）	
化粧ばり構造用造作用集成柱	・ 図示		・（　　）

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-009
縮　尺 NS	図 面 名　特記仕様書 No.9	（原図A2）

(6.5.2)(c)(ⅱ) 「集成材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、見付け材面の品質 (・) 図示
含水率 (・) １５%以下 ・（　　）

(6.5.2)(d)(ⅰ) 造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	厚さ	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号：　　）	・（　　）	・（　　）

(6.5.2)(d)(ⅱ) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号：　　）
含水率 ・ １４%以下 ・（　　）

(6.5.2)(e) (・) 床張り用合板等

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ
床捨板等	針葉樹合板	Ⅰ類	1級	D以上		12
押入等天井	針葉樹合板	Ⅰ類	1級	D以上		5.5

(6.5.5)(a) ・ 防腐、防蟻処理
適用部位 図示（図面番号：　　）
保存処理性能区分（　　）
薬剤の塗布等の処理方法（　　）
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（　　）

(6.5.5)(b) ・ 防虫処理
・ 図示（図面番号：　　）

⑤ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)
野縁等の種類
(・) 屋内 (・) 19形 ・（　　）
(・) 屋外 (・) 25形 ・（　　）

形式及び寸法
(・) 屋外 (・) 図示
・ 耐震天井 ・ 図示
(・) ふところ≧1.5m (・) 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示
・ ふところ＞3m ・ 図示

(6.6.4) 既存埋込みインサート
・ 使用する ・ 使用しない
既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験
・ 行う（図示（図面番号：　　））・ 行わない
耐震天井
・ 図示

⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)
スタッド、ランナー等の種類
(・) 図示

⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(a)
材料
(・) ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
ＦＳ	マーブル	2.5mm	

(6.8.2)(b) ・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	厚さ	備考

(6.8.2)(c)(1) ・ 帯電防止床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考

(6.8.2)(c)(2) ・ 視覚障害者用床タイル

種類	形状	備考

(6.8.2)(c)(3) ・ 耐動荷重性床シート

種類	性能	厚さ	備考

(6.8.2)(c)(4) ・ 防滑性床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考

(6.8.2)(e) ・ ゴム床タイル

種類	厚さ	備考

(6.8.3)(a) 工法
下地 (・) モルタル下地 (・) 木下地 ・ その他（　　）

(6.8.3)(b) ビニル床シート張り
熱溶接工法 (・) 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き (6.9.3)(a) (表6.9.1)
・ 織じゅうたん

種別	パイルの形状	帯電性	品質の程度
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（　　）	・（　　）

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）

(6.9.3)(b) (表6.9.2)
・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（　　）	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・（　　）

(6.9.3)(c)
・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	備考
	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（　　）	

(6.9.3)(d) (表6.9.2)
・ タイルカーペット

種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル ・ ループパイル	・500×500 ・（　　）	・6.5 ・（　　）	・（　　）

(6.9.3)(e) 下敷き材 ・ 第２種第２号、厚さ８mm ・（　　）
(6.9.3)(f) 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、種類及び形状 ・ 図示（図面番号：　　））

(6.9.4)(e) 敷き方

平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（　　）
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（　　）

⑨ 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1) (表6.10.4) (6.10.3)(b)(2) (6.10.3)(c) (表6.10.5)～(表6.10.8)
弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程
・ 平滑仕上げ (・) 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類
(・) 薄膜流し展べ仕上げ（・ 平滑 (・) 防滑） ・ 厚膜流し展べ仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑）
・ 樹脂モルタル仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 薄膜型塗床仕上げ（・ 平滑）

⑩ フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)
(・) 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード （根太張用）		(・) なら（塗装品） (・) 合成樹脂発泡シート
(・) 複合フローリング （直張用）	・ Ａ種 (・) Ｂ種 ・ Ｃ種	

防湿処理 ・ 図示（図面番号：　　）

(6.11.5) (表6.11.3) (表6.11.5)
(・) 接着工法

材種		樹種	厚さ	大きさ
・ フローリングボード（直張用）	・ Ａ種 (・) Ｂ種 ・ Ｃ種	(・) なら （塗装品）		
・ フローリングブロック（直張用）				
(・) 複合１種フローリング （直張用）				
・複合２種フローリング （直張用）				
・複合３種フローリング （直張用）				
・ モザイクパーケット （直張用）		・（　　）	・（　　）	・（　　）

緩衝材 (・) 合成樹脂発泡シート ・ 図示（図面番号：　　）

(6.11.6)(2) 塗装
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（１波形、Ｂ種）
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・（　　）

⑪ 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)
種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 (・) Ｃ種 ・ Ｄ種

⑫ せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)

材種	種別	厚さ(mm)	
(・) せっこうボード		壁	・ 9.5(準不燃) (・) 12.5(不燃) (・) 15.0(不燃)
		天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
(・) シージングせっこうボード		壁	(・) 12.5(準不燃)
(・) 強化せっこうボード		壁	(・) 21.0(不燃)
(・) 化粧せっこうボード	(・) トラバーチン模様	(・) 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃)	
	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)	
(・) ロックウール化粧吸音板	(・) 普通	(・) 9	
	・ 立体模様	・ 6	
(・) けい酸カルシウム板	(・) タイプⅡ0.8FK	(・) 6 (・) 8	

(6.13.2)(h) 遮音シール材
・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(e)(3) 合板類の張付け
・ Ａ種 ・ Ｂ種

(6.13.3)(g)(1) せっこうボードの目地工法
(表6.13.5) (・) 継目処理 (・) 突付け ・ 目透し

⑬ 壁紙張り (6.14.2)

施工箇所	品質	防火性能
壁	量産品	・ 不燃 (・) 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

１４ モルタル塗り (6.15.3)
既製目地材 ・ 使用する（形状：　　）
床の目地 ・ 図示（図面番号：　　）

１５ タイル張り (6.16.2) (6.16.3)
伸縮調整目地
位置 ・ 図示（図面番号：　　）
タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分 Ⅰ類(磁器)	Ⅱ類(せっ器)	Ⅲ類(陶器)	役物	標準・特注色	耐凍害性有無

(6.16.3)(b)(1) 試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

１６ セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3)
・ せっこう系 ・ セメント系
塗厚（　　）mm

⑰ 断熱材 (9.5.2)
断熱材打込み工法
種類 (・) Ａ種 ・ Ｂ種

種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所
(・) ｸﾞﾗｽｳｰﾙ断熱材	24K	50、100	図示
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ Ａ種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）

種類	厚さ[mm]	施工箇所
・ Ａ種１ ・ Ａ種２ ・ Ａ種３	・（ 25 ）	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ 図示

⑦ 塗装改修工事

１ 材料 (7.1.3)(b)
・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

② 下地調整 (7.2.1～7.2.7) (表7.2.1)～(表7.2.7)
既存塗膜の除去範囲（塗り替えでＲＢ種の場合）
(・) 図示
種別

下地	種別	ひび割れ部の補修
(・) 木部	・ RA種 (・) RB種 ・ RC種	
・ 鉄鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ モルタル、プラスター面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	

３ 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)～(表7.3.4)
錆止め塗料種別
・ 亜鉛めっき鋼面
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
亜鉛めっき鋼面 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3～7.4.5) (表7.4.1)～(表7.4.3)
塗料種別 (・) １種 ・（　　）
種別

下地	種別
(・) 木部	・ Ａ種 (・) Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 鉄鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

５ クリヤラッカー塗り(CL) (7.5.2) (表7.5.1)
種別
木部 ・ Ａ種 ・ Ｂ種

⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)
種別
・ Ａ種 (・) Ｂ種

７ 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)～(7.8.4) (表7.8.1)～(表7.8.3)
上塗り等級
・ １級（フッ素系） ・ ２級（シリコン系） ・ ３級（ポリウレタン系）

下地	種別
鉄鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
亜鉛めっき鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ Ａ－１種 ・ Ａ－２種 ・ Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種 ・ Ｃ－１種 ・ Ｃ－２種

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２ 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-010
縮 尺 NS	図 面 名 特記仕様書 №１０	（原図A2）

8　つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～
(表7.9.4)

種別

下地	種別
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種 しみ止め（　　）
木部（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
鉄鋼面（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
亜鉛めっき鋼面（屋内）	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

⑨　合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
(7.10.2)
(表7.10.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
しみ止め　・（　　）

１０　合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)
(7.11.2)
(表7.11.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

１１　ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)
(7.12.2)
(表7.12.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種

１２　ラッカーエナメル塗り(LE)
(7.13.2)
(表7.13.1)

種別
・　Ａ種　・　Ｂ種

１３　木造保護塗料塗り(WP)
(7.15.2)
(表7.15.1)

８の１　耐震改修工事　共通事項

（一般事項）
1　適用範囲

工事内容
・　現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・　鉄骨ブレースの設置工事
・　柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・　柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・　柱補強工事（連続繊維補強工法）
・　耐震スリット新設工事
・　免震改修・制震改修工事

(8.1.1)
(8.1.2)

工事種別
・　鉄筋工事
・　あと施工アンカー工事
・　コンクリート工事
・　鉄骨工事
・　グラウト工事
・　連続繊維補強工事
・　スリット新設工事
・　免震改修、制震改修工事
・　基礎工事

８の２　耐震改修工事　撤去工事

1　既存部分の撤去等
(8.21.2)

撤去の範囲
・　図示（図面番号：　　）
・　新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
・　既存コンクリート撤去範囲に面する部分
・（　　）

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置
本工事の範囲
・　本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分
・　設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
・（　　）
撤去範囲　・　図示（図面番号：　　）

2　既存構造体の撤去
(8.21.2)
(8.22.2)
(8.23.2)
(8.24.2)

既存構造体の撤去
撤去範囲　・　図示（図面番号：　　）
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・既存鉄筋は切断せず残す	・図示（図面番号：　　） ・全ての撤去部分 ・（　　）　・適用なし	
・コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・図示（図面番号：　　） ・全ての撤去部分 ・（　　）　・適用なし	
・コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・（　　）	

はつりだした鉄筋の処置
・　鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
・（　　）

はつりだした鉄骨の処置
・　コンクリート等を除去し鉄面を表す。
・（　　）

(既存部分の処理)
3　既存構造体コンクリートの表層目荒らし
(8.21.3)
(8.22.3)
(8.23.3)

既存構造体コンクリート面の表層目荒らし
目荒らし程度
・　平均深さ5～10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す
・　図示（図面番号：　　）

８の３　耐震改修工事　鉄筋工事

1　鉄筋
(8.2.1)
(表8.2.1)

材料　改修標準仕様書(表8.2.1)による

種別	径(mm)
・　SD295A	
・　SD345	
・　SD390	
・（　　）	

2　溶接金網
(8.2.2)

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)

3　加工
(8.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径　・　図示（図面番号：　　）

4　鉄筋の継手及び定着
(8.3.4)

	径	部位
重ね継手	・　Ｄ１６以下	
ガス圧接	・　Ｄ１９以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
・　改修標準仕様書(8.3.4)(c)(1)による
・　図示（図面番号：　　）

継手位置
・　各部配筋参考図による
・　図示（図面番号：　　）

先組み工法等
・　柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ
・　改修標準仕様書(表8.3.4)による
・　図示（図面番号：　　）

帯筋組立の形
・　図示（図面番号：　　）

5　鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(8.3.5)

軽量コンクリートで土に接する部分
・　無し
・　有り　適用箇所（　　）
最小かぶり厚さ（　　）mm

耐久性上不利な部分（塩害を受けるおそれのある部分等）
・　無し
・　有り　適用箇所（　　）
最小かぶり厚さ（　　）mm

6　各部配筋

・　図示（図面番号：　　）

7　ガス圧接
(8.3.8)

圧接完了後の試験
超音波探傷試験　・　行う　・　行わない

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)
8　割裂補強筋
(8.21.6)
(8.22.7)

割裂補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・スパイラル筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼 ・（　　）	・　R235 ・（　　） ・（　　）	・　6Φ ・　9Φ ・（　）	スパイラルの径(mm) （　　） スパイラルのピッチ(mm) （　　）	・図示 （図面番号：　　）
・はしご筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋) ・（　　）	・　295A ・（　　）	・　10 ・（　）	壁内方向筋 （　　） 壁面外方向筋 （　　）	

9　鉄筋の機械式継手及び溶接継手
(8.4.2)
(8.4.3)

・　機械式継手
種類　（　　）
工法　（　　）　品質の確認方法　（　　）
修正方法　（　　）　鉄筋相互のあき　（　　）mm

・　溶接継手
工法　（　　）　品質の確認方法　（　　）
修正方法　（　　）　鉄筋相互のあき　（　　）mm

８の４　耐震改修工事　コンクリート工事

(コンクリート工事一般事項)
1　コンクリートの種類及び強度
(8.1.3)
(8.1.4)

コンクリートの種別
・　Ⅰ類　・　Ⅱ類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度Fc [N/mm2]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ
・　21		・2.3t/m3程度	
・（　　）			

(8.9.1)
(8.9.2)
(表8.9.1)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度Fc [N/mm2]	種別	適用範囲	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スランプ
・　36	・　１類 ・　２類				
・（　　）					

2　構造体コンクリートの仕上り
(8.1.4)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別
・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種

(コンクリート)
3　コンクリートの材料
(8.2.5)
(表8.2.3)

セメントの種類
・　普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種
・（　　）
・　高炉セメントＢ種又はフライアッシュセメントＢ種
適用箇所　（　　）

骨材
アルカリシリカ反応性による区分
・　ＡＬ（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・　Ａ（安全と認められる骨材を使用）
　なお、ＡＬで規制できない場合は、Ａとし、その試験は、施工着手前、工事中１回／６ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・　特殊な骨材の使用
・　フェロニッケルスラグ細骨材
・　銅スラグ細骨材
・　電気炉酸化スラグ骨材
・　再生骨材Ｈ

4　混和材料
(8.2.5)

・　混和剤
混和剤の種類
・　改修標準仕様書(8.2.5)(d)(1)による
・　図示（図面番号：　　）

・　混和材
混和材の種類
・　改修標準仕様書(8.2.5)(d)(2)による
・　図示（図面番号：　　）

5　調合管理強度
(8.2.5)
(8.8.3)
(8.10.2)

構造体強度補正値（S）
・　３N/mm2　・　６N/mm2　・（　　）

6　型枠
(8.2.7)
(8.7.8)

材料
・　複合合板（厚さ　・　12mm　・（　　））
スリーブ
・　改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(ⅰ)による
・　改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(ⅱ)による
・　材種（　　）　規格（　　）

7　暑中コンクリート
(8.10.2)

構造体強度補正値（S）
・　6N/mm2　・（　　）

8　無筋コンクリート
(8.11.1)

構造体強度補正値（S）
・　18N/mm2　・（　　）
スランプ
・　15cm　・18cm　・（　　）

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)
9　コンクリートの打込み工法等
(8.21.8)
(8.23.5)

部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・（　　）	・図示（図面番号：　　） ・（　　）
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　　） ・（　　）
	・（　　）	・図示（図面番号：　　） ・（　　）

(8.23.6)

柱頭柱脚の隙間部間の型枠
・　発泡プラスチック保温材等を埋込む
・（　　）

柱頭柱脚の隙間寸法
・　図示（図面番号：　　）

打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ
・　図示（図面番号：　　）　・　60mm　・（　　）

１０　増設壁工事後の仕上げ
(8.21.10)
(8.23.7)

・　図示（図面番号：　　）

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第１－１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-011
縮　尺 NS	図面名 特記仕様書 No.１１	（原図A2）

8の5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事

（あと施工アンカー）

1 あと施工アンカーの材料
(8.2.4)
(表8.2.2)

種類
・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式（ ・ 改良型 ・ 従来型）
径及び埋込み深さ ・ 図示（図面番号： ）
引張耐力 ・ 図示（図面番号： ）
せん断耐力 ・ 図示（図面番号： ）
接合筋の種類・径・長さ ・ 図示（図面番号： ）

・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系
径及び埋込み深さ ・ 図示（図面番号： ）
引張耐力 ・ 図示（図面番号： ）
せん断耐力 ・ 図示（図面番号： ）
アンカー筋の種類 ・ 図示（図面番号： ）
アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示（図面番号： ）

あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない

2 あと施工アンカーの施工
(8.12.2)
(8.12.4)
(8.12.5)

穿孔
埋込み配管等の探査の方法
・ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
・ はつり出しによる。
・（ ）

あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない
確認試験方法
・ 改修標準仕様書(8.11.5)による ・（ ）

(8.12.5) 確認強度
・（ ）

(場所打ちコンクリート壁の増設工事)
3 シアコネクター

場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ
種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
径[mm] ・ Ｄ１０
長さ[mm] ・ 増打壁厚－４０ ・（ ）
彫込み深さ[mm] ・ ５ｄ(d: シアコネクタの径)以上 ・（ ）
間隔[mm] ・ ５００×５００

シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・（ ）

8の6 耐震改修工事 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場
(8.1.5)

㈳日本鉄骨評価センター又は㈳全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・ Ｊ ・ Ｒ ・ Ｍ ・ Ｈ ・ Ｓ

2 施工管理技術者
(8.1.5)

施工管理技術者（鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等）の適用
・ しない ・ する

3 鋼材
(8.2.8)

材質・形状及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）

4 高力ボルト
(8.2.9)
(8.14.2)
(8.14.7)

高力ボルトの適用
・ トルシア形高力ボルト ２種（S10T）
・ JIS形高力ボルト２種（F10T）
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種（F8T相当）

高力ボルトの径
・ 図示（図面番号： ）

すべり係数試験
・ 行う

試験方法等
・ 図示（図面番号： ）

JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの５倍を超える場合の回転量
・（ °）

5 仮組
(8.13.10)

仮組の実施
・ 実施する（ ） ・ 実施しない

6 技能資格者
(8.15.3)

溶接作業における技能資格者の技量付加試験
・ 実施する（ ） ・ 実施しない

7 溶接部の試験
(8.15.11)

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
工場溶接の場合
・ 全数試験とする
・ 公共建築工事標準仕様書(平成28年版)(7.6.11)(b)による。

平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・（ ）
検査水準 ・ 第６水準 ・（ ）
ロットの構成（ ）

工事現場溶接の場合
・ 全数試験とする
・ 公共建築工事標準仕様書(平成28年版)(7.6.11)(b)による。
平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・（ ）

8 溶接材料
(8.2.10)

・ 改修標準仕様書(8.2.10)(a)(b)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・ 図示（図面番号： ）

9 溶接接合
(8.15.4)
(8.15.7)

開先の形状 ・ 図示（図面番号： ）
スカーラップの形状 ・ 図示（図面番号： ）

10 錆止め塗装
(8.17.3)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
・ 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) （ ）種
耐火被覆材の接着する面への塗装
・ 行う ・ 行わない
適用箇所 図示（図面番号： ）
種類
・ 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) （ ）種

11 耐火被覆材の種別及び性能
(8.18.2)
(8.18.3)

部位	種類	仕様

12 ブレース設置工事後の仕上げ

・ 図示（図面番号： ）

8の7 耐震改修工事 グラウト工事

（グラウト工事）
1 モルタル及びグラウト材
(8.2.6)
(8.2.11)
(表8.2.5)
(表8.2.10)

構造体用モルタル
・ 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.11)による。
無収縮モルタル
・ 改修標準仕様書(8.2.11)(a)による
・（ ）
グラウト材
・ 改修標準仕様書(8.2.11)(b)による。

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)

増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

部位	処理方法	備考
・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・（ ）	・ 寸法は図示による
・（ ）	・（ ）	・（ ）

2 既存構造体との取合部の処理方法
(8.21.9)
(8.22.7)

8の8 耐震改修工事 柱補強工事

(連続繊維補強工事)
1 連続繊維シート等による工法
(8.24.1)

連続繊維による補強、補修工法
・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。
・（ ）

2 連続繊維シートおよび含浸接着樹脂等の材料
(8.23.6)

連続繊維の材料
・（ ）
工法
・（ ）
引張強度（含浸硬化後）
・（ ）
ヤング係数（含浸硬化後）
・（ ）

3 連続繊維シートの施工準備

仕上げモルタルの除去
・ 既存構造躯体面まで除去する
・ モルタル除去は行わない
・（ ）
既存モルタルの圧縮強度測定
・ 行う（ ）
・ 行わない
ひび割れ部の改修工法
・ 樹脂注入工法
・ Uカットシール材充填工法
・ シール工法

4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法
(8.23.6)

柱頭柱脚の隙間寸法
・ 図示（図面番号： ）

5 耐震補強後の仕上げ
(8.23.7)
(8.24.5)

・ 図示（図面番号： ）

6 炭素繊維シートの施工

炭素繊維の目付量
・ 図示（図面番号： ）
・ 200g/m2
・ 300g/m2
・（ ）
炭素繊維シートの巻き数
・ 図示（図面番号： ）
・ １巻き
・ ２巻き
・（ ）

7 連続繊維補強材の強度試験
(8.24.4)

引張強度試験
・ 実施する（JIS A1191に準拠する）
試験数量（ ）
・ 実施しない

8の9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事

(耐震スリット新設工事)
1 スリットの種類
(8.25.1)
(8.25.2)

付着強度試験
・ 実施する（JIS A6909に準拠する）
試験数量（ ）
・ 実施しない
耐震スリットの種類及び形状
完全スリットの形状

	一般型	一面せん断型	
記号			
形状	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	
幅W（mm）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	
既存鉄筋の処理	・既存鉄筋はつり出し ・切断してよい ・（ ）	・切断してよい ・（ ）	

部分スリットの形状

	片側スリット	両面スリット	
記号			
形状	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	
幅W（mm）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	
ts（mm）	・（ ）	・（ ）	
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・（ ）	・ 存置する ・ 切断してよい	

2 スリットの施工

スリット部の配管等の調査
範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
・ 図示（図面番号： ）
・（ ）
方法 ・ 鉄筋探査機（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

スリットの逃げ位置
壁上端部 ・ 梁との接合部 ・（ ）
壁の柱きわ部 ・ 柱の仕上げを逃げたきわ部 ・（ ）
壁下端部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ・（ ）

撤去部の補修
・ 図示（図面番号： ）

充填材
・ 耐火材 使用箇所（ ） 仕様（ ）
・ 遮音材 使用箇所（ ） 仕様（ ）

(8.26.1)～
(8.26.17)

免震改修、制震改修に関する仕様は、図示する。

⑧の10 その他工事

① 基礎工事
(8.28.2)
(8.28.3)

既存杭の撤去
・ 図示（図面番号： ）
埋戻し及び盛土の材料及び工法
・Ａ種 ⊙Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種

建設発生土の処理
⊙自由処分
・処分地指定 処分地（ ）
・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km

山留めの撤去
・撤去
・存置

② 地業工事
(8.28.4)

杭の施工監理
杭工事特記仕様書による。
適用基準
本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

施工記録
受注者は、杭の施工期間中は、１ 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料
共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験掘
・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示(基礎伏せ図) による。
・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示(図面番号：) による。

杭の支持地盤
支持地盤の位置、種類 ・ 図示(図面番号：) ・（ ）

水平方向のずれ
（ ）mm以下

杭の載荷試験
試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・（ ）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示(図面番号：) 載荷荷重 （ kN)
報告書 ・ 提出部数 2部

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２ 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-012
縮 尺 NS	図 面 名 特記仕様書 №１２	（原図A2）

地盤の載荷試験
試験方法　・平板載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置　・図示(図面番号：　）　載荷荷重　（　　kN）
報告書　・提出部数　2部

杭地業の工法、寸法
・図示（図面番号：　）

杭頭処置
・行う　・行わない

砂利及び砂地業
厚さ（mm）　・60　⊙（ 100 ）

捨てコンクリート地業
厚さ（mm）　・60　⊙（ 50 ）

9　環境配慮改修工事

1 アスベスト含有材の処理工事 (9.1.1)

施工調査
・ アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲　・図示（図面番号：　）　・（　　）
貸与資料　（　　）

・ 分析によるアスベスト含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
・ JIS A 1481-1（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第１部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法）による
・ JIS A 1481-2（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第２部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法）による
・ JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第３部:アスベスト含有率のＸ線回析定量分析方法)による

材料名	定性分析	定量分析
	・ 箇所数（　　）	・ 箇所数（　　）
	・ 箇所数（　　）	・ 箇所数（　　）
	・ 箇所数（　　）	・ 箇所数（　　）
	・ 箇所数（　　）	・ 箇所数（　　）

サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示（図面番号：　）　・（　　）

・ アスベスト粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	計　点
・	測定４		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計　点
・	測定５		処理作業室外（敷地境界）	計　点
・	測定６	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計　点
・	測定７	処理作業後シート撤去後１週間以降	処理作業室内	計　点
・	測定８		調査対象室外部の付近	計　点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・1　・（　）	・5　・（　）	・10　・（　）
試料の吸引時間(min)	・5　・（　）	・120　・（　）	・240　・（　）

(9.1.3) アスベスト含有建材の処理
・ アスベスト含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示（図面番号：　）　・（　　）
除去工法　・改修標準仕様書9.1.3(b)(1)による
除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止
・ 密封処理　・ 湿潤化　・ セメント固化
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設）

(9.1.4)
・ アスベスト含有保温材の除去
除去対象範囲　・図示（図面番号：　）　・（　　）
除去したアスベスト含有保温材の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設）

(9.1.5)
・ アスベスト含有成形板の除去
除去対象範囲　・図示（図面番号：　）　・（　　）

・ アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板
・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設）

2　断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)～(9.2.3)

改修特記仕様書３章による

3　外断熱改修工事 (9.3.2)

断熱材

種類		厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）		
・硬質ウレタンフォーム断熱材		
・フェノールフォーム断熱材		
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		
・押出法ポリスチレンフォーム保温材（スキンなし）	・保温板（2種b）	
	・保温板（3種b）	
・A種硬質ウレタンフォーム保温材		
・フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）		
・ロックウール		
・グラスウール		・ 50mm、100mm

施工箇所
・ 図示　・（　　）
ホルムアルデヒド放散量
・ 規制対象外　・（　　）

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3) 既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去　・ あり　・ なし
下地面の清掃　・ 行う　・ 行わない
欠損部の改修工法　・ 改修標準仕様書(4.1.4)による　・（　　）

(9.3.4) 工法
通気層の有無　・ あり（　　mm）　・ なし
断熱材の施工　・ 断熱材製造所の仕様による　・（　　）
外装材の施工　・ 外装材製造所の仕様による　・（　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・ 1　・ 1.15　・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・ 適用しない

4　断熱・防露改修工事 (9.5.2)

断熱材のホルムアルデヒド放散量　・ 規制対象外　・（　　）
・ 断熱材打込み工法

種類		厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）		
・硬質ウレタンフォーム断熱材		・25　・（　　）
・フェノールフォーム断熱材		
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		
・押出法ポリスチレンフォーム保温材（スキンなし）	・保温板（2種b）	・25　・（　　）
	・保温板（3種b）	・ 50　・（　　）
・A種硬質ウレタンフォーム保温材		
・フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）		

施工箇所　・図示（図面番号：　）　・（　　）

(9.5.3)
・ 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・ A種１　・ B種１
厚さ（mm）　・ 25　・ 30　・（　　）
施工箇所　・図示（図面番号：　）

・ 現場発泡断熱材
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4) 断熱材のホルムアルデヒド放散量　・規制対象外　・（　　）
・断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け		厚さ [mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・有	・無	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・有	・無	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・有	・無	
・フェノールフォーム断熱材	・有	・無	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・有	・無	
・押出法ポリスチレンフォーム保温材	・有	・無	
・硬質ウレタンフォーム保温材	・有	・無	
・フェノールフォーム保温材	・有	・無	

施工箇所　・図示（図面番号：　）　・（　　）

5　屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
(9.6.1)
・ 適用する　・ 適用しない
(9.6.2)
芝及び地被類の樹種並びに種類等　・ 図示（図面番号：　）　・（　　）
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　・ 図示（図面番号：　）　・（　　）
(9.6.3) 工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・ 1　・ 1.15　・ 1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・ 適用しない

かん水装置　・ 設置する（種類　・　　・　　）
既存保護層の撤去　・ 行う　・ 行わない

6　透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2)～(9.7.7)(9.7.9)

既存舗装の撤去及び再利用　・ 図示（図面番号：　）　・（　　）
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ[mm]
・盛土	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示（図面番号：　） ・（　　）
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（7μmふるい通過量10%以下） ・（　　）	・図示（図面番号：　） ・（　　）
・フィルター層	・砂 ・（　　）	・図示（図面番号：　） ・（　　）

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類　・ 普通ポルトランドセメント　・ フライアッシュセメントＢ種
・ 生石灰（・特号　・１号）　・ 消石灰（・特号　・１号）
添加量（　　kg/m2）（目標CBR　・５以上　・　　）

・ ジオテキスタイル
単位面積質量　・ 60g/m2以上　・（　　）
厚さ[mm]　・ 0.5～1.0　・（　　）
引張強さ　・ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・（　　）
透水係数　・ 1.5×10^-1cm/sec 以上　・（　　）

試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・ 行う　・ 行わない
路床締固め度の試験　・ 行う　・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ　・ 図示（図面番号：　）　・（　　）
路盤材料　・ 再生材のクラッシャラン
・ クラッシャラン鉄鋼スラグ
・ 図示（図面番号：　）
・（　　）

試験
路盤締固め度の試験　・ 行う　・ 行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
ストレートアスファルト	・図示（図面番号：　） ・（　　）

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・ 行う　・ 行わない
舗装の平たん性　・ 著しい不陸がないもの　・（　　）

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-013
縮　尺 NS	図面名 特記仕様書 No.１３	（原図A2）

章	項目	特記事項
③ 解体施工	1 浄化槽、排水槽等 (3.2.1)	汚水、汚物の回収、洗浄、消毒等 ・ 行う　　・ 行わない
	2 杭の撤去 (3.9.2)	杭の撤去 ・ 行う　　・ 行わない 解体方法 ・ 引抜き工法 （ ・ 振動　　・ ケーシング　　・（　　）） ・ 破砕 ・ 図示（図面番号：　　） 引き抜いた杭の処理 ・ 図示（図面番号：　　）
	③ 樹木等 (3.10.1)	樹木の伐採抜根及び移植 ⊙ 行う ・ 行わない
	④ 地下埋設物及び埋設配管 (3.11.1)	地下埋設物及び埋設配管の解体 ⊙ 行う ・ 行わない
	⑤ 解体撤去後の整地 (3.12.1)	・砕石(C-40)にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ・再生クラッシャラン(RC-40)にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ・山砂にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ⊙図示
④ 建設廃棄物の処理	1 産業廃棄物広域認定制度 (4.4.2)	特例による広域的処理　　・ 図示（図面番号：　　）
	2 最終処分 (4.4.4)	最終処分する廃棄物　　・（　　） 最終処分場　　・（　　）
	③ 処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)	建設廃棄物の種類 ／ 処理方法 ・ＣＣＡ処理木材 ／ ・(1)アスベスト含有石膏ボード ／ ・(2)ひ素、カドミウム含有石膏ボード ／ ⊙(1)(2)以外の石膏ボード ／ ・埋立処分 ・再資源化
5 特別管理産業廃棄物の処理	1 施工調査 (5.1.2)	特別管理産業廃棄物の分析調査 ・ 行う　調査範囲　図示（図面番号：　　） ・ 行わない
	2 PCBを含む機器類 (5.4.3) (5.4.4)	微量ＰＣＢ、ＰＣＢ含有シーリング材の分析調査 ・ 行う　調査範囲　図示（図面番号：　　） ・ 行わない
	3 廃油、廃酸、廃アルカリの処理の有無 (5.4.5) (5.4.6)	・ 廃油　適用箇所　図示（図面番号：　　） ・ 廃酸　適用箇所　図示（図面番号：　　） ・ 廃アルカリ　適用箇所　図示（図面番号：　　）
	4 ダイオキシン類 (5.4.7)	サンプリング調査 ・ 行う　調査範囲　図示（図面番号：　　） ・ 行わない 解体方法及び処分方法 ・（　　） ・ 図示（図面番号：　　）
6 アスベスト含有建材の除去及び処理	1 適用範囲 (6.1.1)	建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理 ・ 行う　適用箇所　図示 ・ 行わない
	2 施工調査 (6.1.2)	分析によるアスベスト含有の調査 ・ 行う　調査範囲　図示（図面番号：　　） ・ 行わない
	3 アスベスト粉じん濃度測定 (6.1.3)	アスベスト粉じん濃度の測定時期、測定場所及び測定点数 測定時期 ／ 測定場所 ／ 測定点数 ／ 備考 処理作業中 処理作業後
	4 アスベスト含有吹付け材の除去・処分 (6.3.2) (6.3.3)	除去工法 ・ 共通仕様書[6.3.2](a) ・ 図示（図面番号：　　） 除去したアスベストの飛散防止措置 ・ 固型化　　・ 湿潤化 除去したアスベストの処分 ・ 埋立処分　　・ 溶融又は無害化による中間処理
	5 アスベスト含有成形板 (6.5.3)	処分方法（石綿含有せっこうボードを除く） ・ 埋立処分　　・ 溶融又は無害化による中間処理
7 特殊な建設副産物の処理	1 施工調査 (7.1.3)	分析調査 ・ 行う　調査範囲　図示（図面番号：　　） ・ 行わない
	2 特殊な建設副産物 (7.3.1)	特殊な建設副産物の種類等 種類 ／ 適用箇所 ／ 回収及び処分 ・フロン ／ ・（　　） ・ハロン ／ ・（　　） ・（　　） ・（　　）

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-014
縮尺 NS	図面名 特記仕様書 No.１４	（原図A2）

外部仕上表

部位			仕上
勾配屋根	改修前		ｾﾒﾝﾄ系ｶﾗｰ洋瓦葺（引掛桟打） ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ 22kg品貼り 耐水合板 t=12 （既設のまま） 鼻隠・破風 ALC(t=50)貼 吹付ﾀｲﾙ仕上（既設のまま） 撤去
	改修後		ｶﾗｰGL鋼板 t=0.6 段付横葺 有効幅275内外 ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ 940 軒先包み・ｹﾗﾊﾞ包み 共 新設
		30分耐火構造	ｶﾗｰGL鋼板(NM-8586～NM-8595) t=0.6 段付横葺 軒先包み・ｹﾗﾊﾞ包み 共 ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ 940 硬質木片ｾﾒﾝﾄ板 t=25 (FP030RF-0051) 該当鉄骨部は 1時間耐火被覆(FP060BM-9408) 新設
陸屋根（テラス屋根）	改修前		ALC(t=100)貼 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 高圧洗浄
	改修後		下地調整の上、主剤着色型ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 X-2 ﾒｯｼｭ補強工法 新設
陸屋根立上	改修前		ALC(t=100)貼 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 高圧洗浄
	改修後		下地調整の上、主剤着色型ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 X-2 ﾒｯｼｭ補強工法 新設
樋	改修前		軒樋：塩ﾋﾞ製 角型 前高 w=150 竪樋：硬質塩ﾋﾞﾊﾟｲﾌﾟ(VP75) Φ75 揚金物・受金物共：亜鉛ﾒｯｷ専用金物 SOP 撤去
	改修後		軒樋：塩ﾋﾞ製 角型 前高 w=120(ｶﾗｰ) 竪樋：硬質塩ﾋﾞﾊﾟｲﾌﾟ(VP) Φ75(ｶﾗｰ) 集水器：塩ﾋﾞ製角型(ｶﾗｰ) ﾄﾞﾚｲﾝ：縦引Φ100 呼樋：硬質塩ﾋﾞﾊﾟｲﾌﾟ(VP) Φ75(ｶﾗｰ) 揚金物・受金物共：SUS製 新設
軒天	改修前		ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6 目透し貼 EP塗 一部撤去
	改修後		ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6 目透し貼 EP塗 一部新設
EXP・ｼﾞｮｲﾝﾄ	改修前		笠木・天井・内壁：SUS304製 撤去
	改修後		笠木・天井・外壁・内壁：アルミ製（耐火仕様） 新設
開口部	改修前		ALC用ｱﾙﾐｻｯｼ・ｱﾙﾐﾄﾞｱ 一部撤去
	改修後		ALC用ｱﾙﾐｻｯｼ・ｱﾙﾐﾄﾞｱ 一部新設

部位			仕上
外壁	改修前		ALC(t=50) 吹付ﾀｲﾙ仕上げ 一部撤去
	改修後		ALC(t=50) 取合部 変性ｼﾘｺﾝ 高圧洗浄・複層塗材E吹付 新設
		陸屋根立上 1時間耐火構造	繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑｾﾒﾝﾄ押出成形板張 t=60 複層塗材E吹付 新設
		1時間耐火構造	繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑｾﾒﾝﾄ押出成形板張 t=60 複層塗材E吹付 新設
断熱材			ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 24kg品 t50 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 24kg品 t100 新設
増築	根廻り		ﾓﾙﾀﾙ塗 金ｺﾃ押 H=400
	テラススロープ	改修前	ﾓﾙﾀﾙ塗刷毛引き 裏面弾性材耐候防滑性ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ(t=6) 撤去 ﾃﾗｽ先：ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ貼 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押 w=50 SUS目地棒見切 ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ貼
		改修後	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ刷毛引き t=100 鉄筋 D10@200(ｶﾞﾗｺ) 伸縮調整目地 新設
	犬走り	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放金ｺﾃ押(出隅部面取) 差筋ｱﾝｶｰ(D10@300) 撤去
		改修後	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放金ｺﾃ押(出隅部面取) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t=120 砕石 t=100 鉄筋 D10@200(ｶﾞﾗｺ) 差筋ｱﾝｶｰ D10@300 新設
	断熱材		外壁：GW 24kg品 t=100 新設
	庇		ｱﾙﾐ庇 D=800 W=3,800 新設
	屋根		折板 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.6 断熱裏張 t=4.0 山高=85程度 新設
	パラペット		GL鋼板 t=0.4曲げ加工 水切り共 ｱﾙﾐ笠木 W=225 新設
	外壁		ALC t=50 取合部 変性ｼﾘｺﾝ 複層塗材E吹付 新設

主要構造部関係

部位	使用材料	認定	
屋根	ｶﾗｰGL鋼板 t=0.6	屋根30分耐火	FP030RF-0051仕様(耐火要求部)
	ALC版 t=100		
非耐力壁 耐火要求部	ALC版 t=100 ALC版 t=50		
	繊維混入ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑｾﾒﾝﾄ押出成形板張	耐火構造	FP060NE-9037
柱・梁	鉄骨造	耐火構造	FP060BM-9408 (耐火要求部のみ)
告示1436号区画	常時閉鎖式特定防火設備 告 2564 告 1369	特定防火設備	平12建告1369号第1項第1号 昭48建告2563号第1項1号
火気使用室区画	LGS下地 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=8(両面貼)	不燃材料	JIS A 5430 不燃材料認定：NM—8576
１１４条区画	LGS下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5(両面貼)	準耐火構造	平成27年国交省告示第253号
	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=15(両面貼)	準耐火構造	平12建告1358号第1ー(ﾊ)(2)(ⅱ)
	既設C型鋼下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=21+21(片面二重貼)	準耐火構造	FP060NP-0007
1,000㎡区画（独立防火壁）	1,000㎡区画壁(職員室 3歳児保育室(A)間) 新設 鉄骨ﾌﾚｰﾑ C型胴縁下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=21+21(両面貼)	耐火構造	平12建告示第1399号第2号-1-6-(1)
	1,000㎡区画壁(1歳児保育室 園児便所(E)間) 新設 鉄骨ﾌﾚｰﾑ C型胴縁下地 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=21+21(片面二重貼)	耐火構造	FP060NP-0007
	1,000㎡区画壁開口部 煙感知器連動常時開放式特定防火設備 告 2564 告 1369	特定防火設備	平12建告1369号第1項第1号 昭48建告2563号第1項1号

内部仕上表 No.1

室名			床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 H	腰壁 下地	腰壁 仕上	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	廻縁	CH	室名札	備考
0歳児保育室	改修前 保	ひよこぐみ	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま 耐水合板(T1) t12 撤去	ﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ敷 t7 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 一部撤去	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(中央部) 撤去		4,150 3,100 2,500		ｶｰﾃﾝBOX・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（一部撤去）
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ﾗﾜﾝ合板 t12 新設	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12(緩衝材付) 乾式高断熱床下地材 t33 薄畳 t15 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t15(両面、屋根裏迄) 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t21x2(片面、屋根裏迄) 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾒﾗﾐﾝ化粧合板貼 t3 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 一部新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 一部新設	塩ﾋﾞ	4,150 3,100 2,500	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（復旧） ﾐﾆｷｯﾁﾝ（復旧）
1歳児保育室	改修前 保	あひるぐみ１	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま 耐水合板(T1) t12 撤去	ﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ t7 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 撤去	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 撤去 ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(中央部) 撤去		4,150 3,100		小物入棚・掃除具入（撤去） ｶｰﾃﾝBOX・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ・ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（撤去） ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（取外し）
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ﾗﾜﾝ合板 t12 新設	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12(緩衝材付) 薄畳 t15 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t15(両面、屋根裏迄)	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 新設	塩ﾋﾞ	4,150 3,100	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（復旧）
2歳児保育室	改修前 保	うさぎぐみ	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま 耐水合板(T1) t12 既設のまま	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ t2.3 既設のまま	ｿﾌﾄ巾木 既設のまま	60	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 既設のまま	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 既設のまま	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=10 既設のまま	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 既設のまま	LGS下地 既設のまま	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(中央部) ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板貼 t=9～12(周囲) 既設のまま		4,000 3,300	○	
		改修後														天井点検口（新設）
3歳児保育室（A・B・C）	改修前 保	きりんぐみ りすぐみ ももぐみ	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t100 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上げ t75 既設のまま	弾性複合塩ﾋﾞｼｰﾄ t3.2 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	LGS下地 一部撤去	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 一部撤去		3,000		小物入棚・私物入棚・掃除具入（撤去） ｶｰﾃﾝBOX・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ・ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（撤去） ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（取外し）
		改修後	下地調整	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12(緩衝材付) 長尺ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t15(両面、屋根裏迄) 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t21x2(片面、屋根裏迄) 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 一部新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 一部新設	塩ﾋﾞ	2,990	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（復旧） SUS床見切（新設）
4歳児保育室（A・B）	改修前 幼	ゆりぐみ ばらぐみ	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま 耐水合板(T1) t12 撤去	寄木ﾌﾛｱｰ貼 t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	LGS下地 一部撤去	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 一部撤去		3,000		小物入棚・私物入棚・掃除具入（撤去） ｶｰﾃﾝBOX・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ・ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（撤去） ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（取外し）
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ﾗﾜﾝ合板 t12 新設	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12(緩衝材付) 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t15(両面、屋根裏迄) 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t21x2(片面、屋根裏迄) 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 一部新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 一部新設	塩ﾋﾞ	3,000	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（復旧）
5歳児保育室（A・B）	改修前 幼	職員室（幼） 職員室	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま	寄木ﾌﾛｱｰ貼 t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	ﾃｰﾊﾟｰﾎﾞｰﾄﾞ t9 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去 耐水合板(T1) t5.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去		5,300 3,300		行事予定黒板・掲示板（撤去） 掃除具入・腰戸棚（撤去）
		保健室	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ仕上げ 撤去	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2.0 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	ﾃｰﾊﾟｰﾎﾞｰﾄﾞ t9 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去		3,300		手洗器・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（撤去）
		印刷室	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ仕上げ 撤去	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2.0 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	耐水合板(T1) t5.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去		3,300		ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ（撤去）
		更衣室	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ仕上げ 撤去	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=2.0 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	SOP塗 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去			吹抜け				
		職員便所	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 撤去	磁器質ﾀｲﾙ貼 撤去	ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ貼 撤去		耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ貼 100x100 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ貼 100x100 撤去	LGS下地 撤去	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 EP塗 撤去		3,000		
		すみれぐみ	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま	寄木ﾌﾛｱｰ貼 t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	LGS下地 撤去	ﾃｰﾊﾟｰﾎﾞｰﾄﾞ t9 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去		6,600 3,000		小物入棚・掃除具入（撤去） ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（取外し）
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） 軽量鉄骨鋼製床下地 @900以下（一部新設） ﾗﾜﾝ合板 t12 新設	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12(緩衝材付) 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t15(両面、屋根裏迄) 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t21x2(片面、屋根裏迄) 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 新設	塩ﾋﾞ	3,000～5,895	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（復旧）

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-015
縮尺 NS	図面名 設計概要・外部仕上表・内部仕上表No.1	（原図A2）

内部仕上表 No.2

室名			床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 H	腰壁 下地	腰壁 仕上	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	廻縁	CH	室名札	備考
早出・遅出保育室	改修前 (保)	あひるぐみ2	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上げ t75 既設のまま	弾性複合塩ﾋﾞｼｰﾄ t3.2 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	T1合板 t5.5 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	T1合板 t5.5 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	LGS下地 一部撤去	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 撤去				小物入棚・掃除具入・ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（撤去） ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（取外し） ｶｰﾃﾝBOX・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（一部撤去）
		改修後	下地調整	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12(緩衝材付) 新設 乾式高断熱床下地材 t33 薄畳 t15 新設 長尺ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t15(両面、屋根裏迄) 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 一部新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 一部新設	塩ビ	2,500	○	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（新設）
午睡室	改修前 (保)	遊戯室(補)	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上げ t75 既設のまま	弾性複合塩ﾋﾞｼｰﾄ t3.2 撤去 寄木ﾌﾛｱｰ貼 t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	有孔ｼﾅ合板 t6 撤去	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	有孔ｼﾅ合板 t6 撤去 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	ﾃｰﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ t9 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去		4,000 ～ 6,900		小物入棚・掃除具入（撤去） ｽﾃｰｼﾞ（撤去）
		改修後	下地調整	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12（緩衝材付）新設 長尺ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t15(両面、屋根裏迄) 新設 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄) 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設 EP塗 新設	LGS下地 新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 新設	塩ビ	2,990 3,990	○	
厨房	改修前 (保)	調理室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 撤去	塗り床 t0.8（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）撤去	同左 撤去	250			ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去 EP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt 9.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去	塩ビ	2400		ｽﾃﾝﾚｽEXPJ金物 SUS304(床･壁･天井) 撤去 設備工事＝洗面器･各種厨房機器 取外し
		下処理室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 撤去	塗り床 t0.8（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）撤去	同左 撤去	250			ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、一部屋根裏迄)	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去 EP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt 9.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去	塩ビ	2400		設備工事＝洗面器･各種厨房機器 取外し
		食品庫	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 撤去	塗り床 t0.8（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）撤去	同左 撤去	250			ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、一部屋根裏迄)	EP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt 9.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去	塩ビ	2400		ｽﾃﾝﾚｽEXPJ金物 SUS304(床･壁･天井) 撤去 設備工事＝洗面器･各種厨房機器 取外し
		検収室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 撤去	塗り床 t0.8（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）撤去	同左 撤去	250			ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去 EP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt 9.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去	塩ビ	2400		ｽﾃﾝﾚｽEXPJ金物 SUS304(床･壁･天井) 撤去 設備工事＝洗面器･各種厨房機器 取外し
		配膳室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 撤去	塗り床 t0.8（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）撤去	同左 撤去	250			強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t21x2 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8(屋根裏迄) ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	EP塗 撤去 EP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt 9.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去	塩ビ	2400		設備工事＝洗面器･各種厨房機器 取外し
		洗浄室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 撤去	塗り床 t0.8（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）撤去	同左 撤去	250			強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t21x2 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8(屋根裏迄) ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	EP塗 撤去 EP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt 9.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去	塩ビ	2400		設備工事＝洗面器･各種厨房機器 取外し
		前室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 撤去	塗り床 t0.8（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）撤去	同左 撤去	250			ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	EP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt 9.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去	塩ビ	2400		設備工事＝洗面器･各種厨房機器 取外し
		便所	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 既設のまま	磁器質ﾀｲﾙ貼 既設のまま	同左	100			ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、一部屋根裏迄) 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t21x2(屋根裏迄)	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去 EP塗 撤去 EP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt 9.5 +化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板貼 t6 撤去	塩ビ	2400		設備工事＝洗面器･各種厨房機器 既設のまま
		休憩室	木造床組 耐水合板 t12 撤去	化学畳敷 t55 撤去	畳寄せ 撤去				石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	化粧杉柾石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 撤去	木	2400		
		廊下	木造床組 耐水合板 t12 撤去	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75			ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	EP塗 撤去	LGS下地 撤去	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	木	2400		
	改修後	調理室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 新設	塗り床 t1.2（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）新設	同左 新設	250			ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 +ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、一部屋根裏迄)	NAD塗 新設 NAD塗 新設	LGS下地 新設	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 NAD塗 新設	塩ビ	2400		ｽﾃﾝﾚｽEXPJ金物 SUS304(床)、ｱﾙﾐ(壁･天井) 新設 設備工事＝洗面器･各種厨房機器 復旧
		下処理室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 新設	塗り床 t1.2（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）新設	同左 新設	250			ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、一部屋根裏迄)	NAD塗 新設 NAD塗 新設	LGS下地 新設	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 NAD塗 新設	塩ビ	2400		設備工事＝洗面器･各種厨房機器
		食品庫	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 新設	塗り床 t1.2（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）新設	同左 新設	250			ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、一部屋根裏迄)	NAD塗 新設	LGS下地 新設	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 NAD塗 新設	塩ビ	2400		ｽﾃﾝﾚｽEXPJ金物 SUS304(床)、ｱﾙﾐ(壁･天井) 新設 設備工事＝洗面器･各種厨房機器 復旧
		検収室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 新設	塗り床 t1.2（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）新設	同左 新設	250			ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	NAD塗 新設 NAD塗 新設	LGS下地 新設	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 NAD塗 新設	塩ビ	2400		ｽﾃﾝﾚｽEXPJ金物 SUS304(床)、ｱﾙﾐ(壁･天井) 新設 設備工事＝洗面器･各種厨房機器
		配膳室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 新設	塗り床 t1.2（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）新設	同左 新設	250			ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	NAD塗 新設	LGS下地 新設	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 NAD塗 新設	塩ビ	2400		設備工事＝洗面器･各種厨房機器 復旧
		洗浄室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 新設	塗り床 t1.2（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）新設	同左 新設	250			ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	NAD塗 新設	LGS下地 新設	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 NAD塗 新設	塩ビ	2400		
		前室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 立上り打放し 新設	塗り床 t1.2（ｴﾎﾟｷｼ系 防滑）新設	同左 新設	250			ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t8x2(両面、屋根裏迄)	NAD塗 新設	LGS下地 新設	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 NAD塗 新設	塩ビ	2400		設備工事＝洗面器 復旧
		便所									LGS下地 新設	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 NAD塗 新設	塩ビ	2400	○	
		更衣室	軽量鉄骨床下地 ﾗﾜﾝ合板 t12 新設	化学畳敷 t55 新設	畳寄せ 新設				石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 新設	木	2400	○	
職員室	改修前	倉庫(幼)	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 既設のまま	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上げ	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	SOP塗 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	SOP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 AEP塗 撤去		2,400		木製棚(撤去)
		倉庫(保)	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 既設のまま	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上げ	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	SOP塗 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	SOP塗 撤去	LGS下地 撤去	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 AEP塗 撤去		2,400		
		改修後	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 既設のまま ころばし床組 新設(増築・保育園部分) ﾗﾜﾝ合板 t21 新設	長尺ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t15(両面、屋根裏迄) 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t21x2(両面、屋根裏迄)	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 貼 新設	塩ビ	2,800 3,000	○	ﾐﾆｷｯﾁﾝ･ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ･自立型総合盤（新設） ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（新設）

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 （仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号
縮尺 NS	図面名 内部仕上表 No.2	A-016
		（原図A2）

内　部　仕　上　表　No.3

室名			床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 H	腰壁 下地	腰壁 仕上	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	CH	室名札	備考
遊戯室 遊戯室(補)	改修前 幼	保育室 (ぞうぐみ)	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま 耐水合板(T1) t12 撤去	積層ﾌﾛｱｰ貼(塗装品) t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(中央部) 撤去		4,150 3,100		小物入棚・掃除具入・ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ (撤去) ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ (取外し)
		遊戯室(幼)	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま 耐水合板(T1) t12 撤去 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t100 撤去	積層ﾌﾛｱｰ貼(塗装品) t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 t9.5 ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(中央部) 撤去		4,150 3,100		小物入棚・掃除具入・木製ｽﾃｰｼﾞ 撤去
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ラワン合板 t12mm 新設	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12mm(緩衝材付) 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t9 新設	塩ﾋ	4,150 3,100	○	可動ｽﾃｰｼﾞ(手動) 新設
相談室 (会議室)	改修前 保	保健室 (事務室)	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（既設のまま） T1合板捨貼 t12 撤去	積層ﾌﾛｱｰ貼(塗装品) t15 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 撤去	発泡ｼｰﾄ貼 t1.5 撤去	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t10 既設のまま	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 既設のまま	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板 t9 既設のまま		2,700		ｼﾝｸ（取外し） ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ（撤去）
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ラワン合板 t12mm 新設	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100				ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設					○	ｼﾝｸ（復旧） 床下点検口（新設）
保健室	改修前 保	職員室(保)	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま	寄木ﾌﾛｱｰ貼(塗装品) t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	化粧吸音板 t9 撤去		3,000		行事予定黒板・掲示板 掃除具入・腰戸棚 撤去
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ラワン合板 t12mm 新設	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	化粧ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 貼 新設	塩ﾋ	3,000	○	
男子職員更衣室	改修前 保	職員室(保)	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま	寄木ﾌﾛｱｰ貼(塗装品) t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ 撤去	耐水合板(T1) t5.5 撤去	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 撤去	LGS下地 撤去	化粧吸音板 t9 撤去		3,000		行事予定黒板・掲示板 掃除具入・腰戸棚 撤去
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ラワン合板 t12mm 新設	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	化粧ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 貼 新設	塩ﾋ	3,000	○	
女子職員更衣室	改修前 幼	配膳室 廊下	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.0 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75		珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 目透貼 EP 撤去		珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 目透貼 EP塗 撤去	LGS下地 撤去	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 目透貼 EP塗 撤去		2,300		
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） 下地調整 ラワン合板 t12mm 新設	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	化粧ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 貼 新設	塩ﾋ	2,300	○	SUS床見切 新設
倉庫(A)	改修前 幼	倉庫		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上 既設のまま					石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ w=100(外壁面) 既設のまま	強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 EP塗 既設のまま	LGS下地 既設のまま	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 既設のまま		2,300		
		改修後														
倉庫(C)	改修前 幼	配膳室 廊下	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま	寄木ﾌﾛｱｰ貼(塗装品) t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75		ｼﾅ合板 t6 目透貼 EP 撤去		ｼﾅ合板 t6 目透貼 EP 撤去	LGS下地 ﾃﾝﾊﾟｰﾎﾞｰﾄﾞ t9 撤去	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 撤去		2,300		
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ラワン合板 t12mm 下地調整 新設	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 新設	塩ﾋ	2,300	○	
５歳保育室 １歳保育室 物入	幼 保	改修前		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上 既設のまま					石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 撤去	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 撤去	ラワン合板 t5.5 撤去	塩ﾋ	2,300		
		改修後	下地調整	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.5 新設	雑巾摺 新設				石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	ラワン合板 t5.5 新設	塩ﾋ	2,300		
３歳保育室 ４歳保育室 押入 物入	幼 保	改修前		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上 既設のまま	木製巾木 撤去	75				合板 t6 撤去	LGS下地 撤去	合板 t6 撤去		2,300		
		改修後	下地調整	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.5 新設	雑巾摺 新設				石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	ラワン合板 t5.5 新設	塩ﾋ	2,300		
廊下	幼 保	改修前	ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法 既設のまま	寄木ﾌﾛｱｰ貼(塗装品) t10 撤去	ｿﾌﾄ巾木 撤去	75				ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=8 EP塗装 撤去	LGS下地 撤去	化粧吸音板 t9 撤去		2,540		
		改修後	既設ﾕﾆｯﾄｼｽﾃﾑ置床工法（高さ調整） ラワン合板 t21mm 下地調整 新設	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.5 新設	ｿﾌﾄ巾木 新設	100			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t12.5 新設	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 新設	LGS下地 新設	化粧ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ t9.5 貼 新設		2,300 2,540 2,735		SUS床見切 新設
園児用便所 (A･B･C･D)	幼 保	改修前		磁器質ﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま	ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま	100		ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま		ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま	LGS下地 既設のまま	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 目透貼 既設のまま	塩ﾋ	2,700(A) 2,850		大便器・小便器・掃除具入・手洗器 便所ｽｸﾘｰﾝ・天井換気扇 既設のまま
		改修後														
職員用便所 (A･B･C)	幼 保	改修前		磁器質ﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま	ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま	100		ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま		ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま	LGS下地 既設のまま	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 目透貼 既設のまま	塩ﾋ	2,540		大便器・小便器・手洗器 鏡・化粧台・天井換気扇 既設のまま
		改修後														
多目的便所(A･B)	幼 保	改修前		磁器質ﾀｲﾙ 100x100 貼 既設のまま	ｿﾌﾄ巾木 既設のまま	75		珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 目透貼 EP 既設のまま		ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 既設のまま	LGS下地 既設のまま	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t6 目透貼 既設のまま	塩ﾋ	2,850		大便器・小便器・手洗器・鏡・化粧台 既設のまま
		改修後														

＜特記事項＞

- 壁ﾎﾞｰﾄﾞ張部分は、ｼﾞｮｲﾝﾄﾚｽ大壁工法とする。(寒冷紗・ｼﾞｮｲﾝﾄﾃｰﾌﾟ張処理)
- ﾎﾞｰﾄﾞ類・壁コーナ処理は、特記なき限りｺｰﾅｰ保護金物の上、ｼﾞｮｲﾝﾄｺﾝﾊﾟｳﾝﾄﾞ塗とする。
- LGS間仕切壁下地は、特記なき限りW=65とし、高さ4.0mを超える部分はW=100とする。
- 特記なき床ｽﾃﾝﾚｽ容摺は、SUS304 ┌┐-40x20x2(HL仕上)とする。
  また、床仕上が異なる部分には、床ｽﾃﾝﾚｽ容摺を入れること。
- ﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄ張りは、熱溶接工法とする。
- ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞと壁取り合い部には、ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄを設け、床と巾木は床勝ちの納まりとすること。
- 木工事造作材(枠材・見切縁等)は特記なき限りﾗﾐとする。
- 114条区画の区画貫通処理については、すきまに不燃材充填（告示1378号、1385号）すること。
- 新設建具の額縁は木製とし、SOP塗装とする。
- 既設の木製額縁、ｶｰﾃﾝBOXはSOP塗り替えとする。
- 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下は、ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ0.15敷（ﾀﾃ・ﾖｺ重ねのみ込み部分 L=250 以上とする）
- 参考ﾒｰｶｰ品番及び認定番号は同等品以上とする。
- 和 室用床下ﾊﾞﾙﾈ及び木組床下地の不陸調整はﾓﾙﾀﾙﾀﾞﾝｺﾞにて行うこと。
- 使用建築材料：特記なき限りJIS･JAS認定品を使用すること。
- 壁及び天井の室内に面する部分の仕上について、ｼｰﾙで難燃材以上を明示すること。
  また、ｼｰﾙが張れない場所については、検査時に証明できる資料を提出すること。

【仕上記号略号】

記号	ＪＩＳ番号	名称
ＮＡＤ	Ｋ５６７０	アクリル樹脂系 非水分散形塗料
ＣＬ	Ｋ５５３１	クリアラッカー塗
ＤＰ	Ｋ５６５８	耐候性塗料塗

※ＤＰ　鉄鋼面：１級　押出成形セメント板：Ｂ種

【記号略号】

記号	名称
ＨＬ	ヘアライン
ＰＢ	石膏ボード
ＧＷ	グラスウール
ＬＧＳ	軽量鉄骨下地

【シックハウス対応策】

- 使用建材：Ｆ☆☆☆☆
  （天井、壁、家具、建具仕上材、接着剤、下地共）
- 内部塗料は、Ｆ☆☆☆☆品　家具等Ｆ☆☆☆☆品
- クロルピリホス使用なし

【防火認定番号】

ＰＢ（石膏ボード）ァ１２．５	：ＮＭ－８６１９	＜不燃＞	化粧ケイカル板ァ６	：ＮＭ－４２２７	＜不燃＞
コーナーボード	省令準耐火適合商品		ＰＢ下地 ビニルクロス張	：ＮＭ－８６１９ ：ＱＭ－９４０５	＜準不燃＞
不燃化粧ＰＢァ９．５	：ＮＭ－１８６４	＜不燃＞	ＰＢ下地 無機質クロス張	：ＮＭ－８６１９ ：ＮＭ－０３２６	＜不燃＞
化粧ＰＢァ９．５	：ＱＭ－９８２４	＜準不燃＞	塗料一般（ＮＡＤ）	：ＮＭ－８５８５	＜不燃＞
抗菌メラミン不燃化粧板ァ３張	：ＮＭ－２１８３	＜不燃＞	ＳＵＳ	不燃材料	
ケイカル板	：ＮＭ－８５７８	＜不燃＞			
ロックウール化粧吸音板ァ９	：ＮＭ－８５９９	＜不燃＞			
化粧ＰＢァ９．５	：ＱＭ－０５２４	＜準不燃＞			
耐水ＰＢァ１２．５	：ＱＭ－９８２６	＜準不燃＞	壁及び天井の室内に面する部分の仕上(下地含)は難燃以上とする。		

※アスベストを使用している箇所はありません。　※ｶｰﾃﾝ・絨毯等は防炎物品を使用する。

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

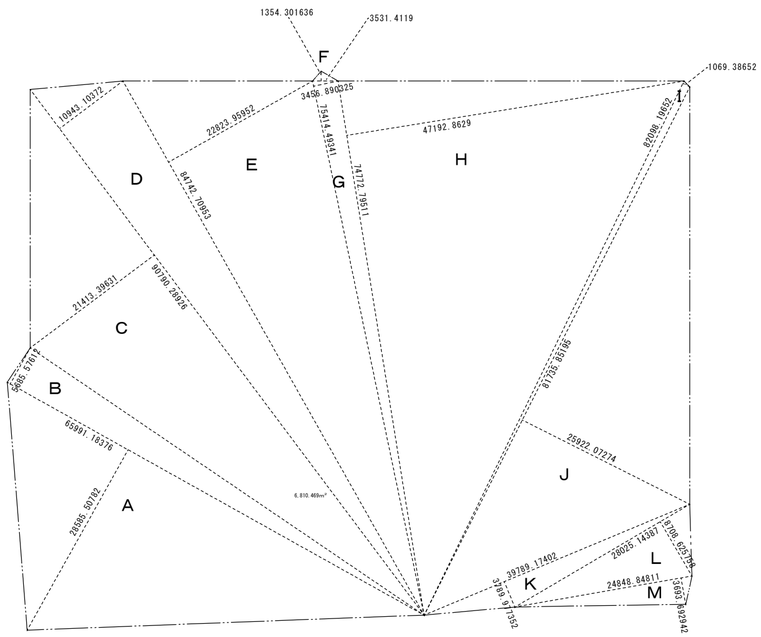
縮　尺　NS

工事名称　（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事

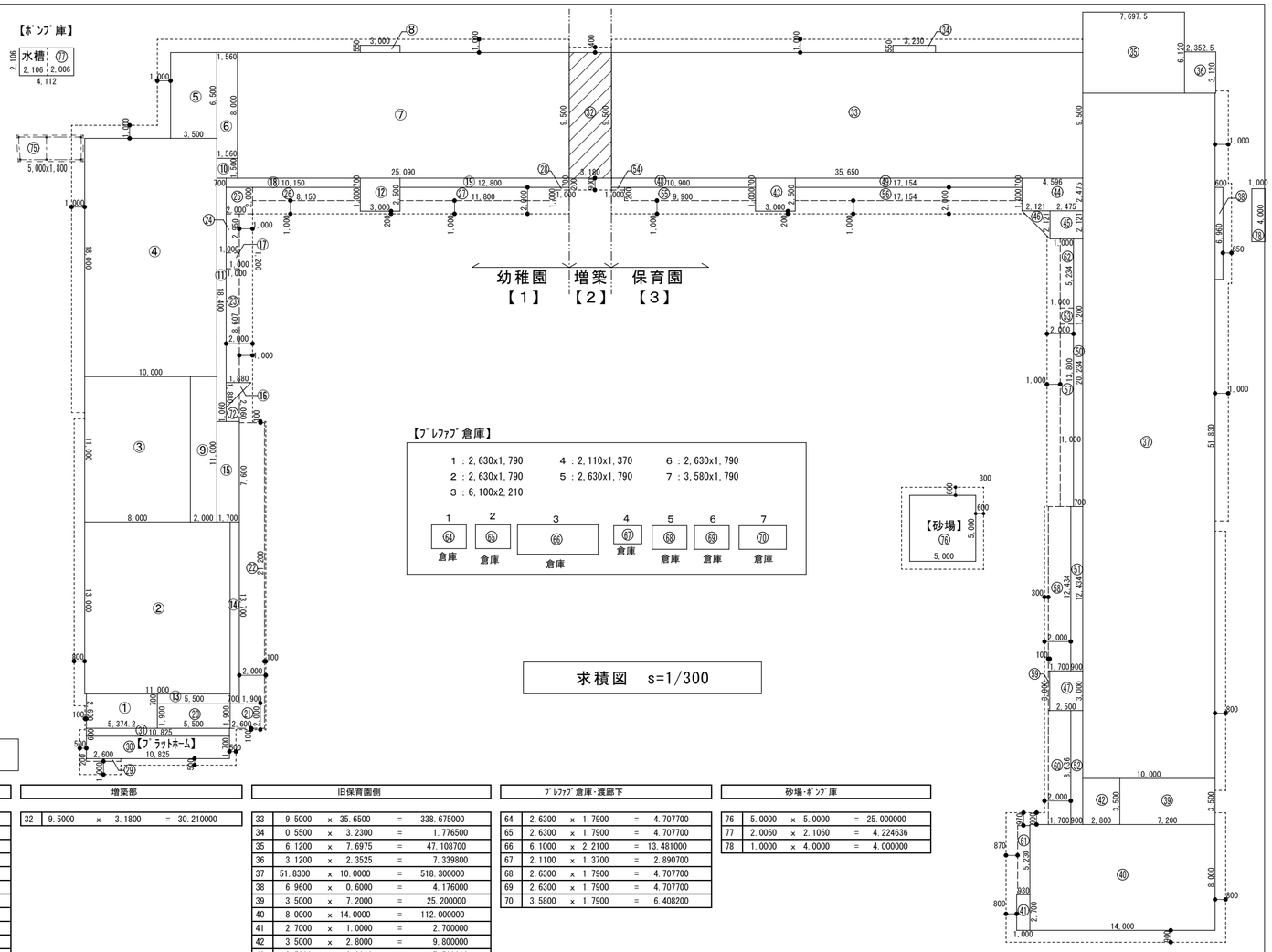
図面名　内部仕上表 No.3

図面番号　A-017

（原図A2）



敷地求積図　s=1/600



求積図　s=1/300

記号	底辺		高さ		倍面積		面積
A	65.99118376	x	28.58550782	=	1,886.3914	/2=	943.1957
B	65.99118376	x	5.68557612	=	375.1978	/2=	187.5989
C	90.79028926	x	21.41339631	=	1,944.1284	/2=	972.0642
D	90.79028926	x	10.94310372	=	993.5275	/2=	496.7637
E	84.74270953	x	22.82395952	=	1,934.1641	/2=	967.0820
F	3.53141190	x	1.35430164	=	4.7825	/2=	2.3912
G	75.41449341	x	3.45689033	=	260.6996	/2=	130.3498
H	74.77279511	x	47.19286290	=	3,528.7422	/2=	1,764.3711
I	82.09819652	x	1.06938652	=	87.7947	/2=	43.8973
J	81.73585195	x	25.92207274	=	2,118.7626	/2=	1,059.3813
K	39.78917402	x	3.78997735	=	150.8000	/2=	75.4000
L	28.02514387	x	8.70862576	=	244.0604	/2=	122.0302
M	24.84884811	x	3.69369294	=	91.7840	/2=	45.8920

敷地面積	6,810.417㎡

敷 地 面 積 表

面積表

旧幼稚園側

1	2.6000	x	5.3742	=	13.972920
2	13.0000	x	11.0000	=	143.000000
3	11.0000	x	8.0000	=	88.000000
4	18.0000	x	10.0000	=	180.000000
5	6.5000	x	3.5000	=	22.750000
6	8.0000	x	1.5600	=	12.480000
7	9.5000	x	25.0900	=	238.355000
8	0.5500	x	3.0000	=	1.650000
9	11.0000	x	2.0000	=	22.000000
10	1.5000	x	1.5600	=	2.340000
11	18.4000	x	0.7000	=	12.880000
12	2.5000	x	3.0000	=	7.500000
13	0.7000	x	5.5000	=	3.850000
14	13.7000	x	0.7000	=	9.590000
15	7.6000	x	1.7000	=	12.920000
16	1.8800	x	1.8800		
		x	0.5000	=	1.767200
		x		=	0.000000
18	0.7000	x	10.1500	=	7.105000
19	0.7000	x	12.8000	=	8.960000
20	1.9000	x	5.5000	=	10.450000
小計					799.570120
計				ア	799.570 ㎡
17	1.2000	x	1.0000	=	1.200000
21	1.9000	x	2.6000	=	4.940000
22	21.2000	x	1.9000	=	40.280000
23	8.6070	x	1.0000	=	8.607000
24	2.9500	x	1.0000	=	2.950000
25	2.0000	x	2.0000	=	4.000000
26	1.0000	x	8.1500	=	8.150000
27	1.0000	x	11.8000	=	11.800000
28	0.2000	x	1.0000	=	0.200000
29	0.2000	x	2.6000	=	0.520000
30	1.7000	x	10.8250	=	18.402500
31	0.6000	x	10.8250	=	6.495000
72	(1.0600	+	2.0600	)	
	1.0000	x	0.5000	=	1.560000
小計					109.104500
計				エ	109.110 ㎡
ア ＋ エ				カ	908.680 ㎡

増築部

32	9.5000	x	3.1800	=	30.210000
小計					30.210000
計				イ	30.210 ㎡
32	9.5000	x	3.1800	=	30.210000
小計					30.210000
計				イ	30.210 ㎡
				イ	30.210 ㎡

旧保育園側

33	9.5000	x	35.6500	=	338.675000
34	0.5500	x	3.2300	=	1.776500
35	6.1200	x	7.6975	=	47.108700
36	3.1200	x	2.3525	=	7.339800
37	51.8300	x	10.0000	=	518.300000
38	6.9600	x	0.6000	=	4.176000
39	3.5000	x	7.2000	=	25.200000
40	8.0000	x	14.0000	=	112.000000
41	2.7000	x	1.0000	=	2.700000
42	3.5000	x	2.8000	=	9.800000
43	2.5000	x	3.0000	=	7.500000
44	2.4750	x	4.5960	=	11.375100
45	2.1210	x	2.4750	=	5.249475
46	2.1210	x	2.1210		
		x	0.5000	=	2.249320
47	3.0000	x	2.5000	=	7.500000
48	0.7000	x	10.9000	=	7.630000
49	0.7000	x	17.1540	=	12.007800
50	20.2340	x	0.7000	=	14.163800
51	12.4340	x	0.9000	=	11.190600
52	8.6360	x	0.9000	=	7.772400
小計					1,153.714495
計				ウ	1,153.715 ㎡
53	1.2000	x	1.0000	=	1.200000
54	0.2000	x	1.0000	=	0.200000
55	1.0000	x	9.9000	=	9.900000
56	1.0000	x	17.1540	=	17.154000
57	13.8000	x	1.0000	=	13.800000
58	12.4340	x	1.7000	=	21.137800
59	3.0000	x	0.1000	=	0.300000
60	8.6360	x	1.7000	=	14.681200
61	5.2300	x	0.9300	=	4.863900
62	5.2340	x	1.0000	=	5.234000
		x		=	0.000000
		x		=	0.000000
		x		=	0.000000
小計					88.470900
計				オ	88.470 ㎡
ウ ＋ オ				キ	1,242.185 ㎡

ﾌﾟﾚｱﾌﾞ倉庫・渡廊下

64	2.6300	x	1.7900	=	4.707700
65	2.6300	x	1.7900	=	4.707700
66	6.1000	x	2.2100	=	13.481000
67	2.1100	x	1.3700	=	2.890700
68	2.6300	x	1.7900	=	4.707700
69	2.6300	x	1.7900	=	4.707700
70	3.5800	x	1.7900	=	6.408200
小計					41.610700
計				ク	41.611 ㎡
64	2.6300	x	1.7900	=	4.707700
65	2.6300	x	1.7900	=	4.707700
66	6.1000	x	2.2100	=	13.481000
67	2.1100	x	1.3700	=	2.890700
68	2.6300	x	1.7900	=	4.707700
69	2.6300	x	1.7900	=	4.707700
70	3.5800	x	1.7900	=	6.408200
75	5.0000	x	1.8000	=	9.000000
小計					50.610700
計				ケ	50.610 ㎡
ケ					50.610 ㎡

砂場・ﾎﾟﾝﾌﾟ庫

76	5.0000	x	5.0000	=	25.000000
77	2.0060	x	2.1060	=	4.224636
78	1.0000	x	4.0000	=	4.000000
小計					33.224636
計				コ	33.220 ㎡
76	5.0000	x	5.0000	=	25.000000
77	2.0060	x	2.1060	=	4.224636
78	1.0000	x	4.0000	=	4.000000
コ					33.220 ㎡

申請建物延べ床面積	ア ＋ イ ＋ ウ	1,983.495㎡
敷地内建物延べ床面積	ア ＋ イ ＋ ウ ＋ ク ＋コ	2,058.326㎡
容積率	2058.3255 / 6810.417 x 100 = 30.223	30.24%
申請建物建築面積	カ ＋ イ ＋ キ	2,181.075㎡
敷地内建物建築面積	カ ＋ イ ＋ キ ＋ ケ ＋コ	2,264.905㎡
建ぺい率	2264.9045 / 6810.417 x 100 = 33.257	33.26%

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	
縮　尺	1/600 1/300
工事名称	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事
図面名	敷地面積・建物面積
図面番号	A-018
	（原図A2）

■採光計算

階数	室名	居室面積 ㎡	有効採光面積の割合	必要採光面積	窓記号	窓の面積 W 巾 w	高さ h	連数 n	個数 n	w*h*n*n	採光補正係数(無指定区域) A A=d/h*α−β d	備考	h	α	β	A	Aの修正値 A≦3	2m超の庇倍率	有効採光面積 w*A	計	判定 必要採光面積		有効採光面積
1	遊戯室	142.230	1/5	28.446	AD16	1.800	0.900	1	1	1.620	58.88	対向建築物	1.44	10	1	407.889	3	0.7	3.402				
					AW5	1.700	1.100	2	1	3.740	58.88	対向建築物	1.51	10	1	388.934	3	0.7	7.854				
					AW6b	1.700	1.000	2	1	3.400	62.88	対向建築物	2.08	10	1	301.308	3	1.0	10.200				
					AW2	1.700	1.000	1	1	1.700	4.64	隣地境界線	2.44	10	1	18.017	3	1.0	5.100				
					AW2	1.700	1.100	1	1	1.870	4.64	隣地境界線	3.24	10	1	13.321	3	1.0	5.610	32.166	28.446	<	32.166 OK
		64.560	1/5	12.912	AW7	1.430	1.050	1	1	1.502	62.88	対向建築物	2.08	10	1	301.308	3	1.0	4.504				
					AW8	1.560	1.050	1	1	1.638	62.88	対向建築物	2.08	10	1	301.308	3	1.0	4.914				
					AW55	1.600	1.100	1	1	1.760	65.88	対向建築物	1.51	10	1	435.292	3	1.0	5.280	14.698	12.912	<	14.698 OK
	5歳児保育室(A)	83.000	1/5	16.600	ADW4	1.700	0.900	2	1	3.060	60.08	対向建築物	1.44	10	1	416.223	3	0.7	6.426				
						1.700	0.900	1	1	1.530	60.08	対向建築物	1.44	10	1	416.223	3	0.7	3.213				
						1.700	1.100	1	1	1.870	60.08	対向建築物	1.44	10	1	416.223	3	0.7	3.927				
					ADW5	1.700	0.900	1	1	1.530	60.08	対向建築物	1.44	10	1	416.223	3	0.7	3.213				
						1.700	1.100	1	1	1.870	60.08	対向建築物	1.44	10	1	416.223	3	0.7	3.927	20.706	16.600	<	20.706 OK
	5歳児保育室(B)	73.520	1/5	14.704	AW11	1.200	1.100	1	1	1.320	1.99	隣地境界線	4.07	10	1	3.890	3	1.0	3.960				
					AW12	1.700	1.100	1	1	1.870	1.99	隣地境界線	4.07	10	1	3.890	3	1.0	5.610				
					AW15	1.400	0.900	1	1	1.260	59.15	対向建築物	1.25	10	1	472.200	3	0.7	2.646				
						1.400	1.100	1	1	1.540	59.15	対向建築物	2.35	10	1	250.703	3	0.7	3.234	15.450	14.704	<	15.450 OK
	4歳児保育室(A)	65.415	1/5	13.083	ADW8	1.600	0.900	1	1	1.440	67.83	反対側道路	1.25	10	1	541.640	3	0.7	3.024				
						1.600	1.100	1	1	1.760	67.83	反対側道路	2.38	10	1	284.000	3	0.7	3.696				
						1.600	0.900	1	1	1.440	67.83	反対側道路	2.27	10	1	297.811	3	0.7	3.024				
					ADW7	1.600	0.900	1	1	1.440	67.83	反対側道路	1.25	10	1	541.640	3	0.7	3.024				
						1.600	1.100	1	1	1.760	67.83	反対側道路	2.38	10	1	284.000	3	0.7	3.696	16.464	13.083	<	16.464 OK
	4歳児保育室(B)	65.415	1/5	13.083	ADW8	1.600	0.900	1	1	1.440	67.83	反対側道路	1.25	10	1	541.640	3	0.7	3.024				
						1.600	1.100	1	1	1.760	67.83	反対側道路	2.38	10	1	284.000	3	0.7	3.696				
						1.600	0.900	1	1	1.440	67.83	反対側道路	2.27	10	1	297.811	3	0.7	3.024				
					ADW7	1.600	0.900	1	1	1.440	67.83	反対側道路	1.25	10	1	541.640	3	0.7	3.024				
						1.600	1.100	1	1	1.760	67.83	反対側道路	2.38	10	1	284.000	3	0.7	3.696	16.464	13.083	<	16.464 OK
	職員室	81.840	1/20	4.092	ADW12	1.800	0.700	1	1	1.260	67.83	反対側道路	1.35	10	1	501.445	3	0.7	2.646				
						1.800	0.900	1	1	1.620	67.83	反対側道路	2.27	10	1	297.811	3	0.7	3.402				
						1.000	0.700	1	1	0.700	67.83	反対側道路	1.35	10	1	501.445	3	0.7	1.470				
						1.000	1.100	1	1	1.100	67.83	反対側道路	2.38	10	1	284.000	3	0.7	2.310	9.828	4.092	<	9.828 OK
	3歳児保育室(A)	67.238	1/5	13.448	ADW14	0.800	0.900	1	1	0.720	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	1.512				
						1.600	0.900	1	1	1.440	65.86	反対側道路	2.29	10	1	286.599	3	0.7	3.024				
						1.600	0.900	1	1	1.440	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	3.024				
					ADW15	1.600	0.900	1	1	1.440	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	3.024				
						1.600	1.100	1	1	1.760	65.86	反対側道路	2.36	10	1	278.068	3	0.7	3.696				
						0.800	0.900	1	1	0.720	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	1.512	15.792	13.448	<	15.792 OK
	3歳児保育室(B)	65.238	1/5	13.048	ADW14	0.800	0.900	1	1	0.720	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	1.512				
						1.600	0.900	1	1	1.440	65.86	反対側道路	2.29	10	1	286.599	3	0.7	3.024				
						1.600	0.900	1	1	1.440	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	3.024				
					ADW15	1.600	0.900	1	1	1.440	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	3.024				
						1.600	1.100	1	1	1.760	65.86	反対側道路	2.36	10	1	278.068	3	0.7	3.696				
						0.800	0.900	1	1	0.720	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	1.512	15.792	13.048	<	15.792 OK
	3歳児保育室(C)	66.349	1/5	13.270	ADW14	0.800	0.900	1	1	0.720	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	1.512				
						1.600	0.900	1	1	1.440	65.86	反対側道路	2.29	10	1	286.599	3	0.7	3.024				
						1.600	0.900	1	1	1.440	65.86	反対側道路	1.26	10	1	521.699	3	0.7	3.024				
					ADW15	1.600	0.900	1	1	1.440	15.43	対向建築物	1.26	10	1	121.461	3	0.7	3.024				
						1.600	1.100	1	1	1.760	15.43	対向建築物	2.36	10	1	64.382	3	0.7	3.696	14.280	13.270	<	14.280 OK
	午睡室	109.176	1/5	21.836	AW170	1.800	0.900	3	1	4.860	13.66	反対側道路	6.90	10	1	18.798	3	1.0	14.580				
						1.800	0.900	3	1	4.860	13.66	反対側道路	7.90	10	1	16.292	3	1.0	14.580				
						1.800	1.300	3	1	7.020	13.66	反対側道路	9.10	10	1	14.011	3	1.0	21.060	50.220	21.836	<	50.220 OK
	保健室	27.300	1/7	3.900	AW18	0.900	0.900	1	1	0.810	60.08	対向建築物	1.16	10	1	516.932	3	0.7	1.701				
						1.800	0.900	1	1	1.620	60.08	対向建築物	1.16	10	1	516.932	3	0.7	3.402				
						1.800	1.100	1	1	1.980	60.08	対向建築物	2.33	10	1	256.855	3	0.7	4.158	9.261	3.900	<	9.261 OK
	早出・遅出保育室	80.000	1/5	16.000	AD6	0.800	0.900	1	2	1.440	54.88	対向建築物	1.16	10	1	472.104	3	0.7	3.024				
						1.600	0.900	1	2	2.880	54.88	対向建築物	2.31	10	1	236.576	3	0.7	6.048				
					AW20	1.600	0.900	2	1	2.880	54.88	対向建築物	1.16	10	1	472.104	3	0.7	6.048				
						1.600	1.100	2	1	3.520	54.88	対向建築物	2.34	10	1	233.530	3	0.7	7.392	22.512	16.000	<	22.512 OK
	0歳児保育室	80.000	1/5	16.000	AD8	1.800	0.900	1	1	1.620	58.88	対向建築物	1.49	10	1	394.168	3	0.7	3.402				
					AW23	1.600	1.000	2	1	3.200	62.88	対向建築物	1.88	10	1	333.469	3	1.0	9.600				
					AW22	1.300	1.100	2	1	2.860	54.88	対向建築物	1.52	10	1	360.053	3	0.7	6.006	19.008	16.000	<	19.008 OK
	1歳児保育室	84.437	1/5	16.888	ADW20	1.600	1.100	1	1	1.760	58.88	対向建築物	1.52	10	1	386.369	3	0.7	3.696				
						1.600	0.900	1	1	1.440	58.88	対向建築物	1.49	10	1	394.168	3	0.7	3.024				
					AW26	1.700	1.000	2	1	3.400	62.88	対向建築物	2.95	10	1	212.153	3	1.0	10.200				
					AW27	1.600	1.000	1	1	1.600	62.88	対向建築物	1.87	10	1	335.257	3	1.0	4.800	21.720	16.888	<	21.720 OK
	2歳児保育室	75.437	1/5	15.088	AW30	1.700	1.000	2	1	3.400	9.96	反対側道路	1.19	10	1	82.698	3	1.0	10.200				
						1.700	1.100	2	1	3.740	9.96	反対側道路	1.19	10	1	82.698	3	1.0	11.220	21.420	15.088	<	21.420 OK
	相談室	34.700	1/20	1.735	AW31	1.700	1.500	2	1	5.100	10.04	反対側道路	2.12	10	1	46.359	3	1.0	15.300	15.300	1.735	<	15.300 OK
	女子職員更衣室	17.500	1/20	0.875	AW16	1.700	1.200	2	1	4.080	8.49	隣地境界線	0.79	10	1	106.469	3	1.0	12.240	12.240	0.875	<	12.240 OK
	男子職員更衣室	14.200	1/20	0.710	AW19	1.800	1.100	1	1	1.980	1.66	隣地境界線	1.16	10	1	13.311	3	1.0	5.940	5.940	0.710	<	5.940 OK
	厨房	調理室 下処理室 検収室 洗浄室 前室		無窓居室のため検討なし																			

■排煙計算

階数	室名	居室面積 ㎡	有効排煙面積の割合	必要排煙面積	窓記号	窓面積 巾 w	長さ h	個数 n	面積 W*h*n*n	窓の種類	有効排煙面積 計	判定 必要排煙面積		有効排煙面積
1	遊戯室	142.230 ㎡	1/50	2.845 ㎡	AW-2	0.8340	0.7500	1	0.6255	引違窓				
					AW-3	0.8340	0.7500	4	2.5020	引違窓				
					AW-6	0.8340	0.8000	2	1.3344	引違窓	4.4619	2.845 ㎡	<	4.462 ㎡ OK
		64.560 ㎡	1/50	1.291 ㎡	AW-7	0.6990	0.8000	1	0.5592	引違窓				
					AW-8	0.7640	0.8000	1	0.6112	引違窓				
					ADW-2	0.8240	0.7500	2	1.2360	引違窓	2.4064	1.291 ㎡	<	2.406 ㎡ OK
	5歳児保育室(A)	83.000 ㎡	1/50	1.660 ㎡	ADW-4	0.8340	0.7000	2	1.1676	引違窓				
					ADW-5	0.8340	0.7000	2	1.1676	引違窓	2.3352	1.660 ㎡	<	2.335 ㎡ OK
	5歳児保育室(B)	73.520 ㎡	1/50	1.470 ㎡	AW-14	0.6640	0.5770	3	1.1493	突き出				
					AW-15	0.7090	0.7000	2	0.9926	引違窓	2.1419	1.470 ㎡	<	2.142 ㎡ OK
	女子職員更衣室	17.500 ㎡	1/50	0.350 ㎡	AW-16	0.8340	0.6000	2	1.0008	引違窓	1.0008	0.350 ㎡	<	1.001 ㎡ OK
	4歳児保育室(A)	65.415 ㎡	1/50	1.308 ㎡	ADW-7	0.6915	0.6270	2	0.8671	外倒し				
					ADW-8	0.6915	0.6270	2	0.8671	外倒し	1.7342	1.308 ㎡	<	1.734 ㎡ OK
	4歳児保育室(B)	65.415 ㎡	1/50	1.308 ㎡	ADW-7	0.6915	0.6270	2	0.8671	外倒し				
					ADW-8	0.6915	0.6270	2	0.8671	外倒し	1.7342	1.308 ㎡	<	1.734 ㎡ OK
	職員室	81.840 ㎡	1/50	1.637 ㎡										
					ADW-13	0.8415	0.6770	2	1.1393	外倒し				
						0.6540	0.6770	1	0.4427	外倒し				
					AW-17	0.6165	0.6770	2	0.8347	外倒し	2.4167	1.637 ㎡	<	2.416 ㎡ OK
	3歳児保育室(A)	67.238 ㎡	1/50	1.345 ㎡	ADW-14	0.7290	0.6270	2	0.9141	外倒し				
					ADW-15	0.7140	0.6270	2	0.8953	外倒し	1.8094	1.345 ㎡	<	1.809 ㎡ OK
	3歳児保育室(B)	65.238 ㎡	1/50	1.305 ㎡	ADW-14	0.7290	0.6270	2	0.9141	外倒し				
					ADW-15	0.7140	0.6270	2	0.8953	外倒し	1.8094	1.305 ㎡	<	1.809 ㎡ OK
	3歳児保育室(C)	66.349 ㎡	1/50	1.327 ㎡	ADW-14	0.7290	0.6270	2	0.9141	外倒し				
					ADW-15	0.7140	0.6270	2	0.8953	外倒し	1.8094	1.327 ㎡	<	1.809 ㎡ OK
	午睡室	109.176 ㎡	1/50	2.184 ㎡	AW-170	0.8840	0.7000	3	1.8564	引違窓				
					ADW-17	0.8340	0.7000	2	1.1676	引違窓				
											3.024	2.184 ㎡	<	3.024 ㎡ OK
	保健室	27.300 ㎡	1/50	0.546 ㎡	ADW-18	0.9065	0.7000	1	0.6345	引違窓	0.6345	0.546 ㎡	<	0.635 ㎡ OK
	男子職員更衣室	14.200 ㎡	告示 1436 号 四号二−(2)											
	早出・遅出保育室	80.000 ㎡	1/50	1.600 ㎡	AW-20	0.7840	0.7000	2	1.0976	引違窓				
					AW-21	0.8340	0.7000	1	0.5838	引違窓	1.6814	1.600 ㎡	<	1.681 ㎡ OK
	0歳児保育室	80.000 ㎡	1/50	1.600 ㎡	AW-23	0.8235	0.8000	2	1.3176	引違窓				
					AW-25	0.8840	0.7500	2	1.3260	引違窓	2.6436	1.600 ㎡	<	2.644 ㎡ OK
	1歳児保育室	84.437 ㎡	1/50	1.689 ㎡										
					AW-27	0.7840	0.8000	1	0.6272	引違窓				
					AW-29	0.7840	0.7500	2	1.1760	引違窓	1.8032	1.689 ㎡	<	1.803 ㎡ OK
	2歳児保育室	75.437 ㎡	1/50	1.509 ㎡	AW-30	0.8340	0.6000	6	3.0024	引違窓	3.0024	1.509 ㎡	<	3.002 ㎡ OK
	相談室	34.700 ㎡	1/50	0.694 ㎡	ADW-21	0.8090	0.3000	1	0.2427	引違窓				
						0.7340	0.4000	1	0.2936	引違窓				
						0.8340	0.4000	2	0.6672	引違窓				
					AW-31	0.8340	0.4000	2	0.6672	引違窓	1.8707	0.694 ㎡	<	1.871 ㎡ OK
	厨房	99.061 ㎡	告示 1436 号 四号ロ−(1)											
	廊下	68.995 ㎡	1/50	1.380 ㎡	AW-36	0.8500	0.4400	8	2.9920	引違窓	2.9920	1.380 ㎡	<	2.992 ㎡ OK
		67.188 ㎡	1/50	1.344 ㎡	AW-36	0.8500	0.4400	2	0.7480	引違窓				
					AW-41	0.7850	0.4400	2	0.6908	引違窓				
					AW-42	0.8400	0.4400	2	0.7392	引違窓	2.1780	1.344 ㎡	<	2.178 ㎡ OK
	園児便所(A)	24.000 ㎡	告示 1436 号 四号二−(2)											
	園児便所(B)	23.093 ㎡	1/50	0.462 ㎡	SS-2	2.8300	0.8000	1	2.2640	軽量ｼｬｯﾀｰ	2.2640	0.462 ㎡	<	2.264 ㎡ OK
	多目的便所(A)	4.193 ㎡	1/50	0.084 ㎡	AW-38	1.1100	0.3000	1	0.3330	ｶﾞﾗﾘ	0.3330	0.084 ㎡	<	0.333 ㎡ OK
	園児便所(C)	23.090 ㎡	1/50	0.462 ㎡	SS-3	1.3800	0.8000	1	1.1040	軽量ｼｬｯﾀｰ	1.1040	0.462 ㎡	<	1.104 ㎡ OK
	多目的便所(B)	3.510 ㎡	1/50	0.070 ㎡	AW-38	1.1100	0.3000	1	0.3330	ｶﾞﾗﾘ	0.3330	0.070 ㎡	<	0.333 ㎡ OK
	職員便所(A)	4.000 ㎡	1/50	0.080 ㎡	AD-26	0.6600	0.1600	1	0.1056	片開戸	0.1056	0.080 ㎡	<	0.106 ㎡ OK
	湯沸室	7.000 ㎡	告示 1436 号 四号二−(2)											
	木浴室	12.500 ㎡	1/50	0.250 ㎡	AW-57	0.8340	0.6000	1	0.5004	引違窓	0.5004	0.250 ㎡	<	0.500 ㎡ OK
	園児便所(D)	21.000 ㎡	告示 1436 号 四号二−(2)											
	手洗	11.300 ㎡	1/50	0.226 ㎡	AW-53	0.7315	0.8000	2	1.1704	引違窓	1.1704	0.226 ㎡	<	1.170 ㎡ OK
	職員便所(B)	1.350 ㎡	1/50	0.027 ㎡	AW-51	0.4180	0.1600	1	0.0668	引違窓	0.0668	0.027 ㎡	<	0.067 ㎡ OK
	職員便所(C)	1.350 ㎡	1/50	0.027 ㎡	AW-51	0.4180	0.1600	1	0.0668	引違窓	0.0668	0.027 ㎡	<	0.067 ㎡ OK
	園児便所(E)	25.200 ㎡	告示 1436 号 四号二−(2)											
	倉庫(A)	14.272 ㎡	1/50	0.285 ㎡	AD-15	0.9840	0.3500	1	0.3444	引違戸	0.3444	0.285 ㎡	<	0.344 ㎡ OK
	倉庫(C)	15.000 ㎡	1/50	0.300 ㎡	AD-12	1.0700	0.3000	1	0.3210	親子戸	0.3210	0.300 ㎡	<	0.321 ㎡ OK
	押入・物入		告示 1436 号 四号二−(2)											

※排煙窓用のｵﾍﾟﾚｰﾀ装置(露出)は床上″1,200″に設置
※排煙外倒窓は″45°″開放
※排煙ｶﾞﾗﾘは″45°″
※排煙用軽量ｼｬｯﾀｰは″管理用で閉園時のみ閉める″

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 −1522 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-019
縮尺 N/S	図面名 法チェック１ 採光計算・排煙計算	（原図A2）

■換気計算

階数	室　名	居室面積 ㎡	有効換気面積の割合	必要換気面積	窓記号	窓面積 巾 w	窓面積 長さ h	窓面積 連数 n	窓面積 個数 n	窓面積 面積 W*h*n*n	窓の種類	倍率	有効換気面積 w × 倍率	有効換気面積 計	判定 必要換気面積		判定 有効換気面積	
1	遊戯室	142.230 ㎡	1/20	7.112 ㎡	AW-2	1.70	1.00	1	1	1.70	引違窓	0.5	0.850					
						1.70	1.10	1	1	1.87	引違窓	0.5	0.935					
					AW-3	1.70	1.00	2	2	6.80	引違窓	0.5	3.400					
						1.70	1.10	2	2	7.48	引違窓	0.5	3.740					
					AW-4	1.70	1.10	1	1	1.87	引違窓	0.5	0.935	9.860	7.112 ㎡	<	9.860 ㎡	OK
		64.560 ㎡	1/20	3.228 ㎡	AW-55	1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880					
					AW-7	1.43	1.05	1	1	1.50	引違窓	0.5	0.750					
					AW-8	1.56	1.05	1	1	1.63	引違窓	0.5	0.815					
					ADW-1	1.65	1.05	1	1	1.73	引違窓	0.5	0.865					
					ADW-20	1.68	1.10	1	1	1.84	引違窓	0.5	0.920	4.230	3.228 ㎡	<	4.230 ㎡	OK
	5歳児保育室(A)	83.000 ㎡	1/20	4.150 ㎡	ADW-4	1.70	0.90	2	1	3.06	引違窓	0.5	1.530					
						1.70	1.90	1	1	3.23	引違戸	0.5	1.615					
						1.70	1.10	1	1	1.87	引違窓	0.5	0.935					
					ADW-5	1.70	0.90	2	1	3.06	引違窓	0.5	1.530					
						1.70	1.90	1	1	3.23	引違戸	0.5	1.615					
						1.70	1.10	1	1	1.87	引違窓	0.5	0.935	8.160	4.150 ㎡	<	8.160 ㎡	OK
	5歳児保育室(B)	73.520 ㎡	1/20	3.676 ㎡	AW-15	1.40	0.90	2	1	2.52	引違窓	0.5	1.260					
						1.40	1.10	2	1	3.08	引違窓	0.5	1.540					
					ADW-6	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520	4.320	3.676 ㎡	<	4.320 ㎡	OK
	4歳児保育室(A)	65.415 ㎡	1/20	3.271 ㎡	ADW-7	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880					
					ADW-8	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880	7.320	3.271 ㎡	<	7.320 ㎡	OK
	4歳児保育室(B)	65.415 ㎡	1/20	3.271 ㎡	ADW-7	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880					
					ADW-8	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880	7.320	3.271 ㎡	<	7.320 ㎡	OK
	職員室	81.840 ㎡	1/20	4.092 ㎡	ADW-12	0.80	0.70	2	1	1.12	外倒し	1.0	1.120					
						1.80	1.90	1	1	3.42	引違戸	0.5	1.710					
						1.00	0.70	1	1	0.70	外倒し	1.0	0.700					
					ADW-13	0.80	0.70	2	1	1.12	外倒し	0.5	0.560					
						1.80	1.90	1	1	3.42	引違戸	1.0	3.420					
						0.70	0.70	1	1	0.49	外倒し	0.5	0.245	7.755	4.092 ㎡	<	7.755 ㎡	OK
	3歳児保育室(A)	67.238 ㎡	1/20	3.362 ㎡	ADW-14	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880					
					ADW-15	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880	7.320	3.362 ㎡	<	7.320 ㎡	OK
	3歳児保育室(B)	65.238 ㎡	1/20	3.262 ㎡	ADW-14	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880					
					ADW-15	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880	7.320	3.262 ㎡	<	7.320 ㎡	OK
	3歳児保育室(C)	66.349 ㎡	1/20	3.317 ㎡	ADW-14	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880					
					ADW-15	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						0.70	0.90	2	1	1.26	外倒し	1.0	1.260					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880	7.320	3.317 ㎡	<	7.320 ㎡	OK
	午睡室	109.176 ㎡	1/20	5.459 ㎡	ADW-17	1.70	0.90	2	1	3.06	引違窓	0.5	1.530					
						1.70	1.90	1	1	3.23	引違戸	0.5	1.615					
						1.70	1.10	1	1	1.87	引違窓	0.5	0.935					
					AW-18	1.70	0.90	2	1	3.06	引違窓	0.5	1.530					
						1.70	1.10	2	1	3.74	引違窓	0.5	1.870	7.480	5.459 ㎡	<	7.480 ㎡	OK
	保健室	27.300 ㎡	1/20	1.365 ㎡	ADW-18	1.80	1.90	1	1	3.42	引違戸	0.5	1.710					
						1.80	0.90	1	1	1.62	引違窓	0.5	0.810					
						1.80	1.10	1	1	1.98	引違窓	0.5	0.990	3.510	1.365 ㎡	<	3.510 ㎡	OK
	早出･遅出保育室	80.000 ㎡	1/20	4.000 ㎡	AD-6	1.60	1.90	1	2	6.08	引違戸	0.5	3.040					
					AW-20	1.60	0.90	2	1	2.88	引違窓	0.5	1.440					
						1.60	1.10	2	1	3.52	引違窓	0.5	1.760	6.240	4.000 ㎡	<	6.240 ㎡	OK
	0歳児保育室	80.000 ㎡	1/20	4.000 ㎡	AD-7	1.70	1.90	1	1	3.23	引違戸	0.5	1.615					
					AD-8	1.80	1.90	1	1	3.42	引違戸	0.5	1.710					
					AW-22	1.30	1.10	2	1	2.86	引違窓	0.5	1.430					
					AW-25	1.80	1.00	1	2	3.60	引違窓	0.5	1.800					
						1.80	1.10	1	2	3.96	引違窓	0.5	1.980	8.535	4.000 ㎡	<	8.535 ㎡	OK

階数	室　名	居室面積 ㎡	有効換気面積の割合	必要換気面積	窓記号	窓面積 巾 w	窓面積 長さ h	窓面積 連数 n	窓面積 個数 n	窓面積 面積 W*h*n*n	窓の種類	倍率	有効換気面積 w × 倍率	有効換気面積 計	判定 必要換気面積		判定 有効換気面積	
1	1歳児保育室	84.437 ㎡	1/20	4.222 ㎡	ADW-19	1.80	1.90	1	1	3.42	引違戸	0.5	1.710					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880					
					ADW-20	1.60	1.90	1	1	3.04	引違戸	0.5	1.520					
						1.60	1.10	1	1	1.76	引違窓	0.5	0.880					
					AW-28	1.70	1.00	2	1	3.40	引違窓	0.5	1.700					
						1.70	1.10	2	1	3.74	引違窓	0.5	1.870	8.560	4.222 ㎡	<	8.560 ㎡	OK
	2歳児保育室	75.437 ㎡	1/20	3.772 ㎡	AD-30	1.70	1.00	2	3	10.20	引違窓	0.5	5.100					
						1.70	1.10	2	3	11.22	引違窓	0.5	5.610	10.710	3.772 ㎡	<	10.710 ㎡	OK
	相談室	34.700 ㎡	1/20	1.735 ㎡	AW-31	1.70	1.50	2	1	5.10	引違窓	0.5	2.550	2.550	1.735 ㎡	<	2.550 ㎡	OK
	女子職員更衣室	17.500 ㎡	1/20	0.875 ㎡	AW-16	1.70	1.20	2	1	4.08	引違窓	0.5	2.040	2.040	0.875 ㎡	<	2.040 ㎡	OK
	男子職員更衣室	14.200 ㎡	1/20	0.710 ㎡	AW-19	1.80	0.90	1	1	1.62	引違窓	0.5	0.810					
						1.80	1.10	2	1	3.96	引違窓	0.5	1.980	2.790	0.710 ㎡	<	2.790 ㎡	OK

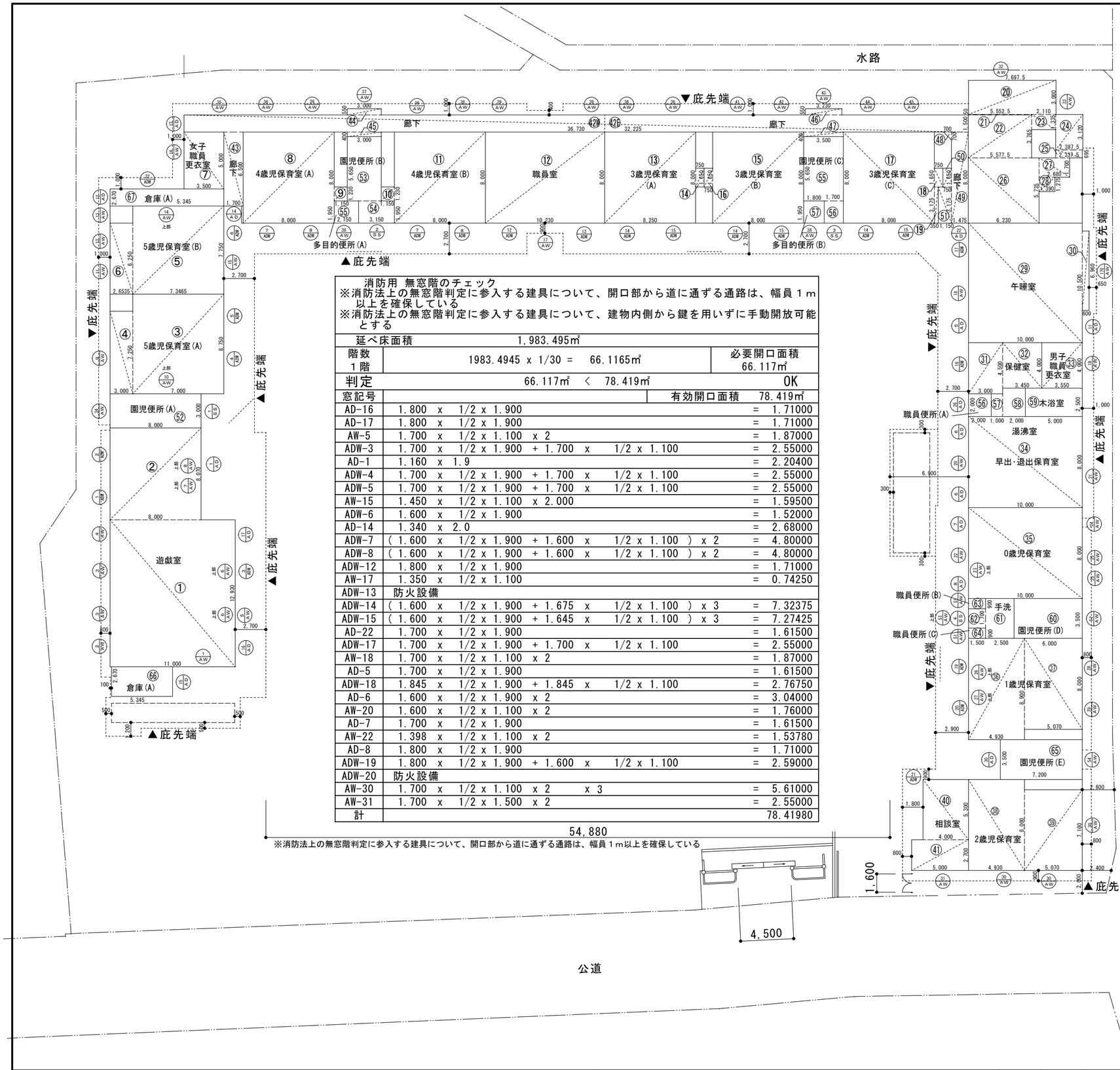
階数	室　名	居室面積 ㎡	必要換気量	有効換気量	判定 必要換気面積		判定 有効換気面積	
1	厨房【調理】	57.103	V= 20AF / N = 20 x 57.103 / 10 = 114.206 m3/h S= 57.103㎡ / n= 5人 ＝10	天井換気扇 = 350 m3/h　VF-11使用 VD-20ZP9	114.206 m3/h	<	350 m3/h	OK
	厨房【洗浄】	14.849	V= 20AF / N = 20 x 14.849 / 7 = 42.426 m3/h S= 14.849㎡ / n= 2人 ＝7	天井換気扇 = 400 m3/h　VF-13使用 VD-23Z9	42.426 m3/h	<	400 m3/h	OK
	厨房【下処理】	11.080	V= 20AF / N = 20 x 11.08 / 5 = 44.320 m3/h S= 11.080㎡ / n= 2人 ＝5	天井換気扇 = 210 m3/h　VF-12使用 VD-18Z9	44.320 m3/h	<	210 m3/h	OK
	厨房【検収】	9.074	V= 20AF / N = 20 x 9.074 / 4 = 45.370 m3/h S= 9.074㎡ / n= 2人 ＝4	天井換気扇 = 110 m3/h　VF-9使用 VD-13ZY9	45.370 m3/h	<	110 m3/h	OK
	厨房【前室】	6.328	V= 20AF / N = 20 x 6.328 / 6 = 21.093 m3/h S= 6.328㎡ / n= 1人 ＝6	天井換気扇 = 30 m3/h　VF-15 使用 VD-08ZCC5-M	21.093 m3/h	<	30 m3/h	OK

N=S/n が S/n≧10のとき"10"　S/n＜10のとき"整数以下切り捨て"　※S=面積　n=居室の収容人員

※異種区画相当でその他の部分と区画されているため Nを上記の式で求めている

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-020
縮　尺 N/S	図面名 法チェック２ 換気計算	（原図A2）



消防用 無窓階のチェック
※消防法上の無窓階判定に参入する建具について、開口部から道に通ずる通路は、幅員１ｍ以上を確保している
※消防法上の無窓階判定に参入する建具について、建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする

延べ床面積	1,983.495㎡		
階数 1階	1983.4945 x 1/30 = 66.1165㎡	必要開口面積 66.117㎡	
判定	66.117㎡ < 78.419㎡		OK
窓記号		有効開口面積	78.419㎡
AD-16	1.800 x 1/2 x 1.900	=	1.71000
AD-17	1.800 x 1/2 x 1.900	=	1.71000
AW-5	1.700 x 1/2 x 1.100 x 2	=	1.87000
ADW-3	1.700 x 1/2 x 1.900 + 1.700 x 1/2 x 1.100	=	2.55000
AD-1	1.160 x 1.9	=	2.20400
ADW-4	1.700 x 1/2 x 1.900 + 1.700 x 1/2 x 1.100	=	2.55000
ADW-5	1.700 x 1/2 x 1.900 + 1.700 x 1/2 x 1.100	=	2.55000
AW-15	1.450 x 1/2 x 1.100 x 2.000	=	1.59500
ADW-6	1.600 x 1/2 x 1.900	=	1.52000
AD-14	1.340 x 2.0	=	2.68000
ADW-7	(1.600 x 1/2 x 1.900 + 1.600 x 1/2 x 1.100) x 2	=	4.80000
ADW-8	(1.600 x 1/2 x 1.900 + 1.600 x 1/2 x 1.100) x 2	=	4.80000
ADW-12	1.800 x 1/2 x 1.900	=	1.71000
AW-17	1.350 x 1/2 x 1.100	=	0.74250
ADW-13	防火設備		
ADW-14	(1.600 x 1/2 x 1.900 + 1.675 x 1/2 x 1.100) x 3	=	7.32375
ADW-15	(1.600 x 1/2 x 1.900 + 1.645 x 1/2 x 1.100) x 3	=	7.27425
AD-22	1.700 x 1/2 x 1.900	=	1.61500
ADW-17	1.700 x 1/2 x 1.900 + 1.700 x 1/2 x 1.100	=	2.55000
AW-18	1.700 x 1/2 x 1.100 x 2	=	1.87000
AD-5	1.700 x 1/2 x 1.900	=	1.61500
ADW-18	1.845 x 1/2 x 1.900 + 1.845 x 1/2 x 1.100	=	2.76750
AD-6	1.600 x 1/2 x 1.900 x 2	=	3.04000
AW-20	1.600 x 1/2 x 1.100 x 2	=	1.76000
AD-7	1.700 x 1/2 x 1.900	=	1.61500
AW-22	1.398 x 1/2 x 1.100 x 2	=	1.53780
AD-8	1.800 x 1/2 x 1.900	=	1.71000
ADW-19	1.800 x 1/2 x 1.900 + 1.600 x 1/2 x 1.100	=	2.59000
ADW-20	防火設備		
AW-30	1.700 x 1/2 x 1.100 x 2 x 3	=	5.61000
AW-31	1.700 x 1/2 x 1.500 x 2	=	2.55000
計			78.41980

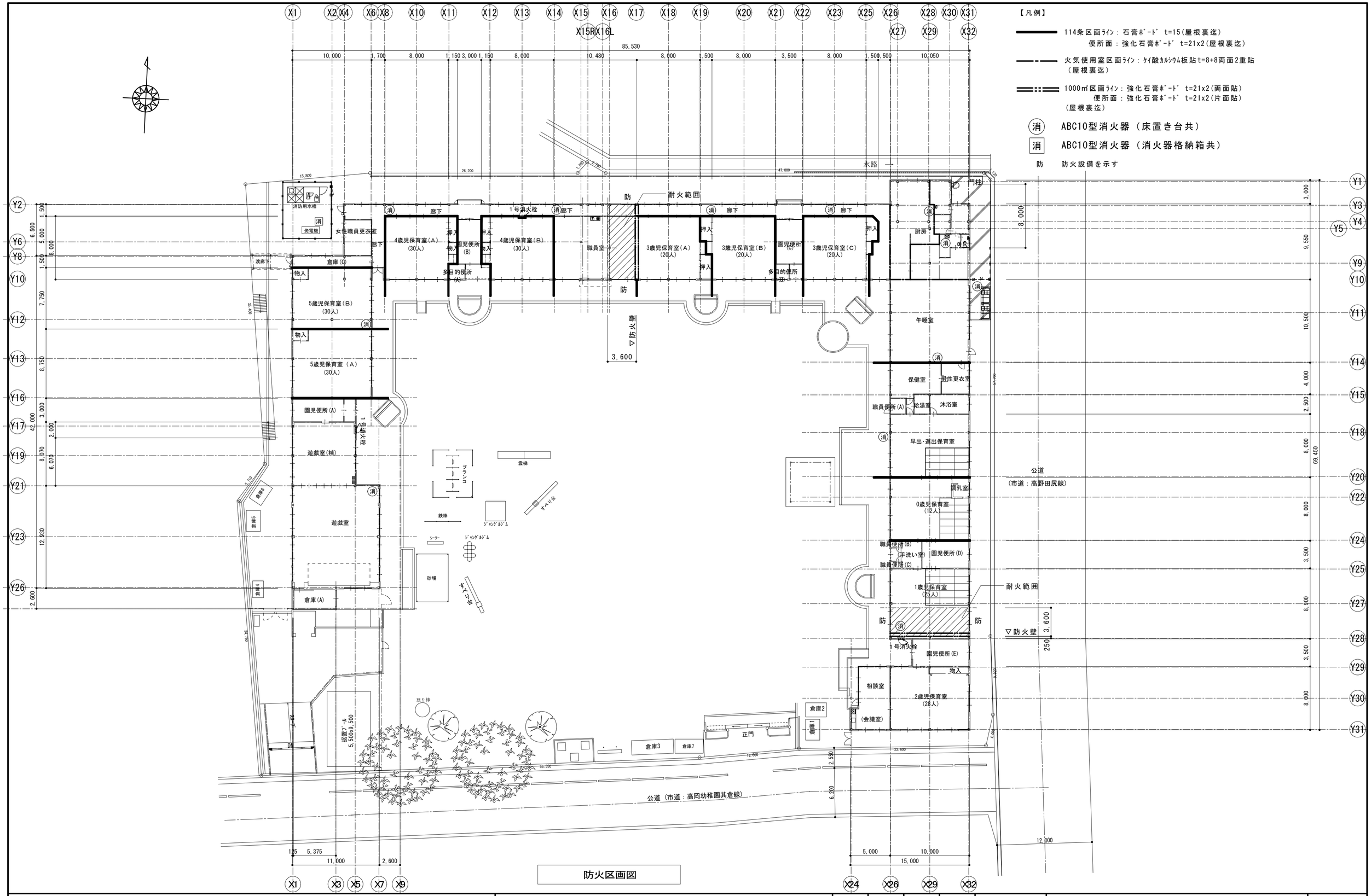
※消防法上の無窓階判定に参入する建具について、開口部から道に通ずる通路は、幅員１ｍ以上を確保している

室名	面			積	
遊戯室	1 12.9300 x 11.0000	=	142.230000		
	2 8.0700 x 8.0000	=	64.560000	206.790000	206.790 ㎡
5歳児保育室(A)	3 8.7500 x 7.0000	=	61.250000		
	4 7.2500 x 3.0000	=	21.750000	83.000000	83.000 ㎡
5歳児保育室(B)	5 7.7500 x 7.3465	=	56.935375		
	6 6.2500 x 2.6535	=	16.584375	73.519750	73.520 ㎡
女子職員更衣室	7 5.0000 x 3.5000	=	17.500000	17.500000	17.500 ㎡
4歳児保育室(A)	8 8.0000 x 8.0000	=	64.000000		
	9 1.2300 x 1.1500	=	1.414500	65.414500	65.415 ㎡
4歳児保育室(B)	10 1.2300 x 1.1500	=	1.414500		
	11 8.0000 x 8.0000	=	64.000000	65.414500	65.415 ㎡
職員室	12 8.0000 x 10.2300	=	81.840000	81.840000	81.840 ㎡
3歳児保育室(A)	13 8.0000 x 8.2500	=	66.000000		
	14 1.6500 x 0.7500	=	1.237500	67.237500	67.238 ㎡
3歳児保育室(B)	15 8.0000 x 8.0000	=	64.000000		
	16 1.6500 x 0.7500	=	1.237500	65.237500	65.238 ㎡
3歳児保育室(C)	17 8.0000 x 8.0000	=	64.000000		
	18 1.6500 x 0.7500	=	1.237500		
	19 3.1750 x 0.3500	=	1.111250	66.348750	66.349 ㎡
厨房	20 3.0000 x 7.6975	=	23.092500		
	21 0.0500 x 5.5525	=	0.277625		
	22 3.7650 x 5.7750	=	21.742875		
	23 1.3350 x 2.1100	=	2.816850		
	24 3.1200 x 2.3875	=	7.449000		
	25 0.6950 x 2.3375	=	1.624563		
	26 5.7350 x 6.2300	=	35.729050		
	27 1.7000 x 2.6800	=	4.556000		
	28 1.2750 x 1.3900	=	1.772250	99.060713	99.061 ㎡
午睡室	29 10.5000 x 10.0000	=	105.000000		
	30 6.9600 x 0.6000	=	4.176000	109.176000	109.176 ㎡
保健室	31 4.5000 x 3.0000	=	13.500000		
	32 4.0000 x 3.4500	=	13.800000	27.300000	27.300 ㎡
男子職員更衣室	33 4.0000 x 3.5500	=	14.200000	14.200000	14.200 ㎡
早出・遅出保育室	34 8.0000 x 10.0000	=	80.000000	80.000000	80.000 ㎡
0歳児保育室	35 8.0000 x 10.0000	=	80.000000	80.000000	80.000 ㎡
1歳児保育室	36 8.9000 x 4.9300	=	43.877000		
	37 8.0000 x 5.0700	=	40.560000	84.437000	84.437 ㎡
2歳児保育室	38 8.0000 x 4.9300	=	39.440000		
	39 7.1000 x 5.0700	=	35.997000	75.437000	75.437 ㎡
相談室	40 5.3000 x 4.0000	=	21.200000		
	41 2.7000 x 5.0000	=	13.500000	34.700000	34.700 ㎡
廊下	42W 1.5000 x 36.7300	=	55.095000		
	43 6.5000 x 1.7000	=	11.050000		
	44 0.5500 x 3.0000	=	1.650000		
	45 0.4400 x 3.5000	=	1.540000	69.335000	69.335 ㎡
	42E 1.5000 x 32.2250	=	48.337500		
	46 0.5500 x 3.2300	=	1.776500		
	47 0.4000 x 0.3500	=	0.140000		
	48 0.7000 x 0.7000 x 1/2	=	0.245000		
	49 8.0000 x 1.4750	=	11.800000		
	50 1.6500 x 0.7500	=	1.237500		
	51 3.1750 x 1.1500	=	3.651250	67.187750	67.188 ㎡
園児便所(A)	52 8.0000 x 3.0000	=	24.000000	24.000000	24.000 ㎡
園児便所(B)	53 3.0000 x 5.6500	=	16.950000		
	54 3.1500 x 1.9500	=	6.142500	23.092500	23.093 ㎡
多目的便所(A)	55 2.1500 x 1.9500	=	4.192500	4.193000	4.193 ㎡
園児便所(C)	53 3.0000 x 5.6500	=	16.950000		
	54 1.7000 x 1.9500	=	3.315000	20.265000	20.265 ㎡
多目的便所(B)	55 1.8000 x 1.9500	=	3.510000	3.510000	3.510 ㎡
職員便所(A)	56 2.0000 x 2.0000	=	4.000000	4.000000	4.000 ㎡
湯沸室	57 1.0000 x 2.0000	=	2.000000		
	58 2.0000 x 2.5000	=	5.000000	7.000000	7.000 ㎡
木浴室	59 5.0000 x 2.5000	=	12.500000	12.500000	12.500 ㎡
園児便所(D)	60 6.0000 x 3.5000	=	21.000000	21.000000	21.000 ㎡
手洗	61 2.5000 x 3.5000	=	8.750000		
	62 1.5000 x 1.7000	=	2.550000	11.300000	11.300 ㎡
職員便所(B)	63 1.5000 x 0.9000	=	1.350000	1.350000	1.350 ㎡
職員便所(C)	64 1.5000 x 0.9000	=	1.350000	1.350000	1.350 ㎡
園児便所(E)	65 7.2000 x 3.5000	=	25.200000	25.200000	25.200 ㎡
倉庫(A)	66 5.3450 x 2.6700	=	14.271150	14.272000	14.272 ㎡
倉庫(C)	67 10.0000 x 1.5000	=	15.000000	15.000000	15.000 ㎡

各室　面積表

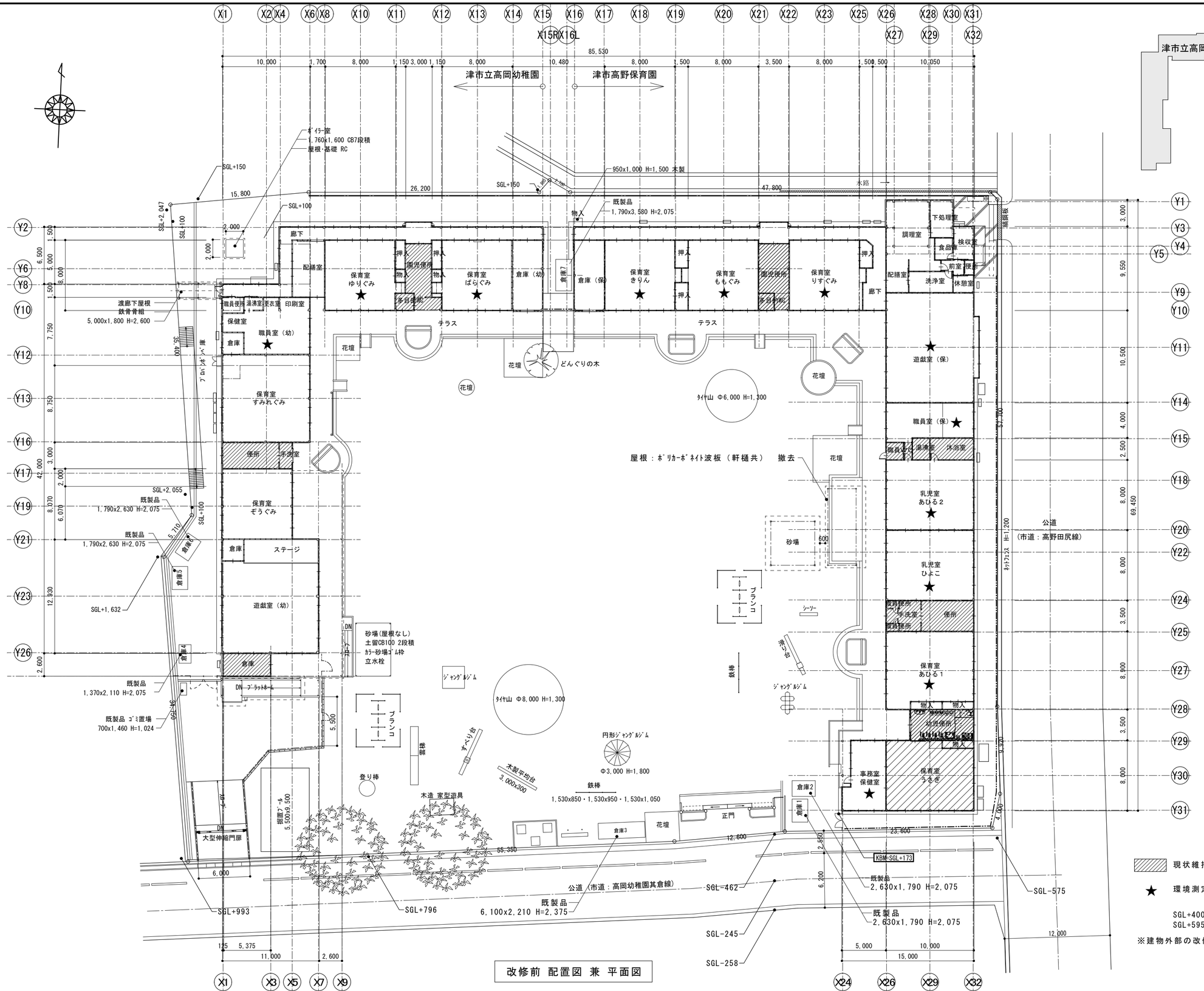
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215669
三重県知事登録　第１－１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-021
縮尺 N/S	図面名 法チェック３ 消防無窓・各室面積表	（原図A2）



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 （仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号
縮 尺 1/300	図 面 名 防火区画図	A-022 （原図A2）



現状維持部分を示す。

★ 環境測定部分（施工前）を示す。

SGL+400 ＝ 保育園 FL=±0
SGL+595 ＝ 幼稚園 FL=±0

※建物外部の改修内容については外構図を参照の事

改修前 配置図 兼 平面図

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-023
縮尺 1/300	図面名 改修前 配置図 兼 平面図	（原図A2）

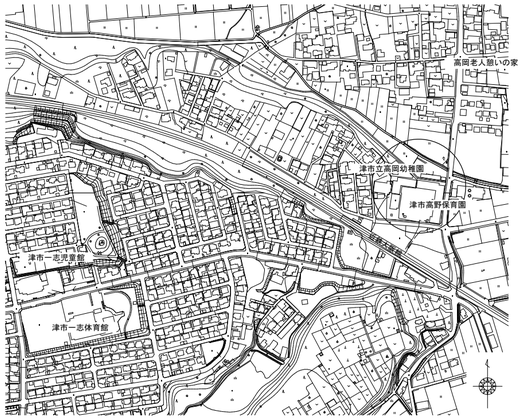
凡例

現状維持部分を示す。

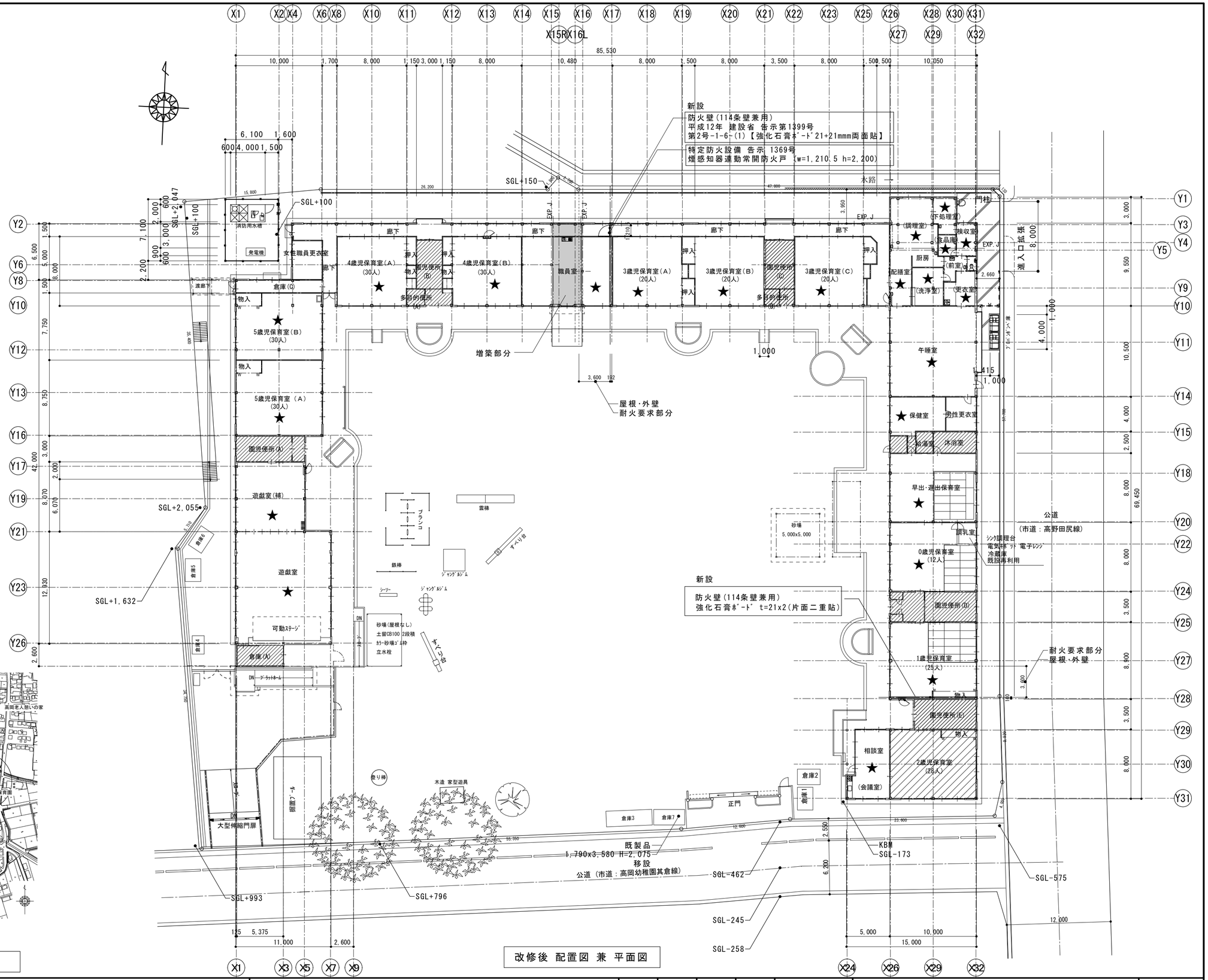
★ 環境測定部分(施工後)を示す。

SGL+400 = 保育園 FL=±0
SGL+595 = 幼稚園 FL=±0

※建物外部の改修内容については外構図を参照の事



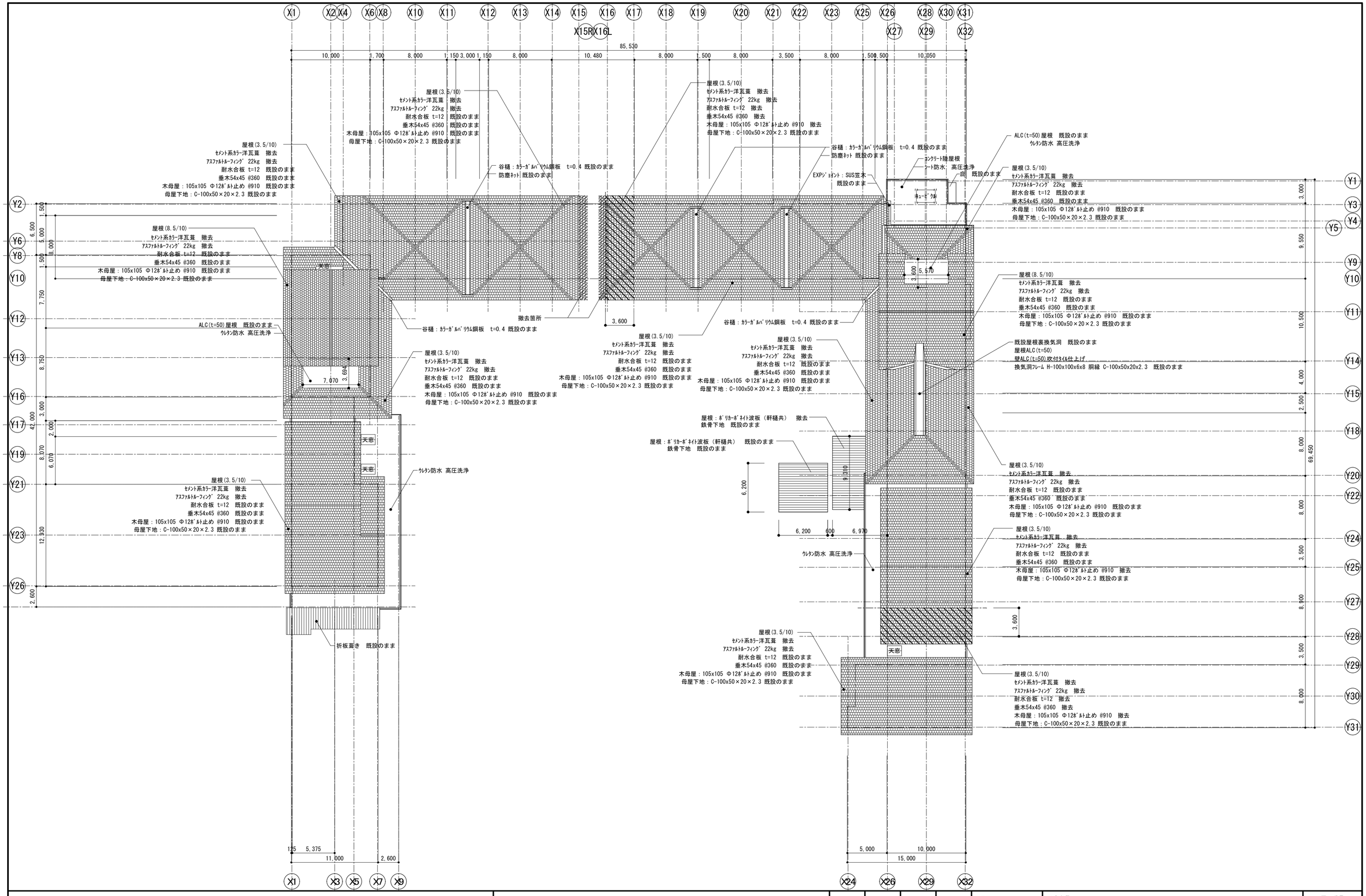
附近見取図



改修後 配置図 兼 平面図

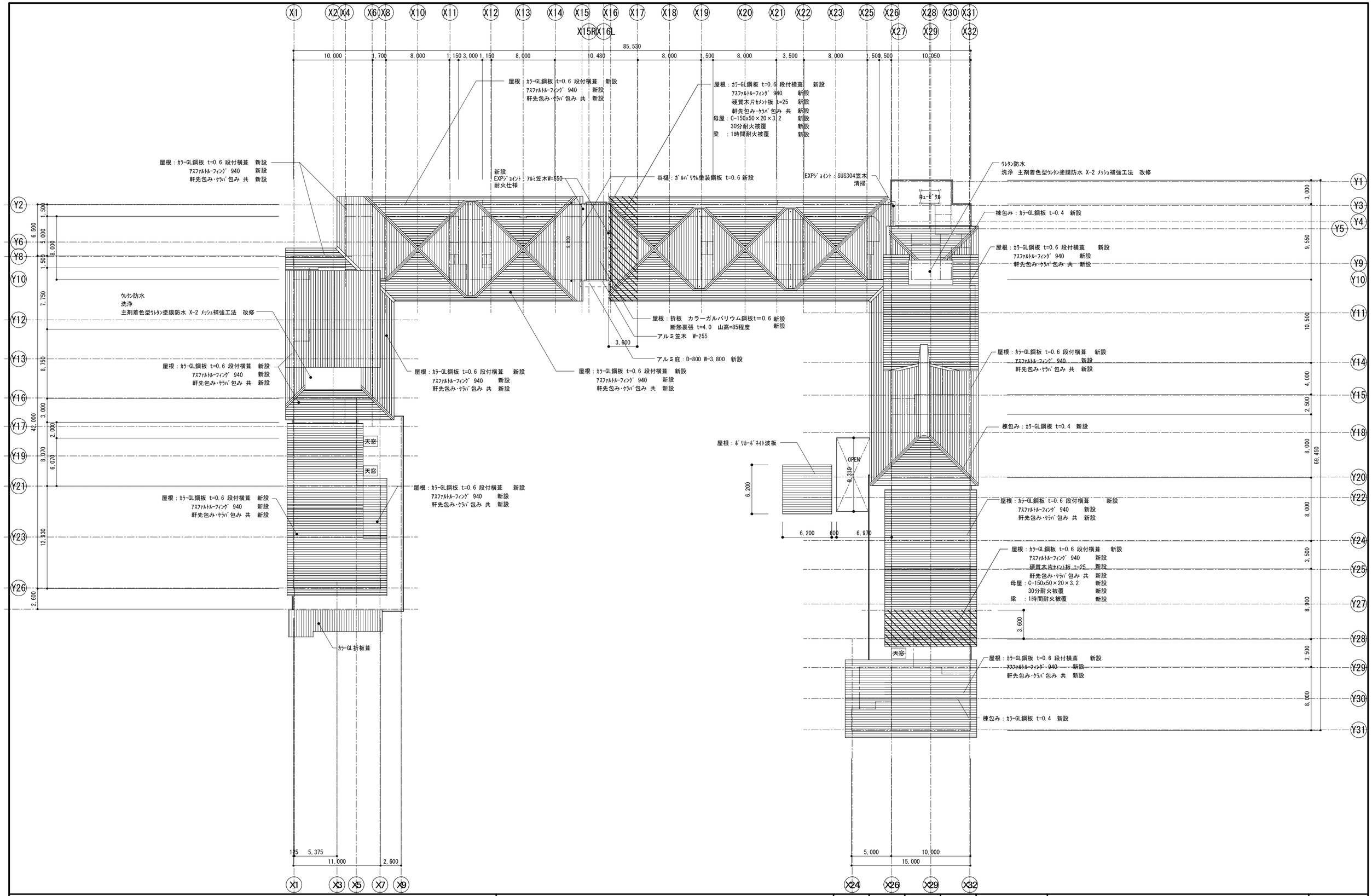
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-024
縮 尺 1/300	図 面 名 改修後 配置図 兼 平面図・附近見取図	（原図A2）



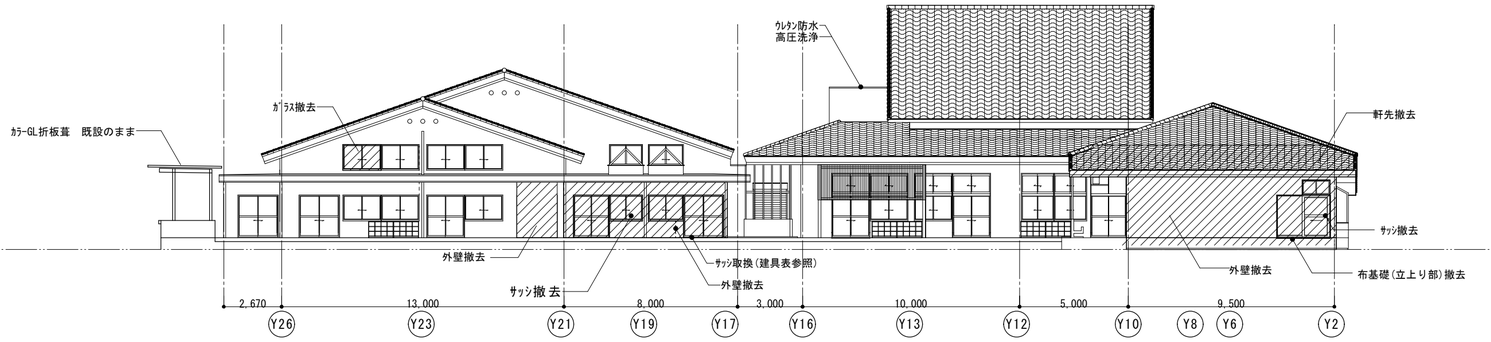
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-025
縮尺 1/300	図面名 改修前 屋根伏せ図	（原図A2）



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

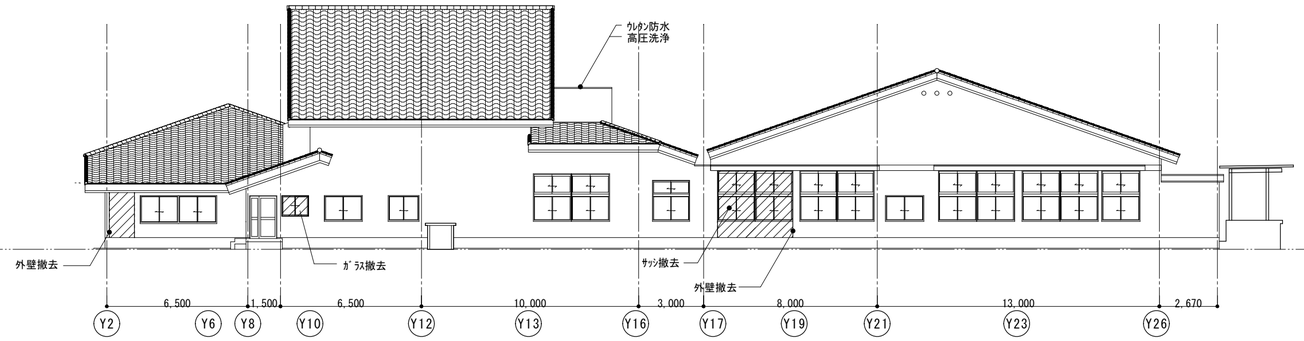
年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-026
縮 尺 1/300	図 面 名 改修後 屋根伏せ図	（原図A2）



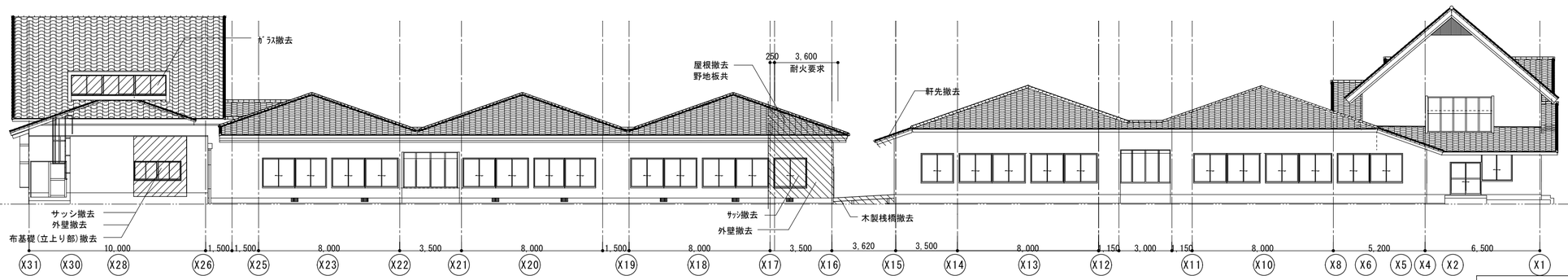
東面立面図(園庭より)　s=1/200

【改修範囲共通事項】

・勾配屋根(ｺﾝｸﾘｰﾄ瓦屋根)は 瓦撤去改修(詳細図参照)
　軒樋、竪樋については撤去・新設
・陸屋根(特記以外)防水改修(詳細図参照)
・外壁：既設のまま(改修部のみ塗装(既設色合せ))



西面立面図　s=1/200

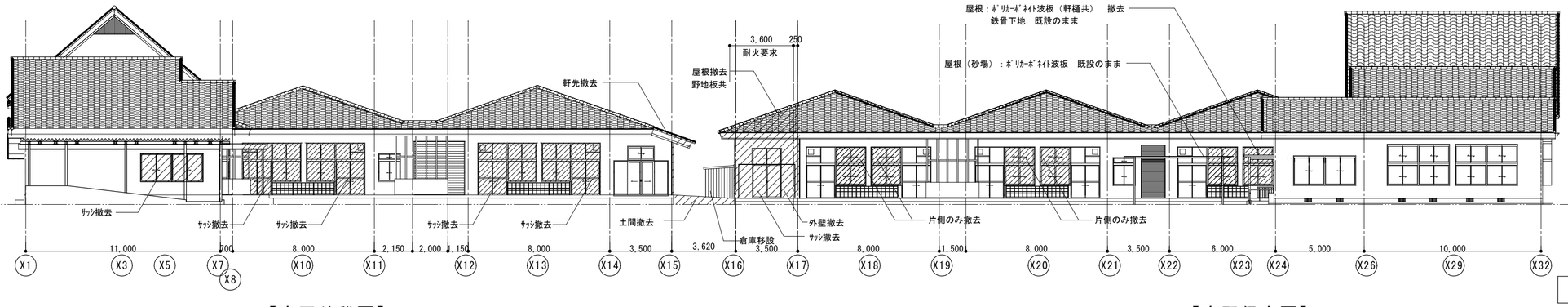


【高野保育園】　　【高岡幼稚園】

北面立面図　s=1/200

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	
縮　尺	1/200
工事名称	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事
図面名	改修前　立面図-01
図面番号	A-027
	（原図A2）



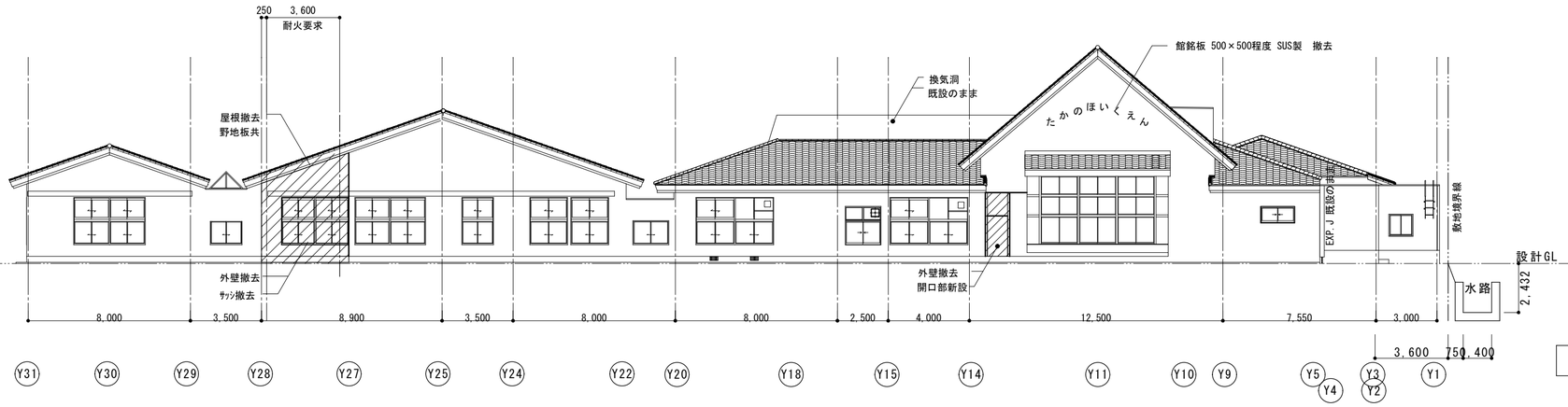
【高岡幼稚園】　　【高野保育園】

南面立面図　　s=1/200

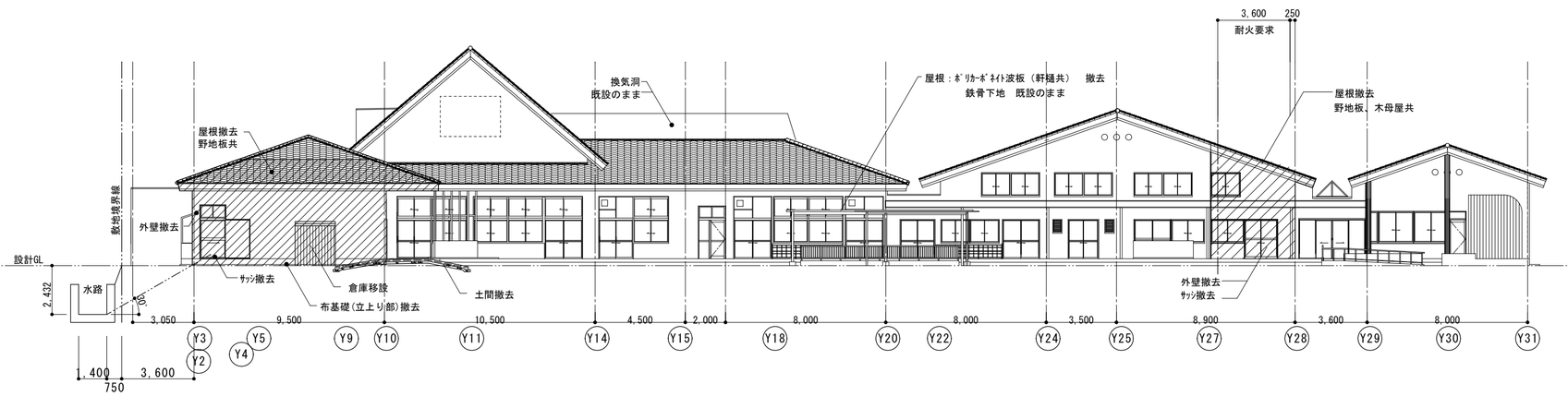
【改修範囲共通事項】

・勾配屋根（ｺﾝｸﾘｰﾄ瓦屋根）は 瓦撤去改修（詳細図参照）
　軒樋、竪樋については撤去・新設

・陸屋根（特記以外）防水改修（詳細図参照）



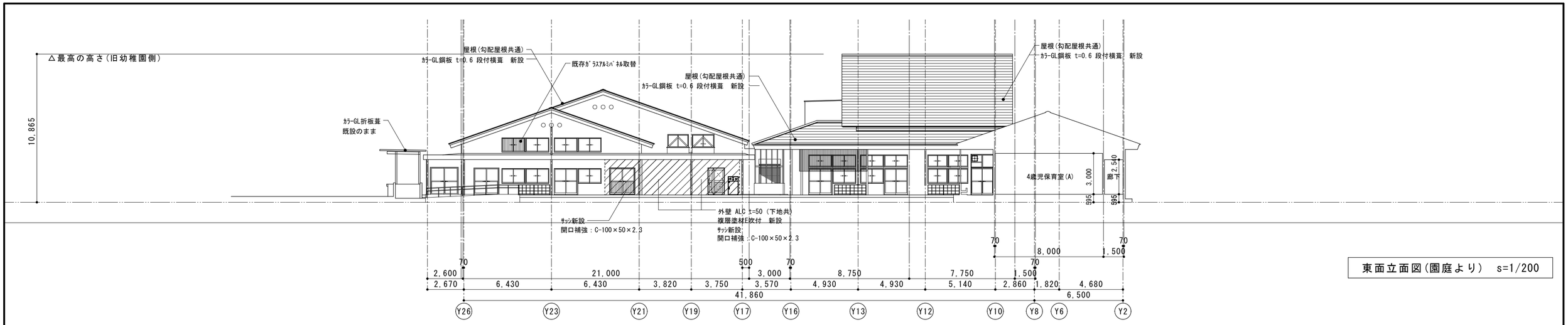
東面立面図　　s=1/200



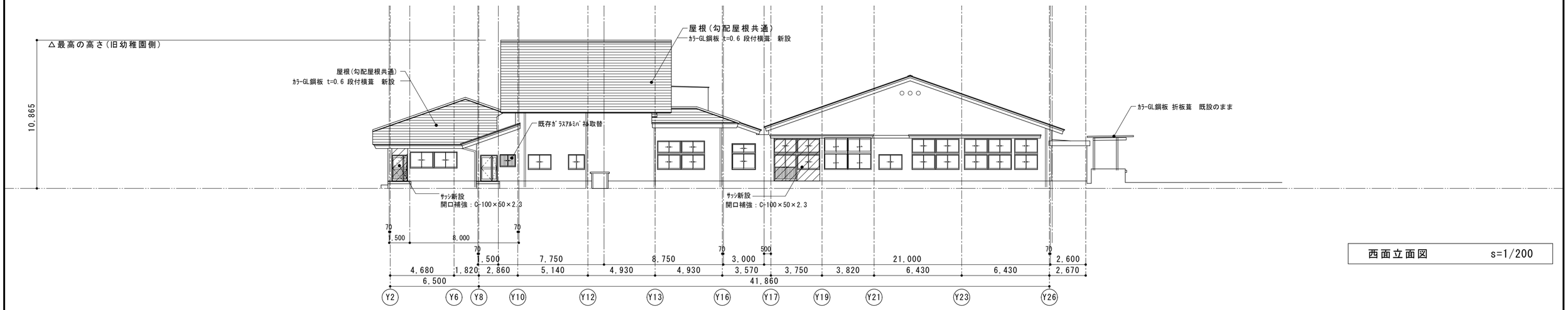
西面立面図（園庭より）　s=1/200

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax 059(254)0085

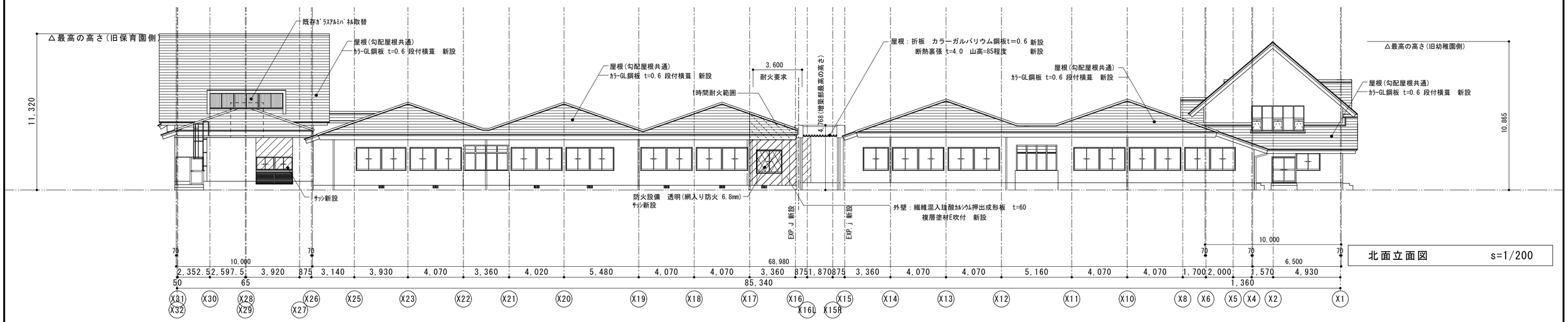
年月日	工事名称 （仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号
縮　尺 1/200	図面名 改修前　立面図-02	A-028 （原図A2）



東面立面図(園庭より) s=1/200



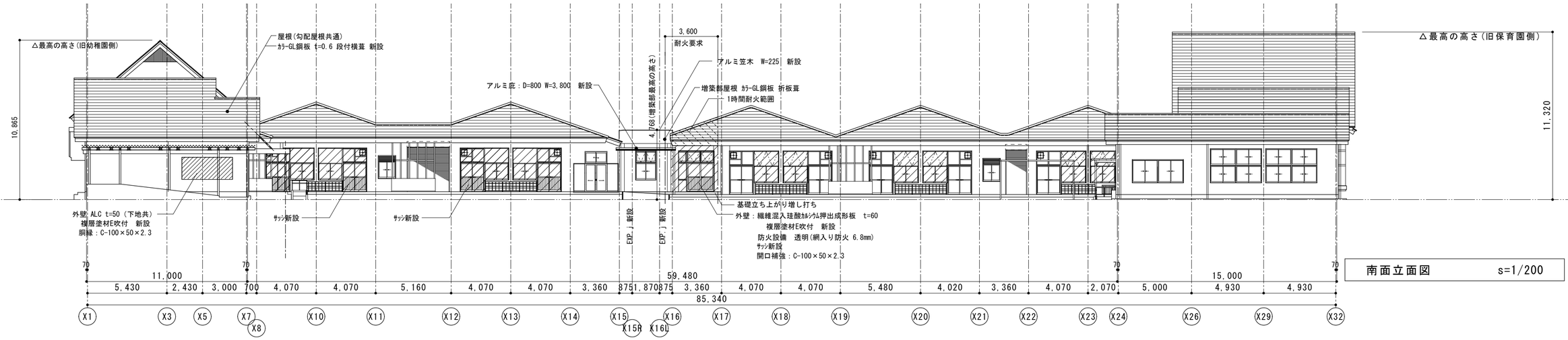
西面立面図 s=1/200



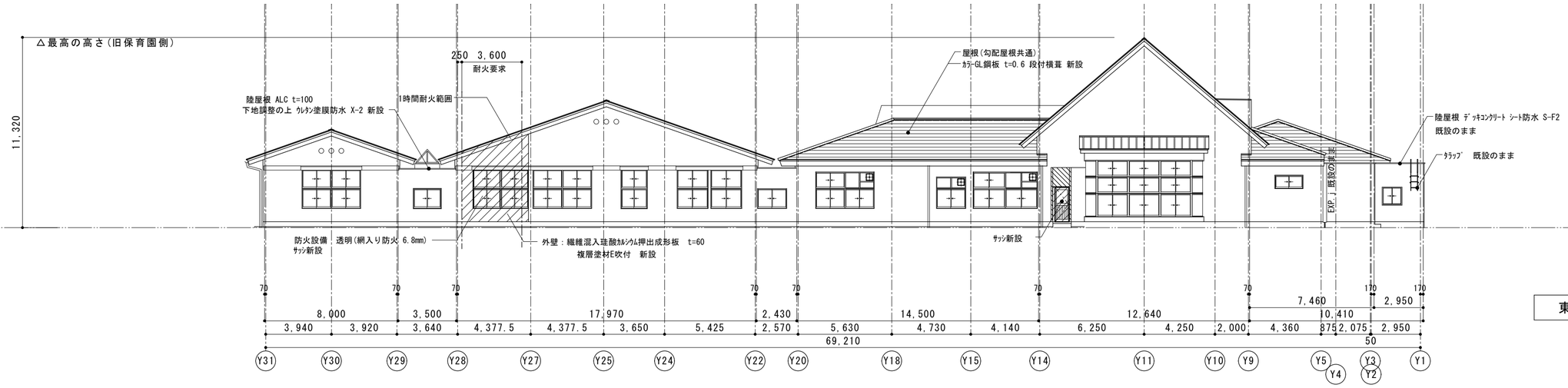
北面立面図 s=1/200

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

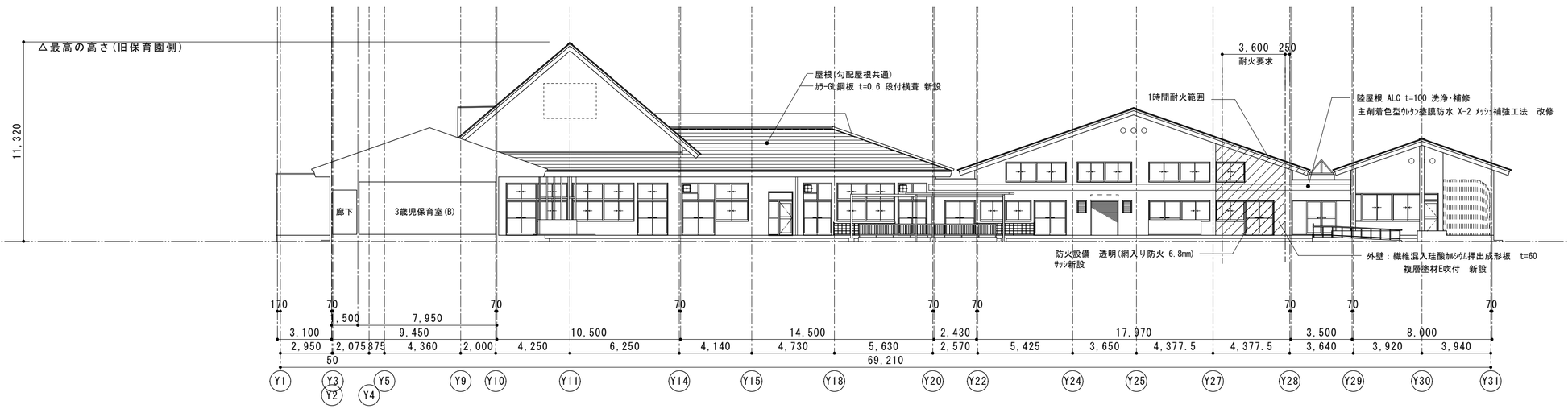
年月日	工事名称 （仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号
縮 尺 1/200	図 面 名 改修後 立面図-03	A-029 （原図A2）



南面立面図 s=1/200



東面立面図 s=1/200

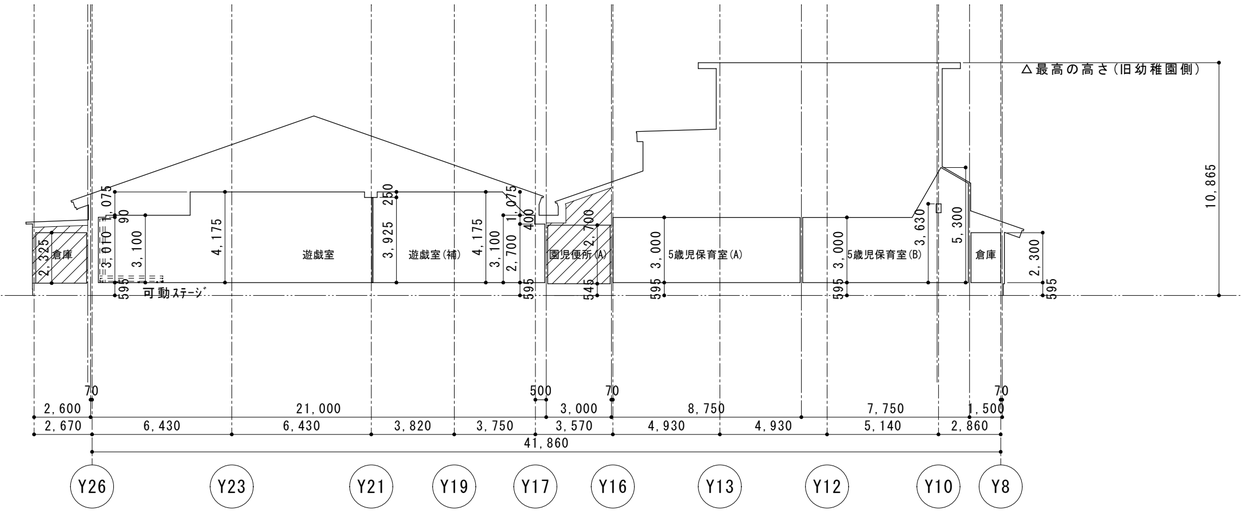


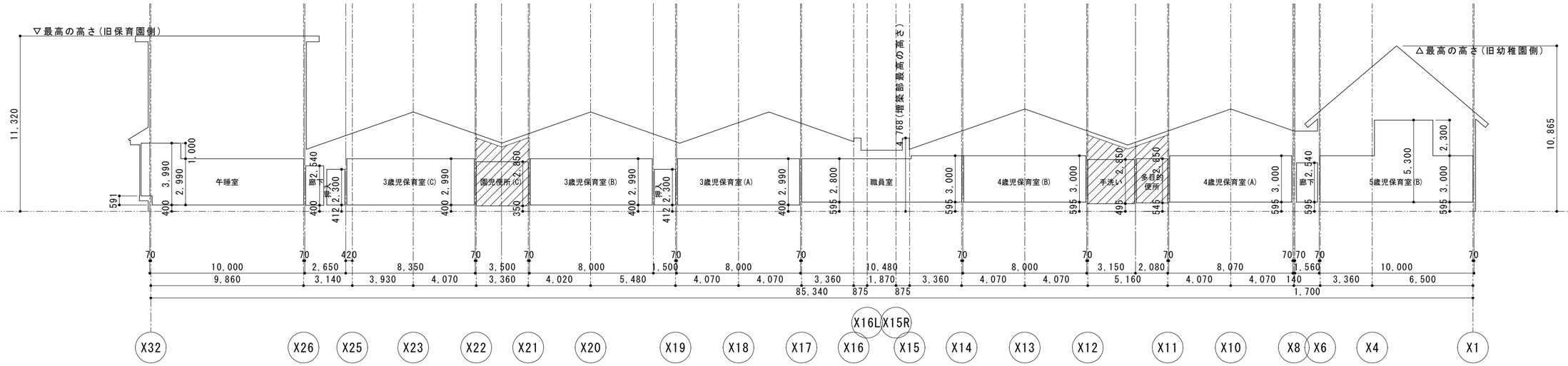
西面立面図(園庭より) s=1/200

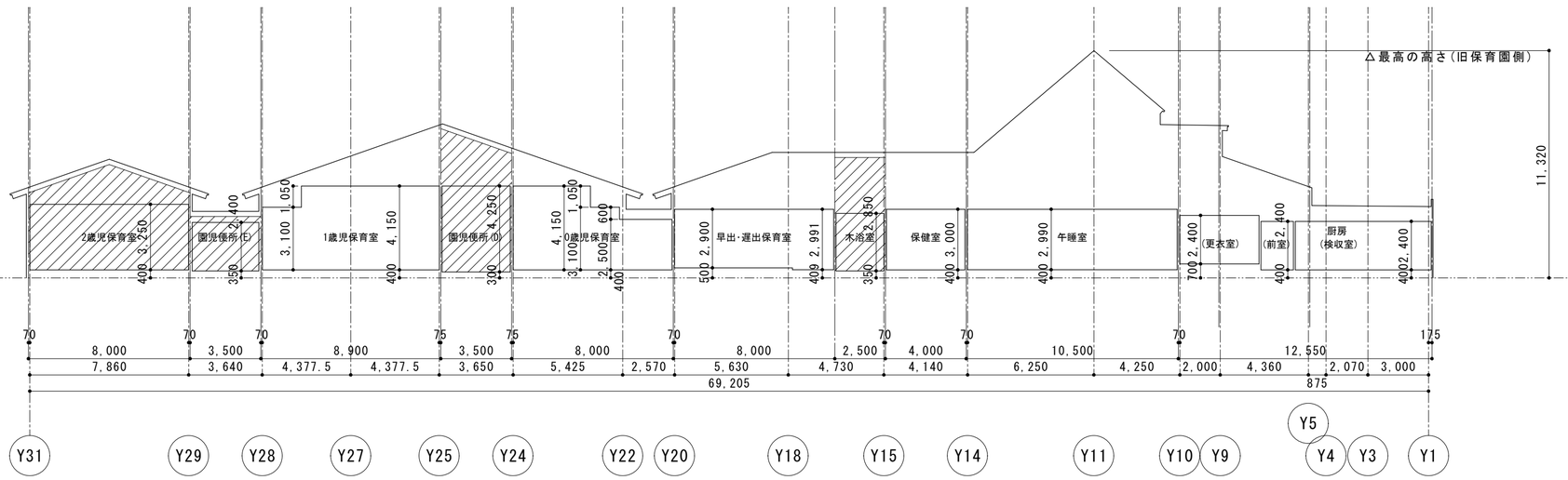
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 （仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号
縮 尺 1/200	図 面 名 改修後 立面図-04	A-030
		（原図A2）

今回工事範囲外を示す





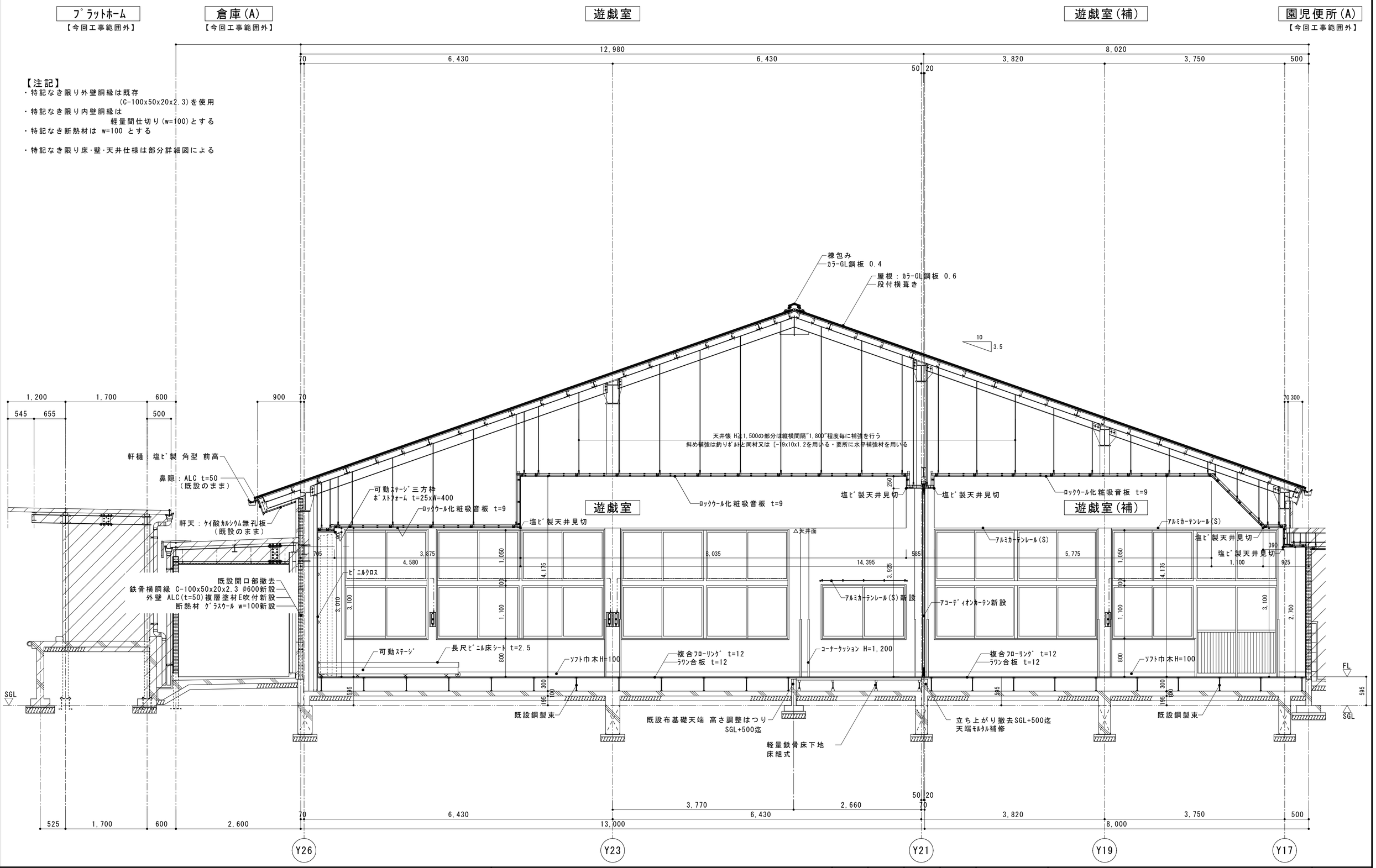


内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-031
縮 尺 1/300	図 面 名 断面図	（原図A2）

【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

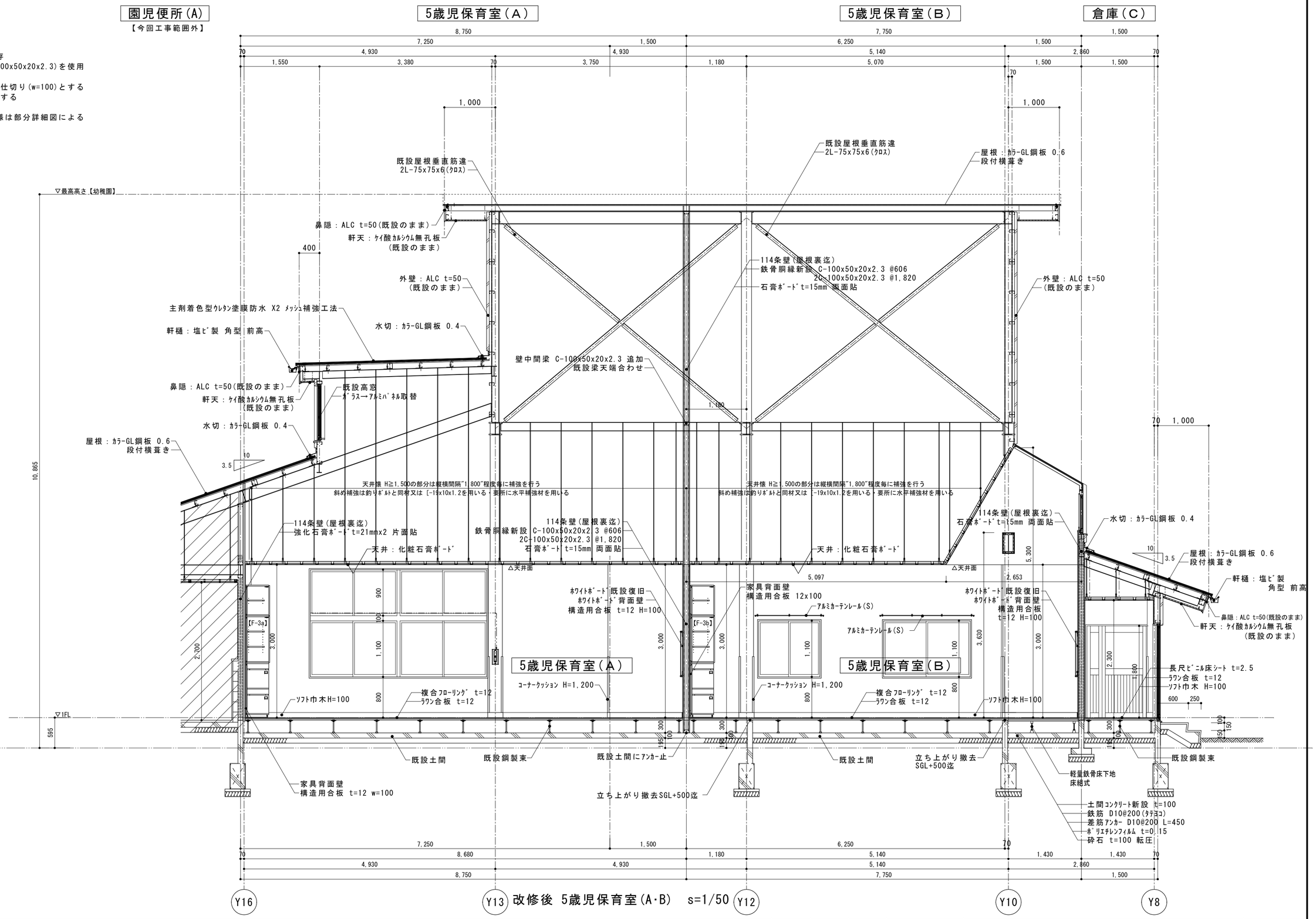
・特記なき限り床・壁・天井仕様は部分詳細図による



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 －1522 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085				年月日	工事名称 (仮称) 一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号 A-032
				縮 尺 1/50	図面名 遊戯室 断面詳細図	(原図A2)

【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

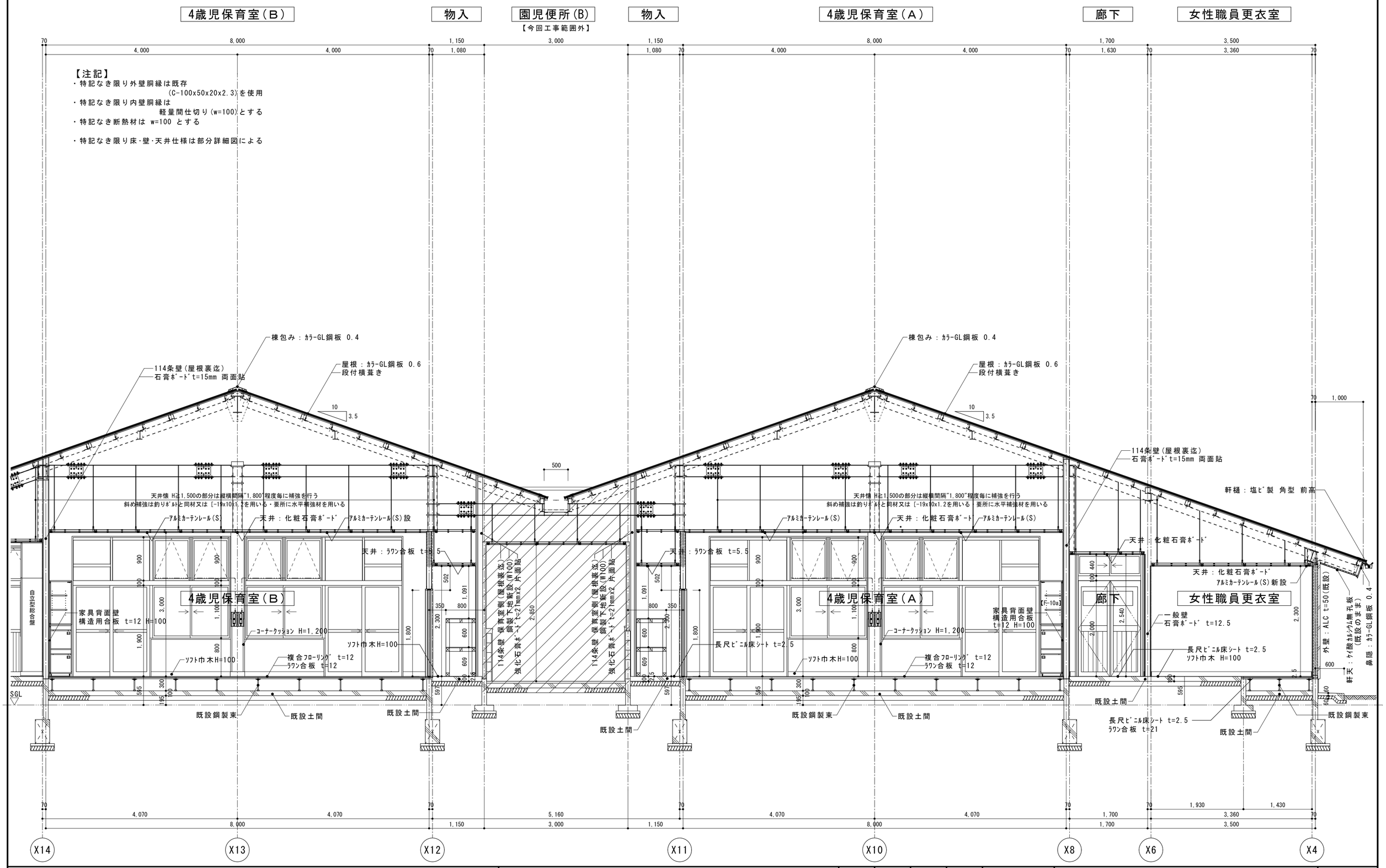
・特記なき限り床・壁・天井仕様は部分詳細図による



改修後 5歳児保育室(A･B) s=1/50

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-033
縮 尺 1/50	図面名 5歳児保育室 断面詳細図	（原図A2）

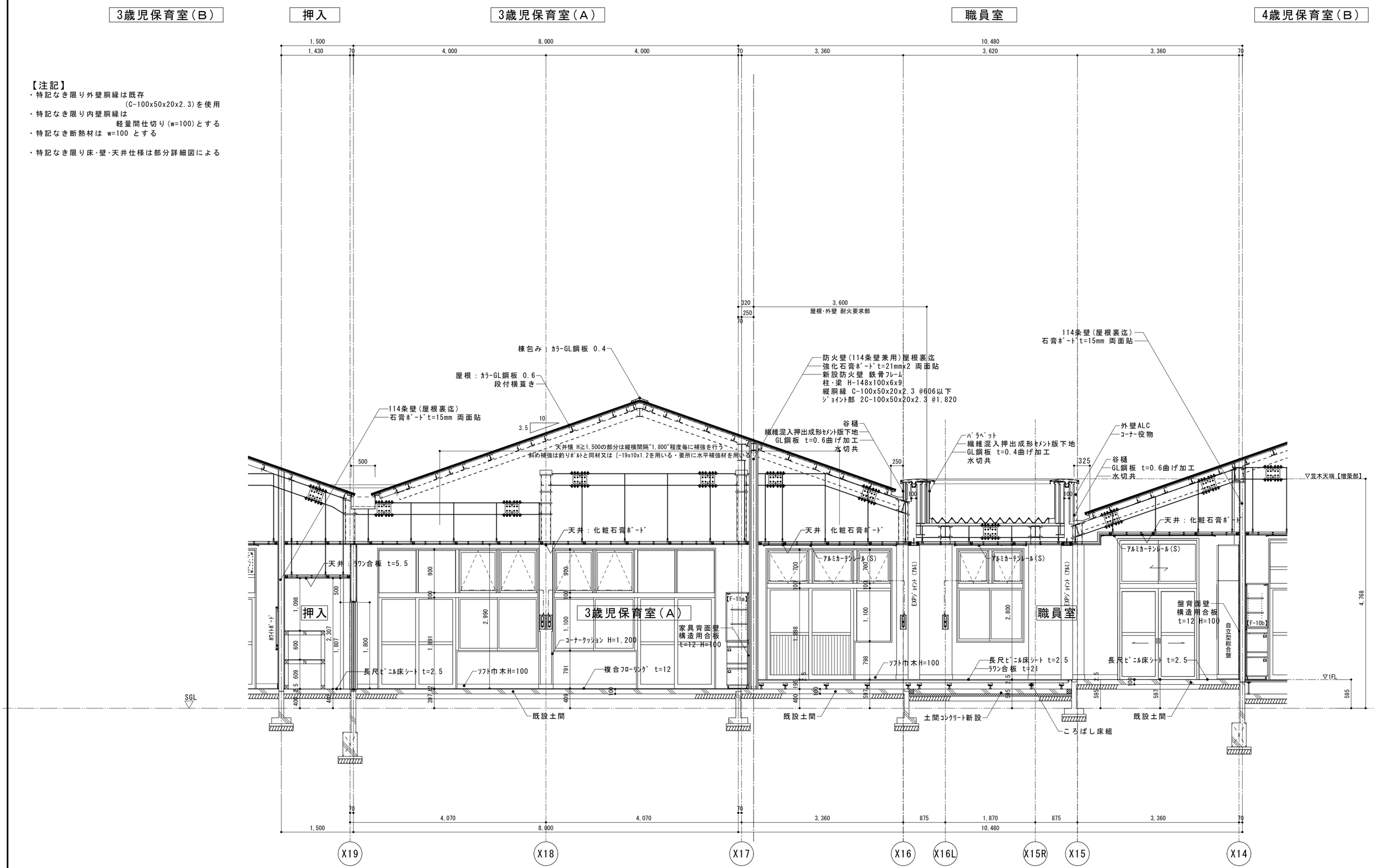


内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-034
縮 尺 1/50	図面名 4歳児保育室 断面詳細図	（原図A2）

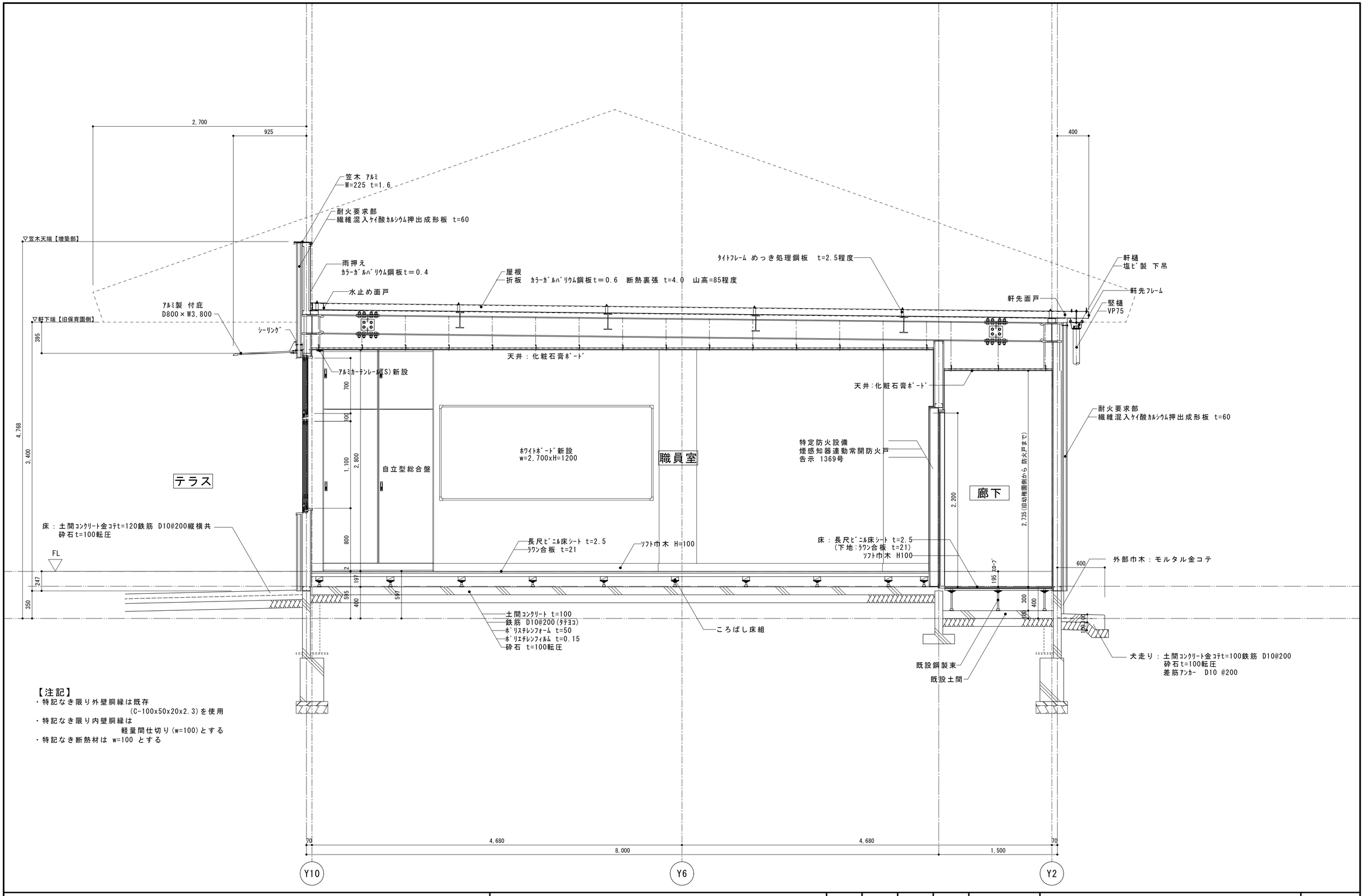
【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

・特記なき限り床･壁･天井仕様は部分詳細図による



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-035
縮 尺 1/50	図面名 3歳児保育室･職員室 断面詳細図	（原図A2）



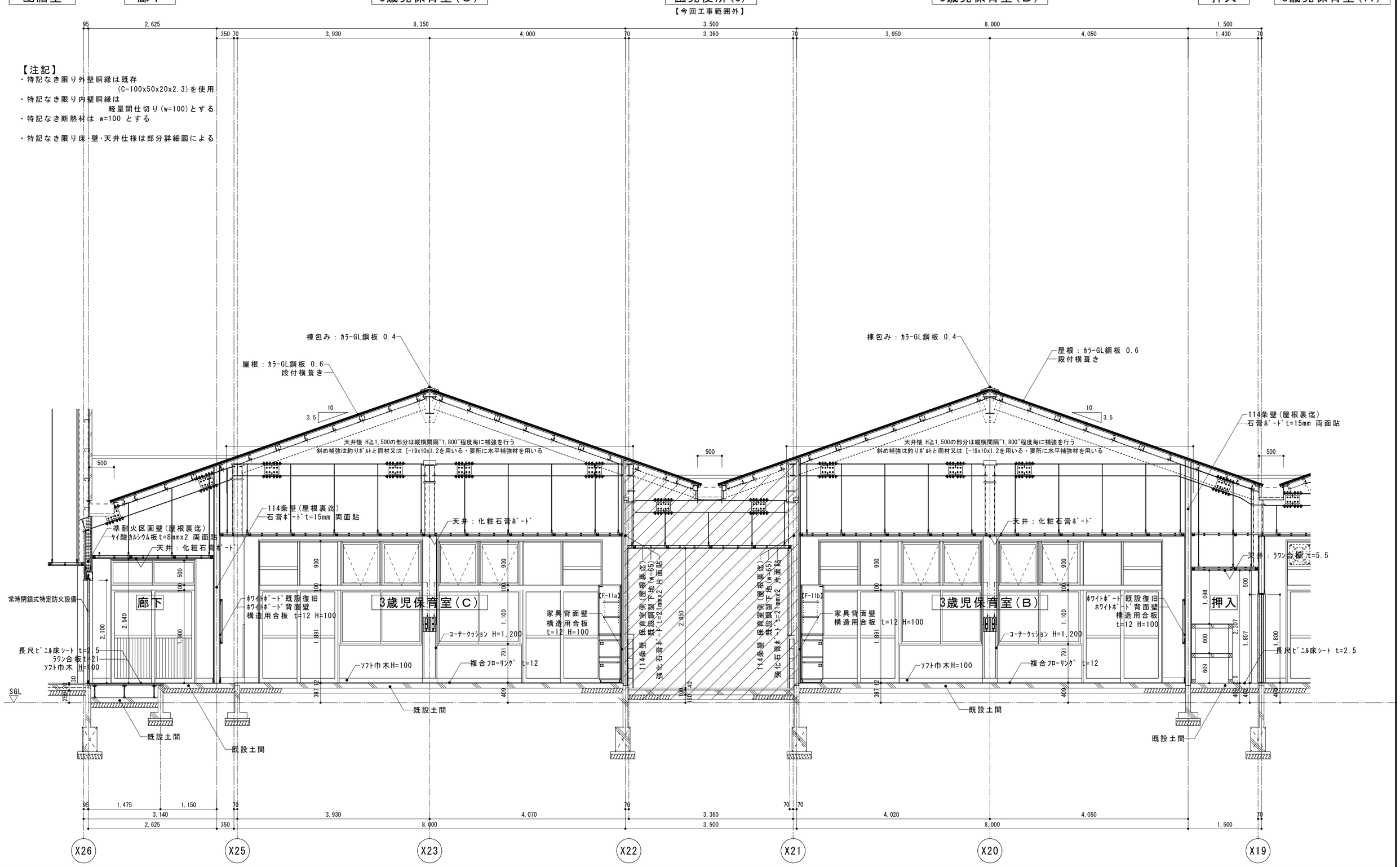
【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-036
縮 尺 1/30	図面名 職員室 断面詳細図	（原図A2）

【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

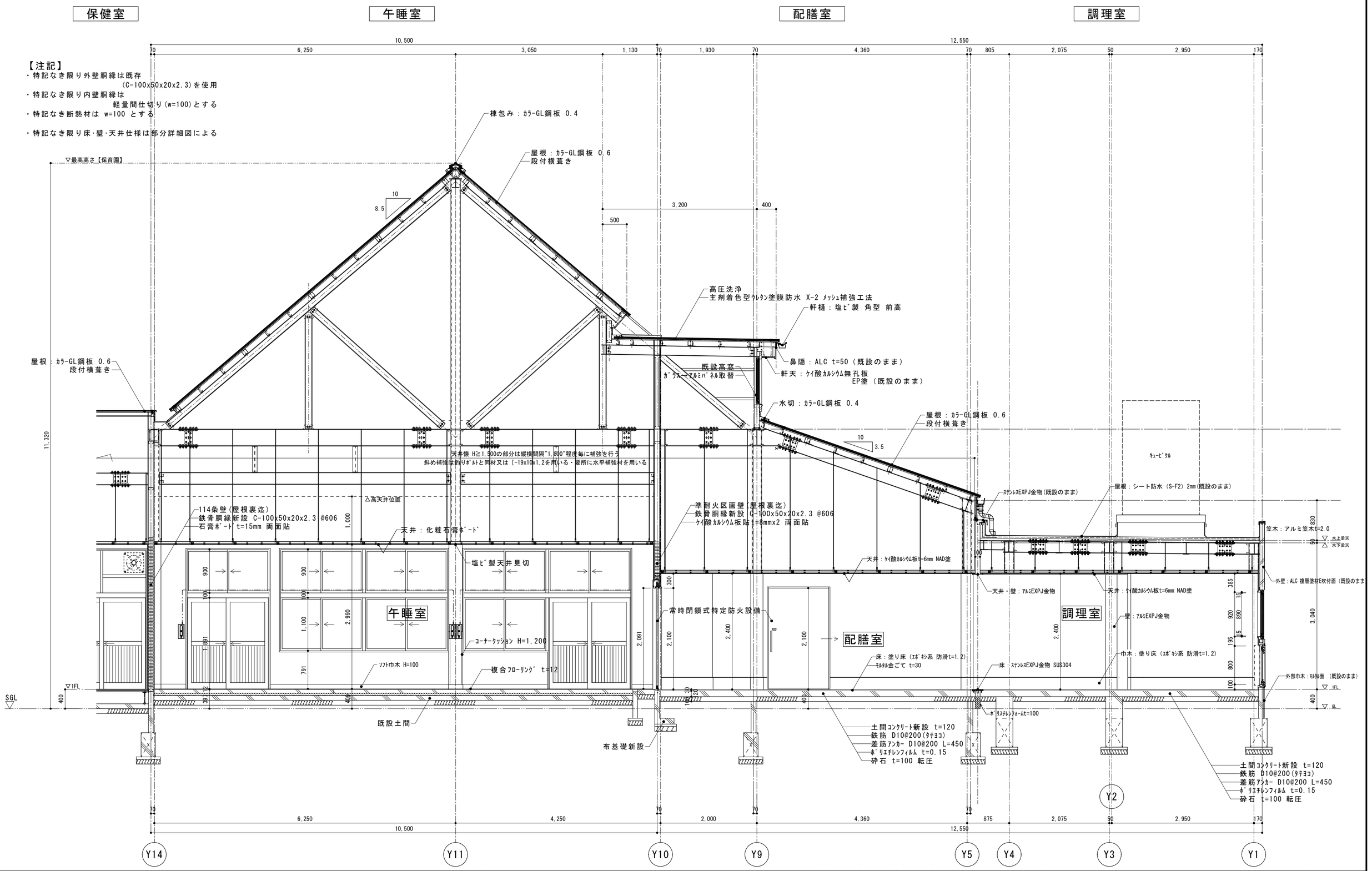
・特記なき限り床・壁・天井仕様は部分詳細図による



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-037
縮 尺 1/50	図面名 3歳児保育室 断面詳細図	（原図A2）

【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする
・特記なき限り床・壁・天井仕様は部分詳細図による

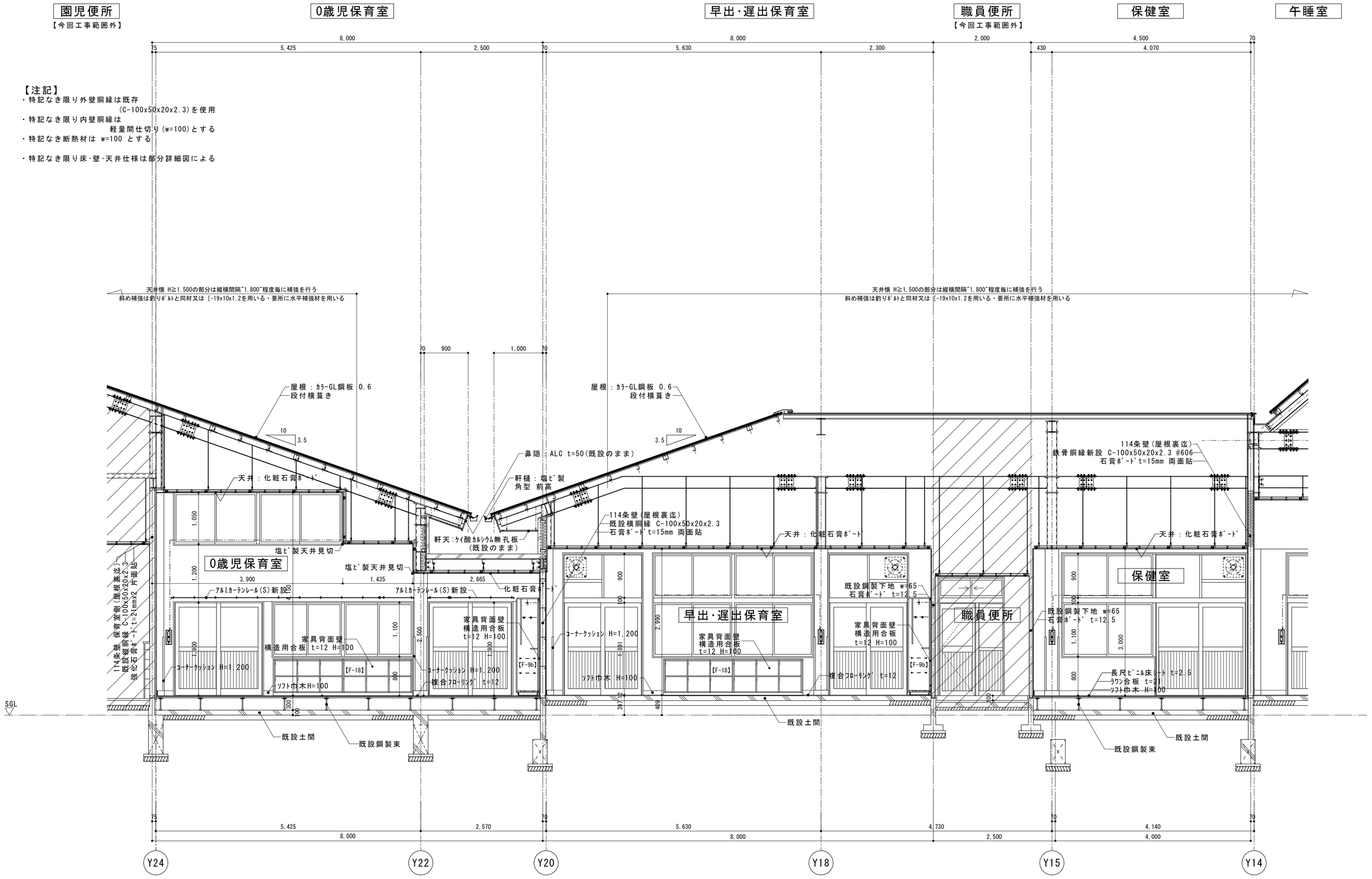


内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-038
縮 尺 1/50	図面名 午睡室・厨房 断面詳細図	（原図A2）

【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

・特記なき限り床･壁･天井仕様は部分詳細図による

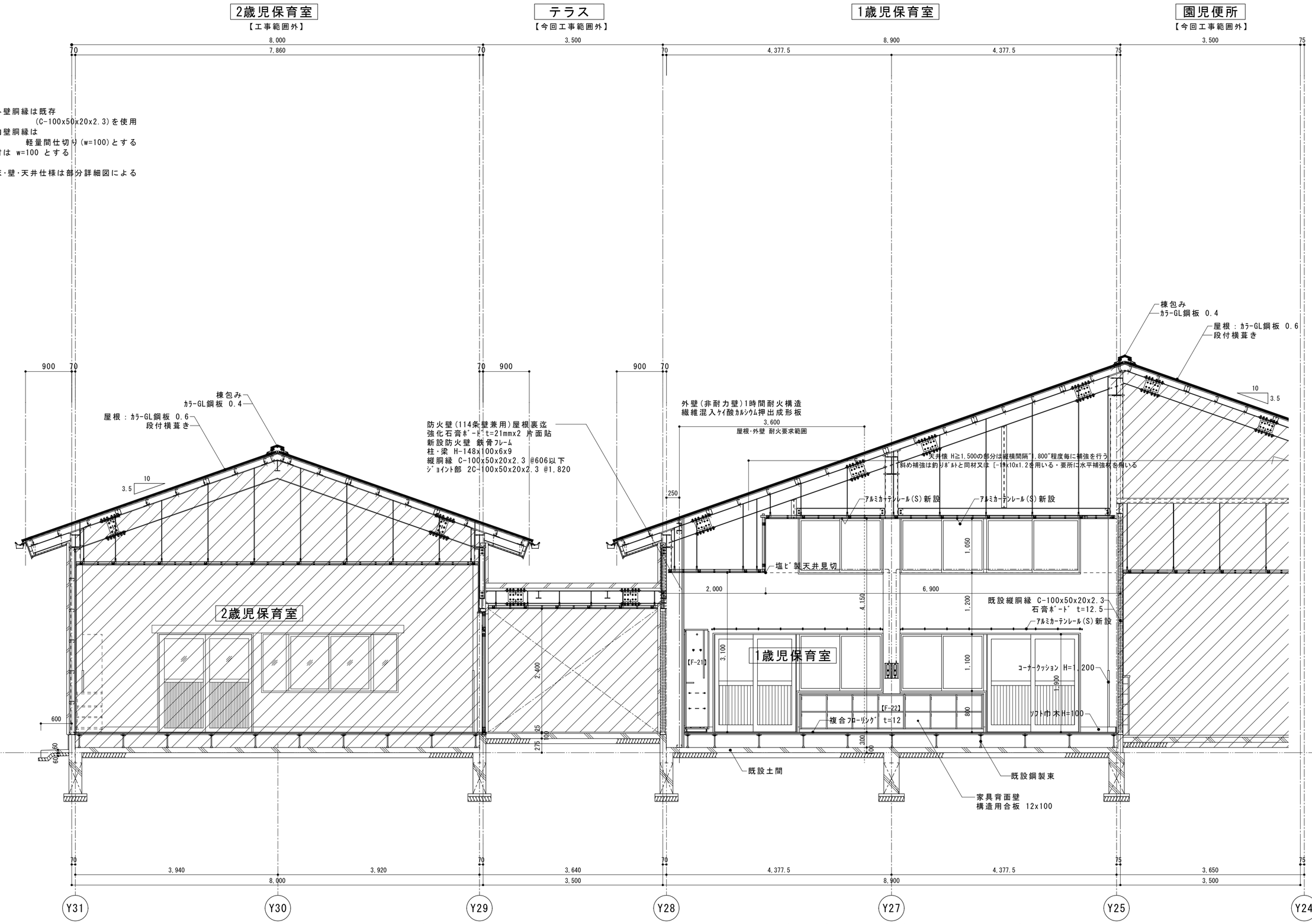


内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-039
縮 尺 1/50	図面名 0歳児保育室･早出遅出保育室 断面詳細図	（原図A2）

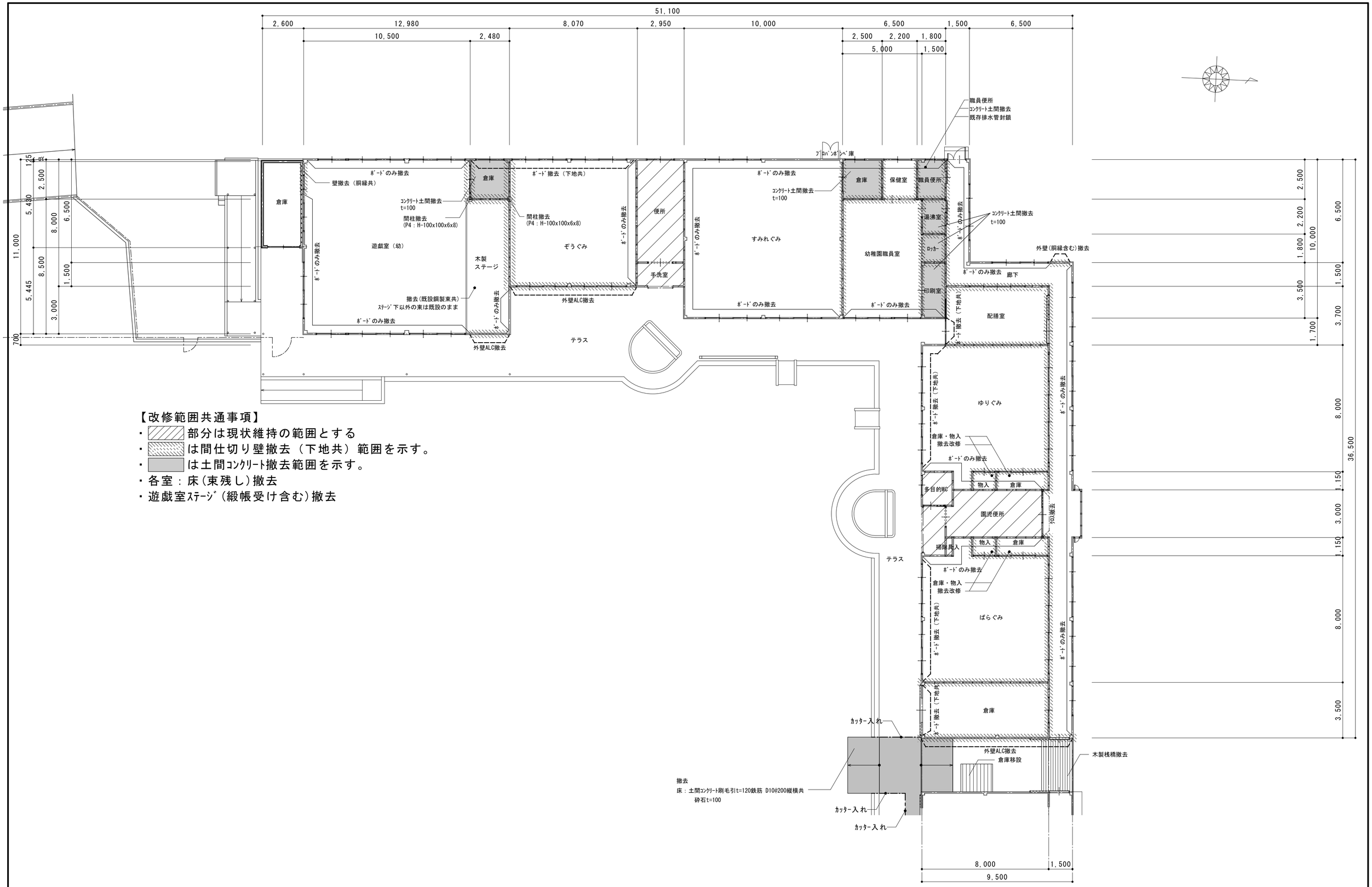
【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

・特記なき限り床･壁･天井仕様は部分詳細図による



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-040
縮 尺 1/50	図 面 名 2歳児･1歳児保育室 断面詳細図	（原図A2）



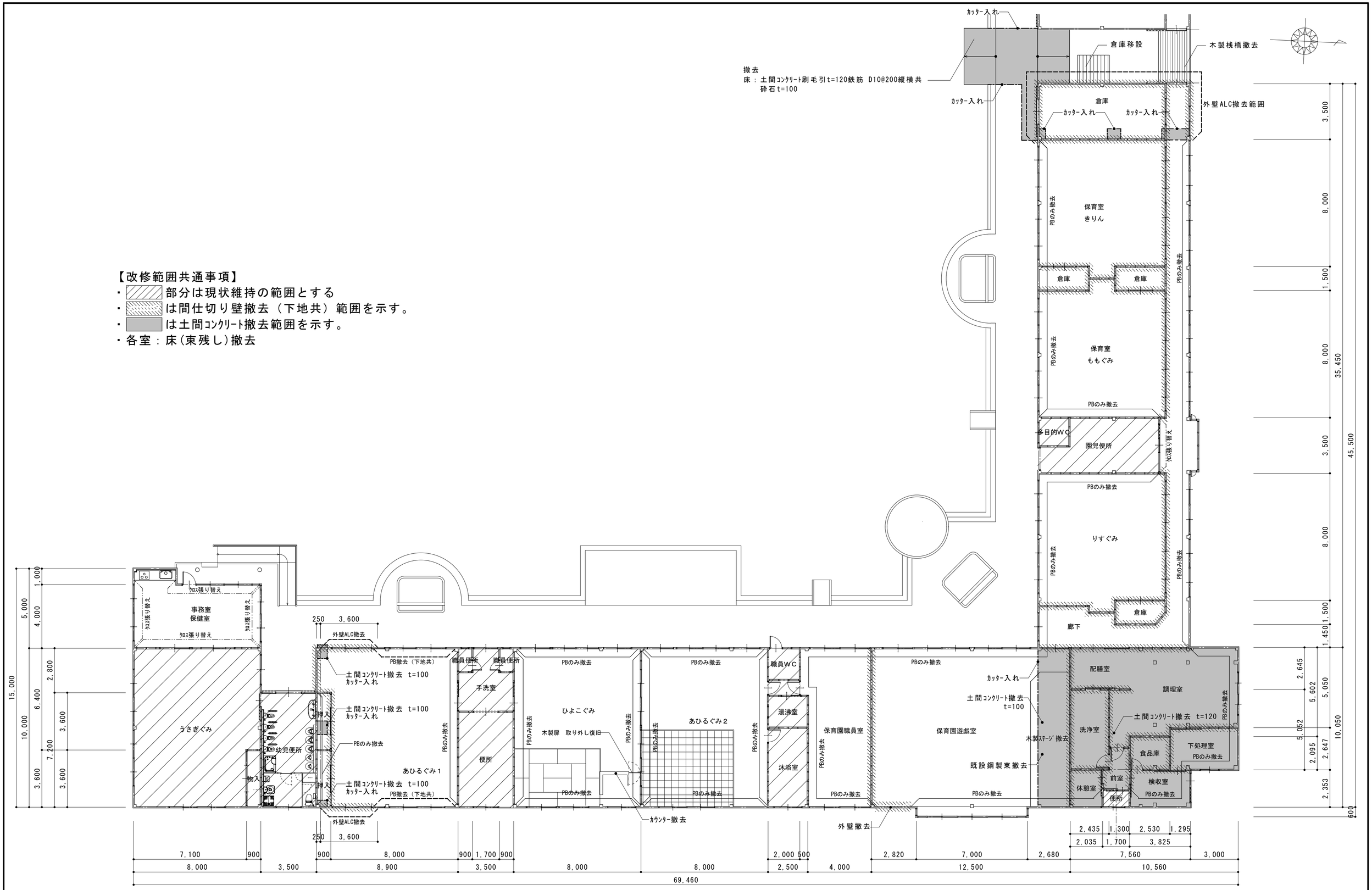
【改修範囲共通事項】

- ▨ 部分は現状維持の範囲とする
- ▨ は間仕切り壁撤去（下地共）範囲を示す。
- ▭ は土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去範囲を示す。
- 各室：床（束残し）撤去
- 遊戯室ｽﾃｰｼﾞ（緞帳受け含む）撤去

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

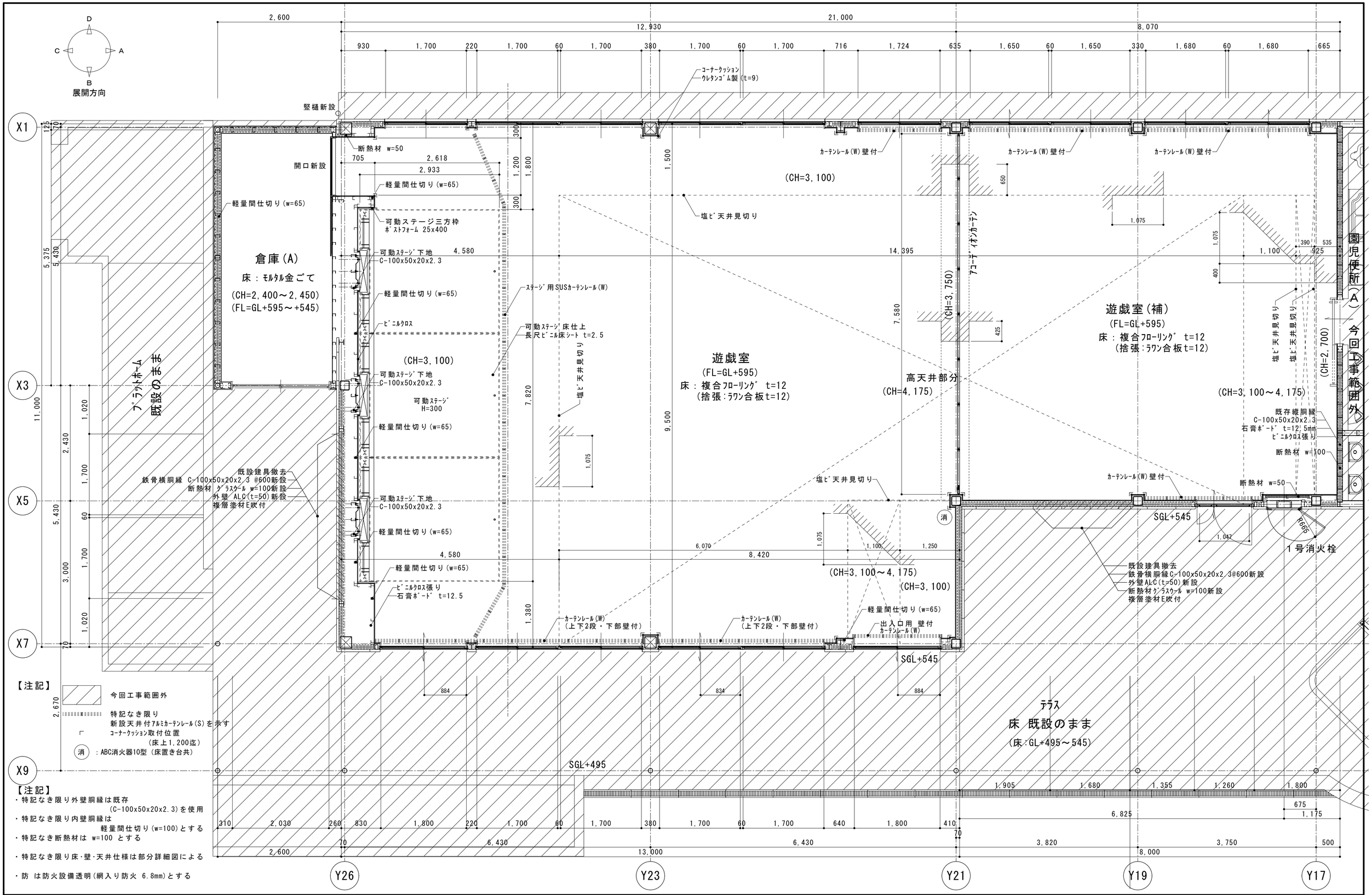
年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-041
縮尺 1/150	図面名 改修前 幼稚園 平面図	（原図A2）

【改修範囲共通事項】
・ 部分は現状維持の範囲とする
・ は間仕切り壁撤去（下地共）範囲を示す。
・ は土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去範囲を示す。
・各室：床(束残し)撤去



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-042
縮 尺 1/150	図 面 名 改修前 保育園 平面図	（原図A2）



【注記】

今回工事範囲外

特記なき限り
新設天井付ｱﾙﾐｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(S)を示す

ｺｰﾅｰｸｯｼｮﾝ取付位置
(床上1,200迄)

消 ：ABC消火器10型（床置き台共）

【注記】

・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用

・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする

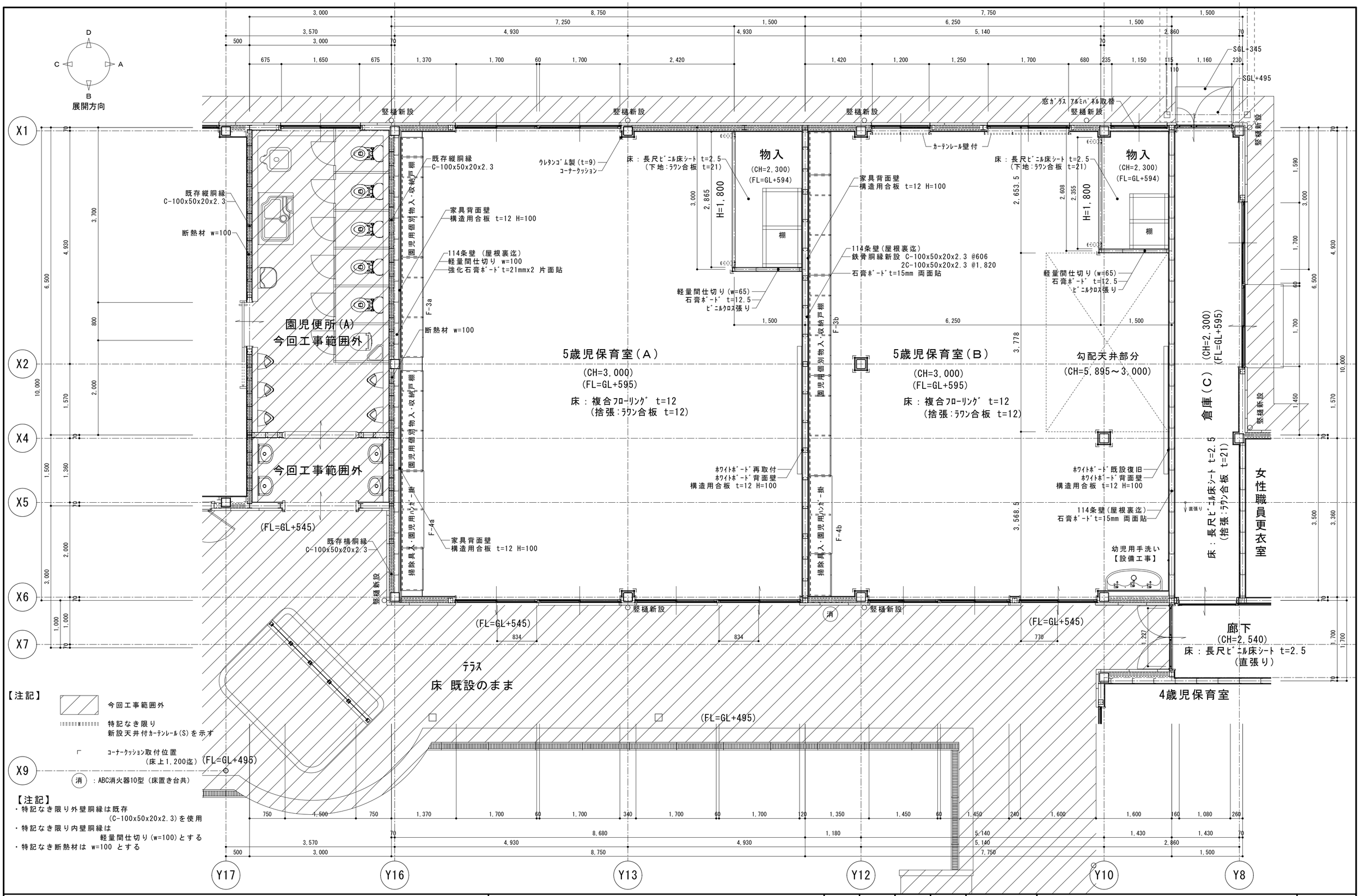
・特記なき断熱材は w=100 とする

・特記なき限り床・壁・天井仕様は部分詳細図による

・防 は防火設備透明(網入り防火 6.8mm)とする

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-043
縮 尺 1/50	図 面 名 改修後 遊戯室 平面詳細図	（原図A2）



【注記】

今回工事範囲外

特記なき限り
新設天井付カーテンレール(S)を示す

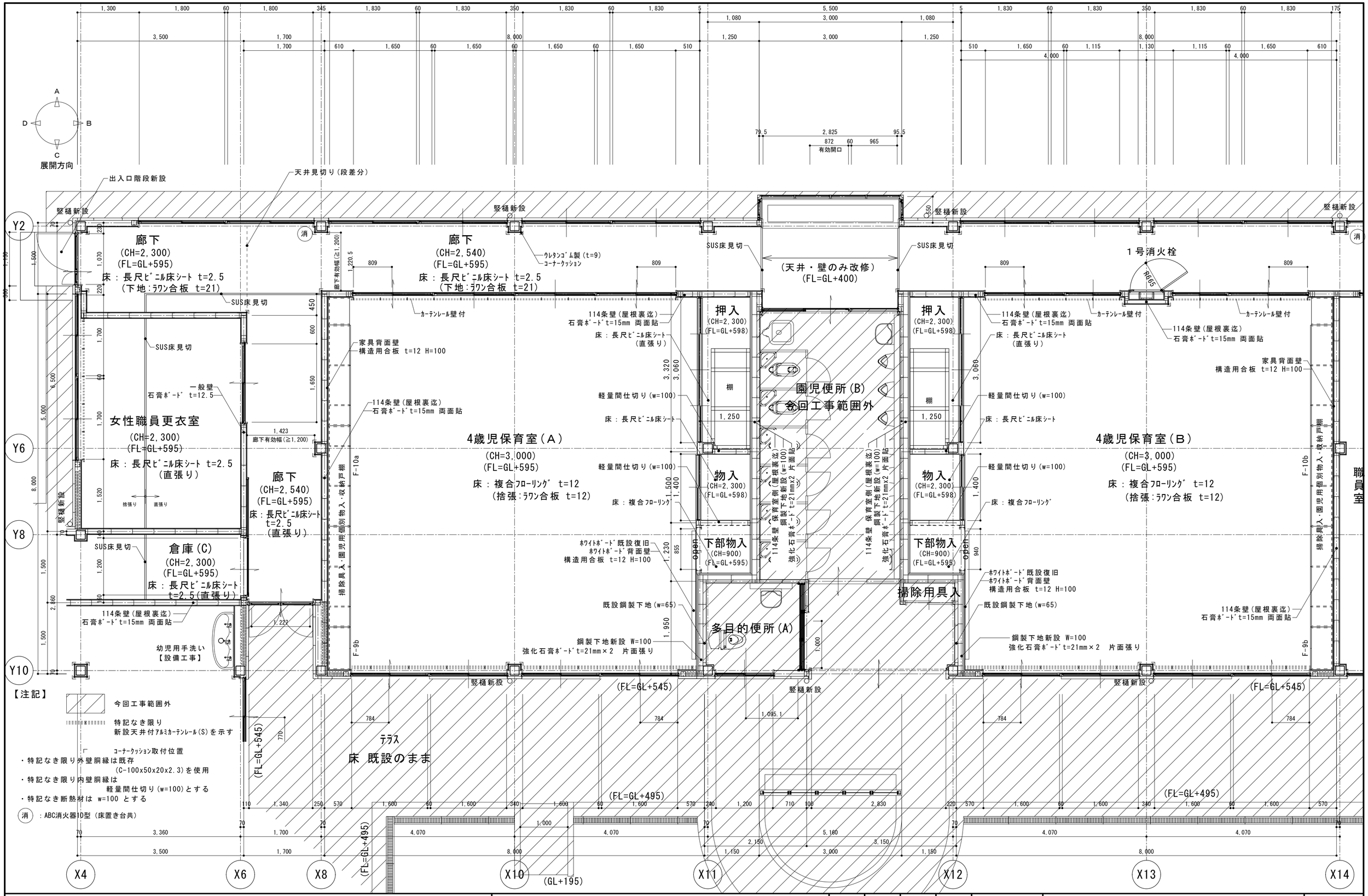
コーナークッション取付位置
(床上1,200迄)

消 ：ABC消火器10型（床置き台共）

【注記】
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

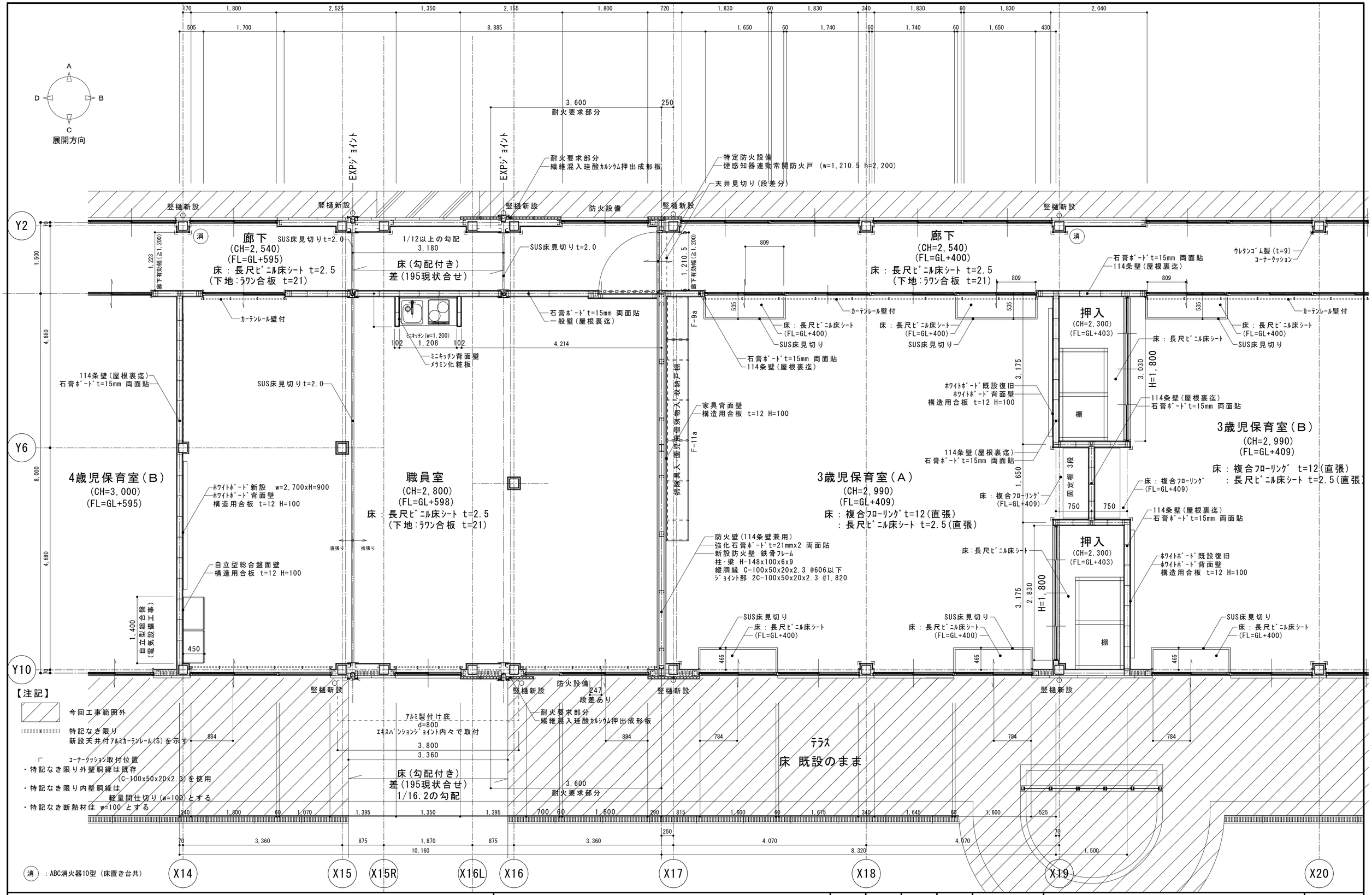
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 （仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号
縮尺 1/50	図面名 改修後 5歳児保育室 平面詳細図	A-044
		（原図A2）



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-045
縮尺 1/50	図面名 改修後 4歳児保育室 平面詳細図	(原図A2)



【注記】

今回工事範囲外

特記なき限り
新設天井付ｱﾙﾐｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(S)を示す

ｺｰﾅｰｸｯｼｮﾝ取付位置

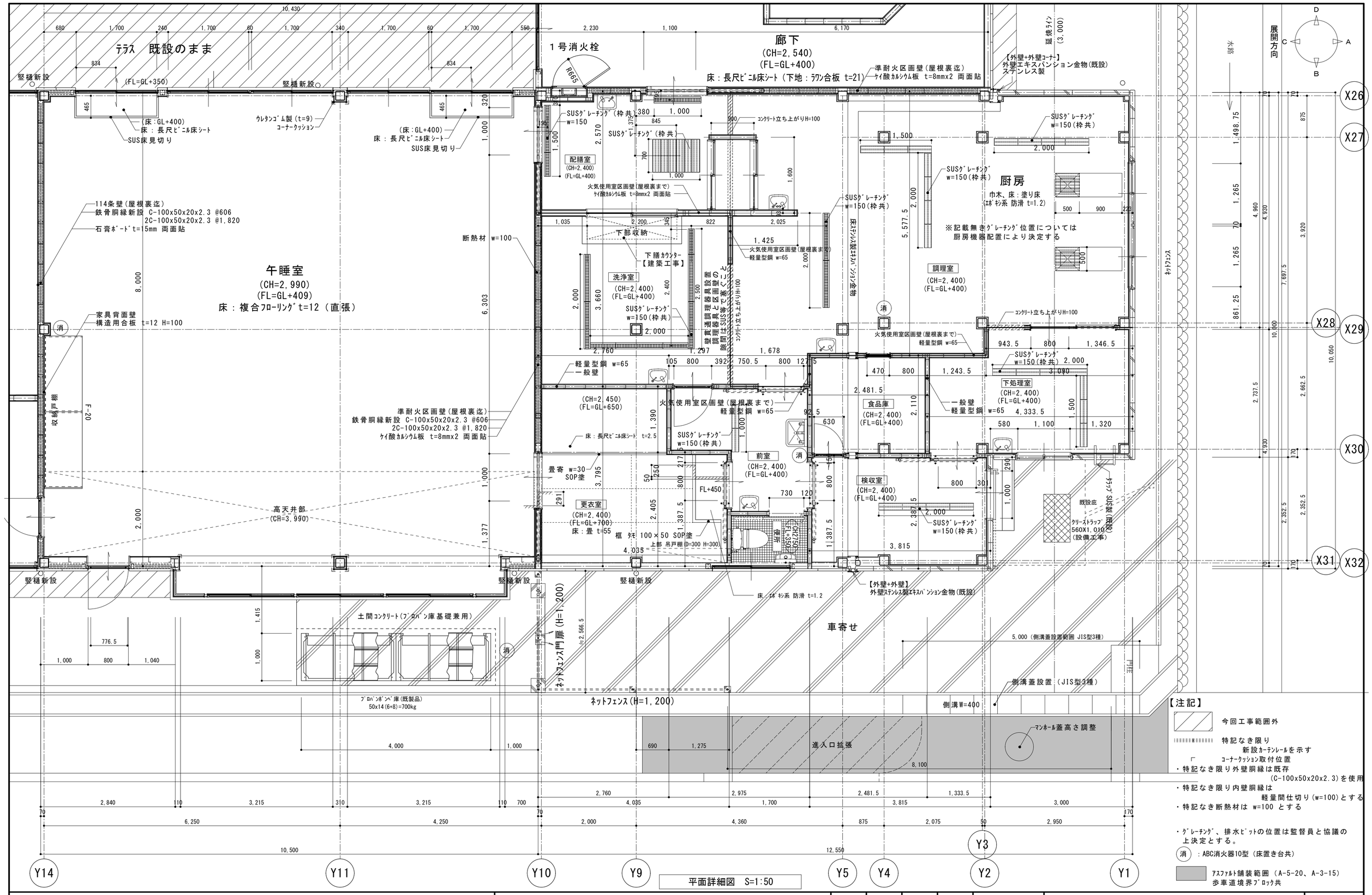
・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用

・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする

・特記なき断熱材は w=100とする

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-046
縮尺 1/50	図面名 改修後 職員室・3歳児保育室 平面詳細図	(原図A2)



平面詳細図 S=1:50

【注記】

今回工事範囲外

特記なき限り
新設カーテンレールを示す

コーナークッション取付位置

・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用

・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする

・特記なき断熱材は w=100 とする

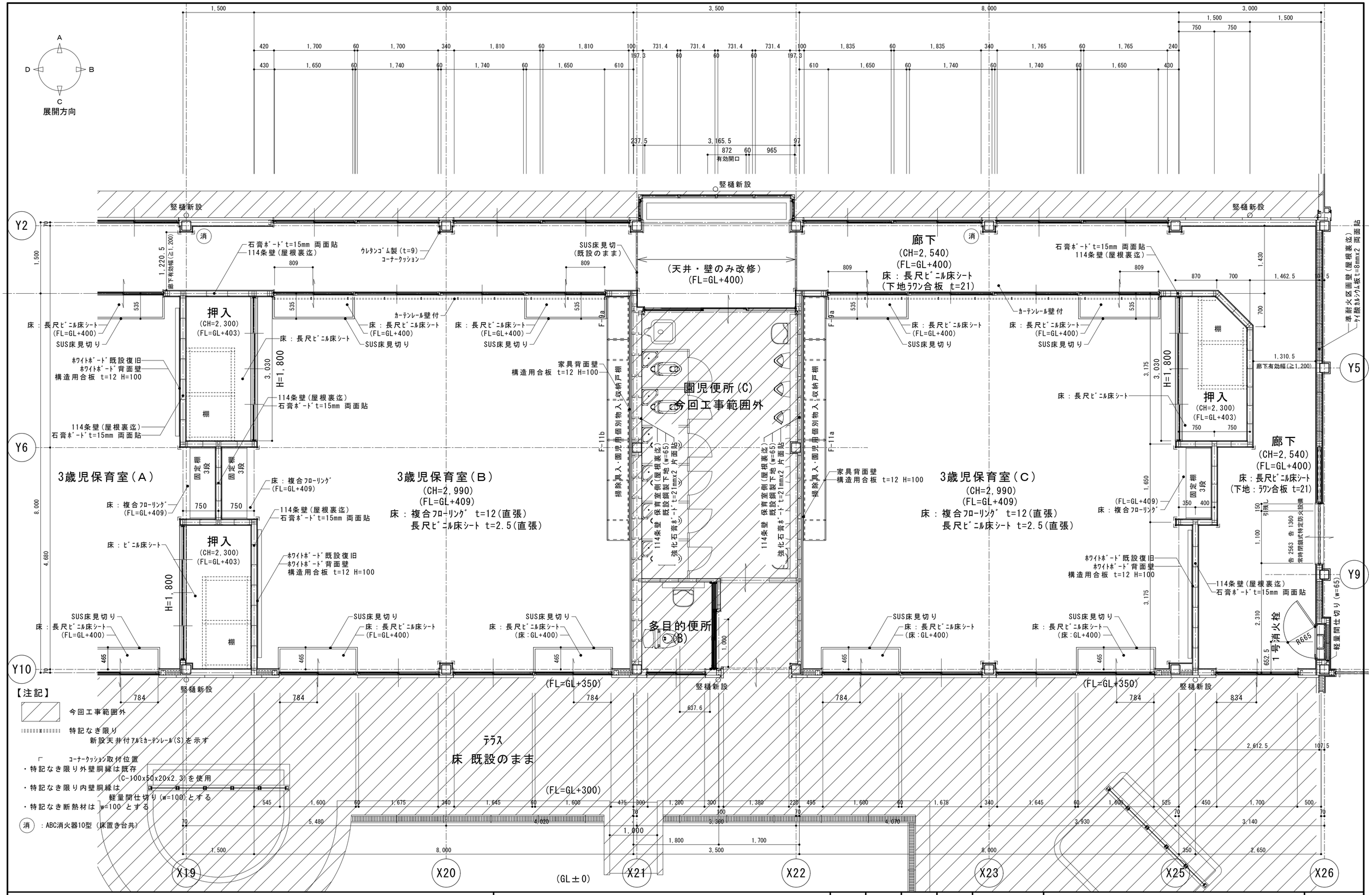
・グレーチング、排水ピットの位置は監督員と協議の
上決定とする。

消 ：ABC消火器10型（床置き台共）

アスファルト舗装範囲（A-5-20、A-3-15）
歩車道境界ブロック共

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-047
縮尺 1/50	図面名 改修後 厨房・午睡室 平面詳細図	(原図A2)



【注記】

今回工事範囲外

特記なき限り
新設天井付ｱﾙﾐｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(S)を示す

「 ｺｰﾅｰｸｯｼｮﾝ取付位置

・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用

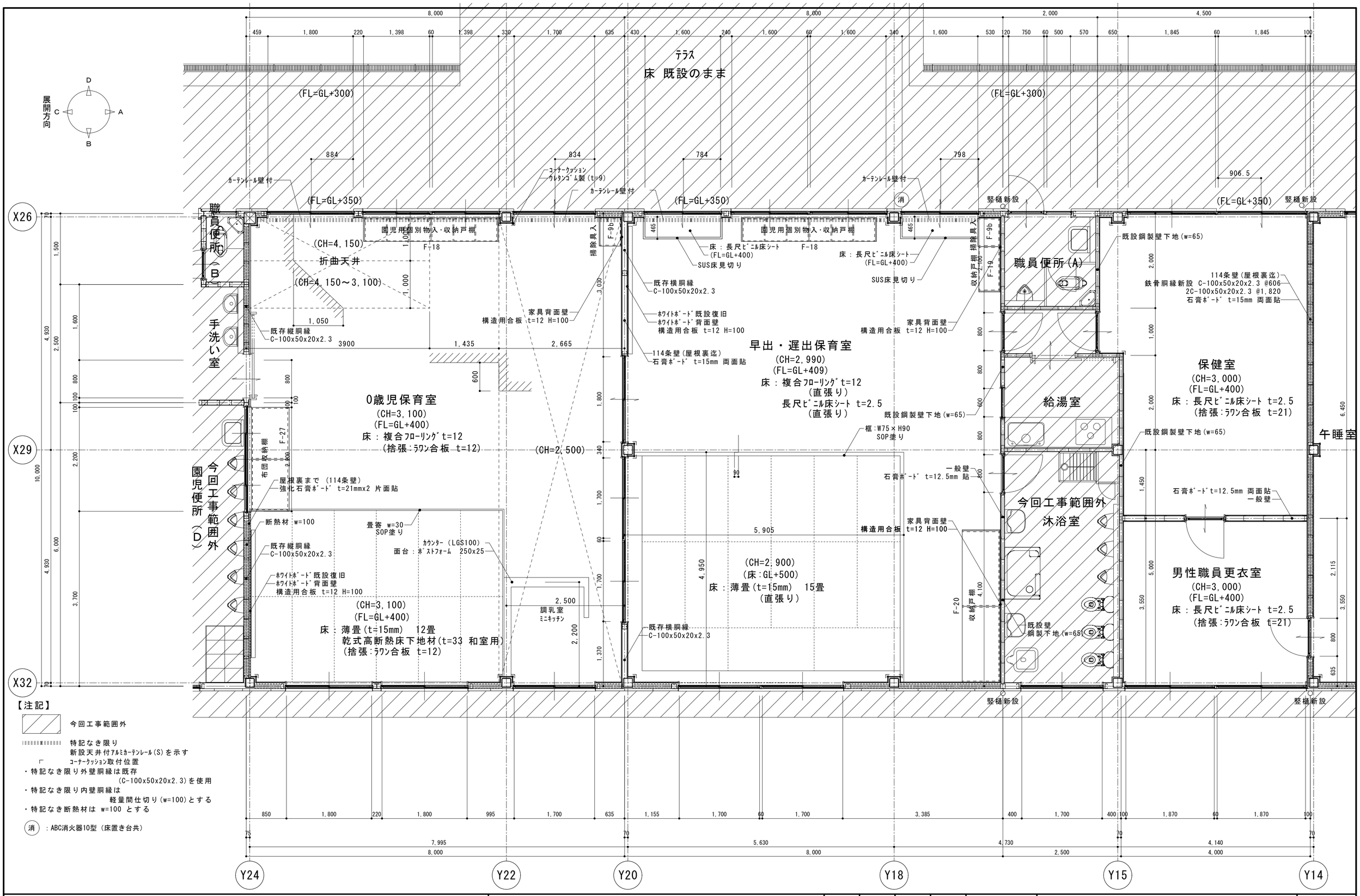
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする

・特記なき断熱材は w=100とする

(消)：ABC消火器10型（床置き台共）

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-048
縮尺 1/50	図面名 改修後 3歳児保育室 平面詳細図	（原図A2）



【注記】

今回工事範囲外

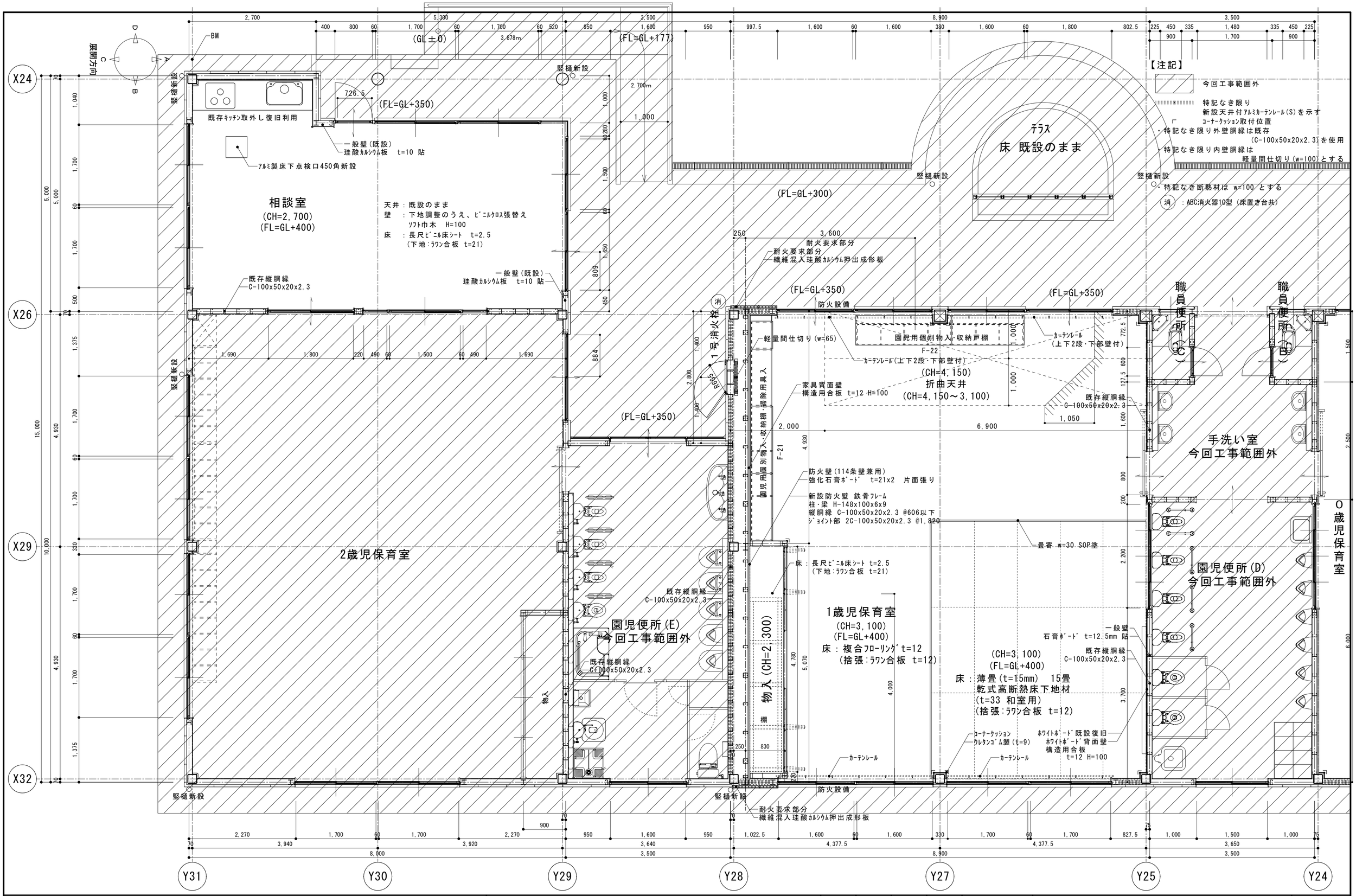
特記なき限り
新設天井付アルミカーテンレール(S)を示す
コーナークッション取付位置

・特記なき限り外壁胴縁は既存
(C-100x50x20x2.3)を使用
・特記なき限り内壁胴縁は
軽量間仕切り(w=100)とする
・特記なき断熱材は w=100 とする

消 ：ABC消火器10型（床置き台共）

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

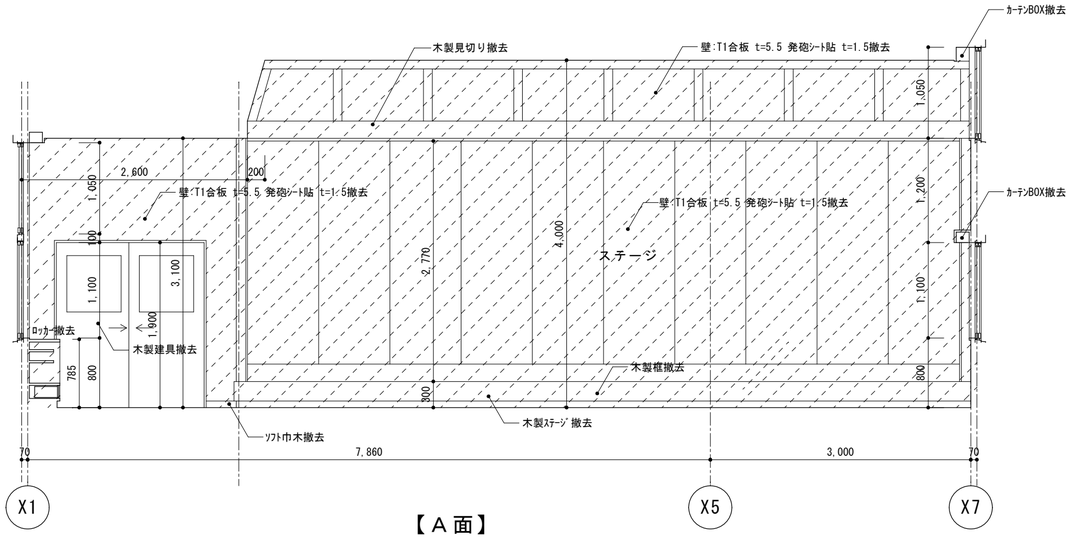
年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-049
縮尺 1/50	図面名 改修後 早出遅出保育室・保健室等 平面詳細図	（原図A2）



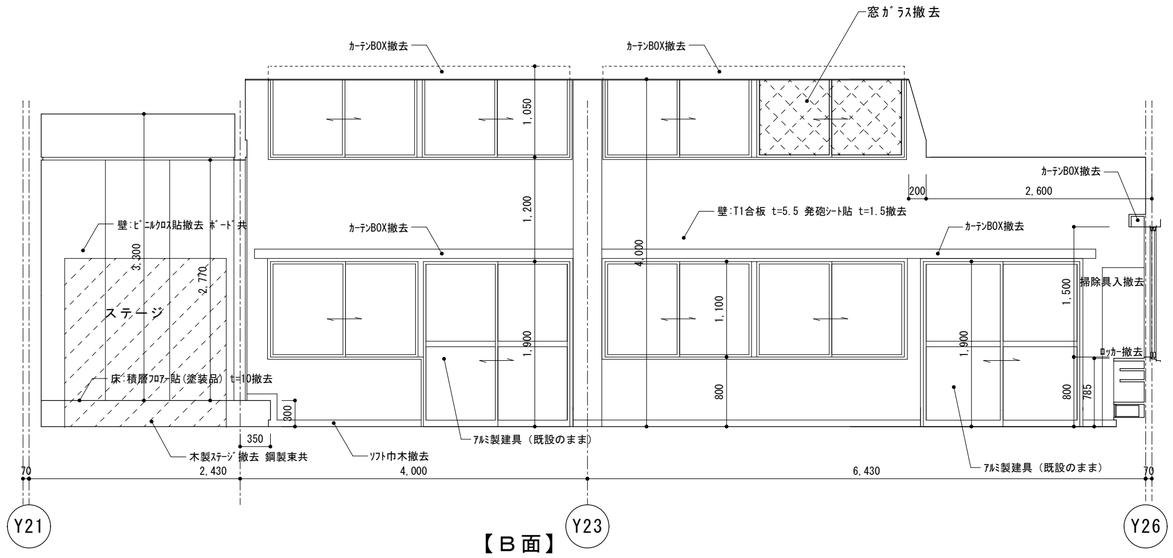
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-050
縮尺 1/50	図面名 改修後 2歳児・1歳児保育室等 平面詳細図	（原図A2）

改修前　旧幼稚園遊戯室



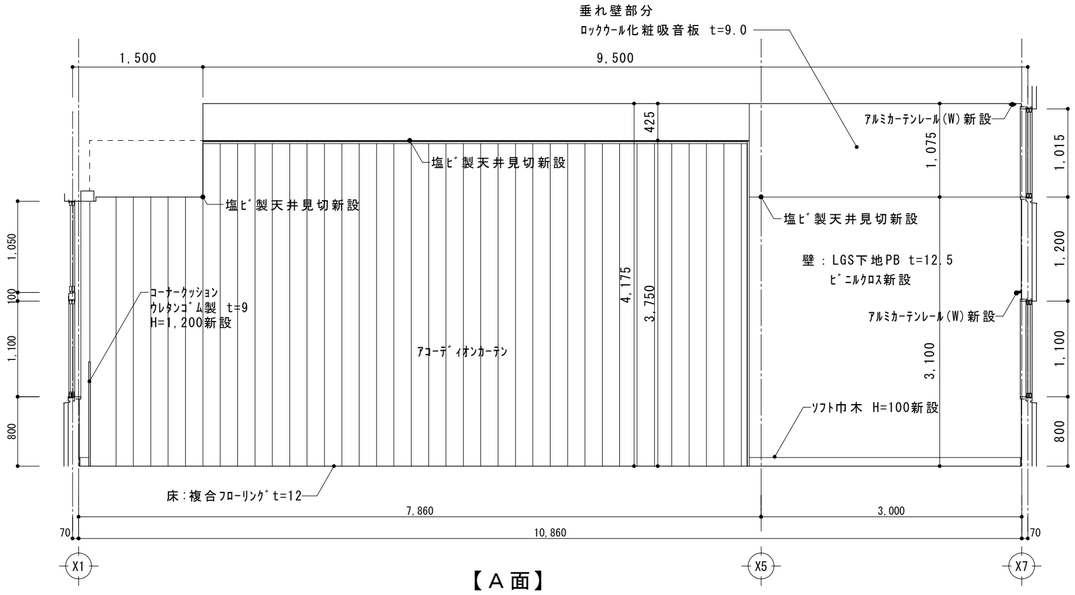
【Ａ面】



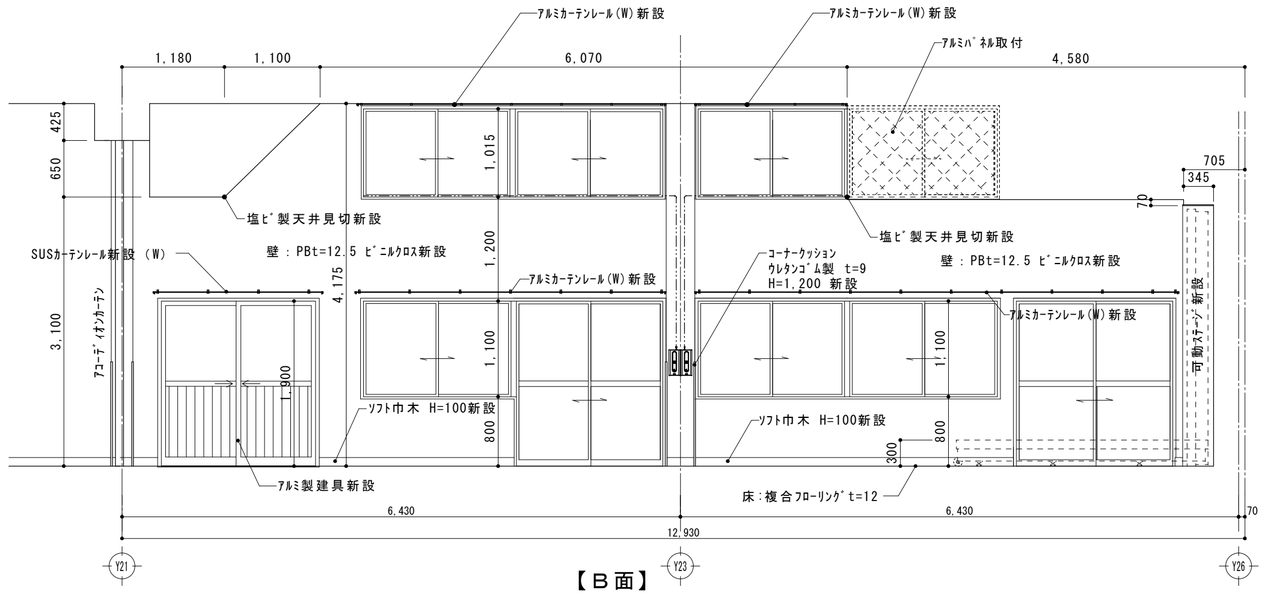
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

改修後　遊戯室



【Ａ面】

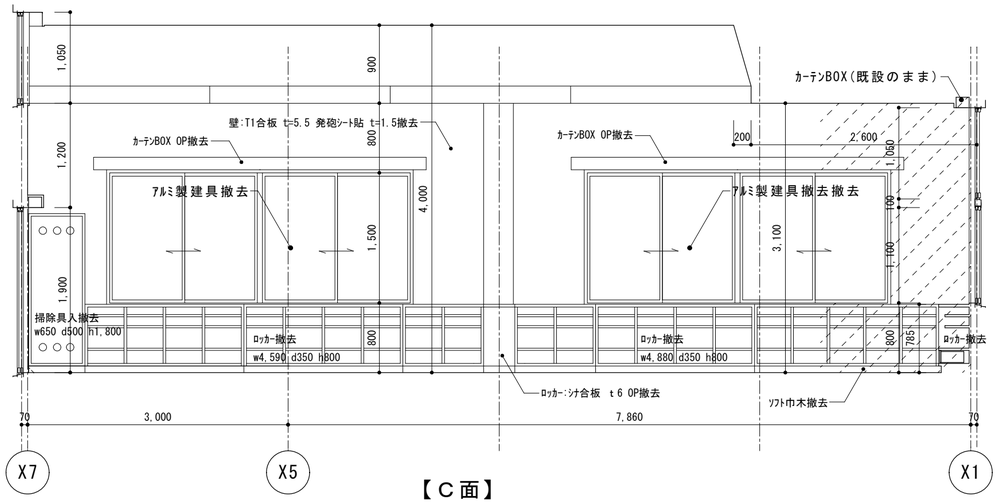


【Ｂ面】

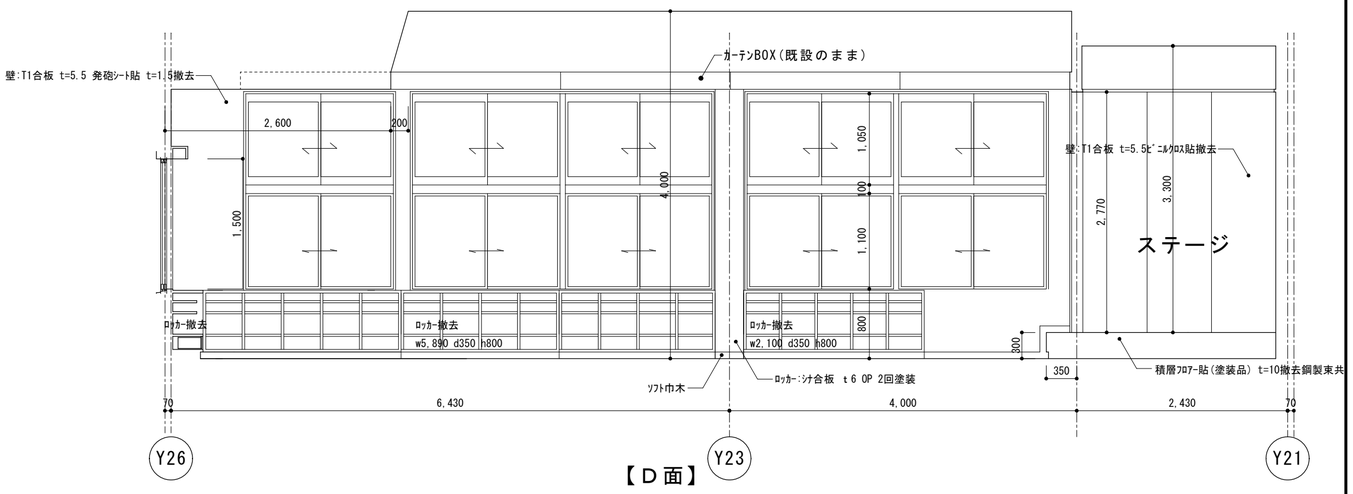
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-051
縮　尺 1/50	図面名 遊戯室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧幼稚園遊戯室



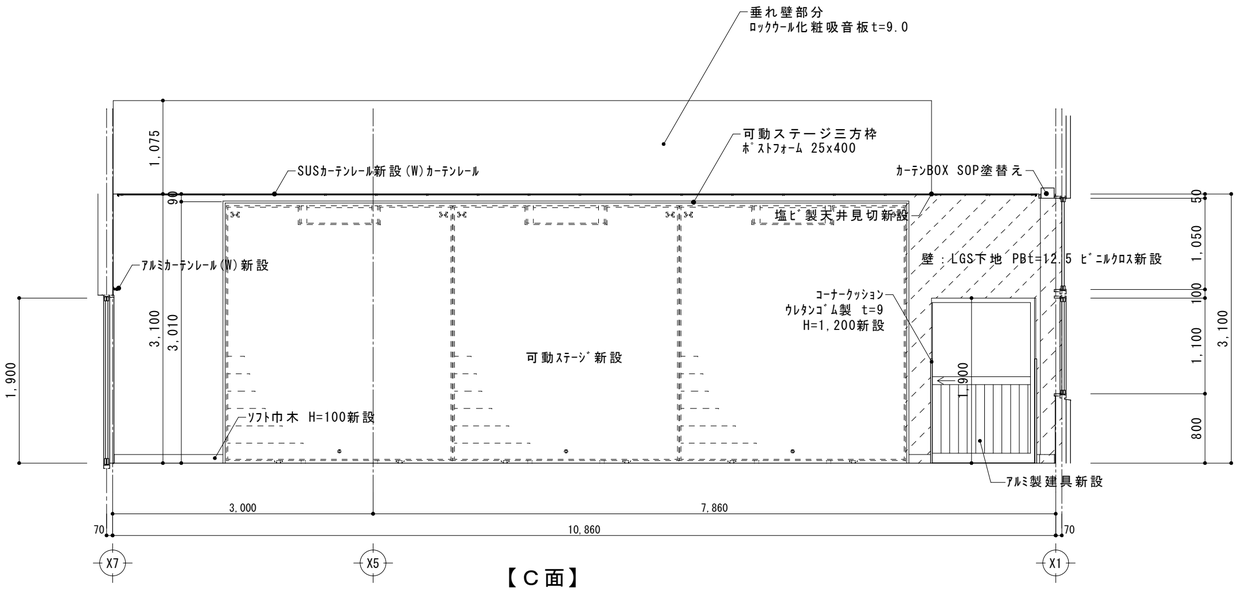
【C面】



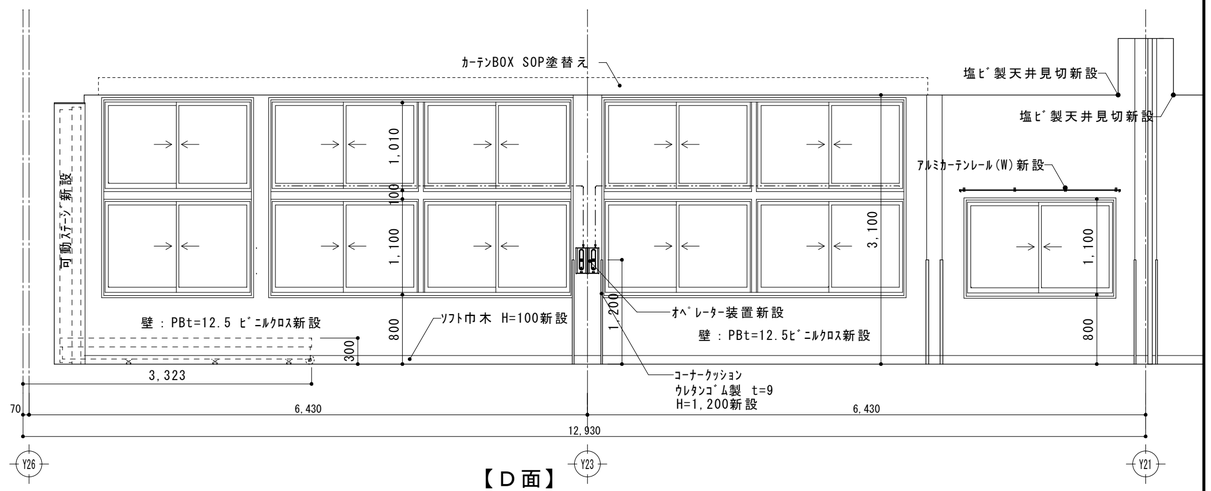
【D面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

改修後　遊戯室



【C面】



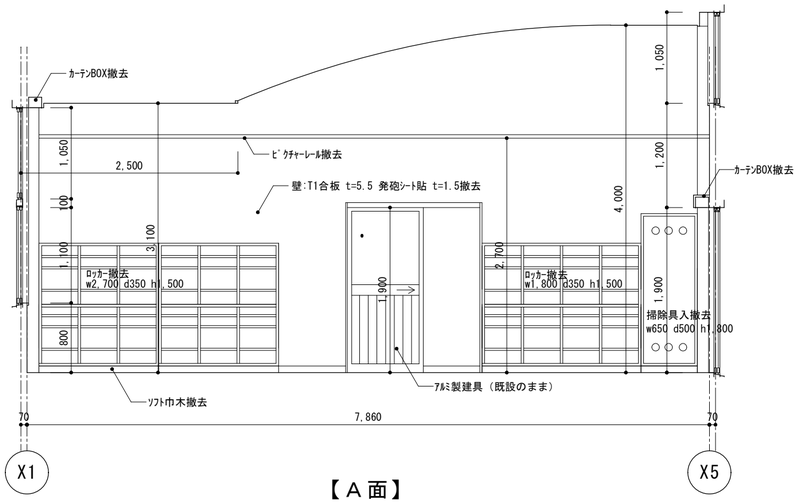
【D面】

：LGS下地PBt=12.5無機質クロス新設範囲を示す。

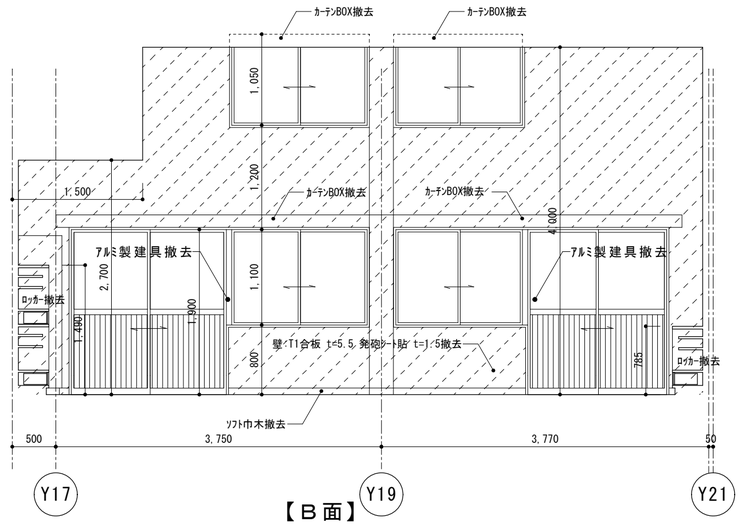
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-052
縮尺 1/50	図面名 遊戯室展開図-02	（原図A2）

改修前　旧幼稚園保育室（ぞうぐみ）



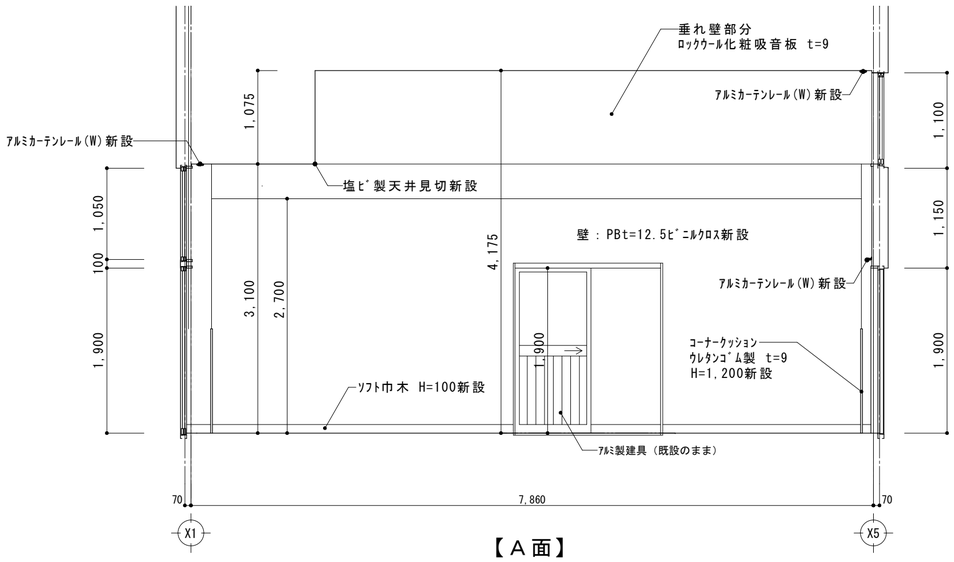
【Ａ面】



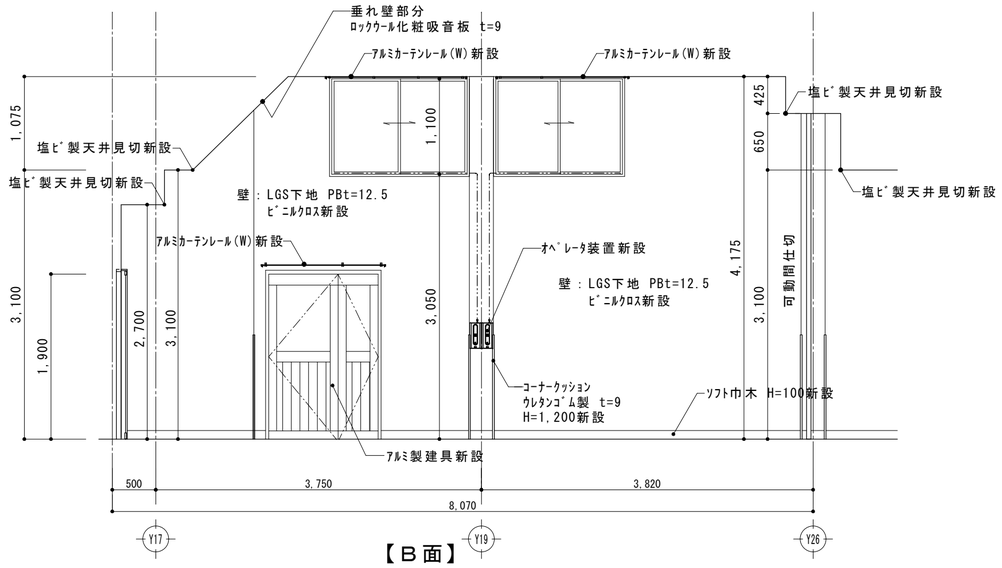
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

改修後　遊戯室（補）



【Ａ面】

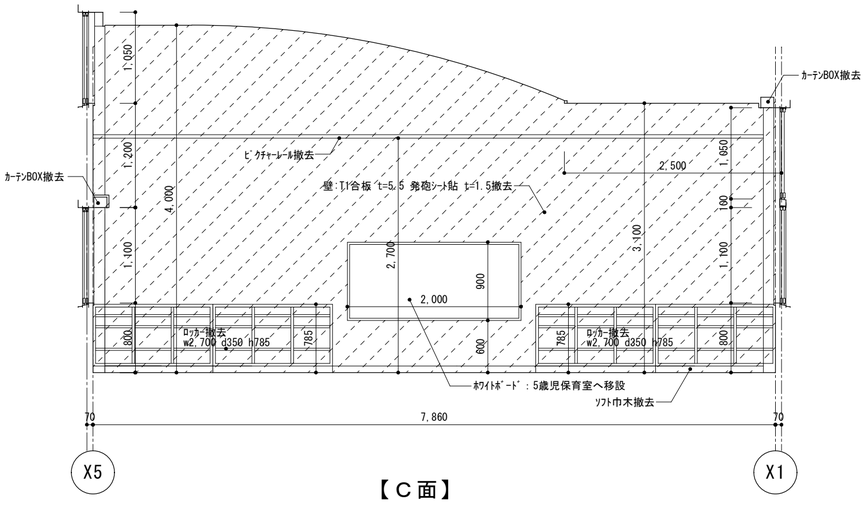


【Ｂ面】

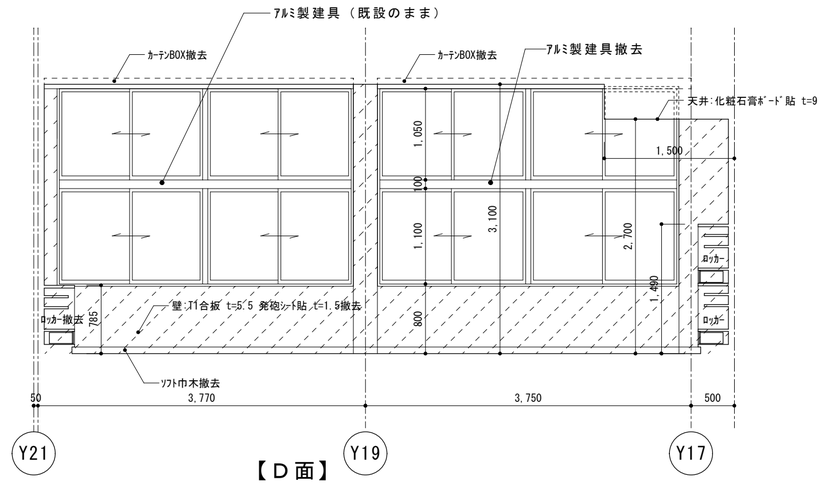
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-053
縮　尺 1/50	図面名 遊戯室展開図-03	（原図A2）

改修前　旧幼稚園保育室(ぞうぐみ)



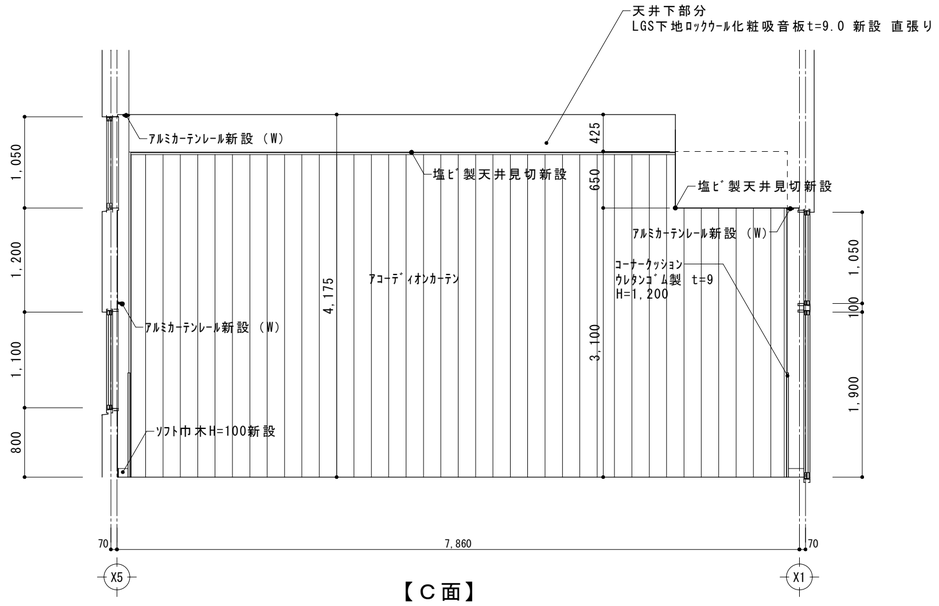
【C面】



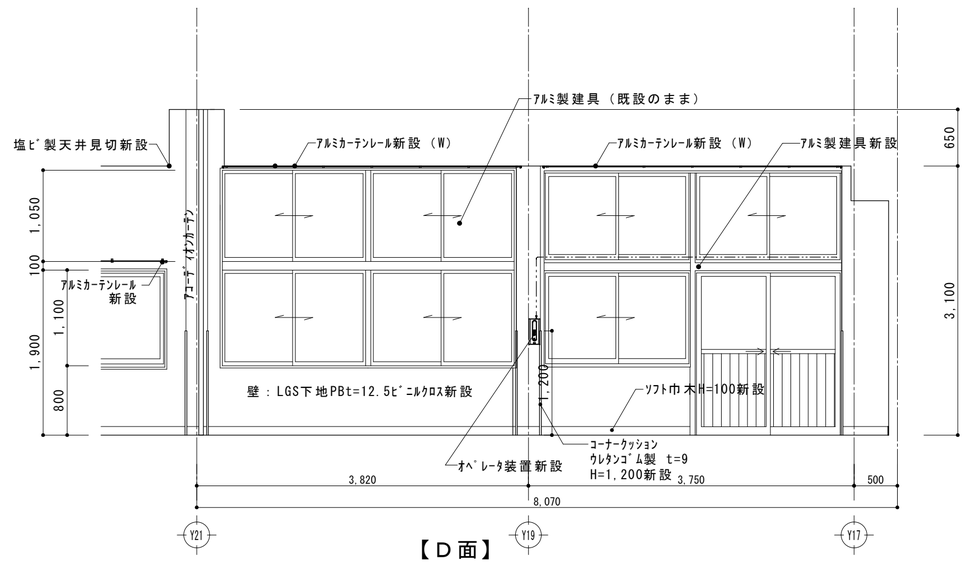
【D面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

改修後　遊戯室(補)



【C面】

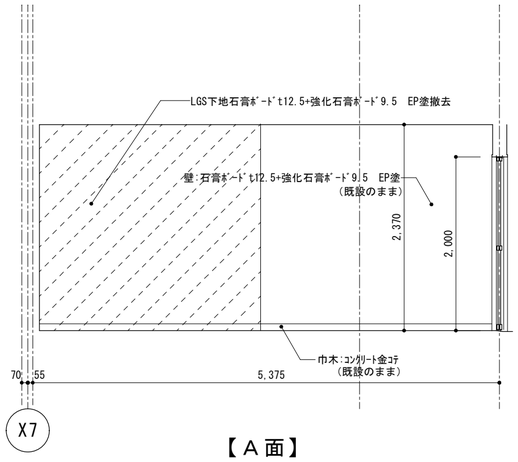


【D面】

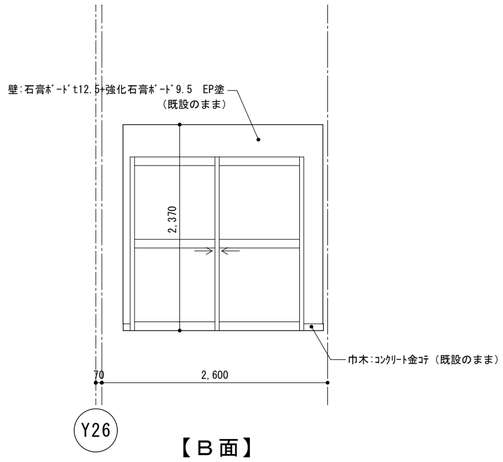
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-054
縮　尺 1/50	図面名 遊戯室展開図-04	（原図A2）

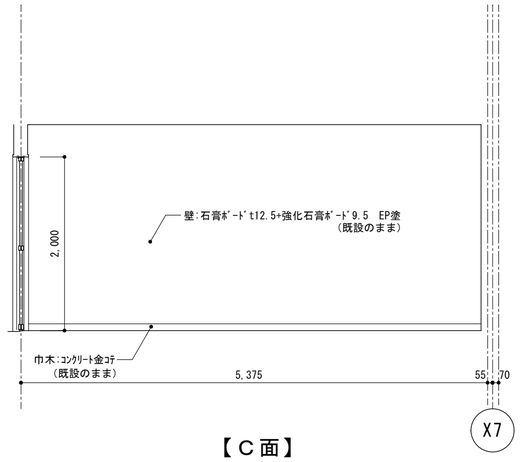
改修前　旧幼稚園倉庫



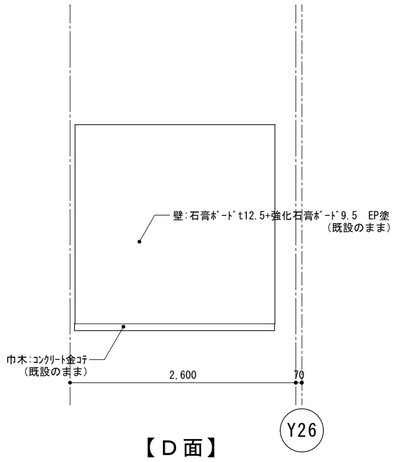
【Ａ面】



【Ｂ面】



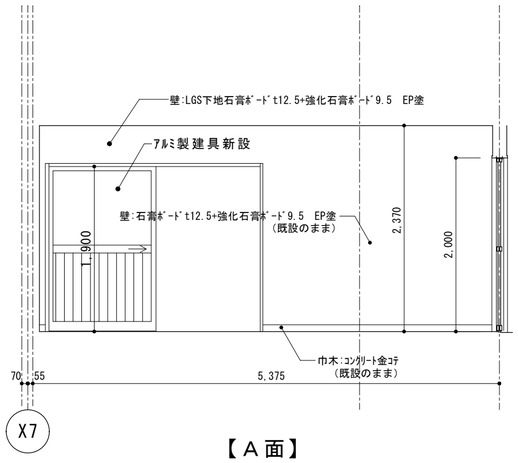
【Ｃ面】



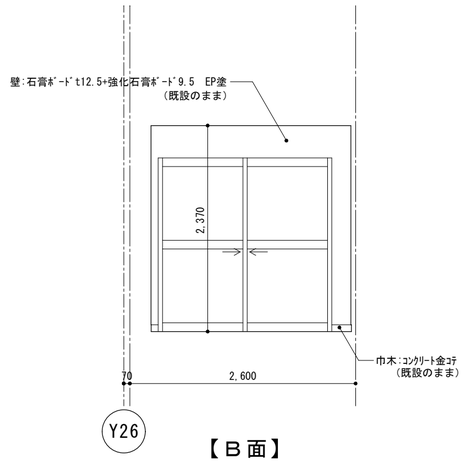
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

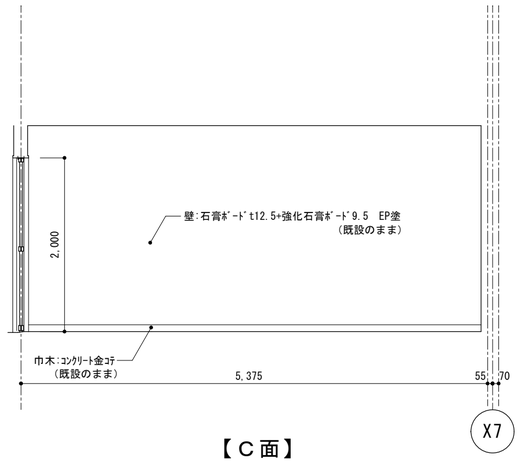
改修後　倉庫（Ａ）



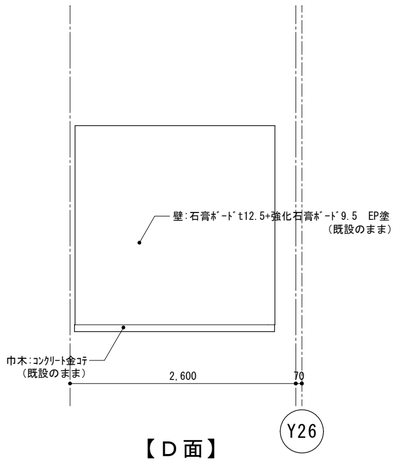
【Ａ面】



【Ｂ面】



【Ｃ面】

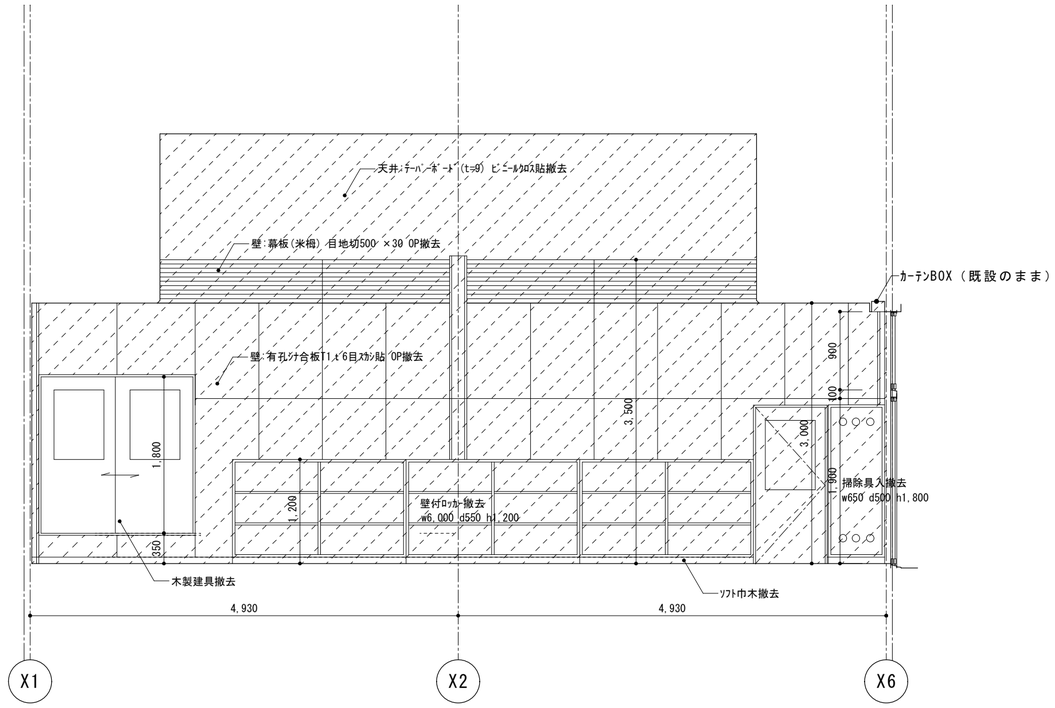


【Ｄ面】

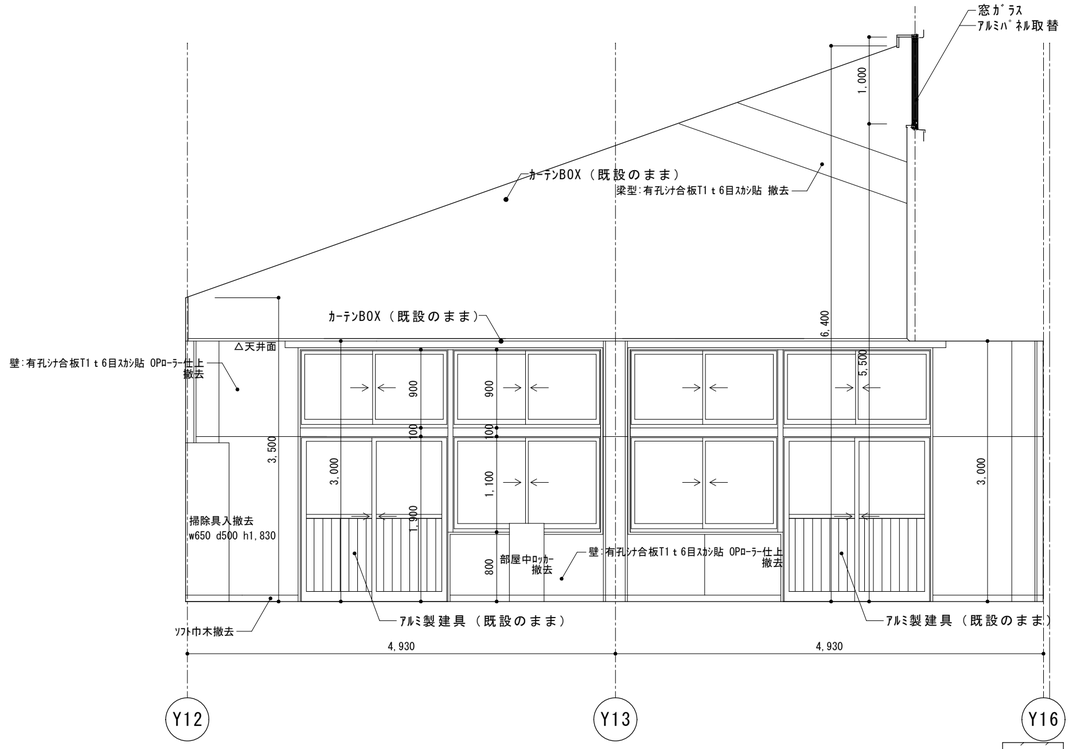
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-055
縮　尺 1/50	図面名 倉庫(A)展開図	（原図A2）

改修前　旧幼稚園保育室(すみれぐみ)



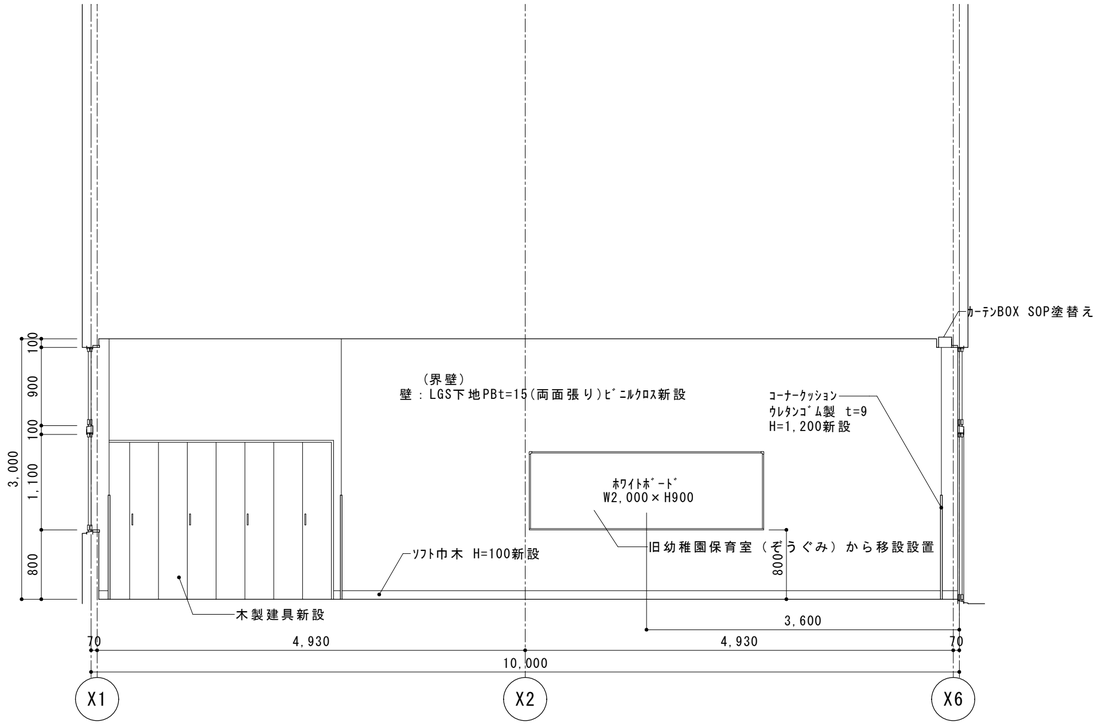
【Ａ面】



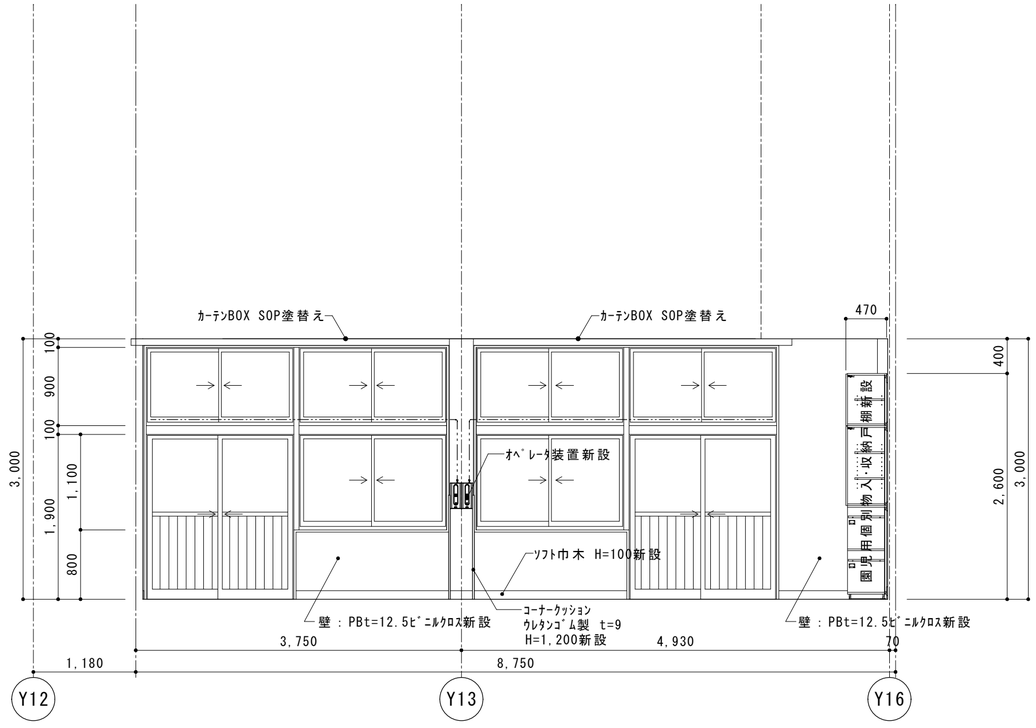
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

改修後　5歳児保育室(Ａ)



【Ａ面】

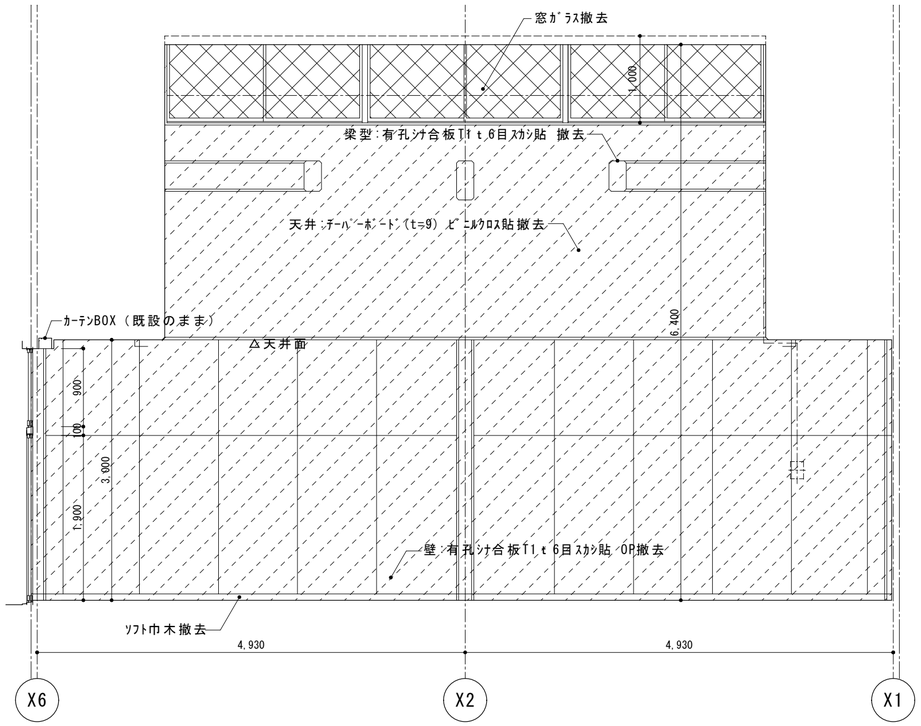


【Ｂ面】

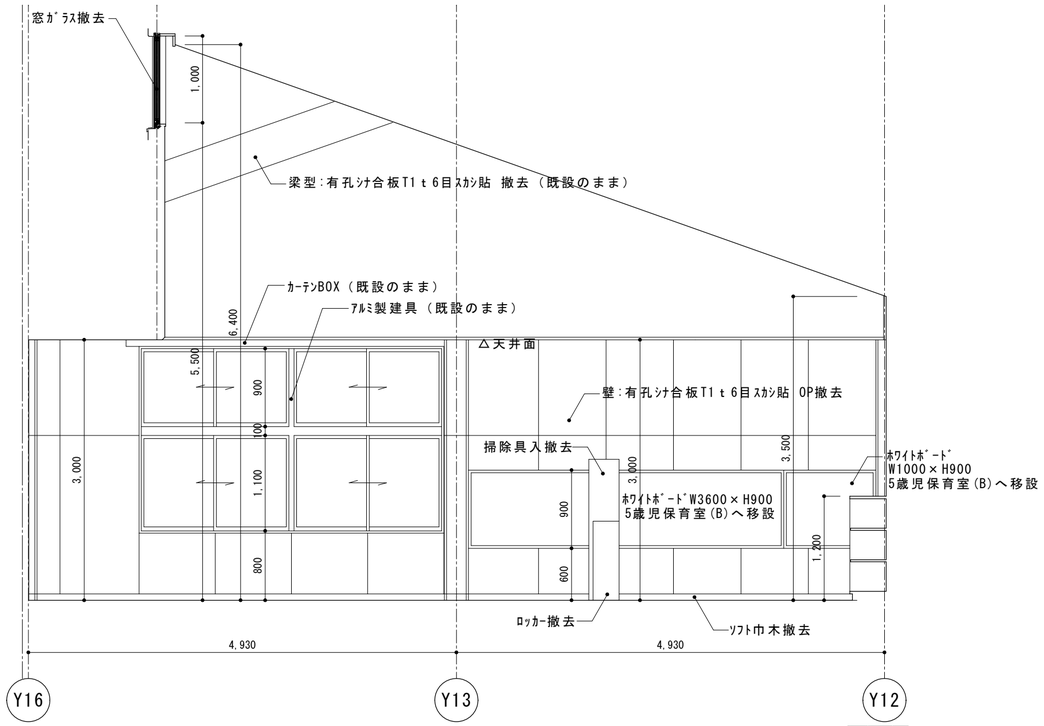
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-056
縮　尺 1/50	図面名 5歳児保育室(A)展開図-01	（原図A2）

改修前　旧幼稚園保育室(すみれぐみ)



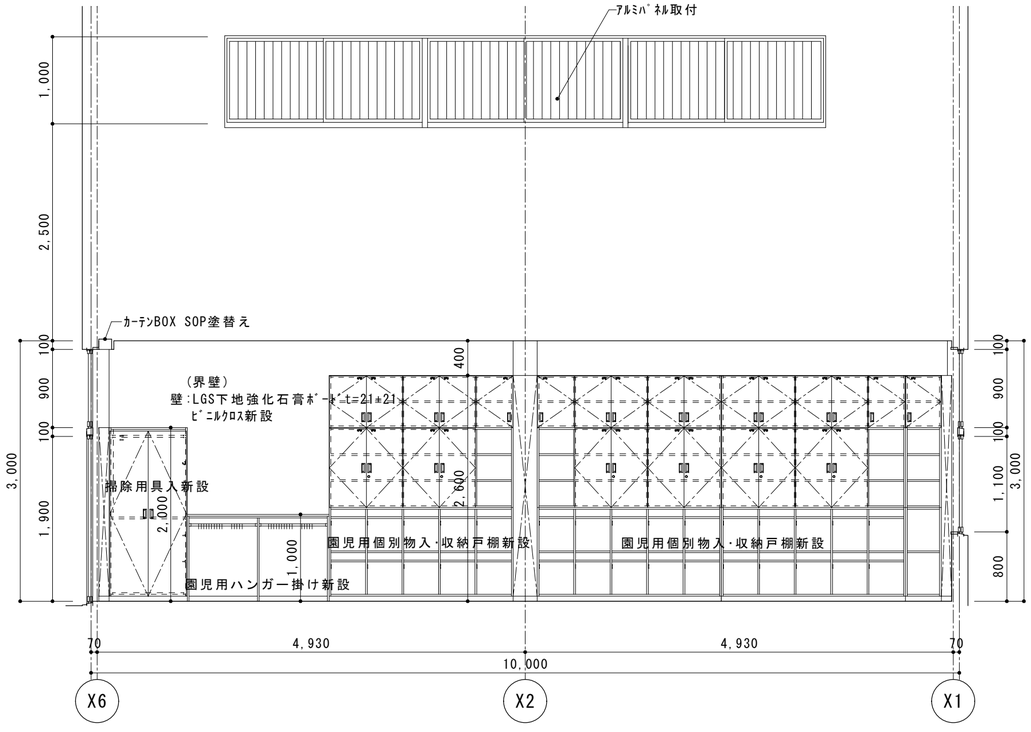
【Ｃ面】



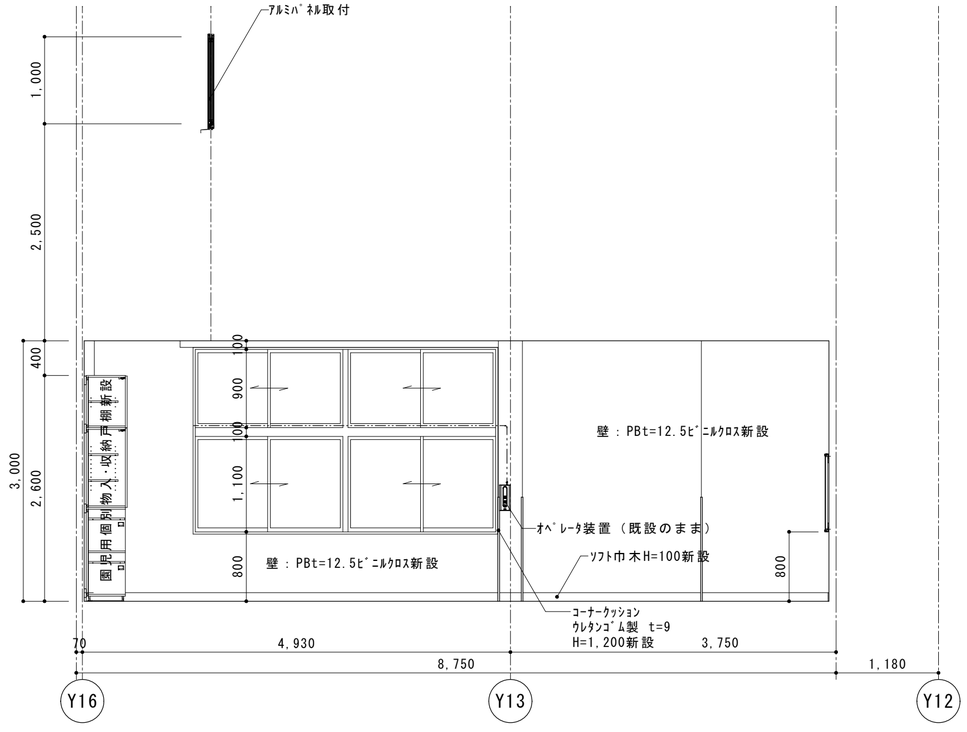
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

改修後　5歳児保育室（Ａ）



【Ｃ面】

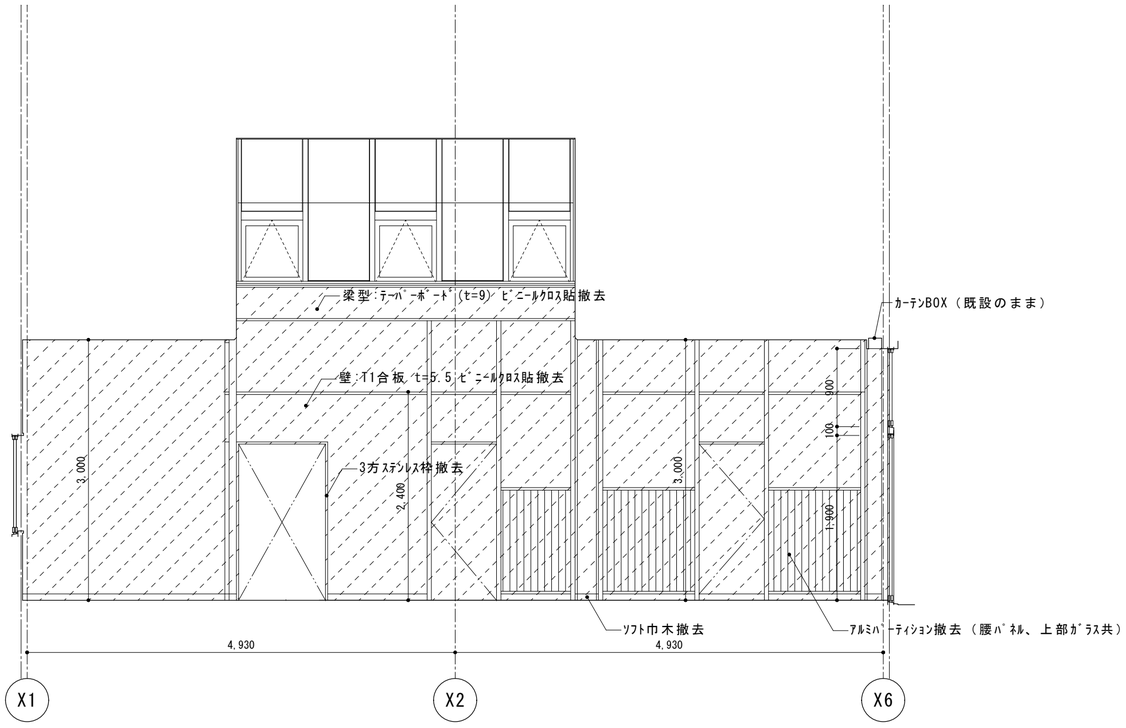


【Ｄ面】

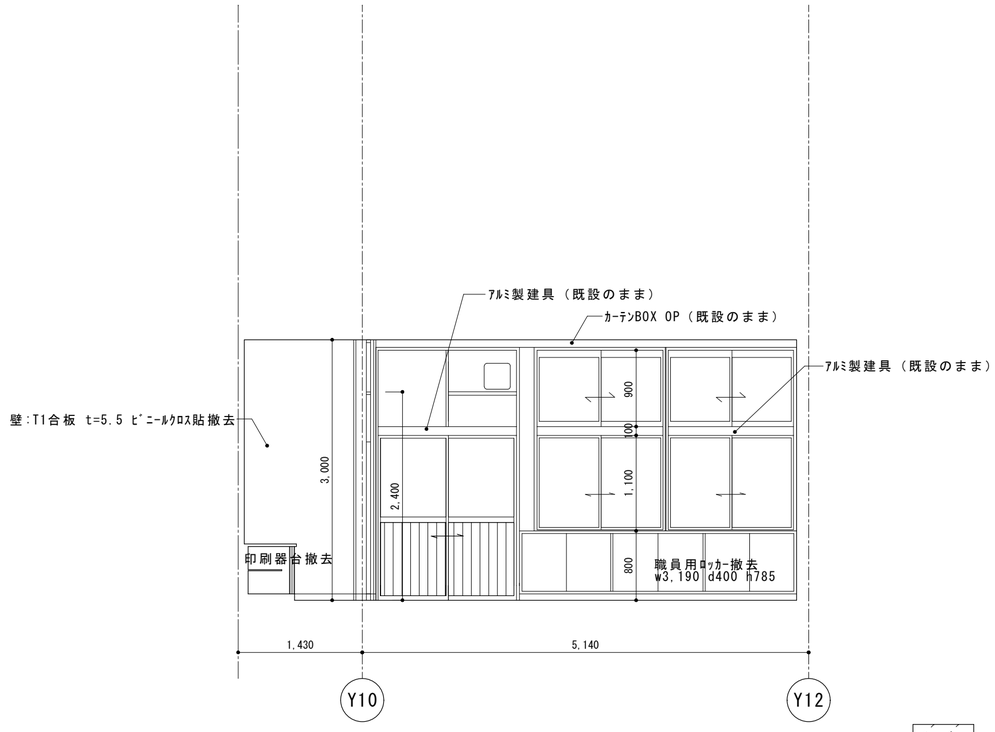
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-057
縮　尺 1/50	図面名 5歳児保育室(A)展開図-02	（原図A2）

改修前　旧幼稚園職員室



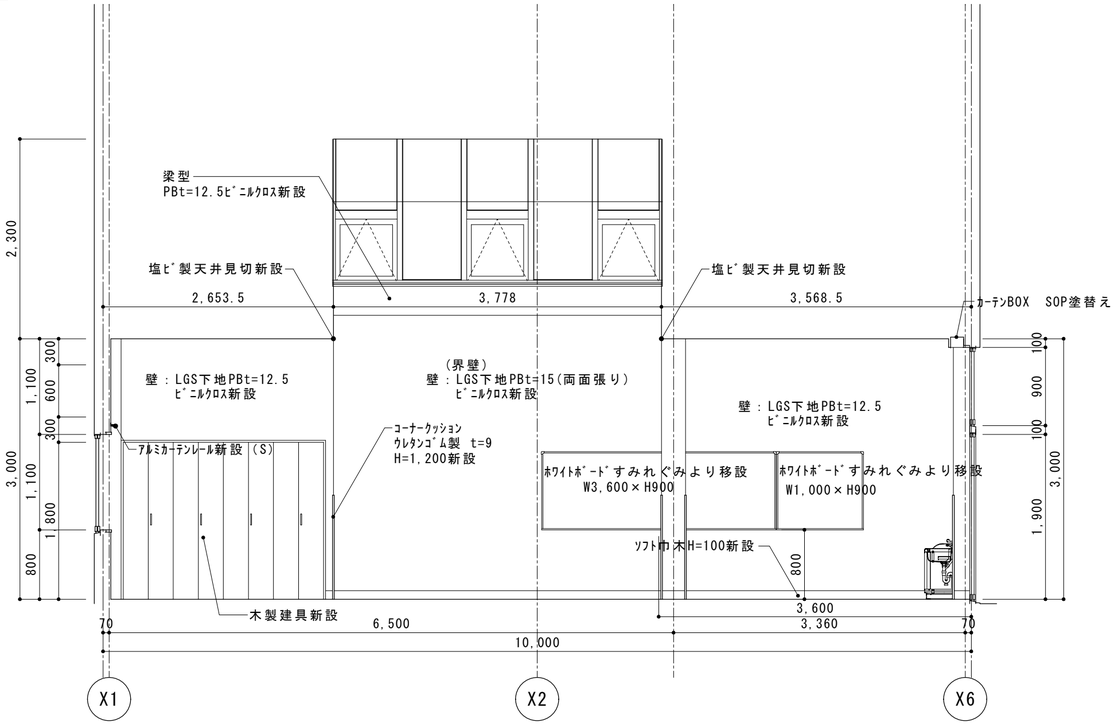
【Ａ面】



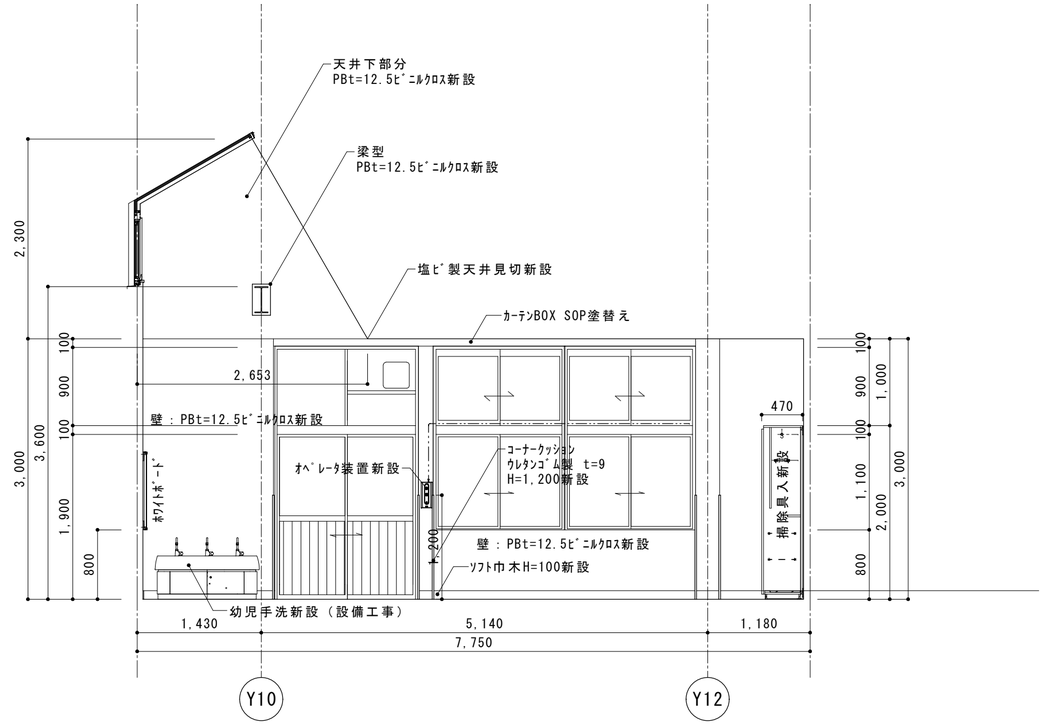
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

改修後　5歳児保育室(Ｂ)



【Ａ面】

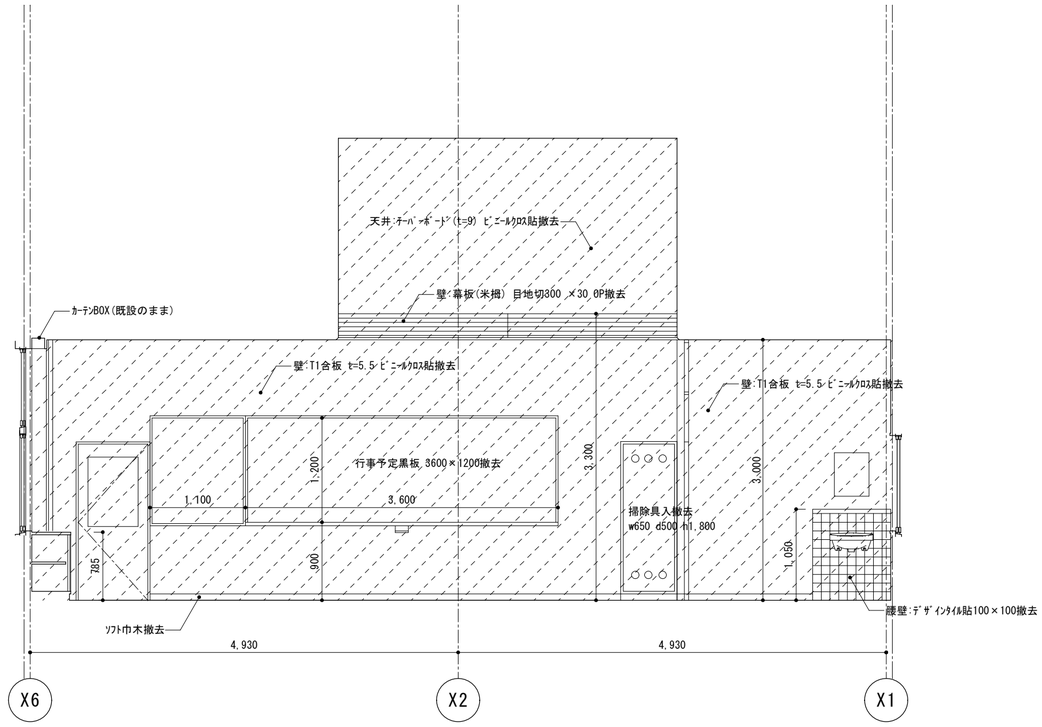


【Ｂ面】

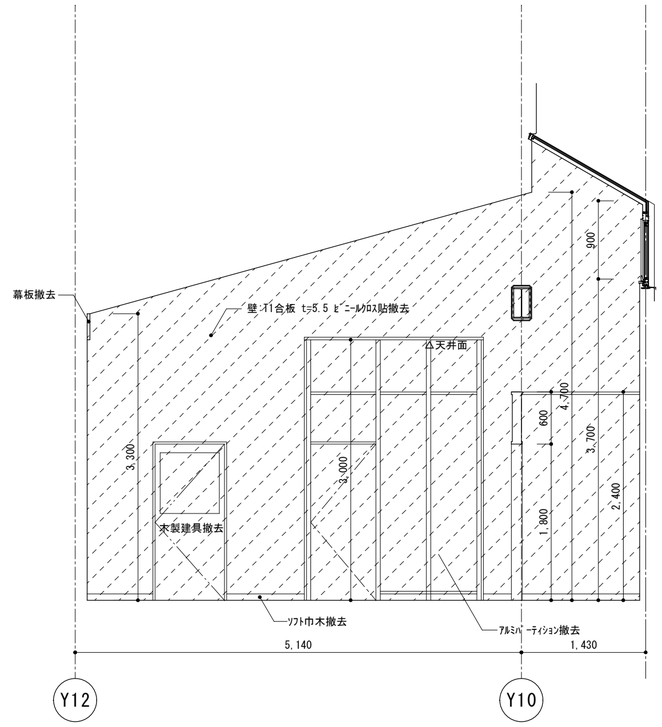
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-058
縮　尺 1/50	図面名 5歳児保育室(B)展開図-01	（原図A2）

改修前　旧幼稚園職員室



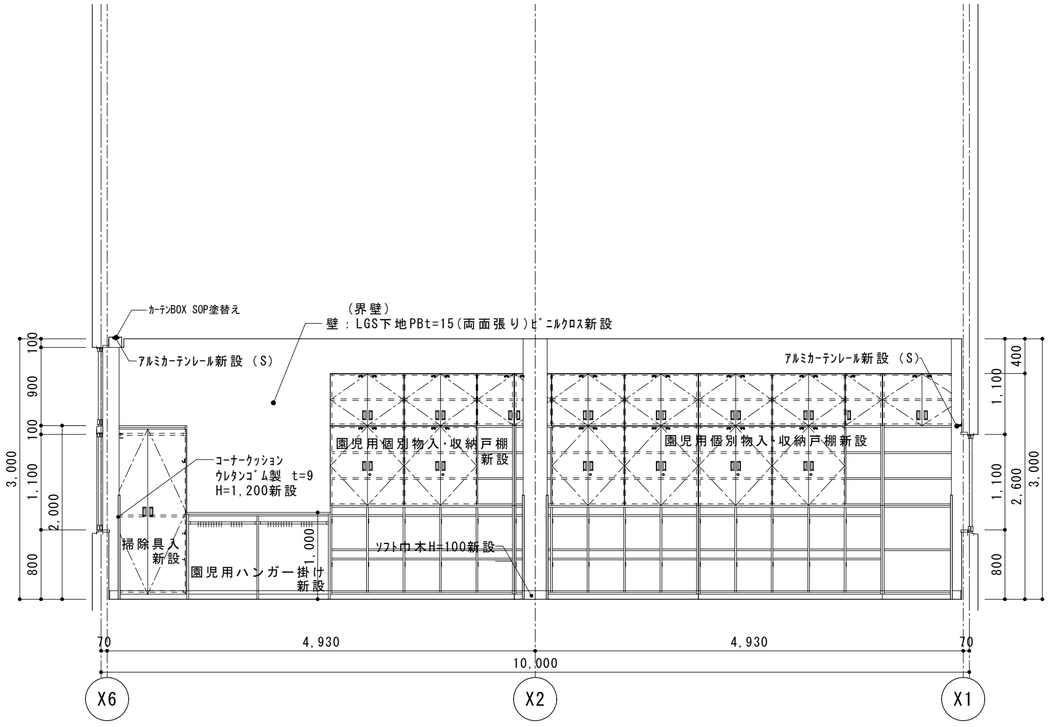
【Ｃ面】



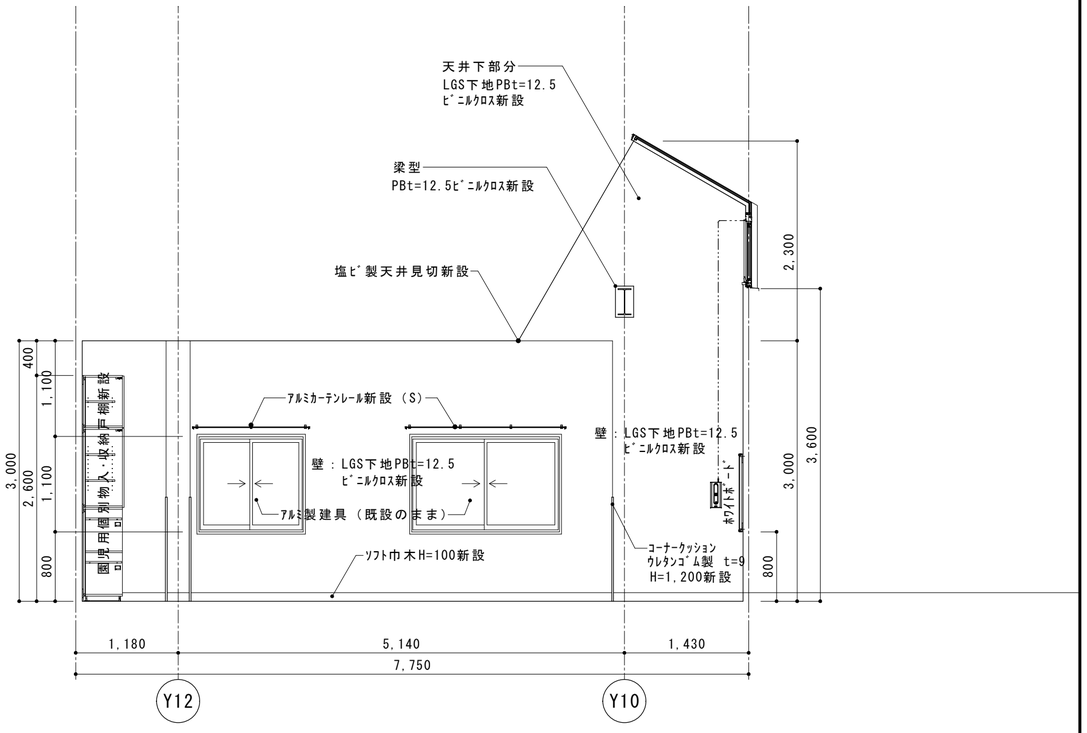
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

改修後　5歳児保育室(Ｂ)



【Ｃ面】

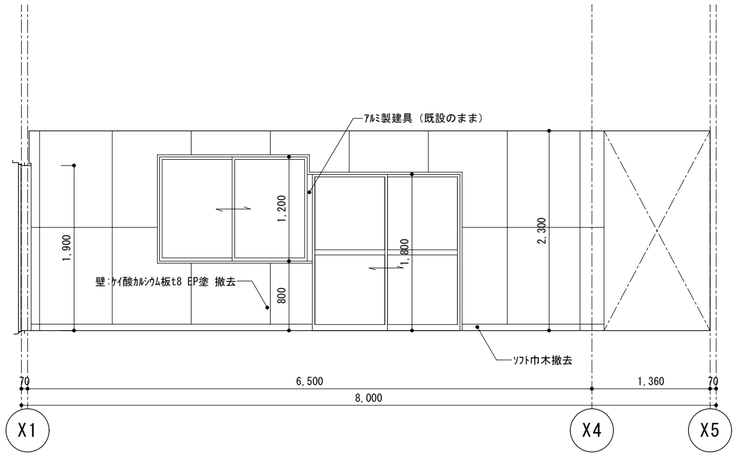


【Ｄ面】

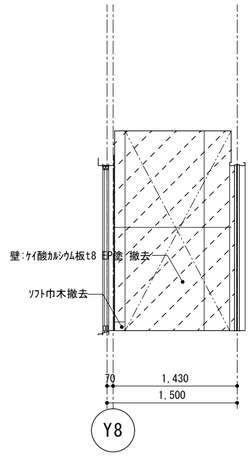
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-059
縮尺 1/50	図面名 5歳児保育室(B)展開図-02	（原図A2）

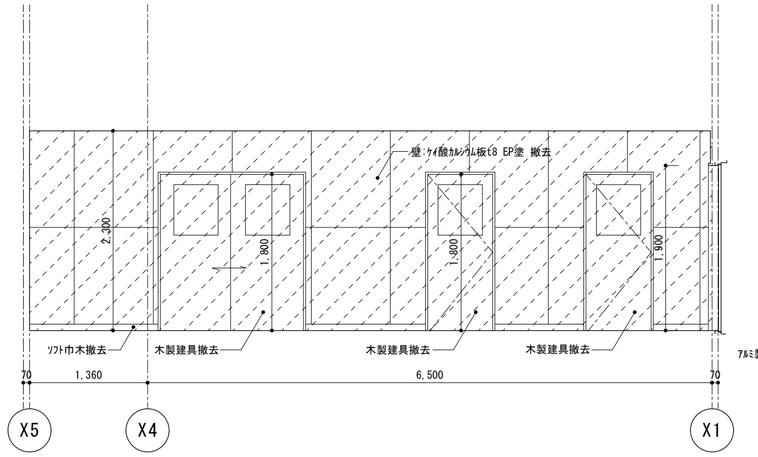
改修前　旧幼稚園廊下



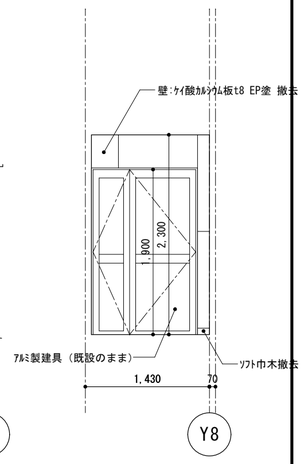
【Ａ面】



【Ｂ面】



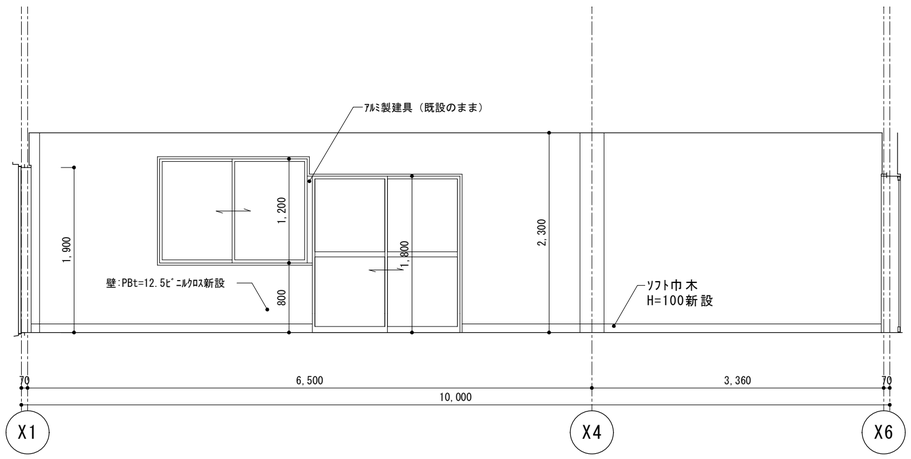
【Ｃ面】



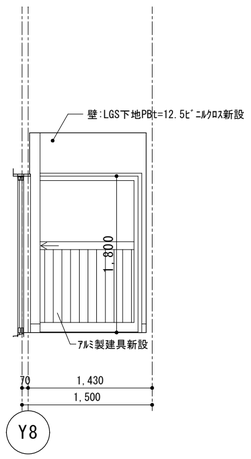
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

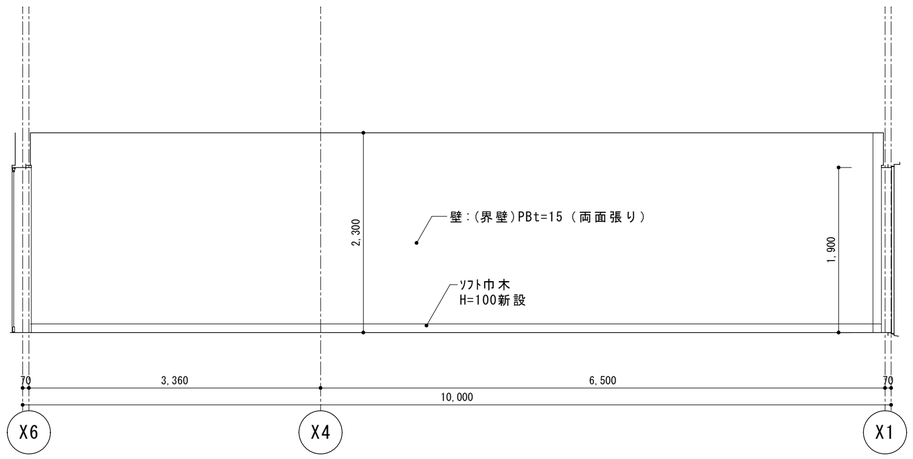
改修後　倉庫（Ｃ）



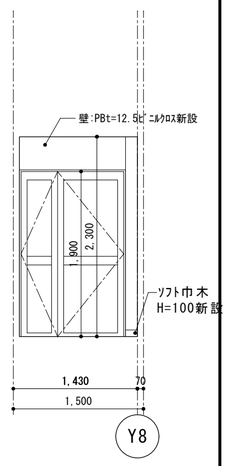
【Ａ面】



【Ｂ面】



【Ｃ面】

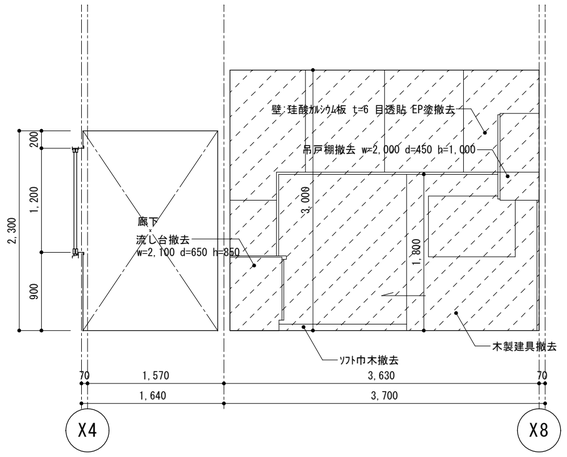


【Ｄ面】

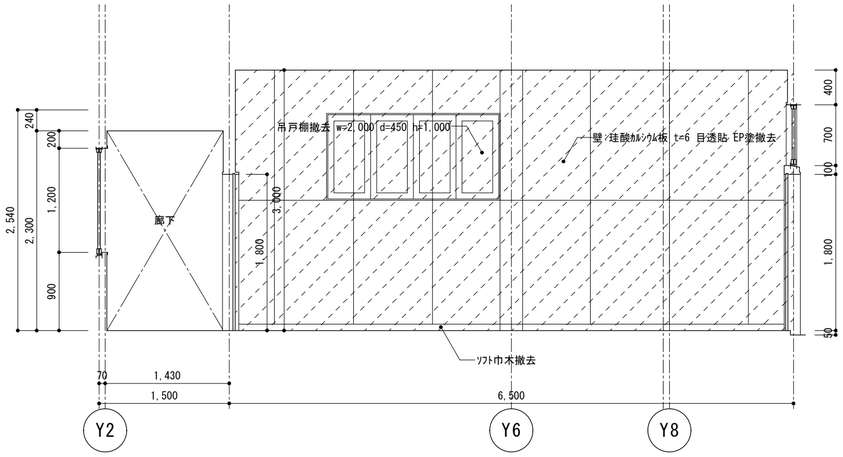
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-060
縮　尺 1/50	図面名 倉庫(C)展開図	（原図A2）

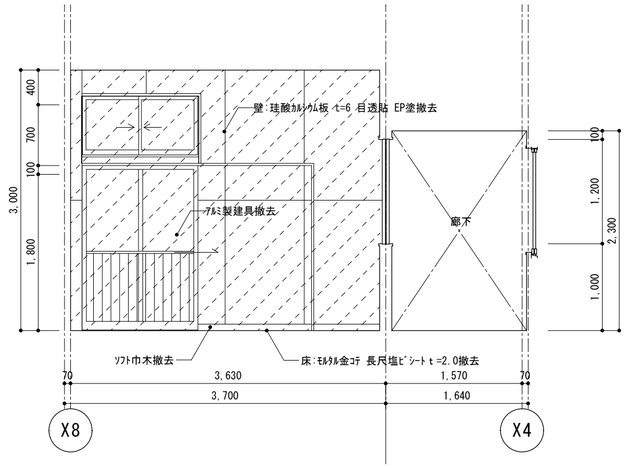
改修前　旧幼稚園配膳室・廊下



【Ａ面】



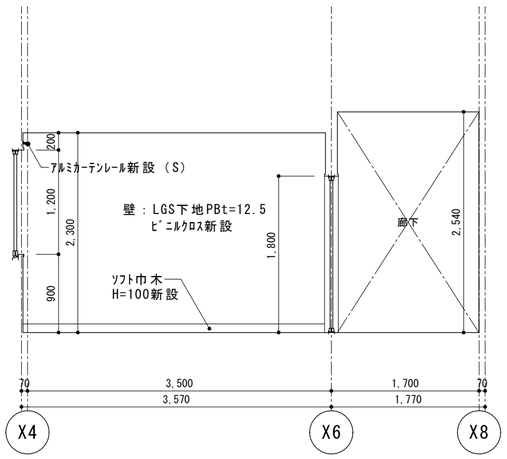
【Ｂ面】



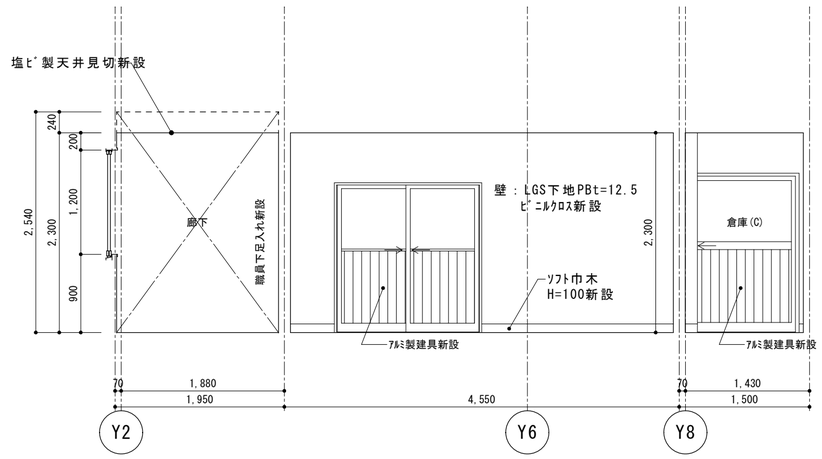
【Ｃ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

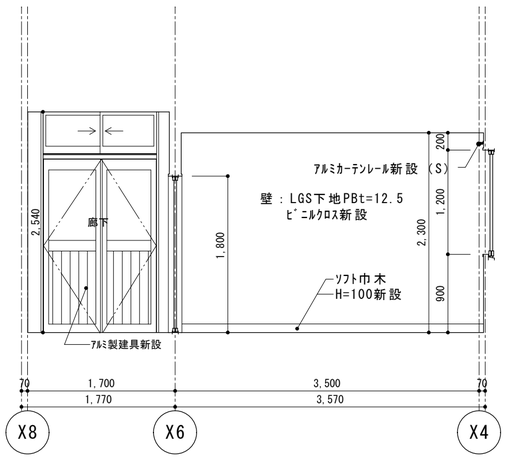
改修後　女子職員更衣室・廊下



【Ａ面】



【Ｂ面】

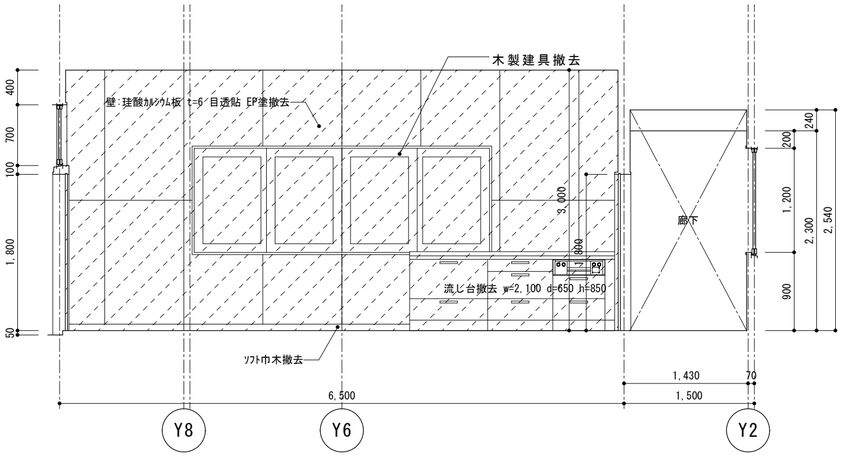


【Ｃ面】

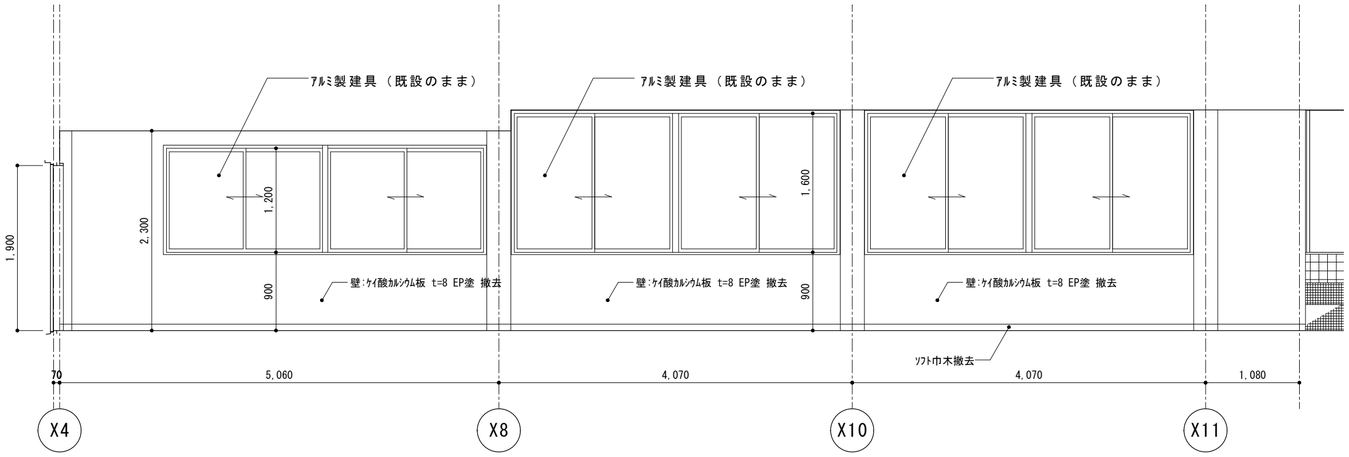
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-061
縮　尺 1/50	図面名 女子職員更衣室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧幼稚園配膳室・廊下



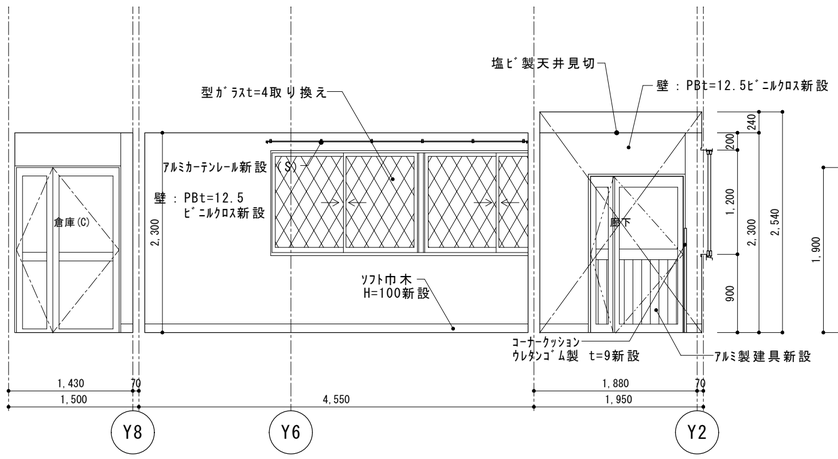
【Ｄ面】



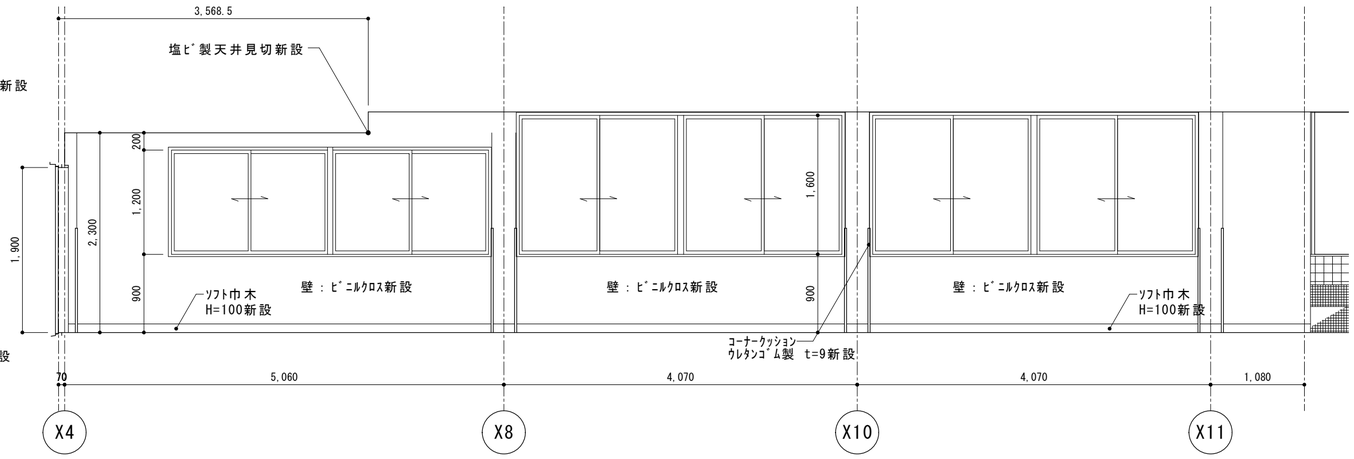
【A面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

改修後　女子職員更衣室・廊下



【Ｄ面】

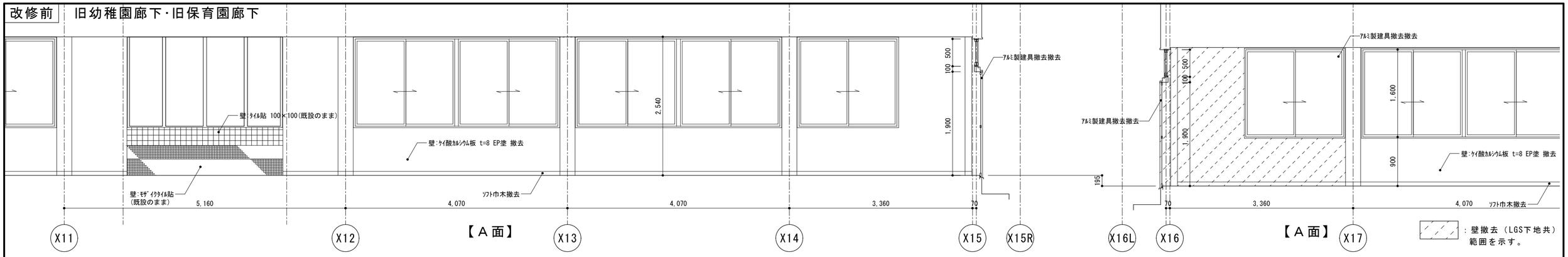


【A面】

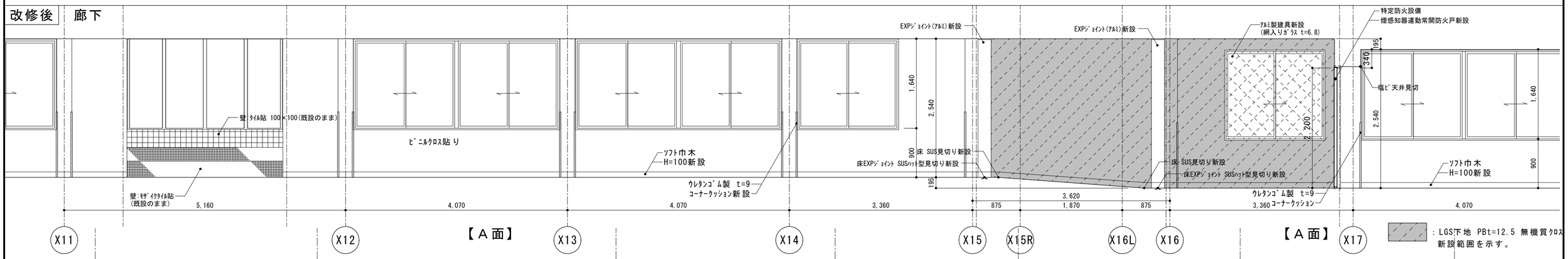
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-062
縮　尺 1/50	図面名 女子職員更衣室展開図-02	（原図A2）

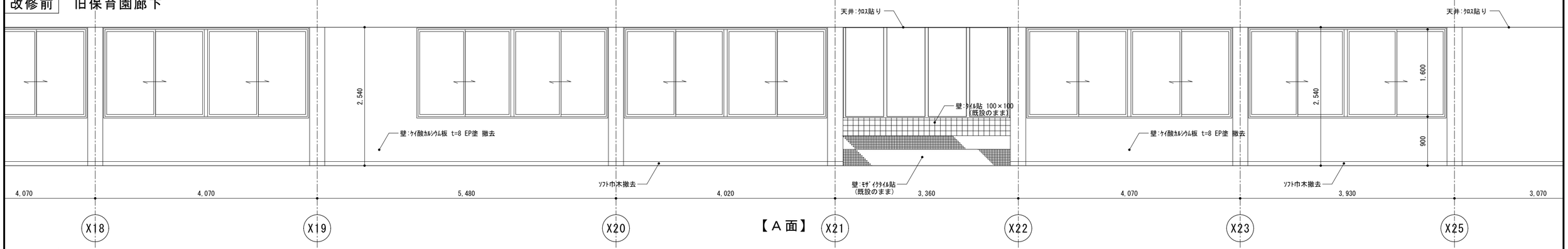
改修前　旧幼稚園廊下・旧保育園廊下



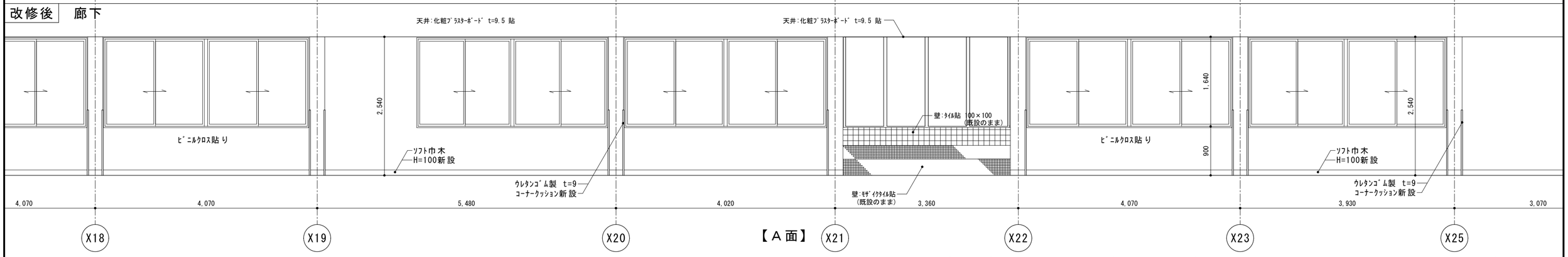
改修後　廊下



改修前　旧保育園廊下

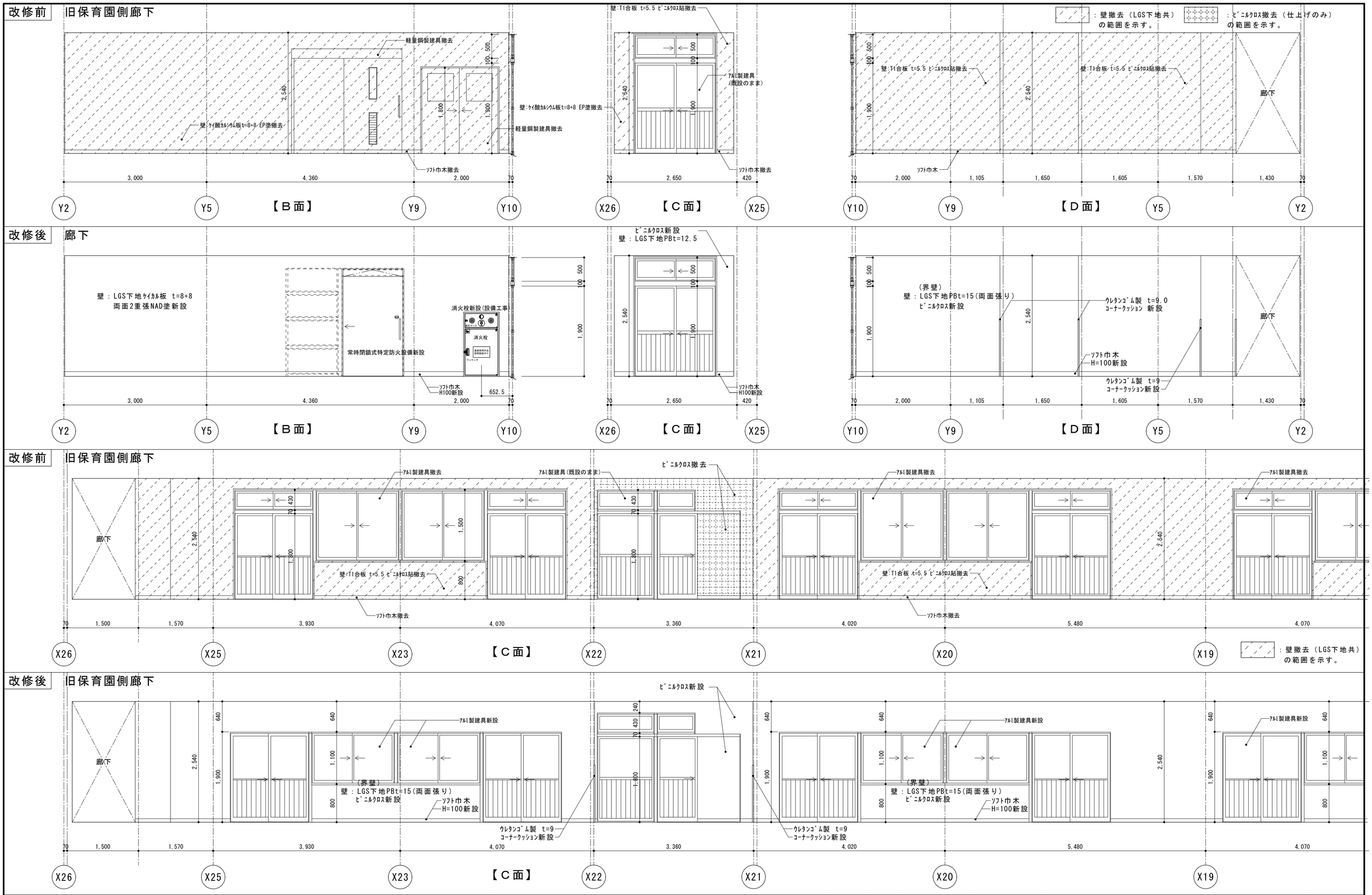


改修後　廊下



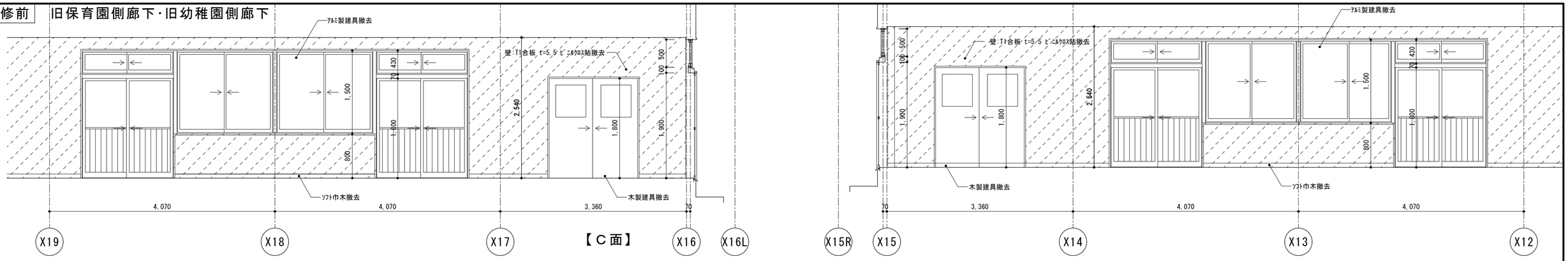
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-063
縮　尺 1/50	図面名 廊下展開図-01	（原図A2）

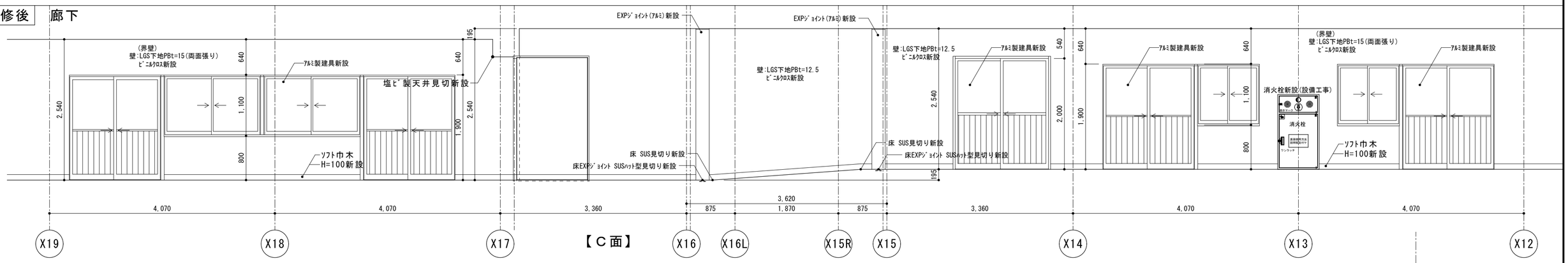


内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1－1522号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085				年月日	工事名称 （仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号	
				縮 尺 1/50	図面名 廊下展開図-02	A-064	（原図A2）

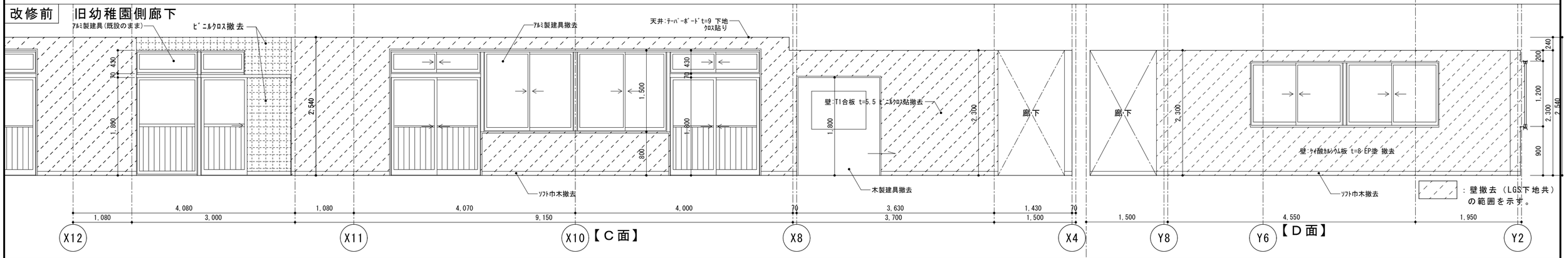
改修前　旧保育園側廊下・旧幼稚園側廊下



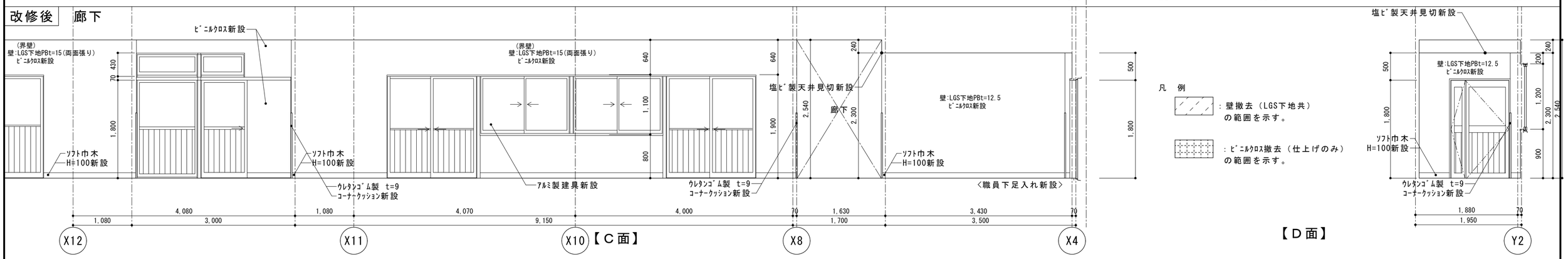
改修後　廊下



改修前　旧幼稚園側廊下



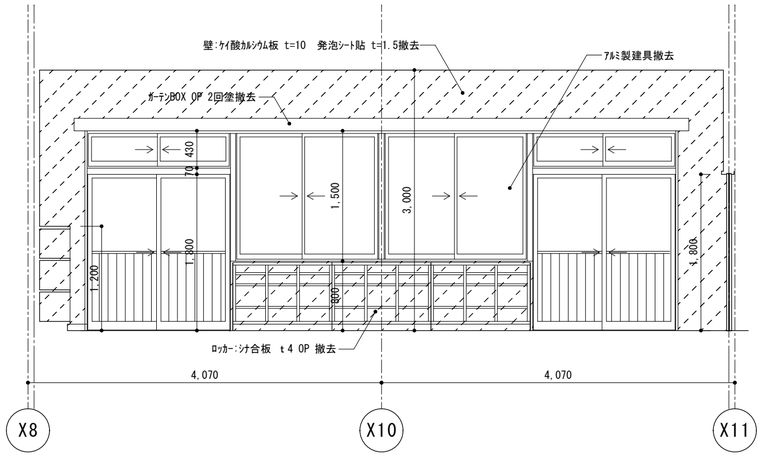
改修後　廊下



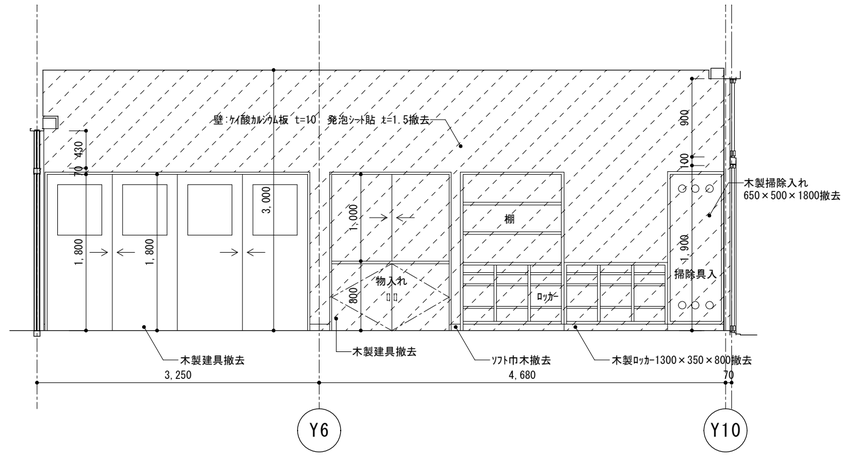
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-065
縮　尺 1/50	図面名 廊下展開図-03	（原図A2）

改修前　旧保育室(ゆりぐみ)



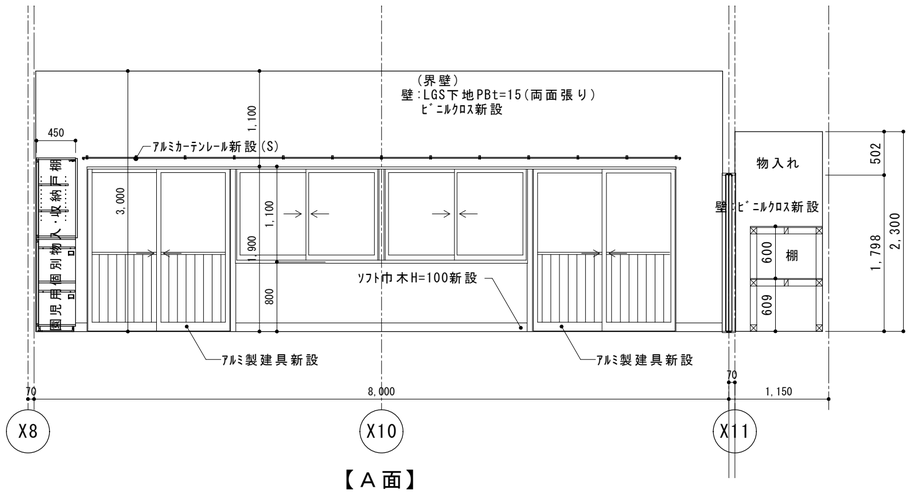
【Ａ面】



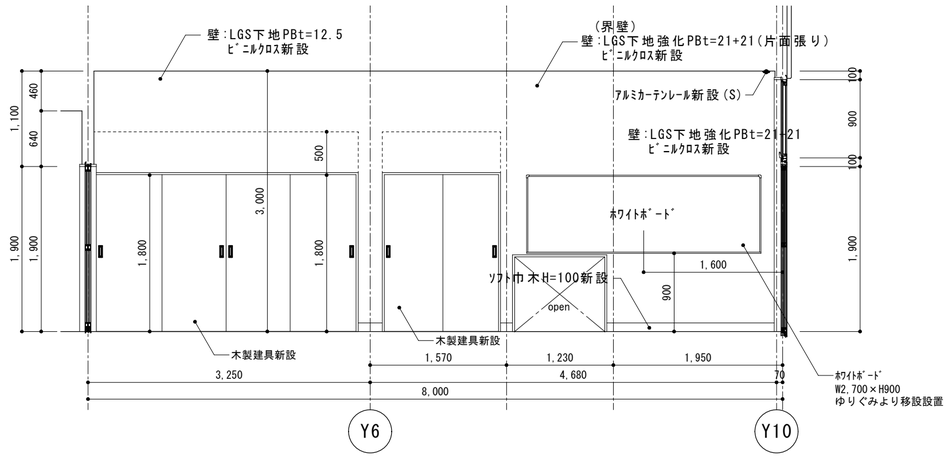
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）の範囲を示す。

改修後　4歳児保育室(A)



【Ａ面】

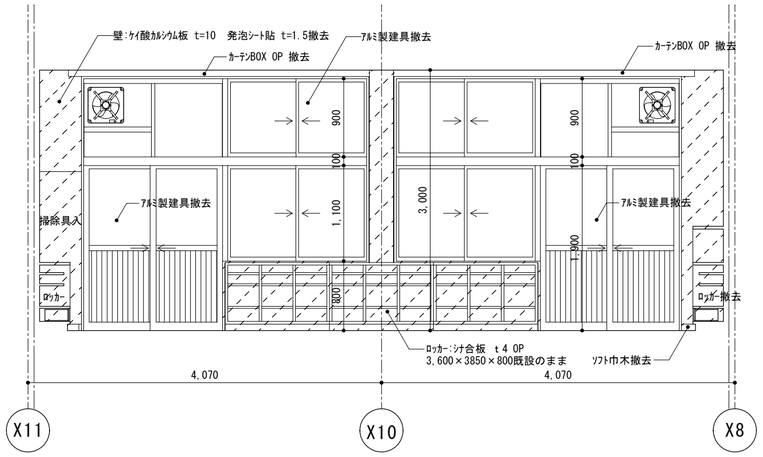


【Ｂ面】

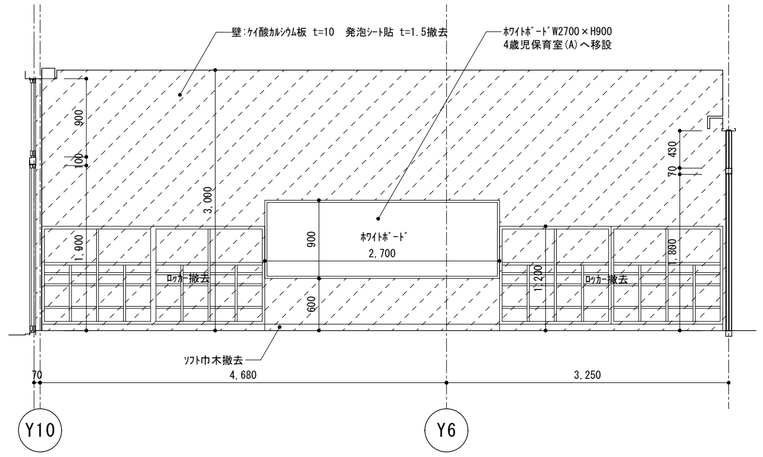
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-066
縮　尺 1/50	図面名 4歳児保育室(A)展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育室(ゆりぐみ)



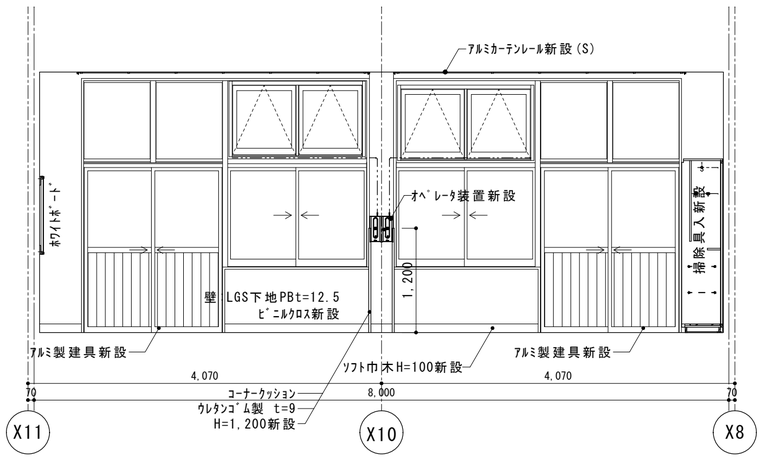
【Ｃ面】



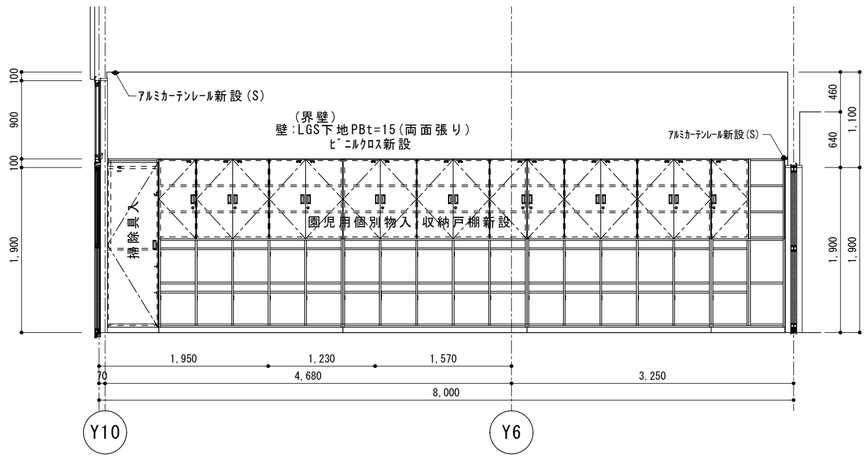
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）の範囲を示す。

改修後　4歳児保育室(A)



【Ｃ面】

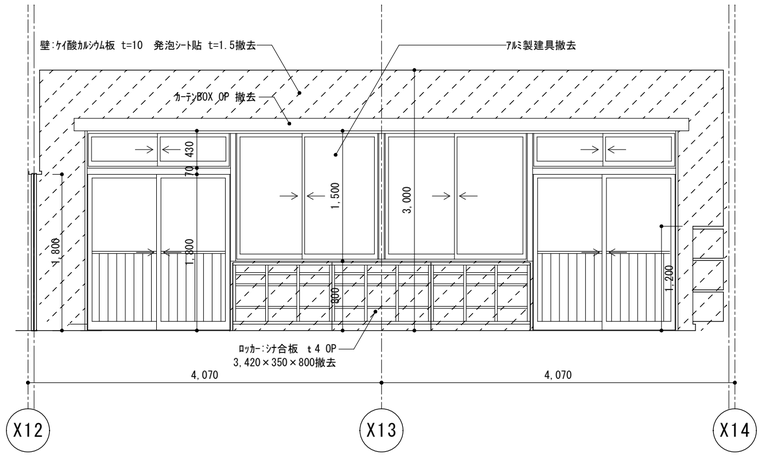


【Ｄ面】

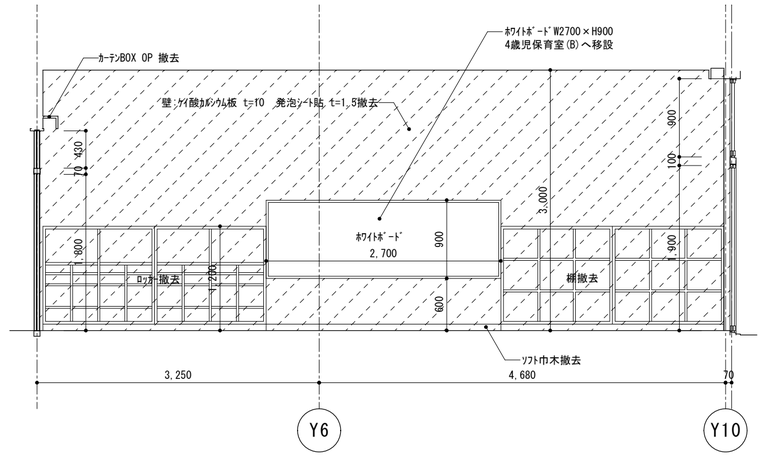
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-067
縮　尺 1/50	図面名 4歳児保育室(A)展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育室(ばらぐみ)



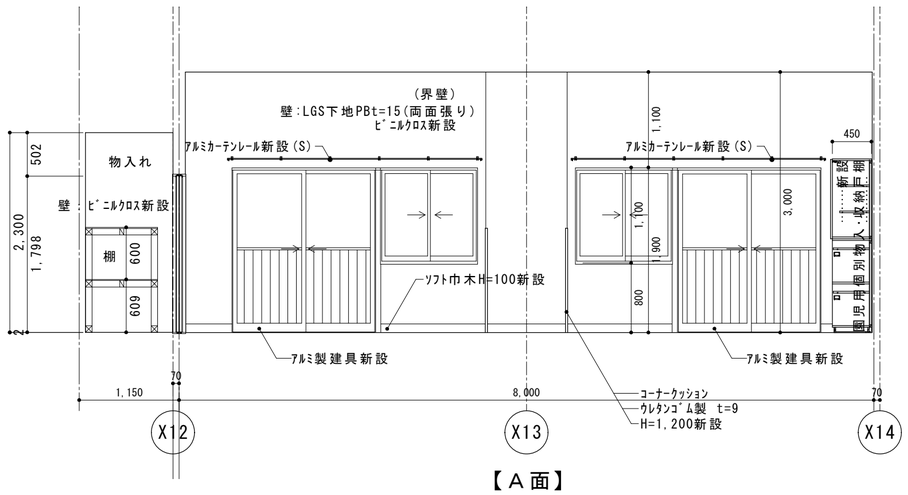
【Ａ面】



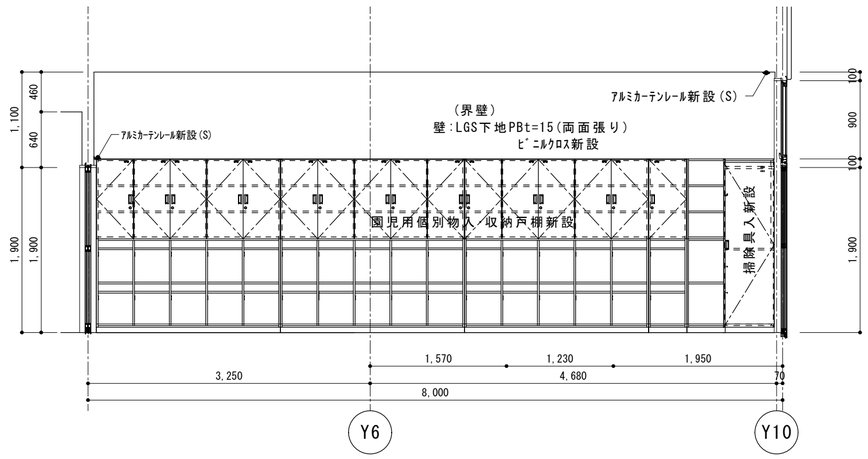
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）の範囲を示す。

改修後　4歳児保育室(B)



【Ａ面】

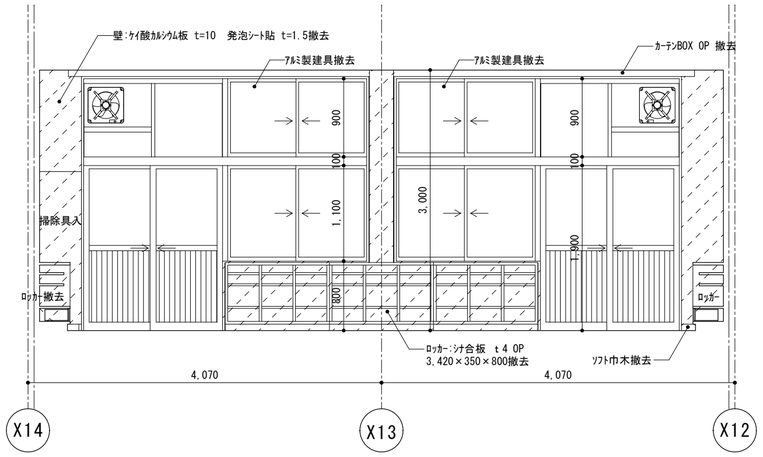


【Ｂ面】

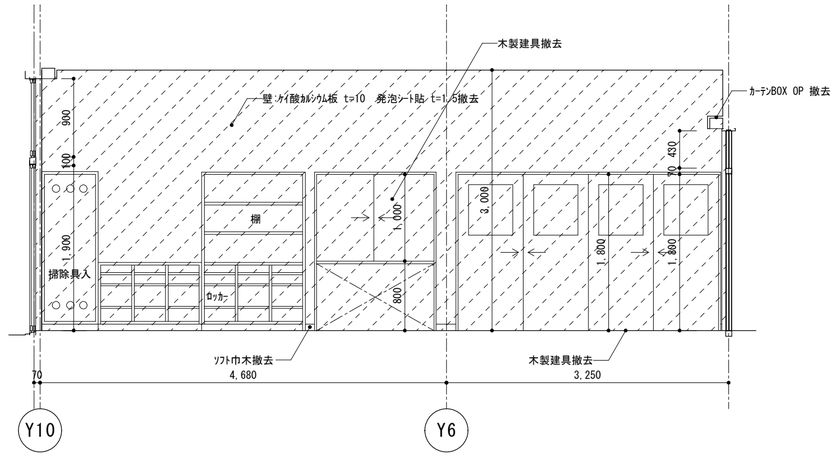
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-068
縮　尺 1/50	図面名 4歳児保育室(B)展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育室(ばらぐみ)



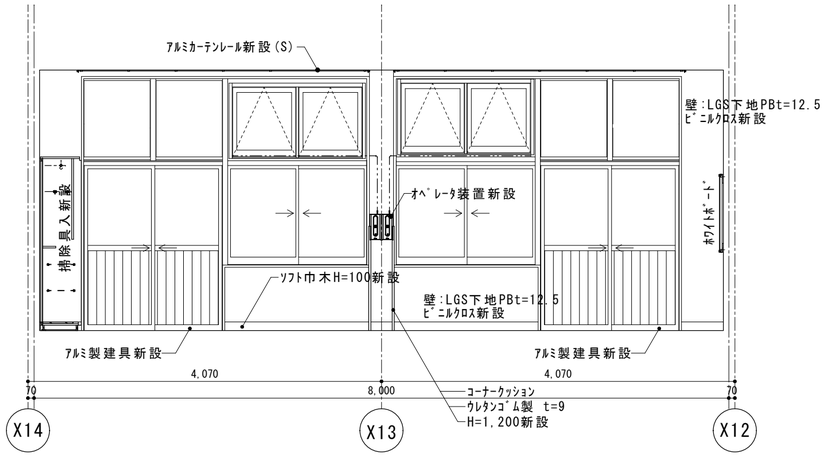
【Ｃ面】



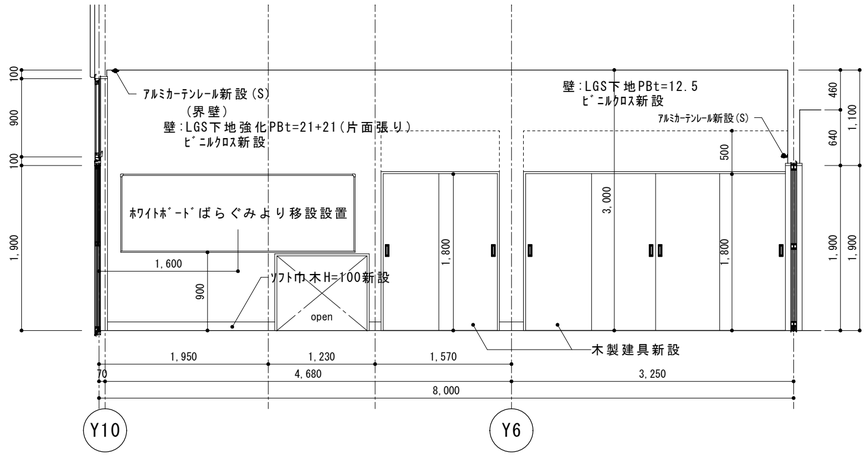
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）の範囲を示す。

改修後　4歳児保育室(B)



【Ｃ面】

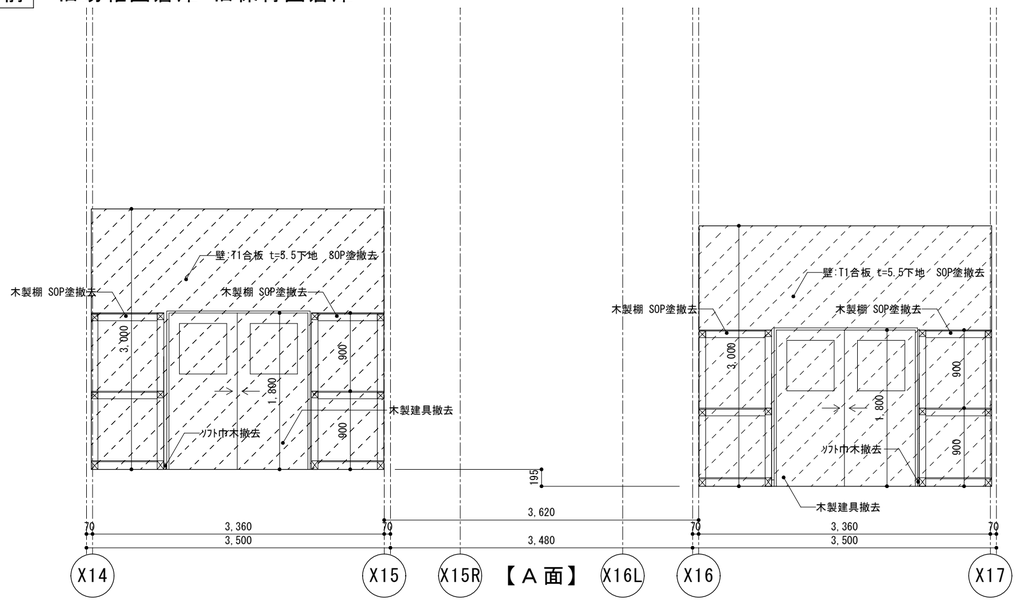


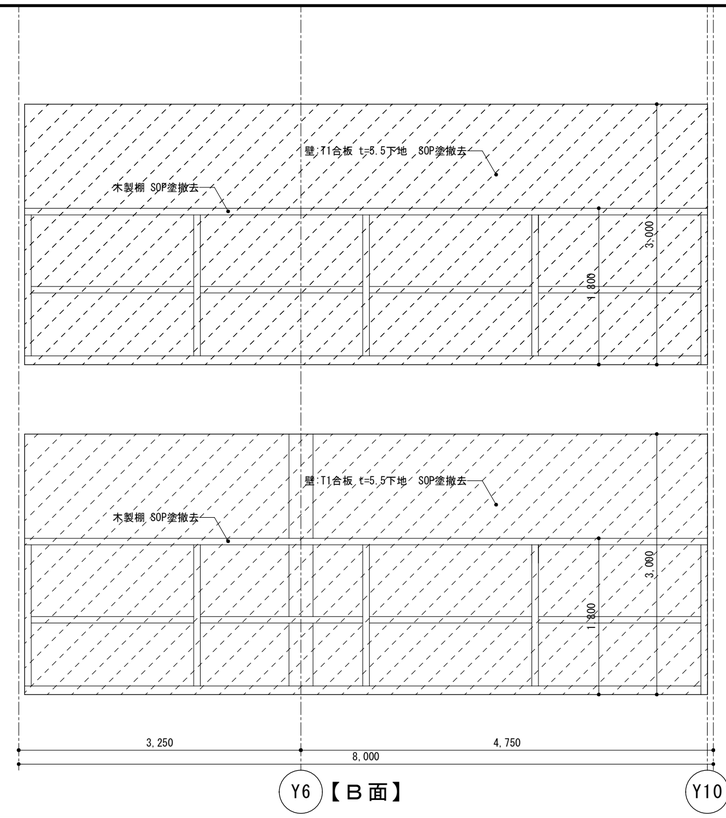
【Ｄ面】

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-069
縮尺 1/50	図面名 4歳児保育室(B)展開図-02	（原図A2）

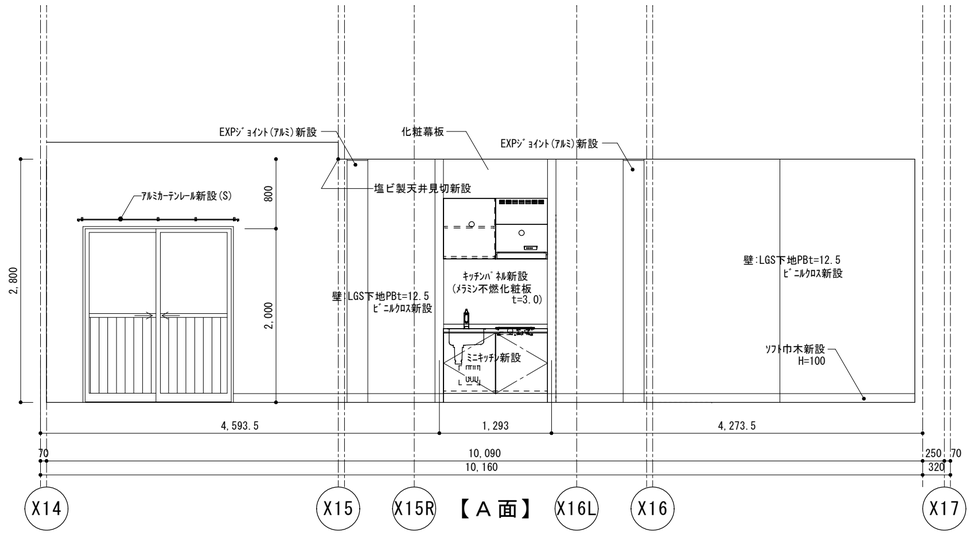
改修前　旧幼稚園倉庫・旧保育園倉庫

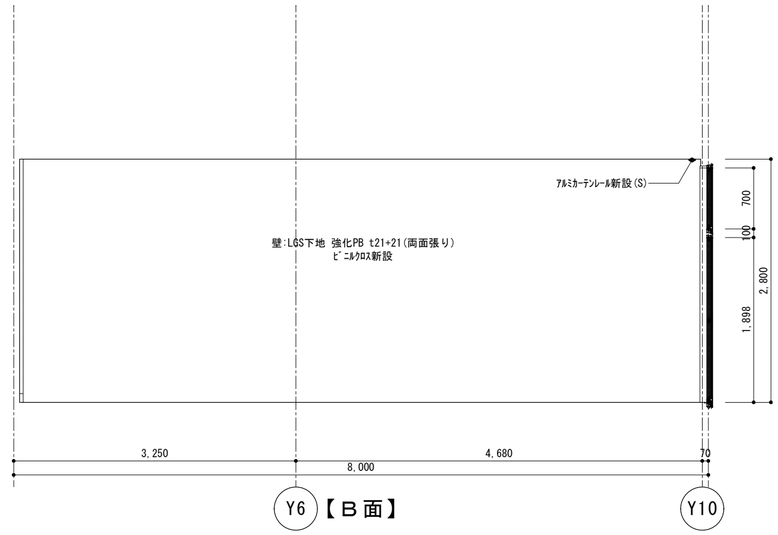




：壁撤去（LGS下地共）の範囲を示す。

改修後　職員室

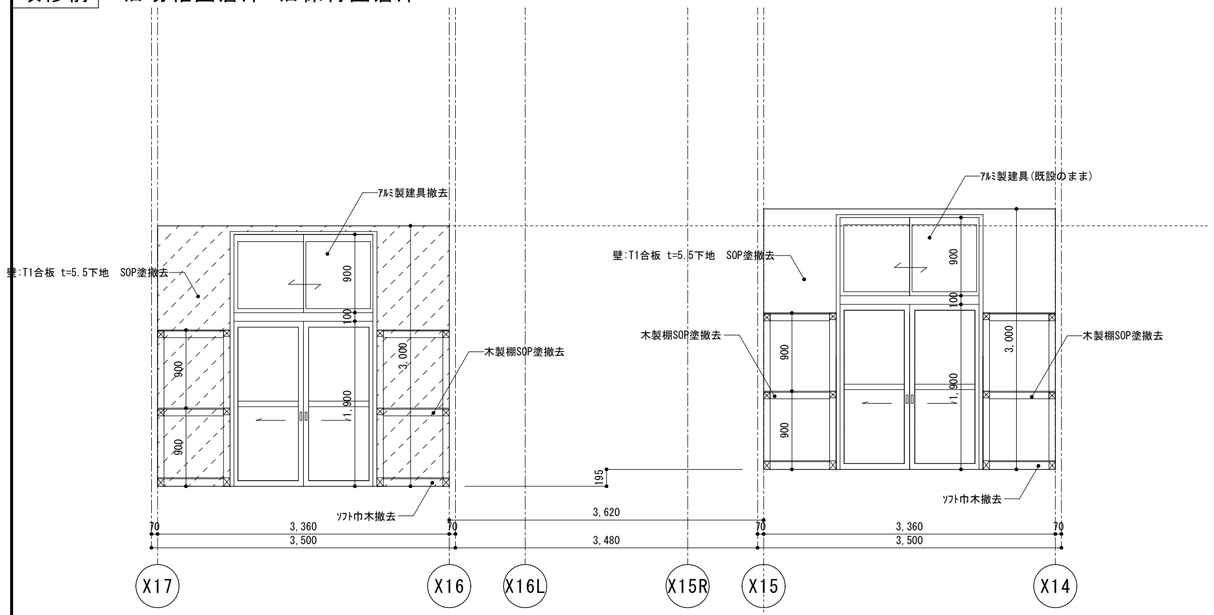




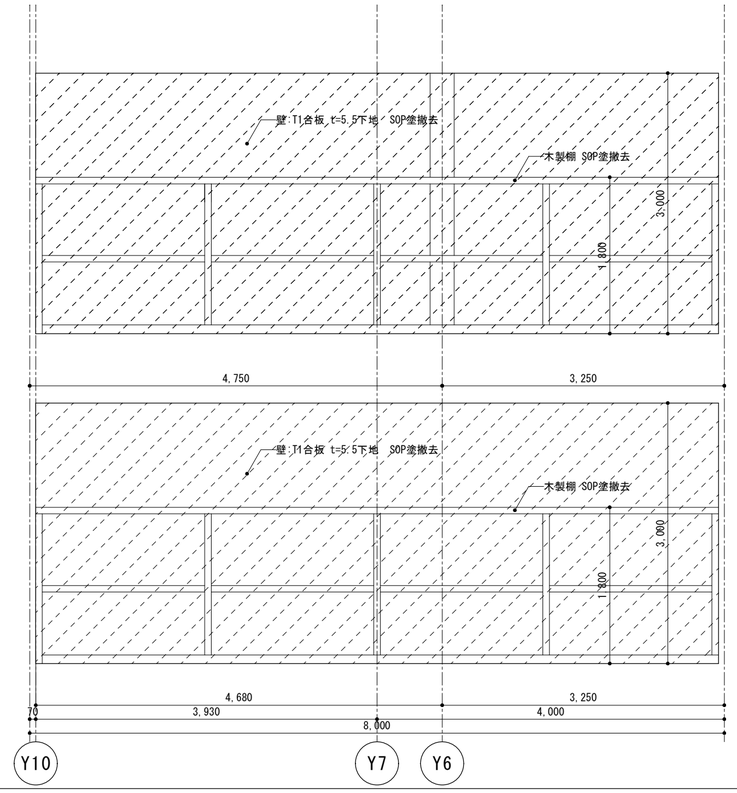
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-070
縮　尺 1/50	図面名 職員室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧幼稚園倉庫・旧保育園倉庫



【Ｃ面】　【Ｃ面】



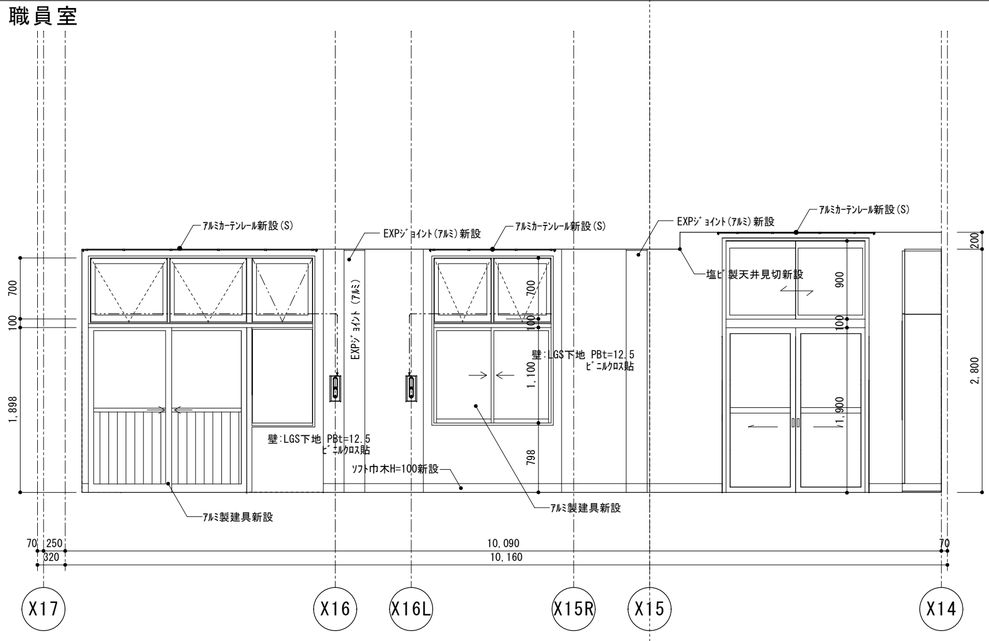
旧幼稚園側倉庫

旧保育園側倉庫

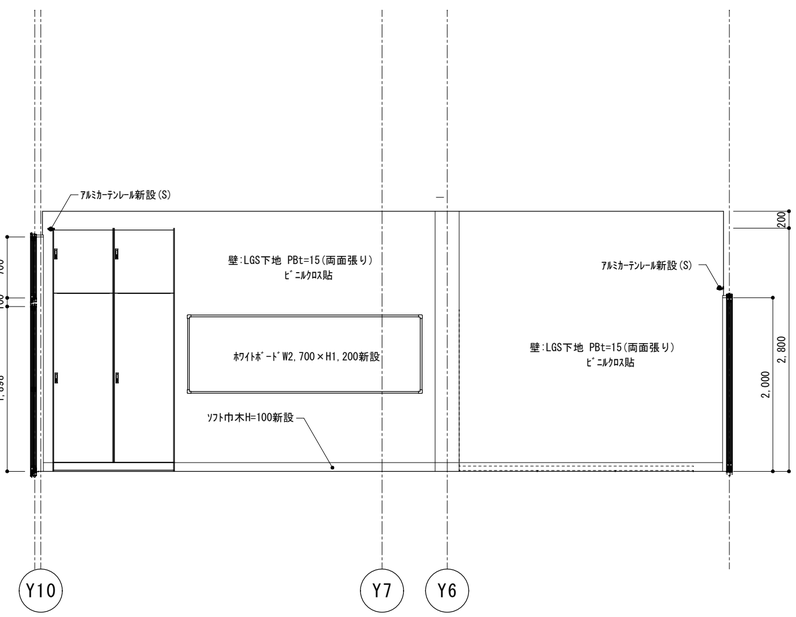
：壁撤去（LGS下地共）の範囲を示す。

【Ｄ面】

改修後　職員室



【Ｃ面】

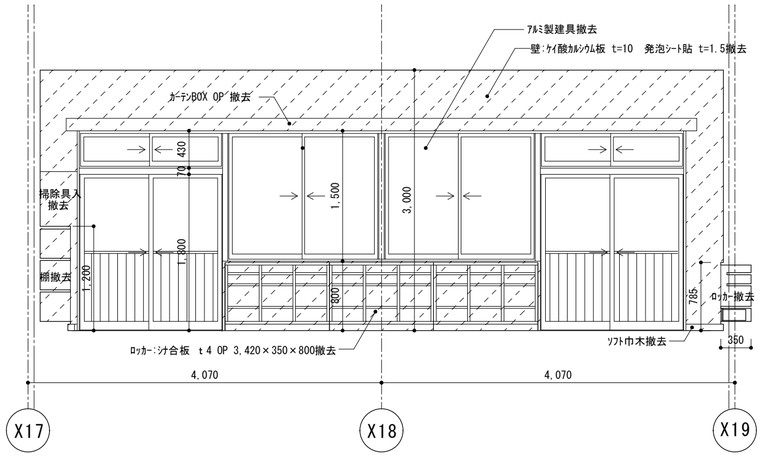


【Ｄ面】

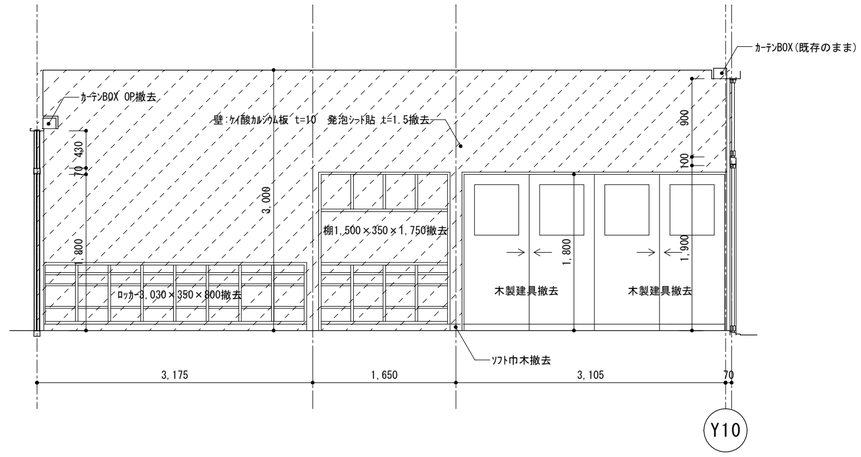
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-071
縮　尺 1/50	図面名 職員室展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育室(きりんぐみ)



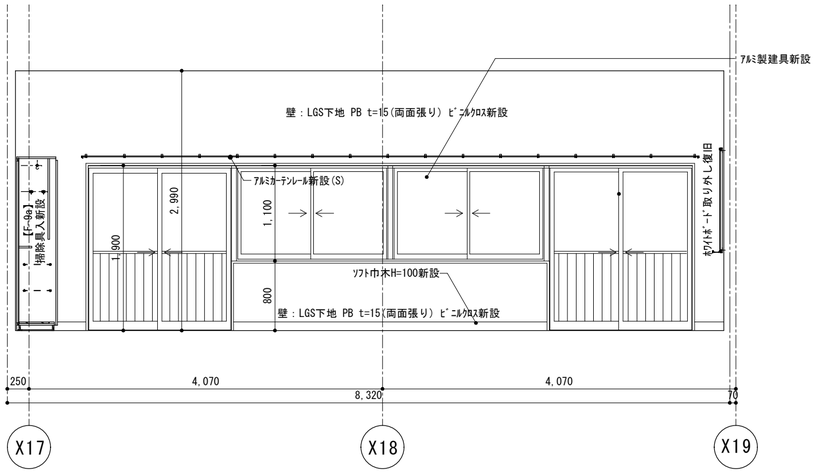
【Ａ面】



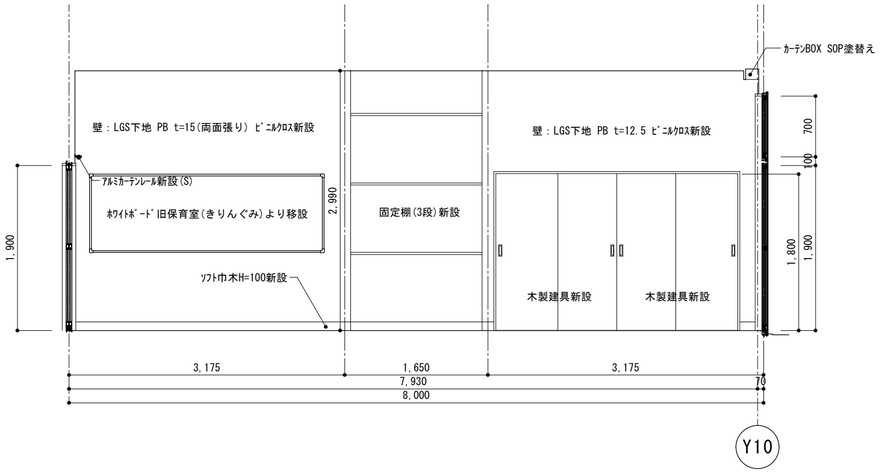
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

改修後　3歳児保育室(A)



【Ａ面】

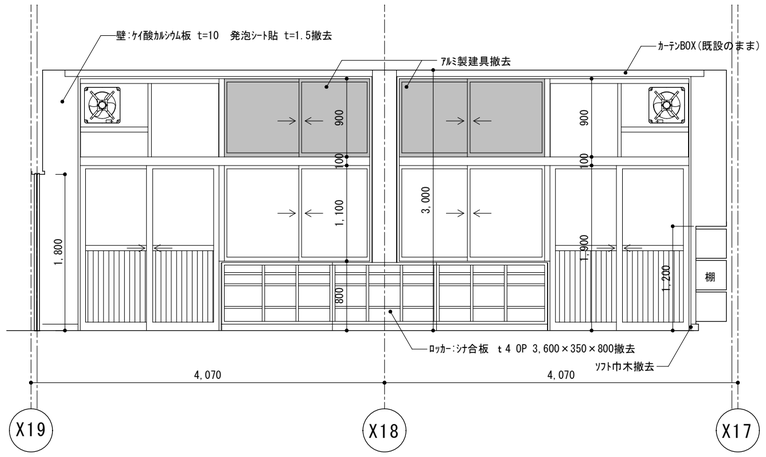


【Ｂ面】

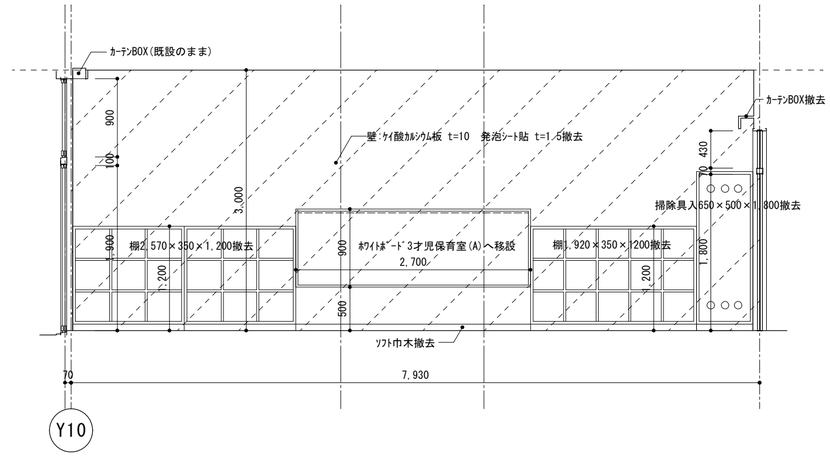
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-072
縮　尺 1/50	図面名 3歳児保育室(A)展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育室(きりんぐみ)



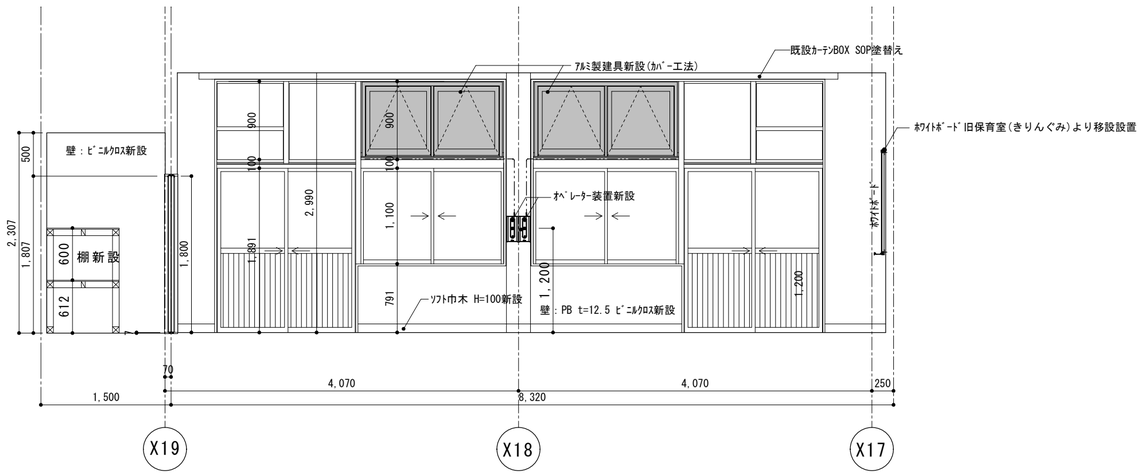
【Ｃ面】



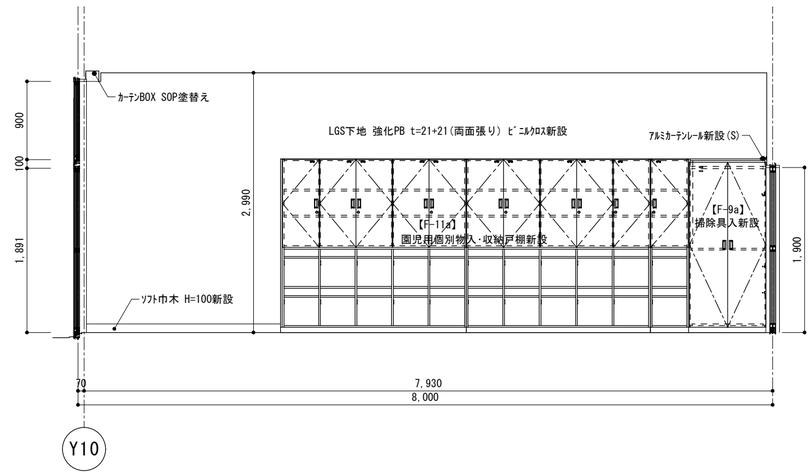
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

改修後　3歳児保育室(A)



【Ｃ面】

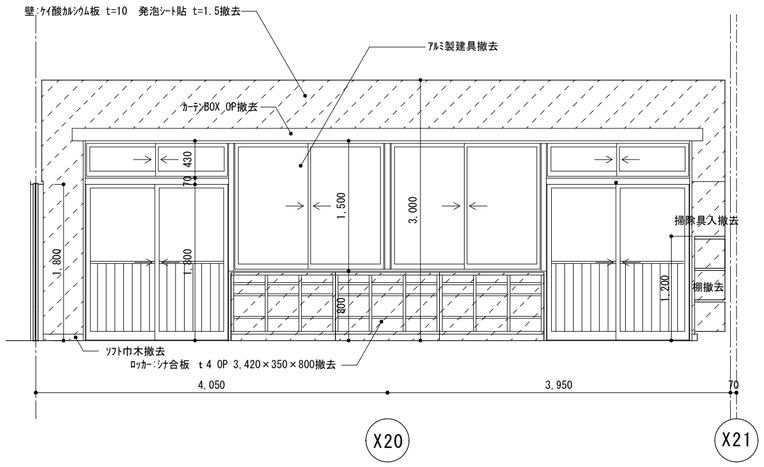


【Ｄ面】

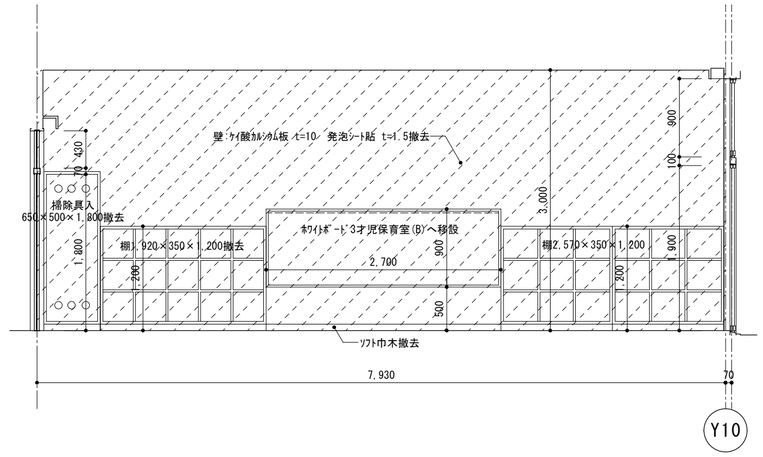
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-073
縮　尺 1/50	図面名 3歳児保育室(A)展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育室(ももぐみ)



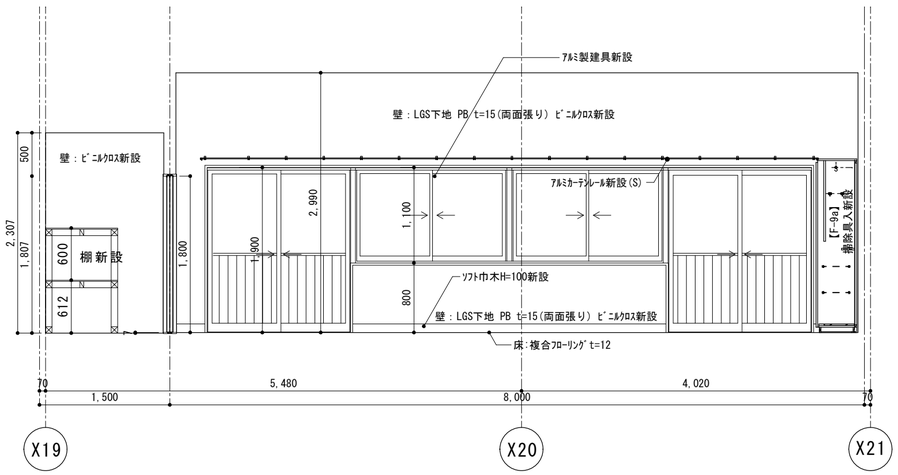
【Ａ面】



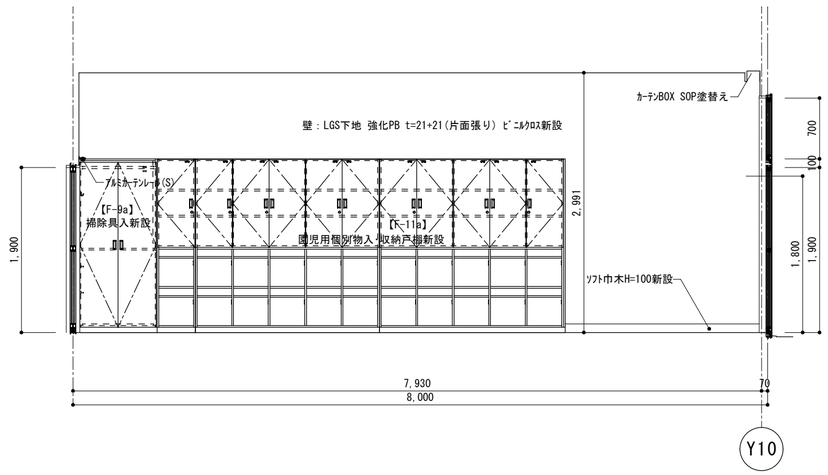
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

改修後　3歳児保育室(B)



【Ａ面】

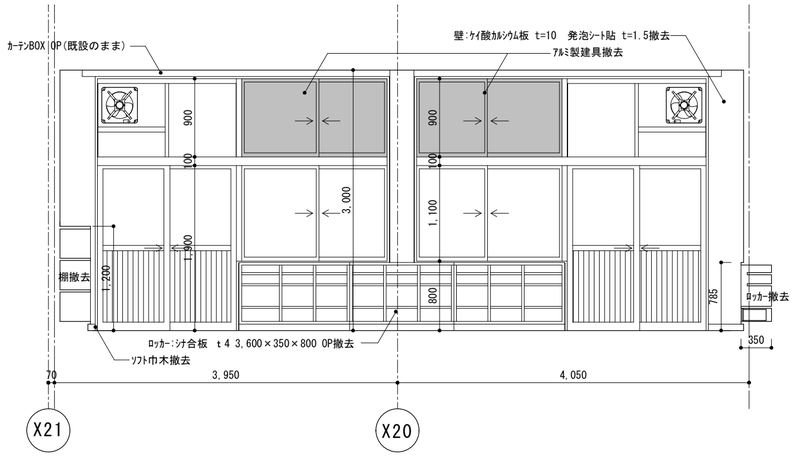


【Ｂ面】

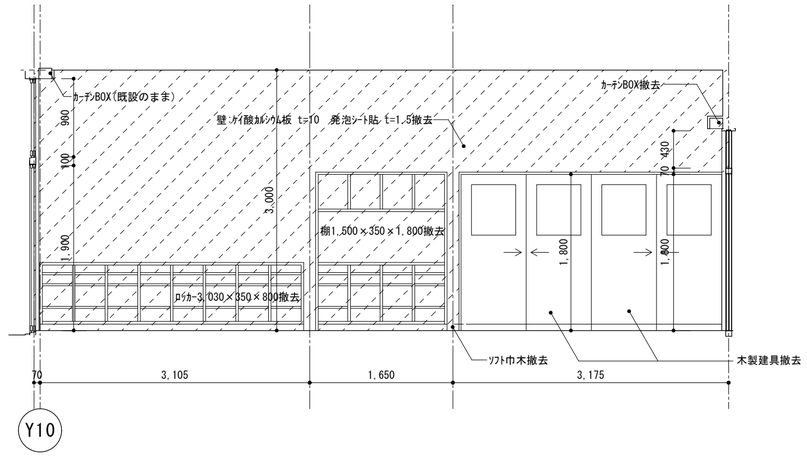
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-074
縮　尺 1/50	図面名 3歳児保育室(B)展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育室(ももぐみ)



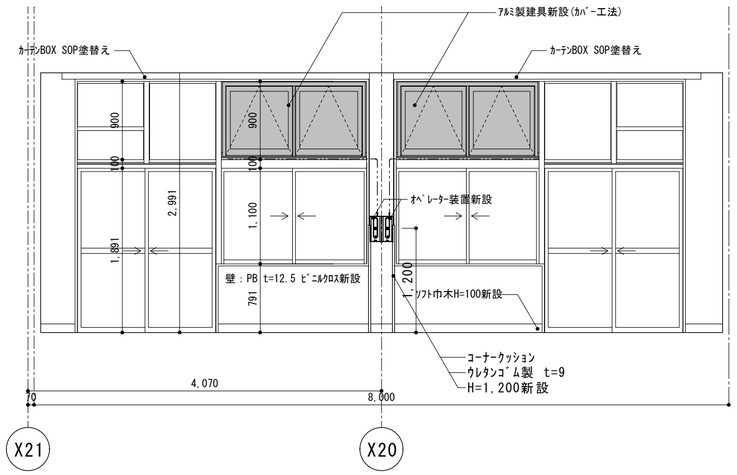
【Ｃ面】



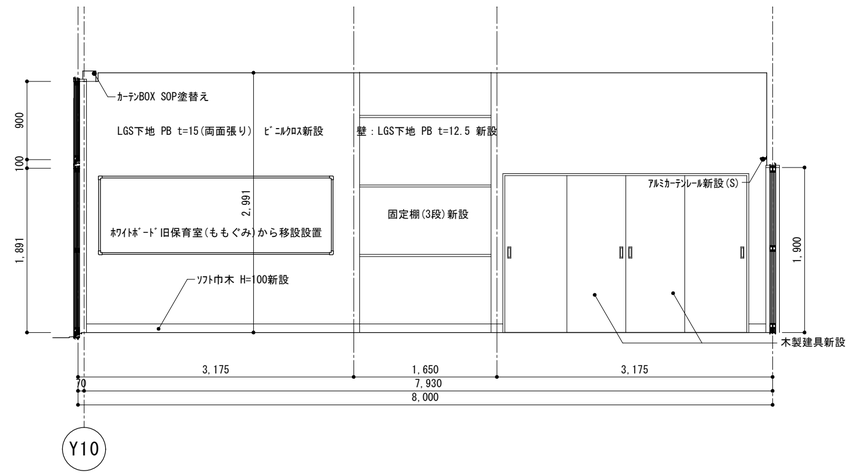
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

改修後　3歳児保育室(B)



【Ｃ面】

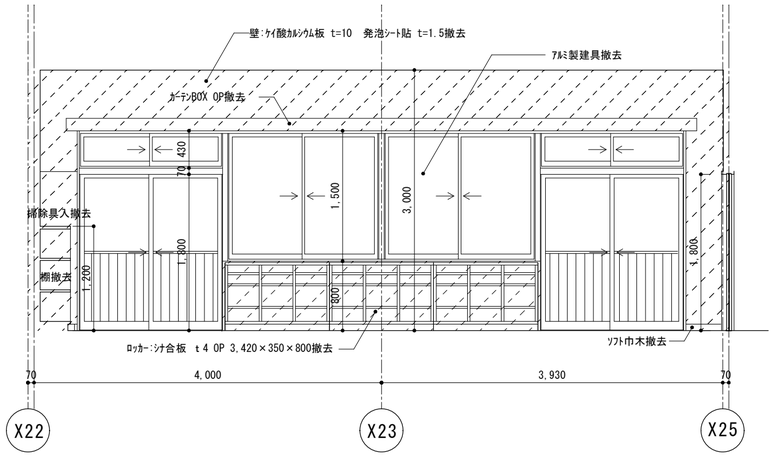


【Ｄ面】

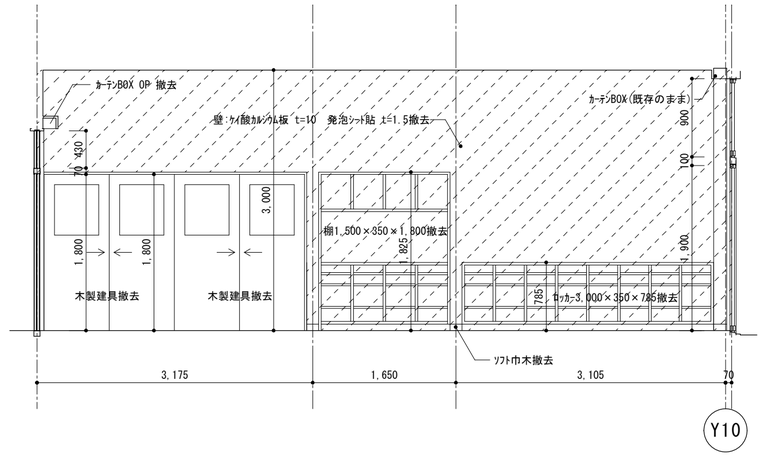
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-075
縮　尺 1/50	図面名 3歳児保育室(B)展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育室(りすぐみ)



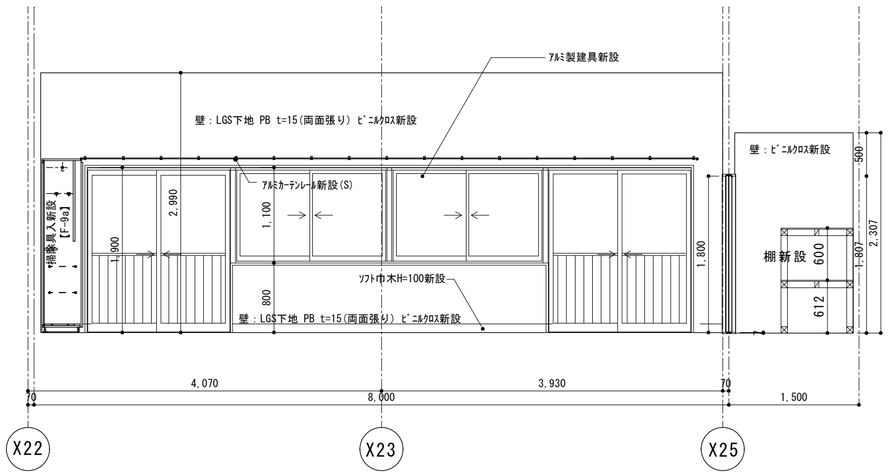
【Ａ面】



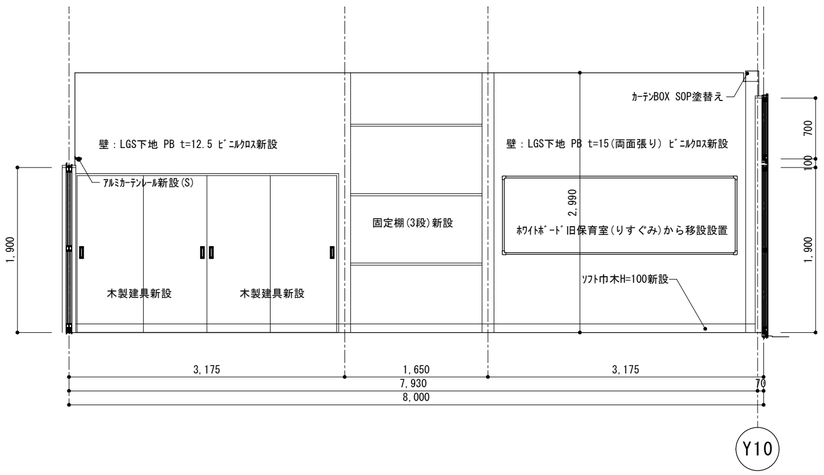
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

改修後　3歳児保育室(C)



【Ａ面】

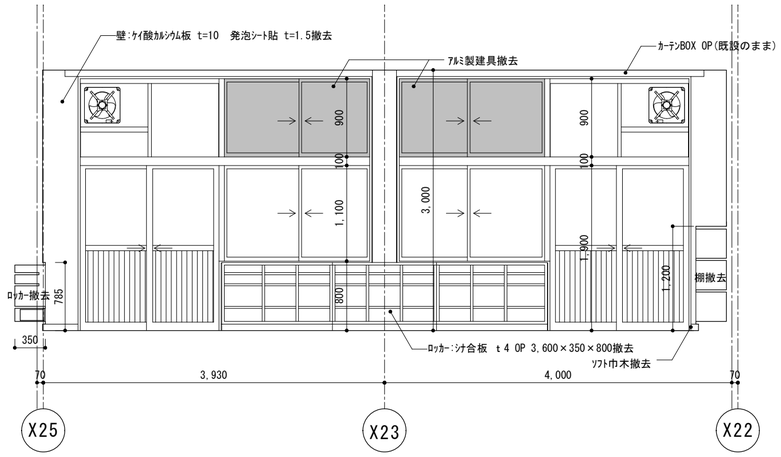


【Ｂ面】

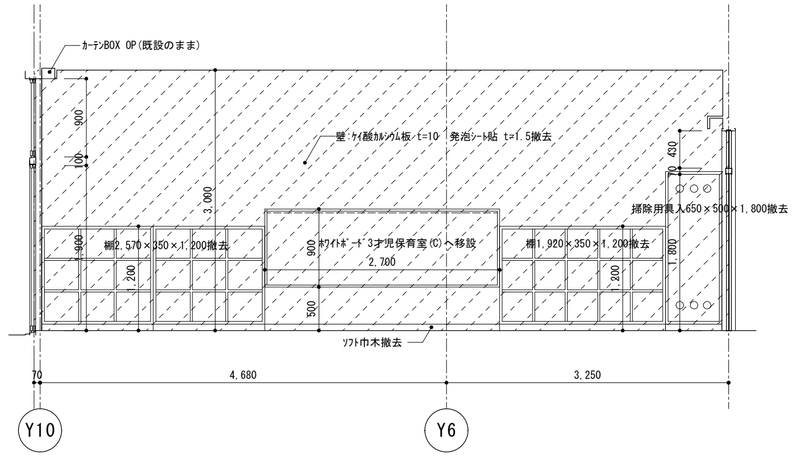
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-076
縮尺 1/50	図面名 3歳児保育室(C)展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育室(りすぐみ)



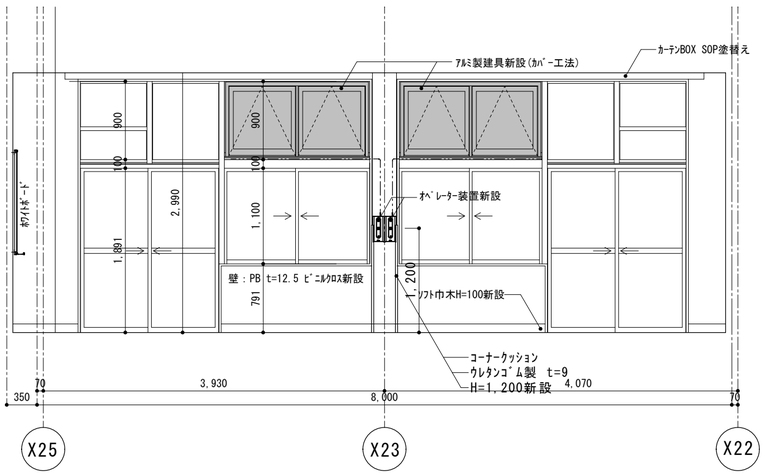
【Ｃ面】



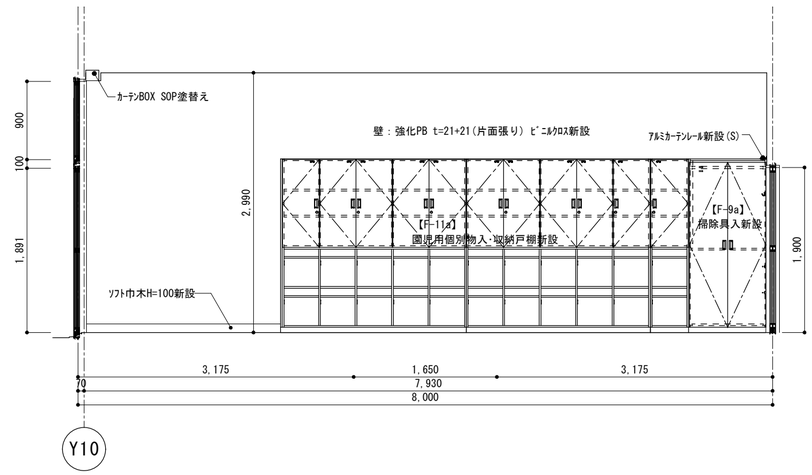
【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

改修後　3歳児保育室(C)



【Ｃ面】

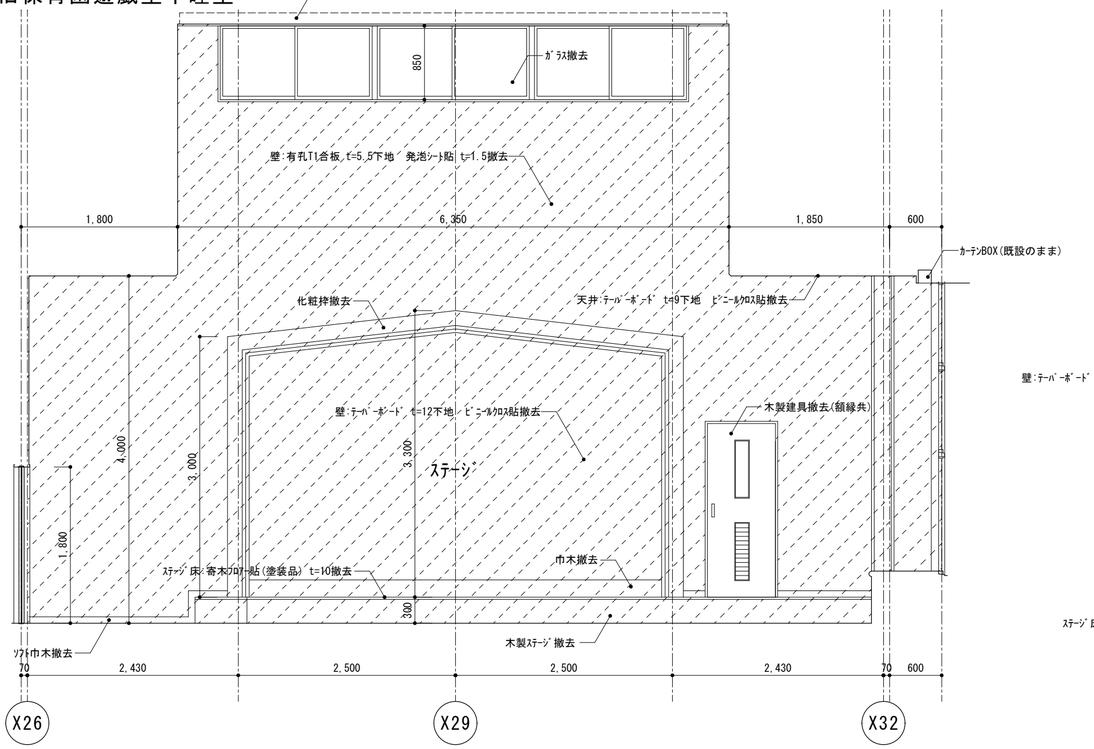


【Ｄ面】

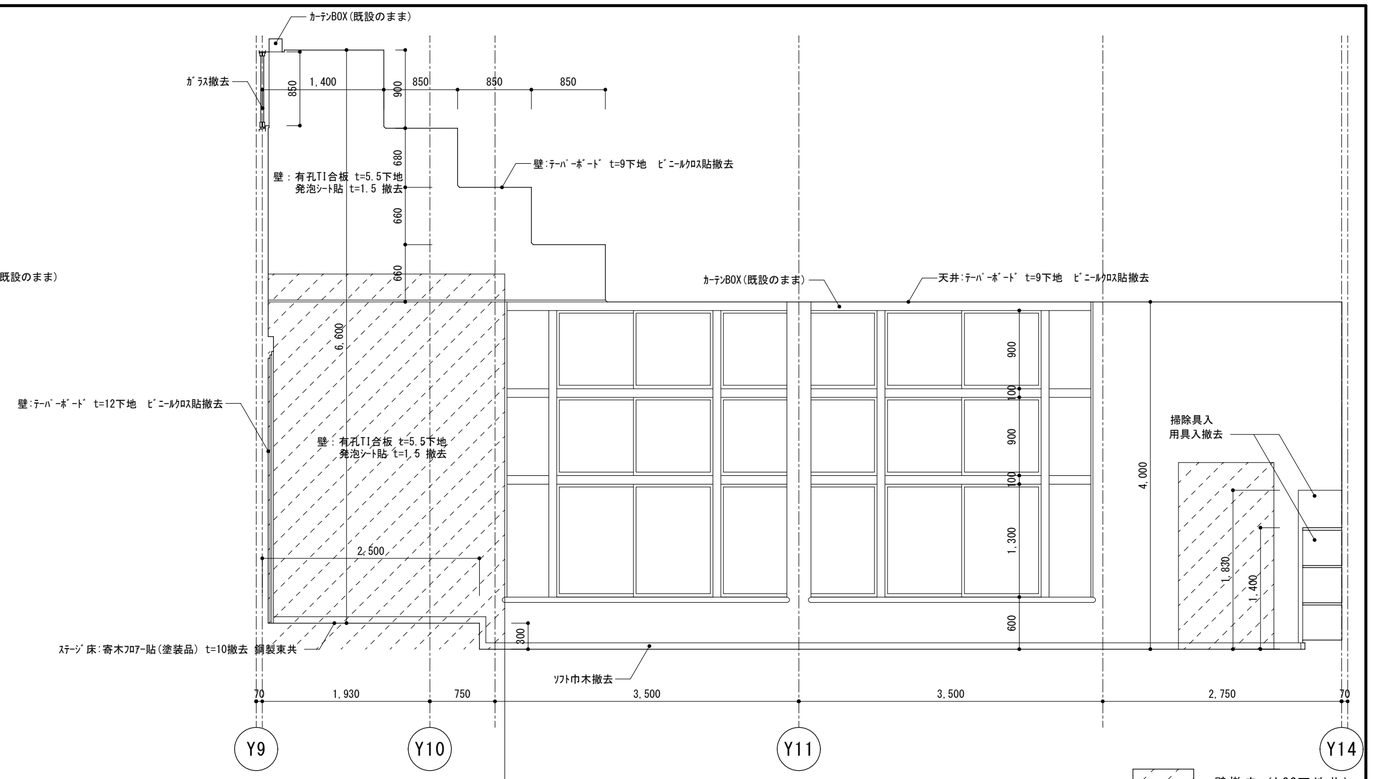
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-077
縮　尺 1/50	図面名 3歳児保育室(C)展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育園遊戯室午睡室



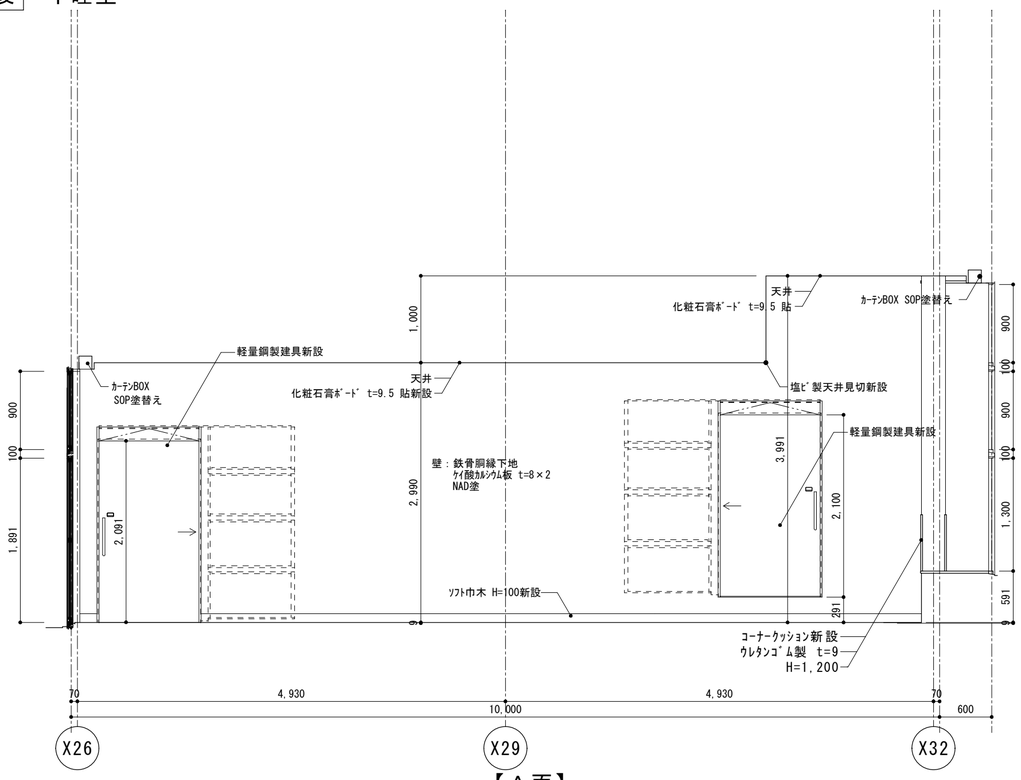
【Ａ面】



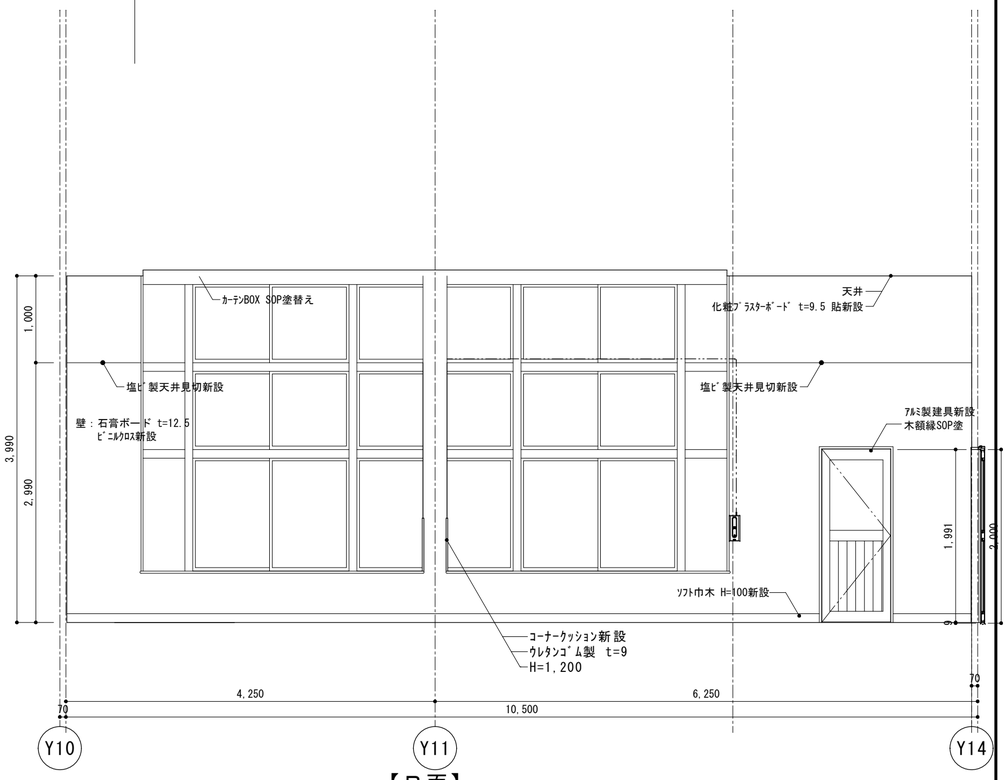
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

改修後　午睡室



【Ａ面】

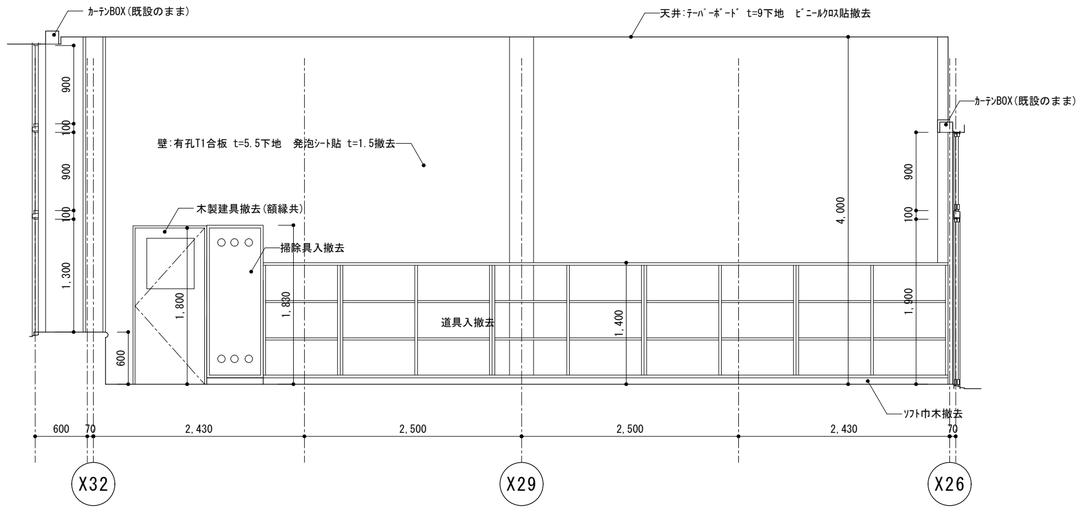


【Ｂ面】

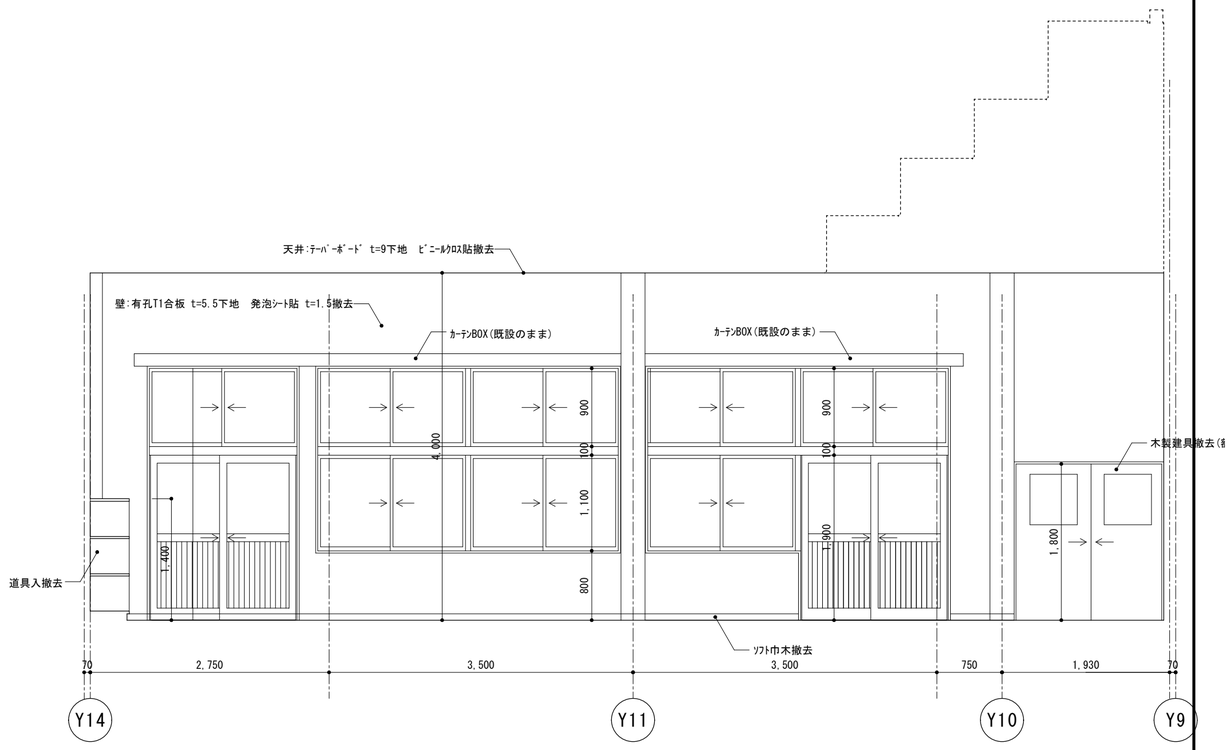
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-078
縮　尺 1/50	図面名 午睡室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育園遊戯室午睡室

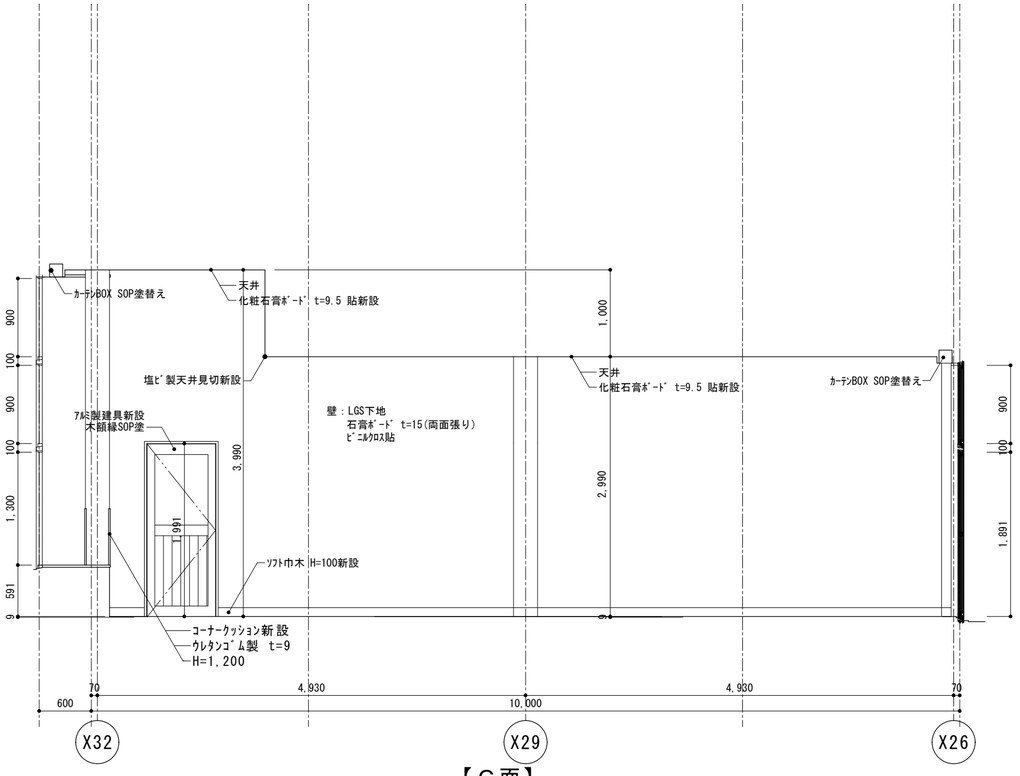


【Ｃ面】

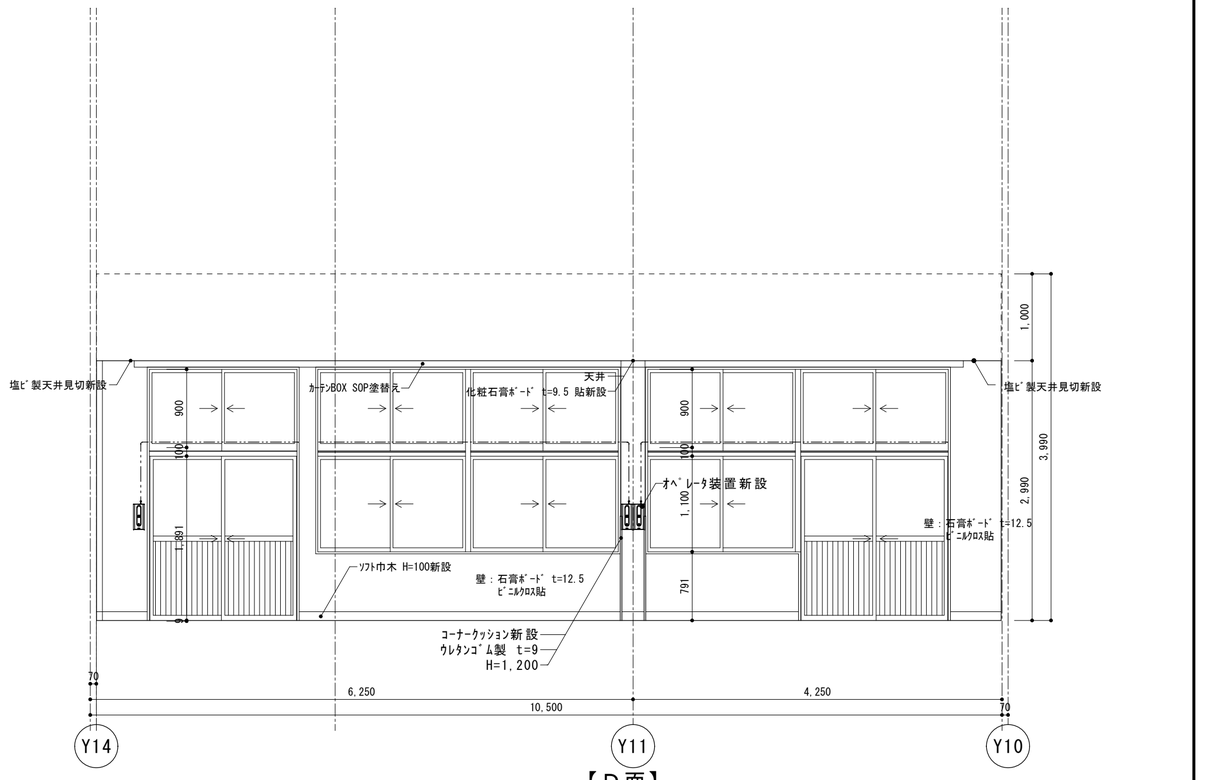


【Ｄ面】

改修後　午睡室



【Ｃ面】

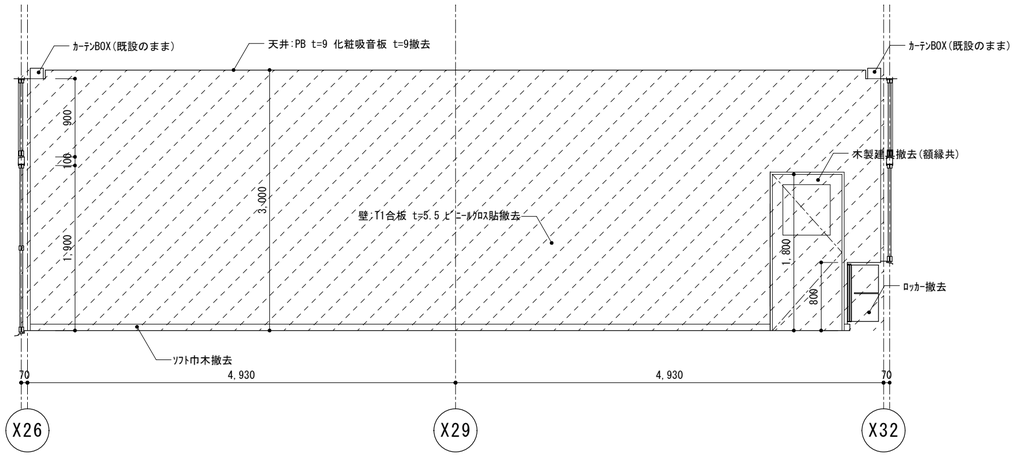


【Ｄ面】

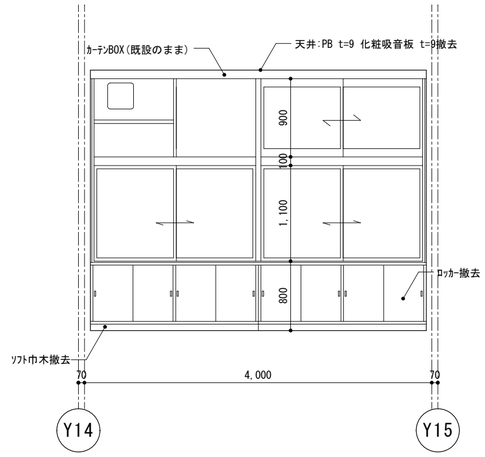
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-079
縮　尺 1/50	図面名 午睡室展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育園職員室



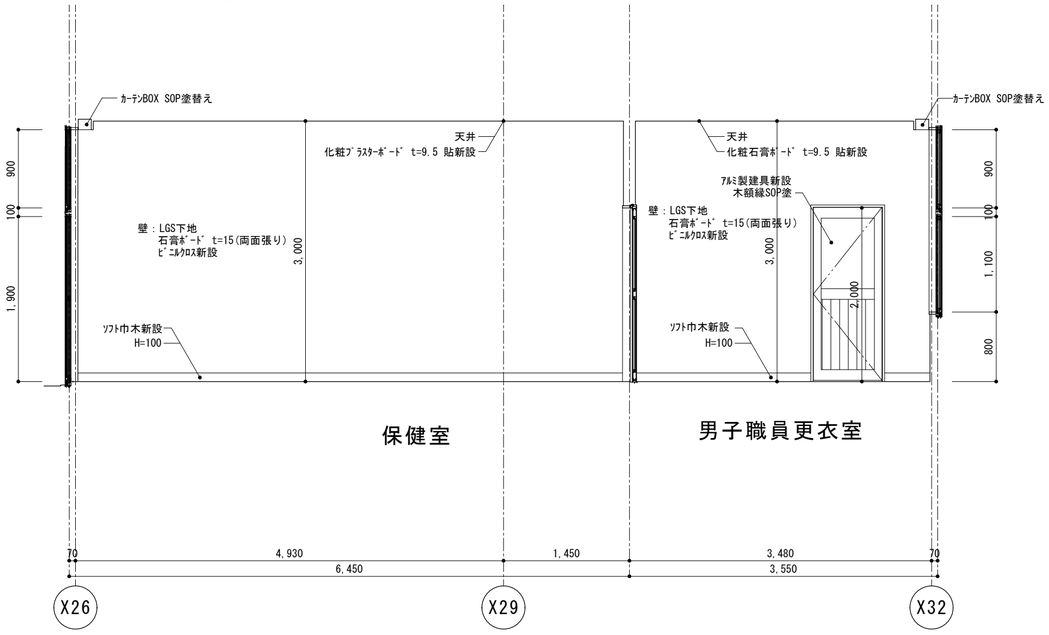
【Ａ面】



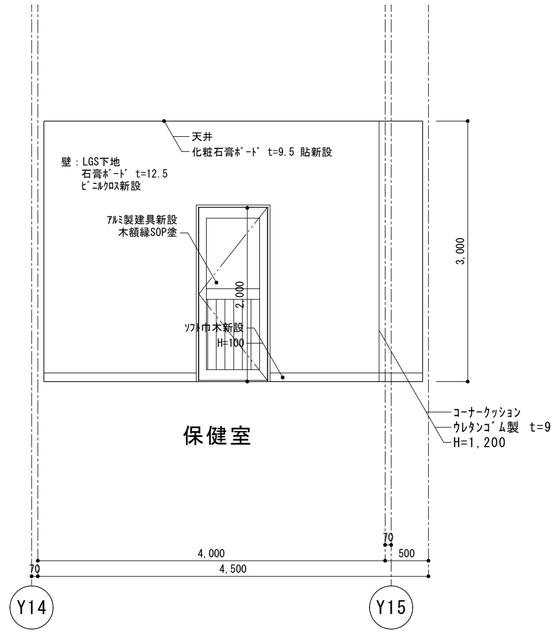
【Ｂ面】

：壁撤去（LGS下地共）範囲を示す。

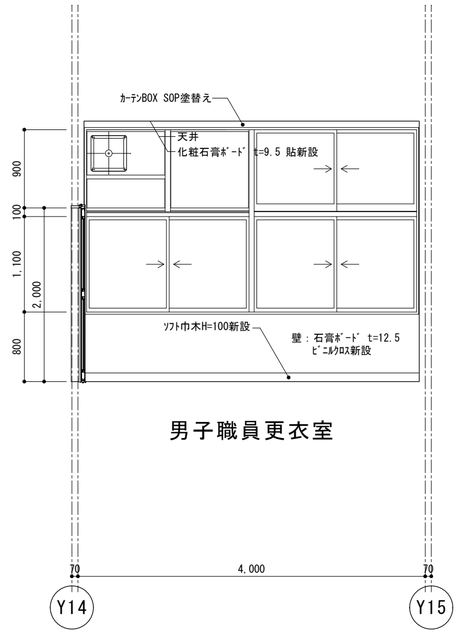
改修後　保健室・男子職員更衣室



【Ａ面】



【Ｂ面】

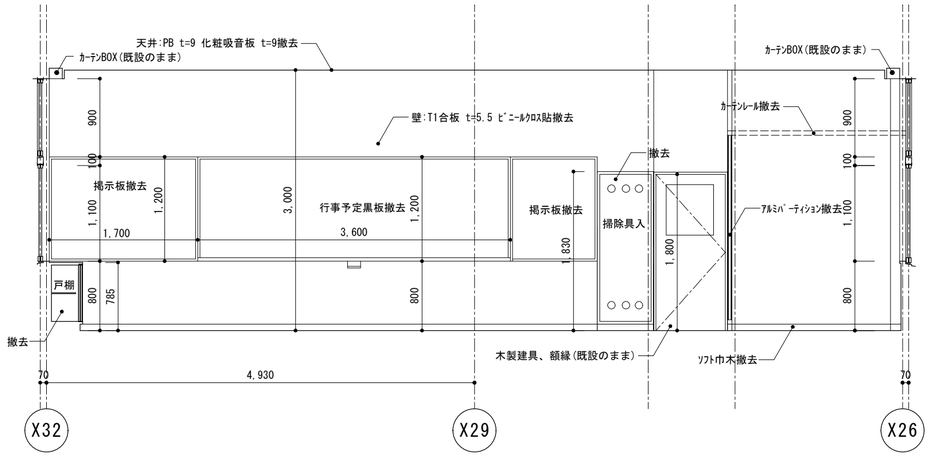


【Ｂ面】

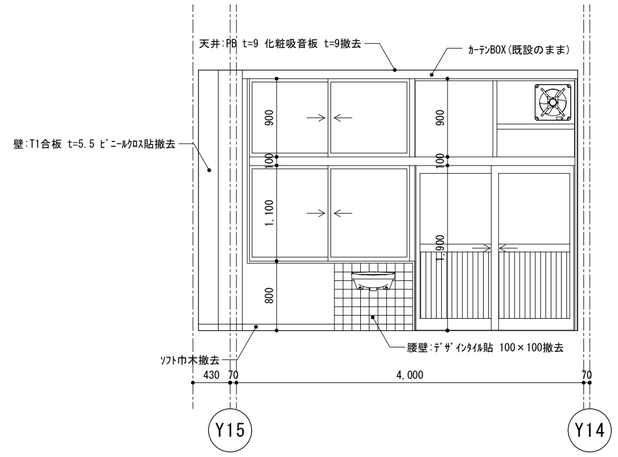
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-080
縮尺 1/50	図面名 保健室･男子職員更衣室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育園職員室

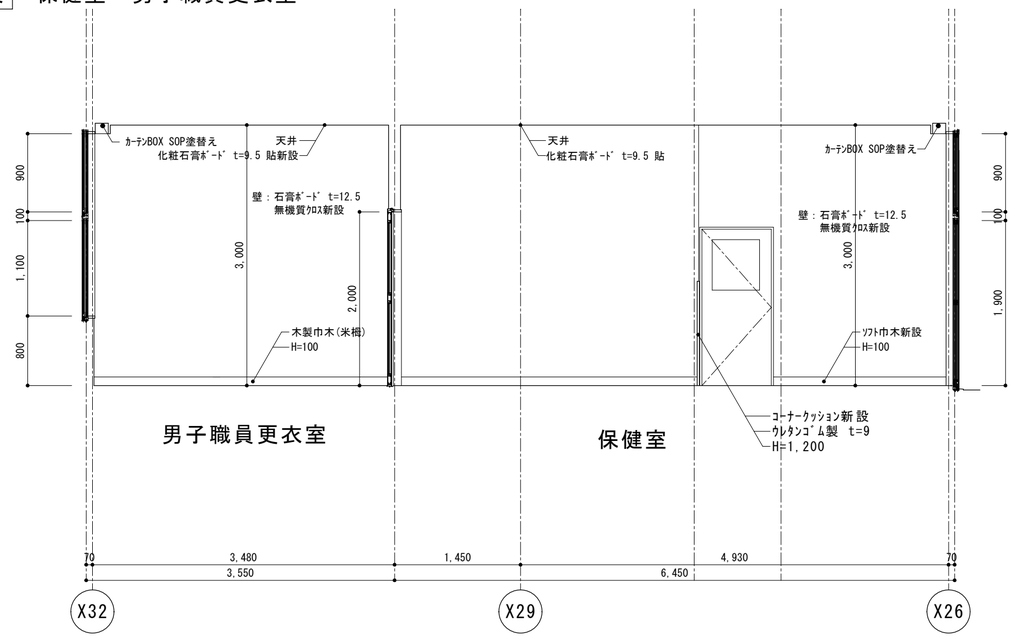


【Ｃ面】

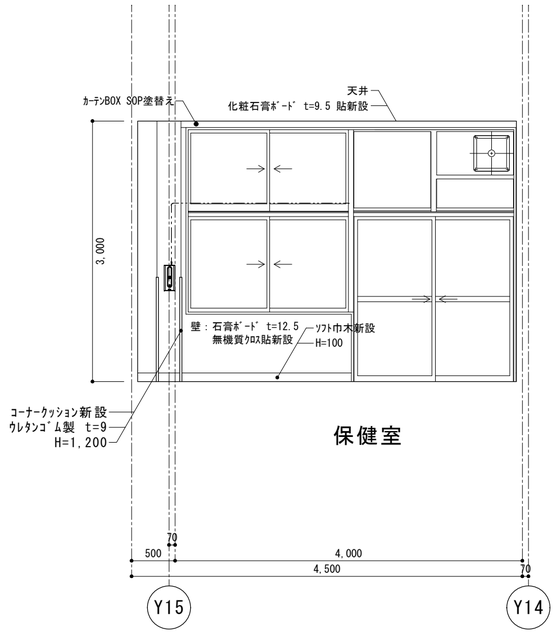


【Ｄ面】

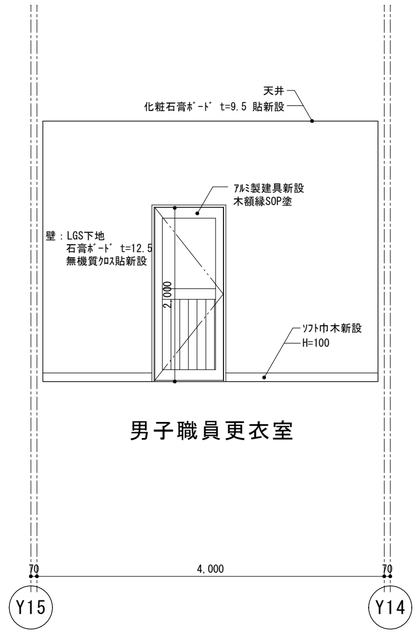
改修後　保健室・男子職員更衣室



【Ｃ面】



【Ｄ面】

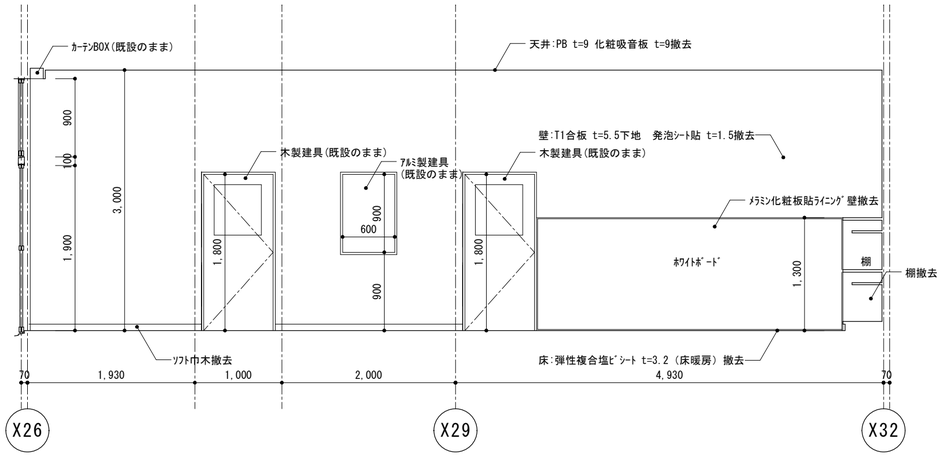


【Ｄ面】

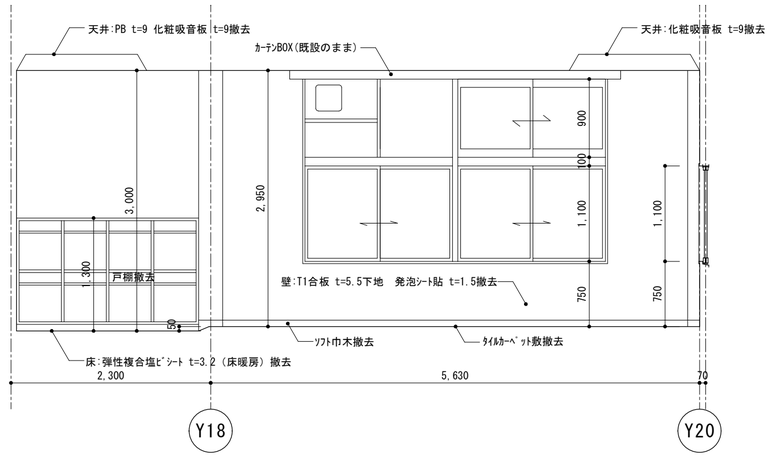
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-081
縮尺 1/50	図面名 保健室･男子職員更衣室展開図-02	（原図A2）

改修前　旧乳児室（あひる２）

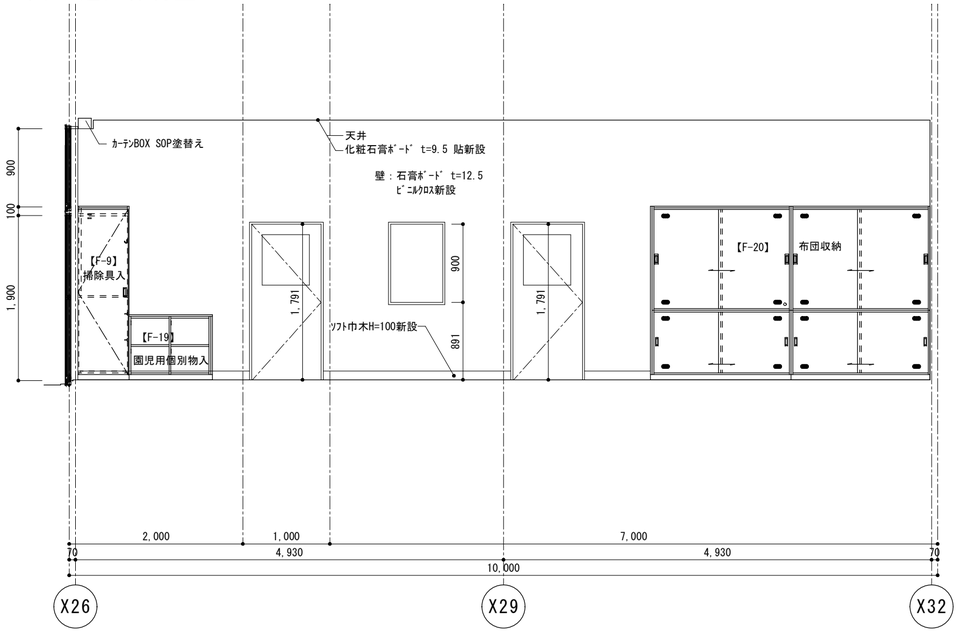


【Ａ面】

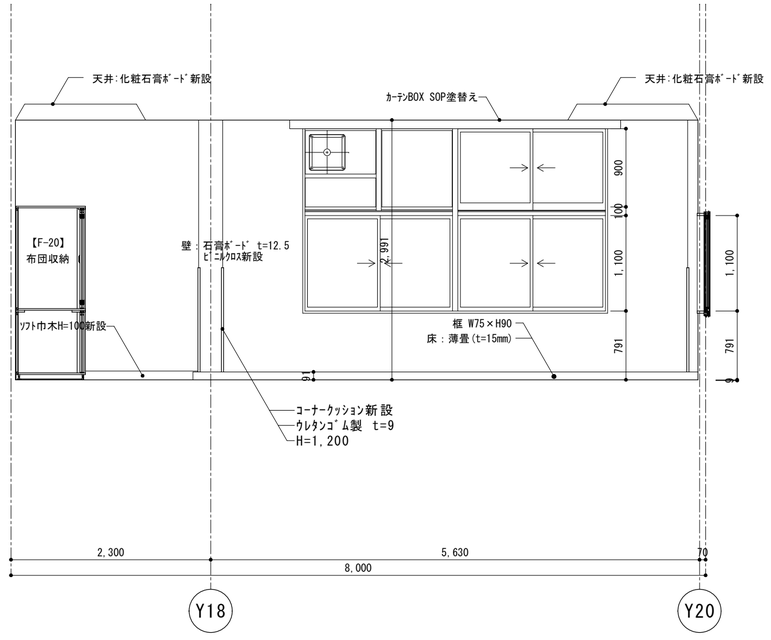


【Ｂ面】

改修後　早出･遅出保育室



【Ａ面】

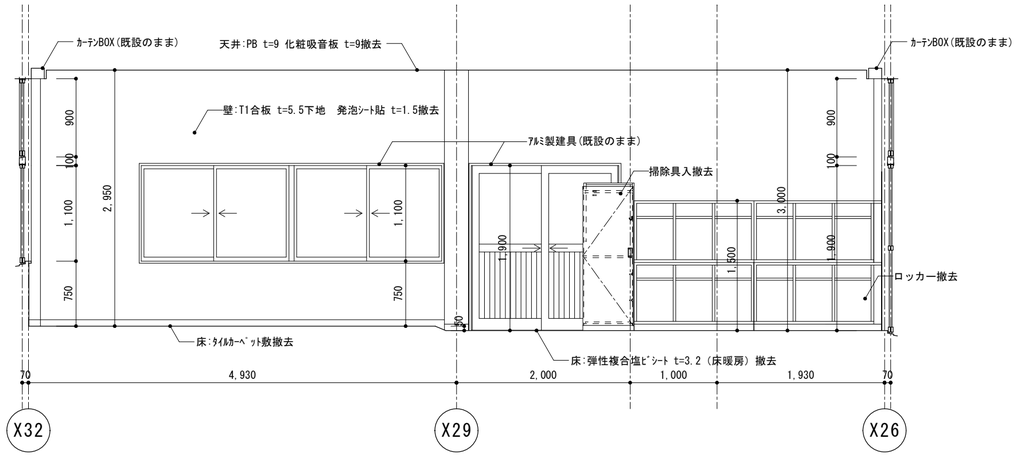


【Ｂ面】

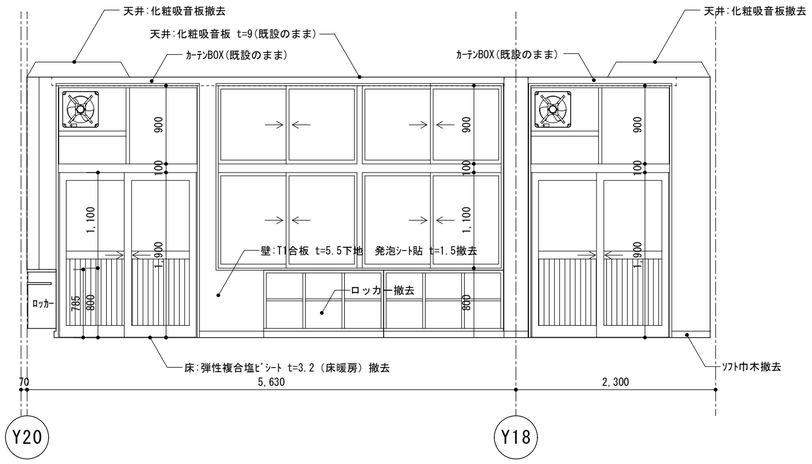
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-082
縮　尺 1/50	図面名 早出･遅出保育室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧乳児室（あひる２）

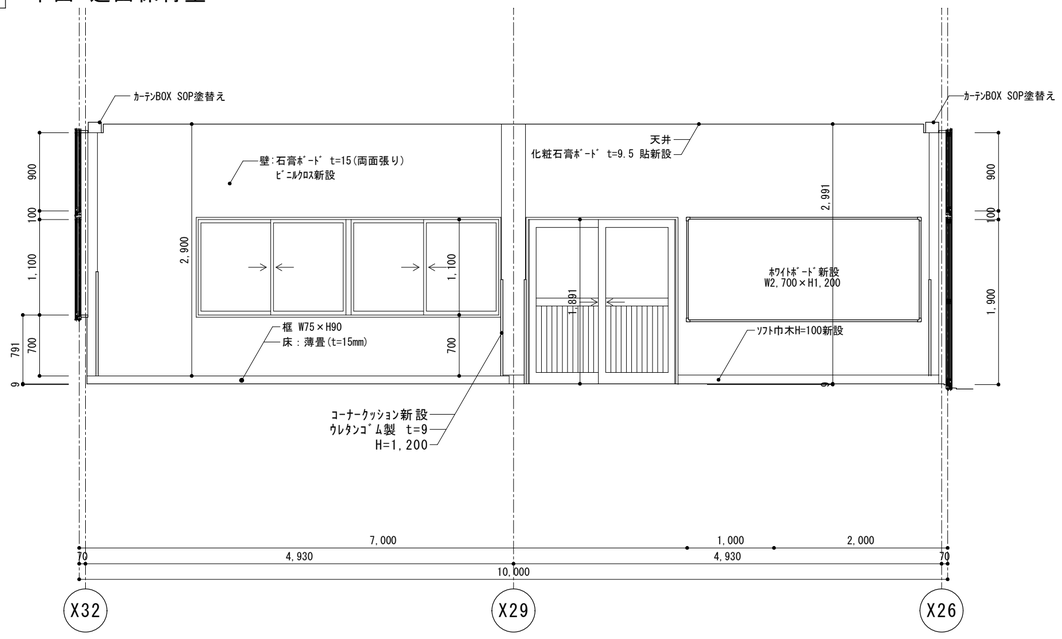


【Ｃ面】

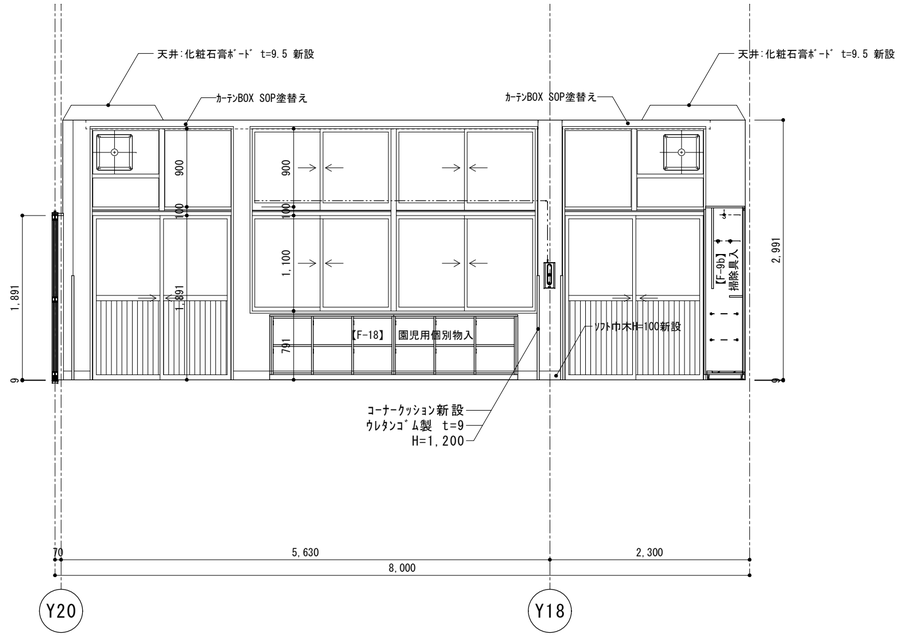


【Ｄ面】

改修後　早出･遅出保育室



【Ｃ面】

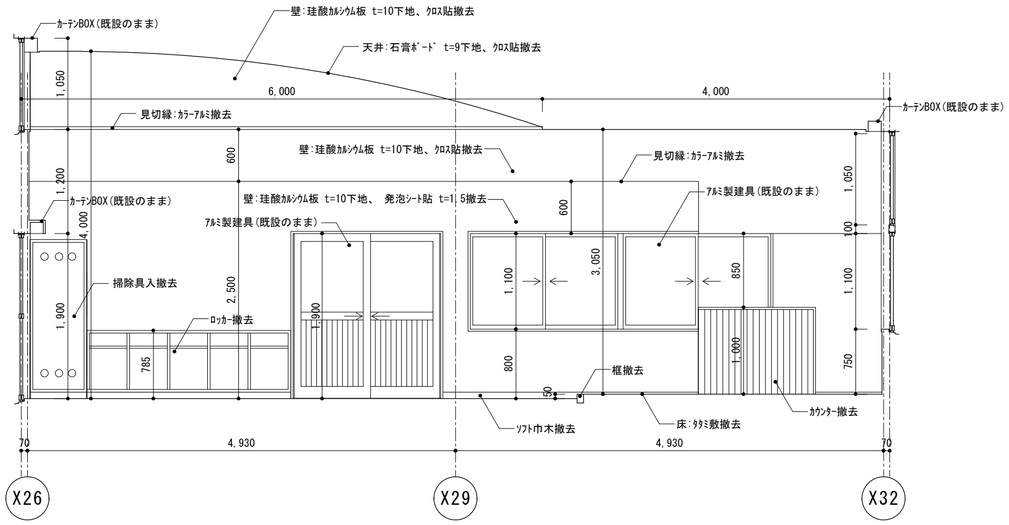


【Ｄ面】

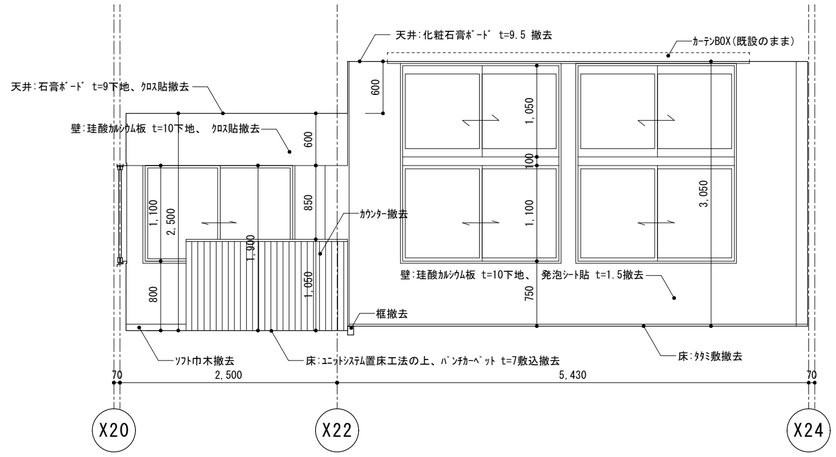
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-083
縮　尺 1/50	図面名 早出･遅出保育室展開図-02	（原図A2）

改修前　旧乳児室（ひよこ）



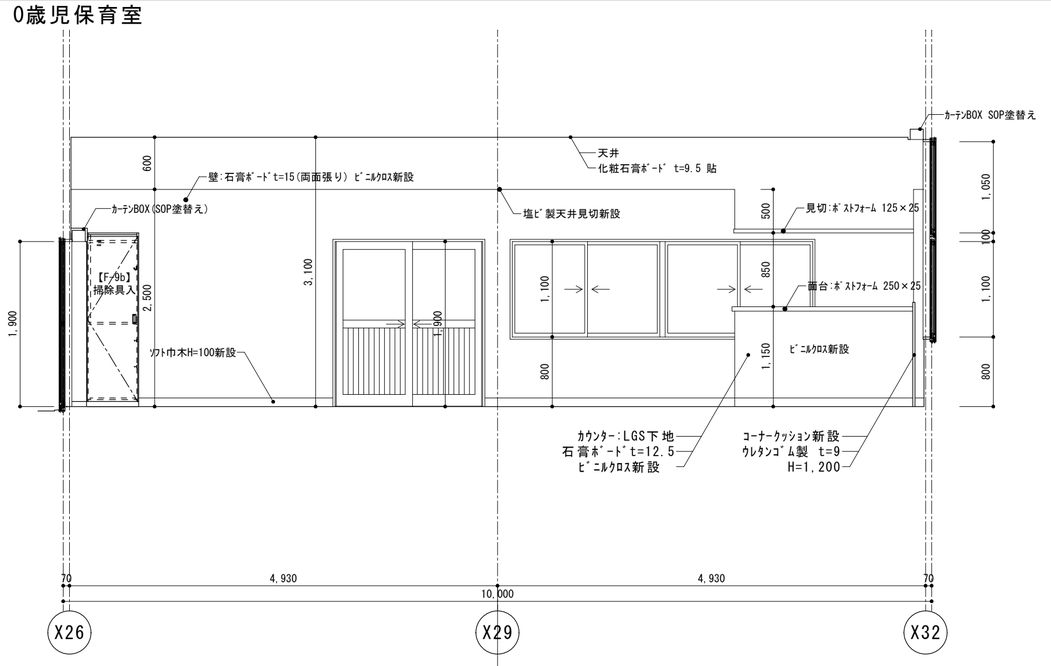
【Ａ面】



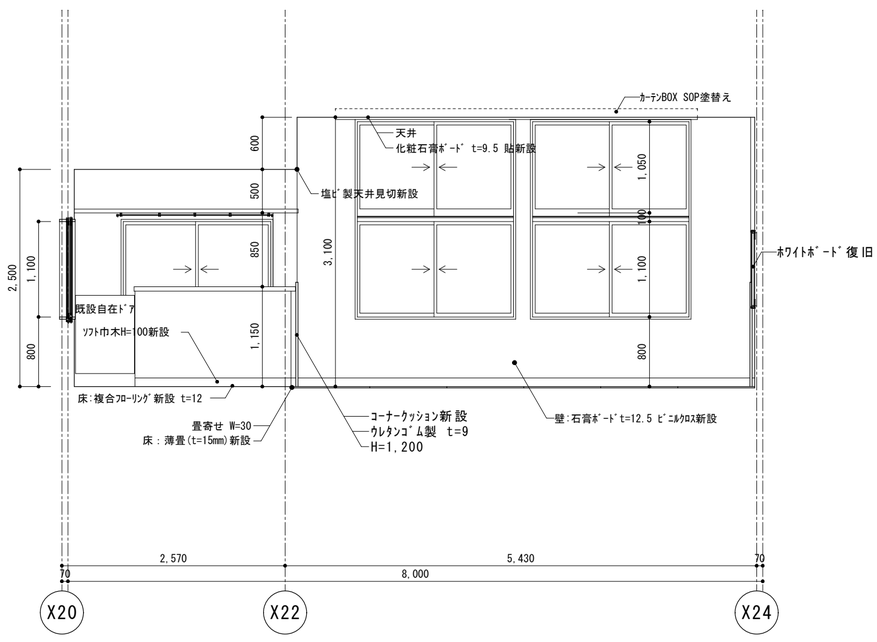
【Ｂ面】

ｶｰﾃﾝBOX(既設のまま)

改修後　0歳児保育室



【Ａ面】

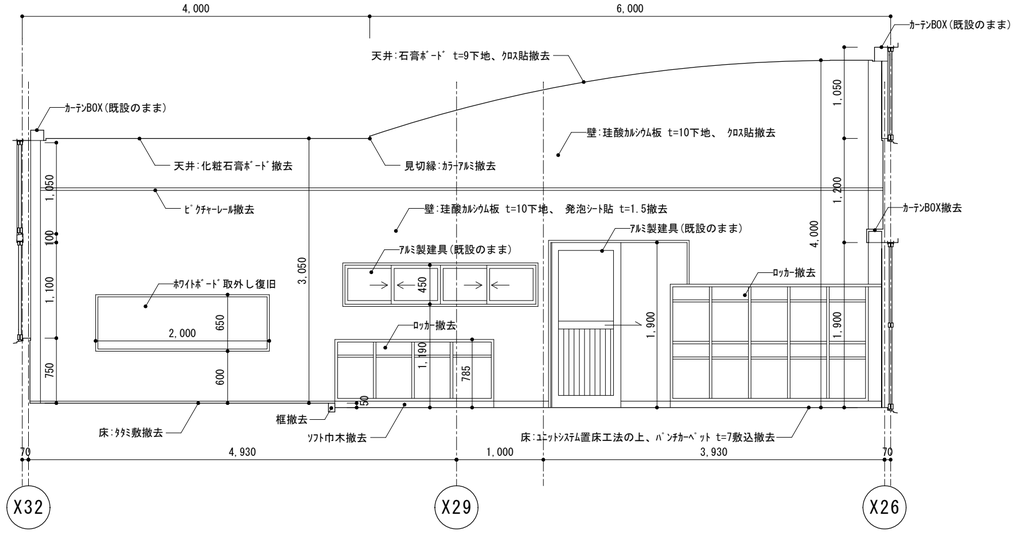


【Ｂ面】

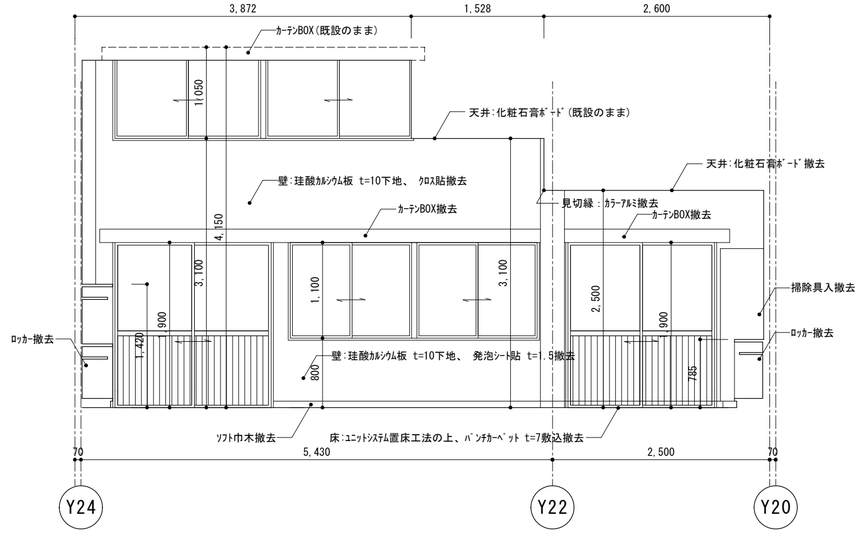
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-084
縮尺 1/50	図面名 0歳児保育室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧乳児室（ひよこ）

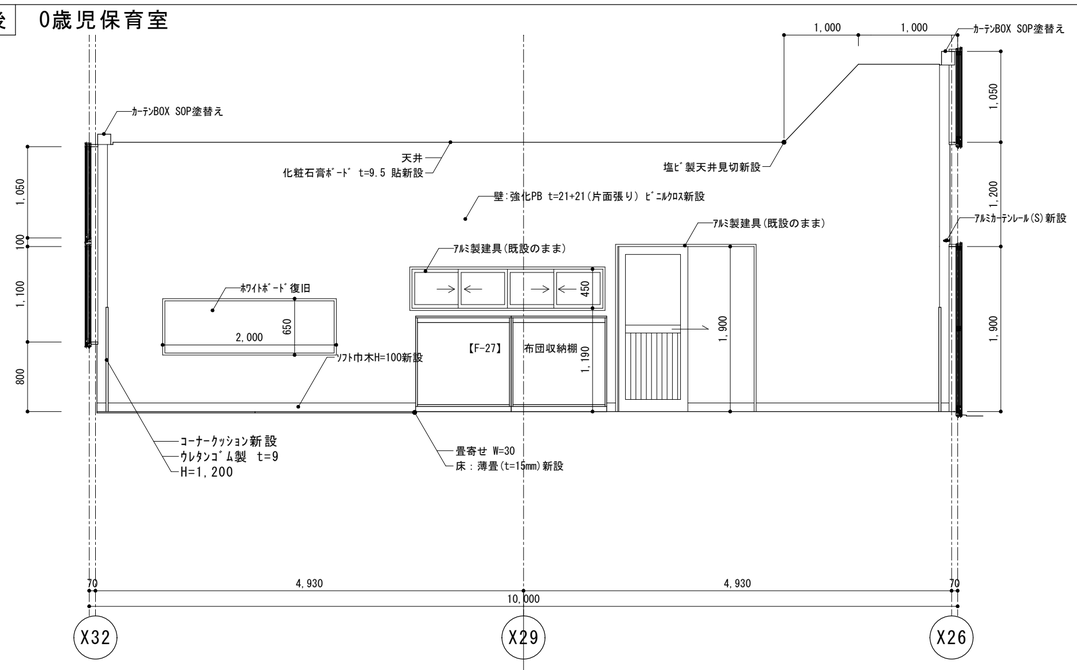


【Ｃ面】

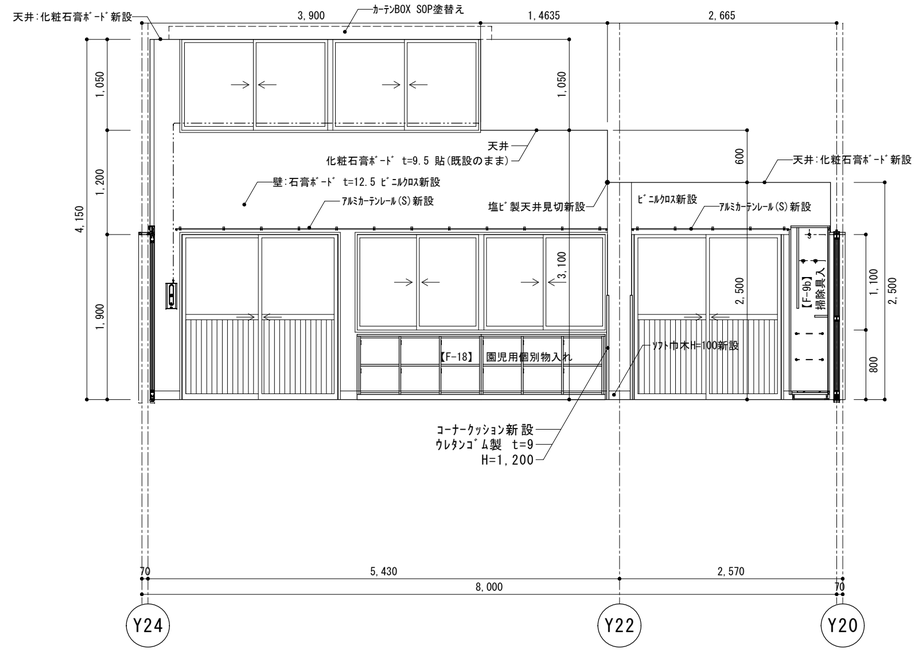


【Ｄ面】

改修後　0歳児保育室



【Ｃ面】

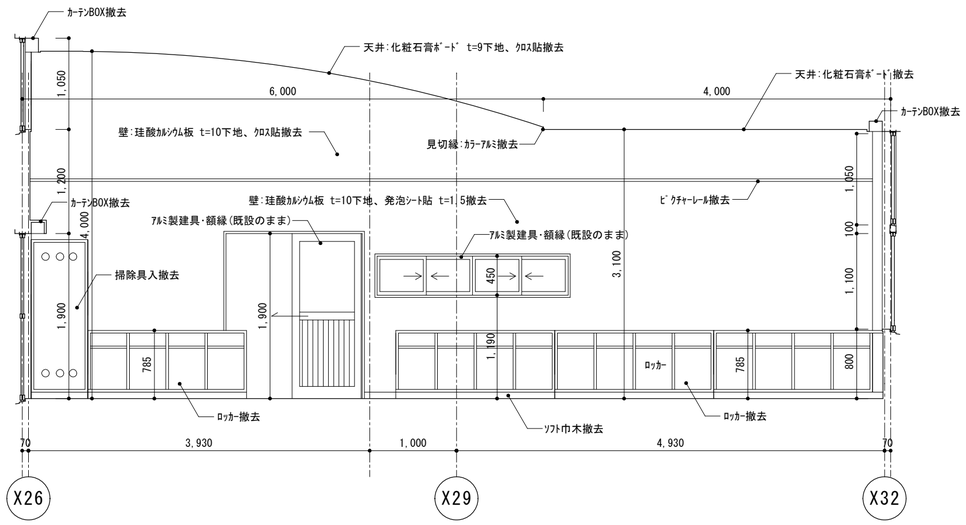


【Ｄ面】

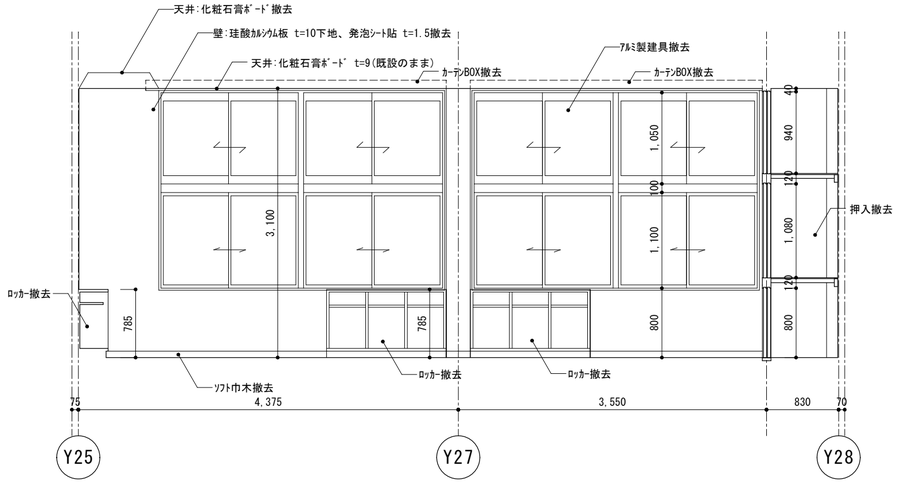
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-085
縮　尺 1/50	図面名 0歳児保育室展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育室（あひる１）

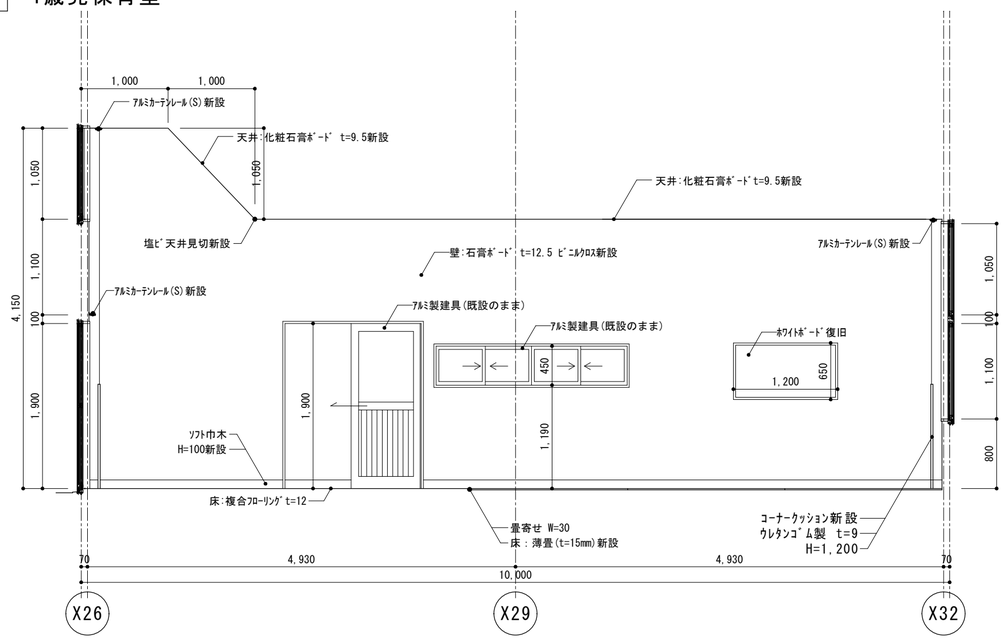


【Ａ面】

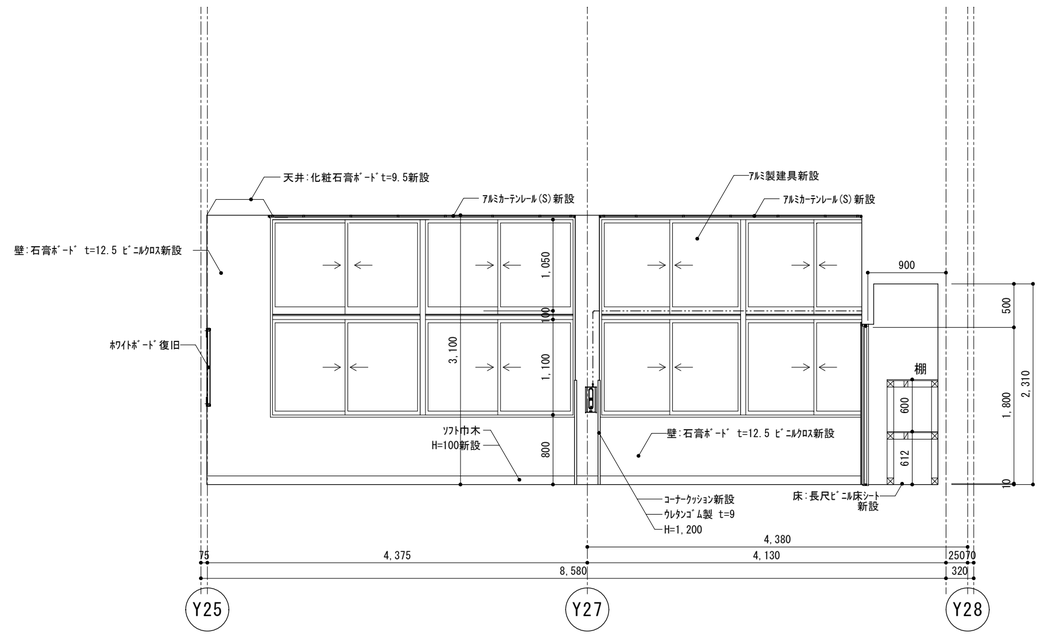


【Ｂ面】

改修後　1歳児保育室



【Ａ面】

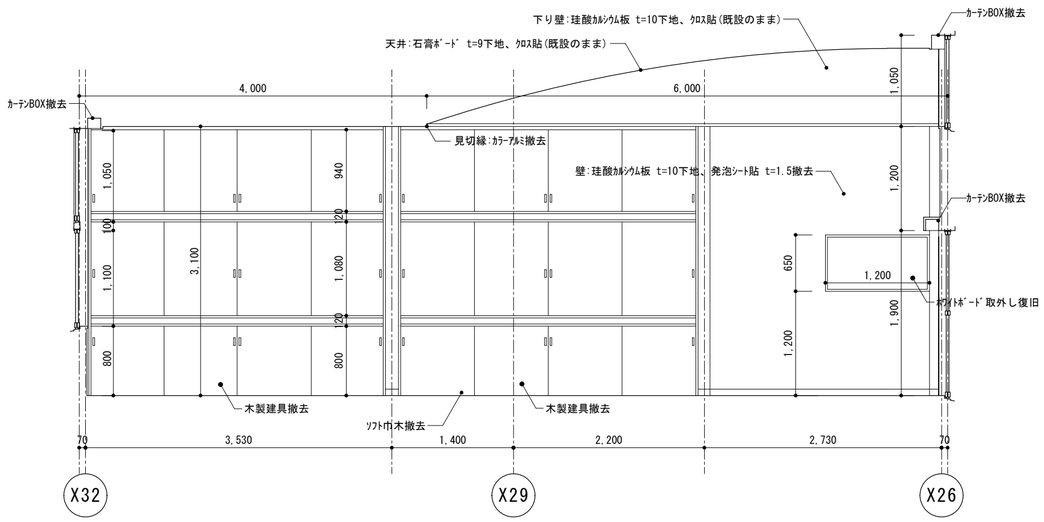


【Ｂ面】

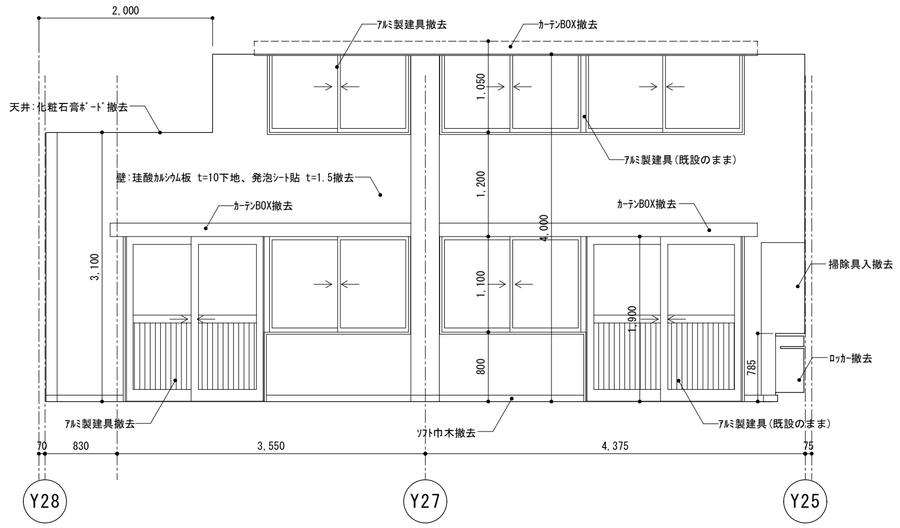
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-086
縮尺 1/50	図面名 1歳児保育室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育室（あひる１）

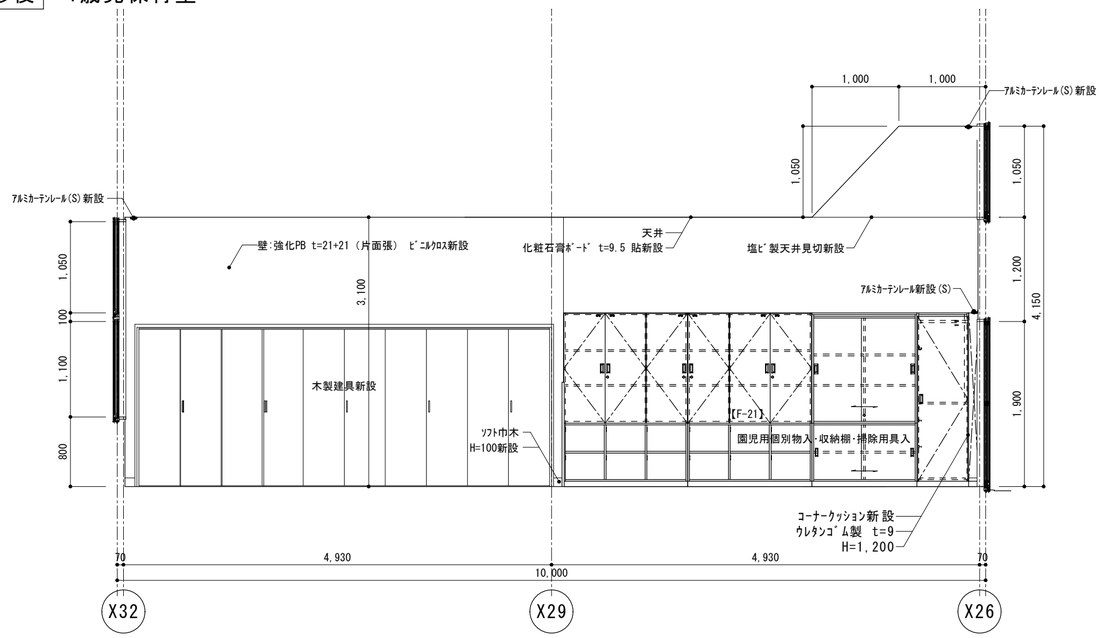


【Ｃ面】

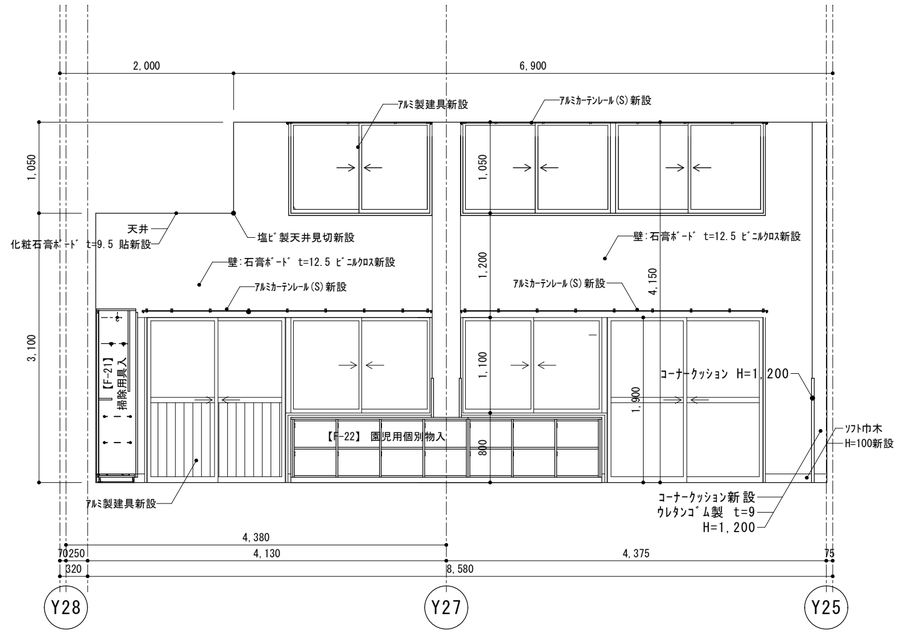


【Ｄ面】

改修後　1歳児保育室



【Ｃ面】

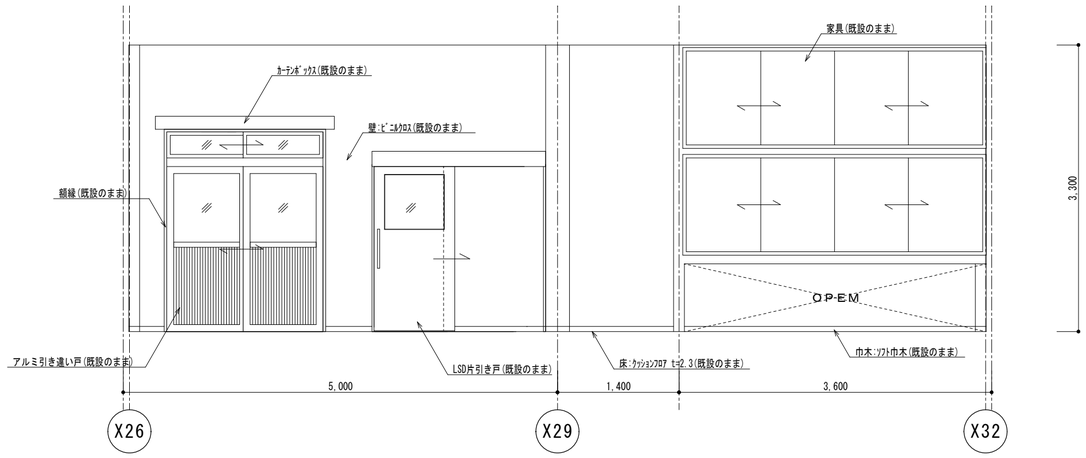


【Ｄ面】

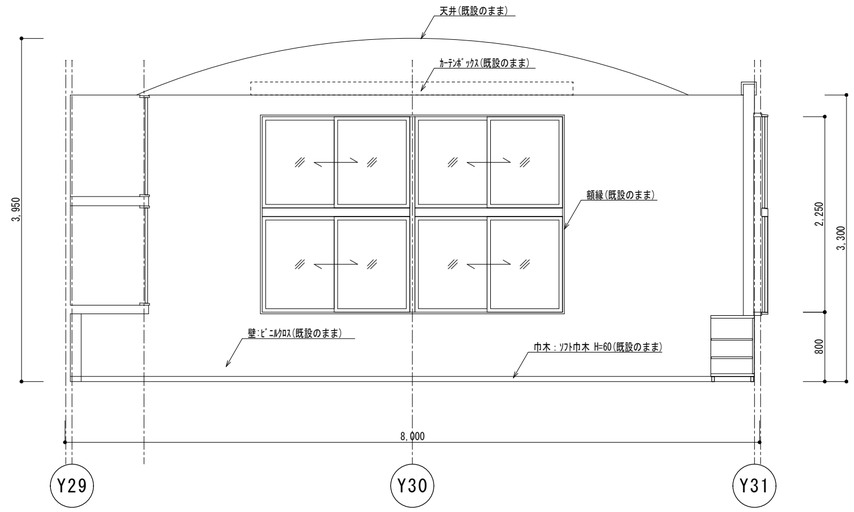
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-087
縮尺 1/50	図面名 1歳児保育室展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育室（うさぎ）

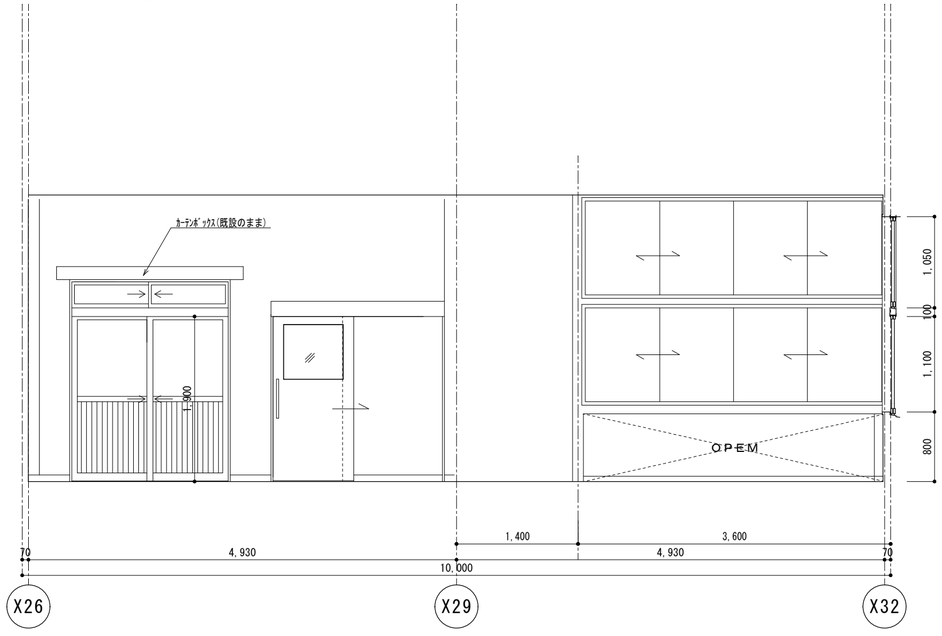


【Ａ面】

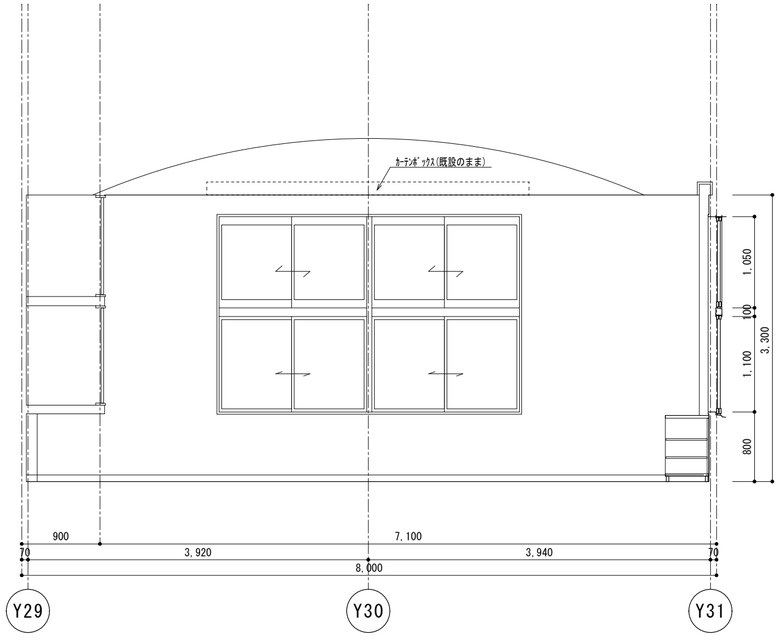


【Ｂ面】

改修後　2歳児保育室（工事範囲外）



【Ａ面】

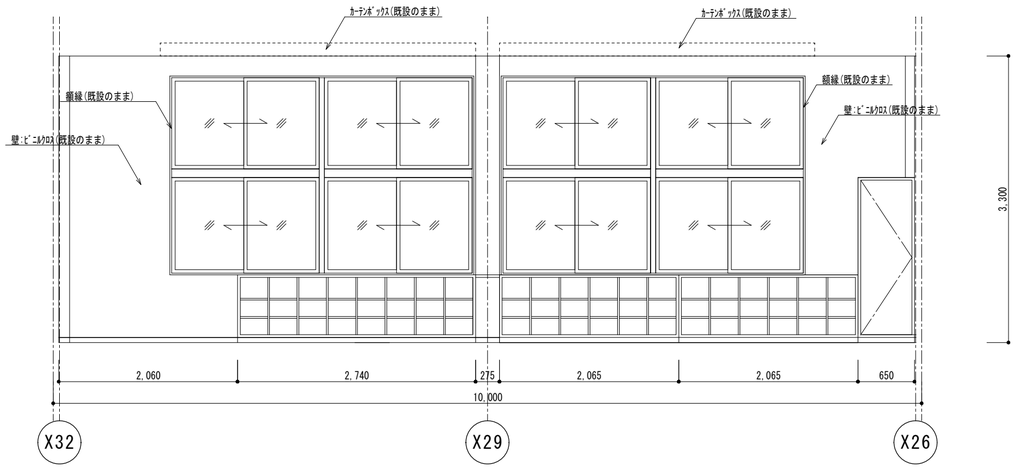


【Ｂ面】

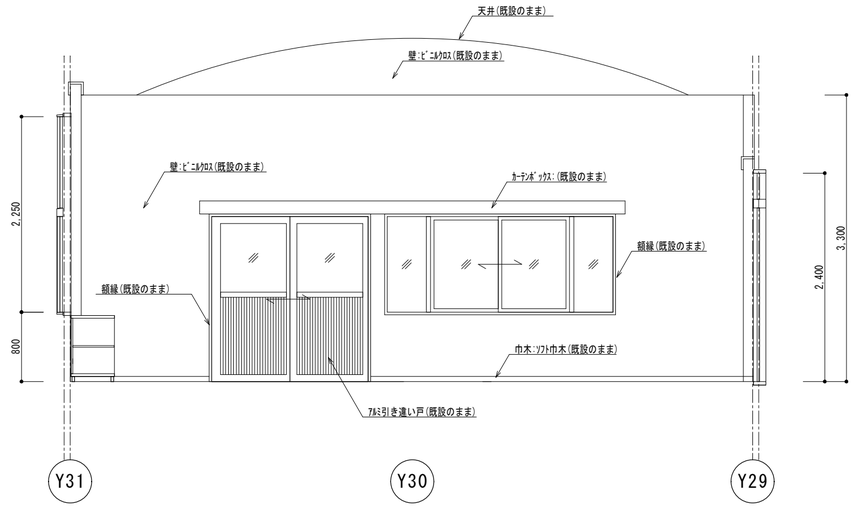
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-088
縮　尺 1/50	図面名 2歳児保育室展開図-01	（原図A2）

改修前　旧保育室（うさぎ）

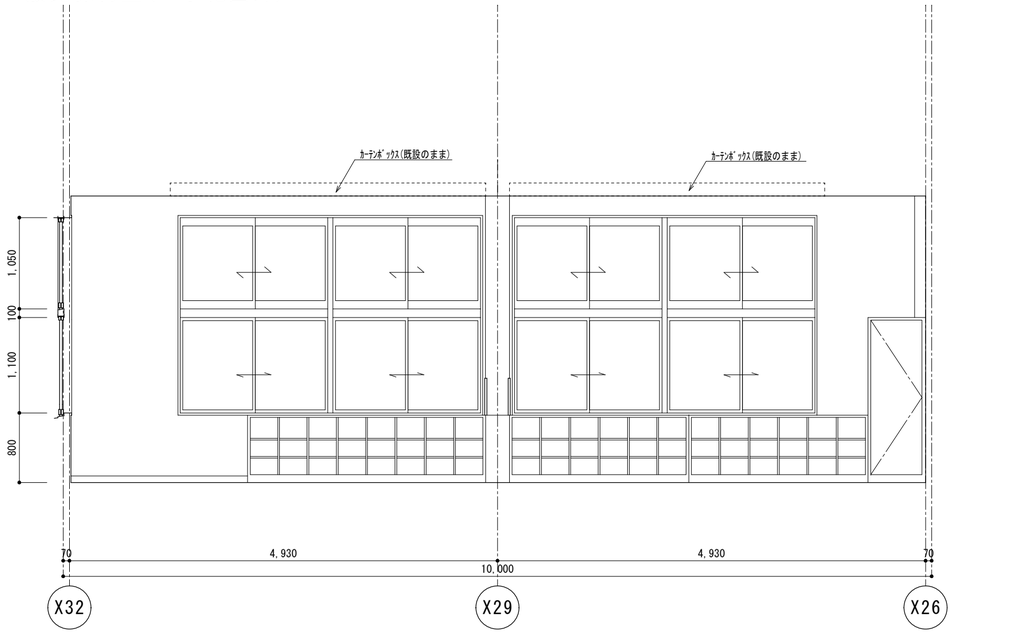


【Ｃ面】

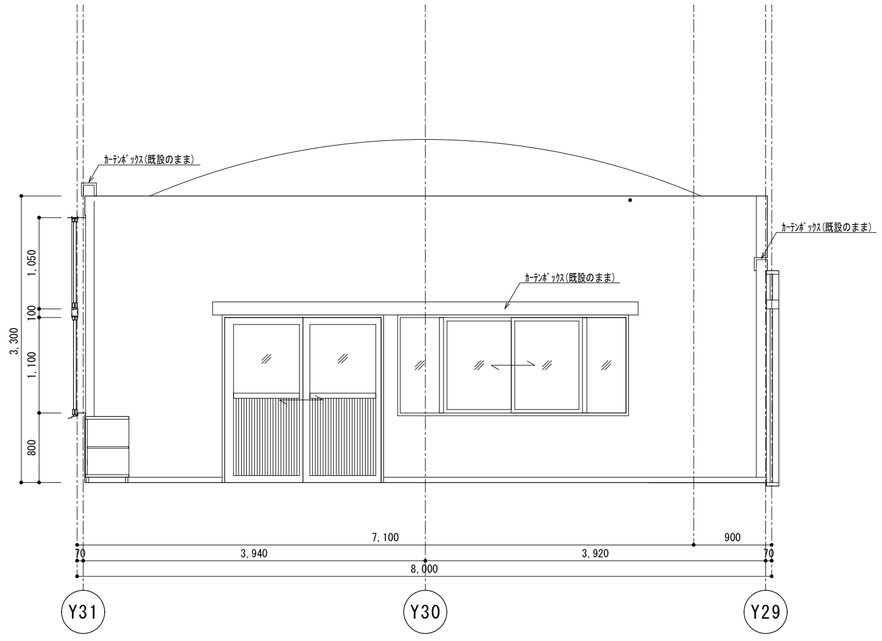


【Ｄ面】

改修後　2歳児保育室（工事範囲外）



【Ｃ面】

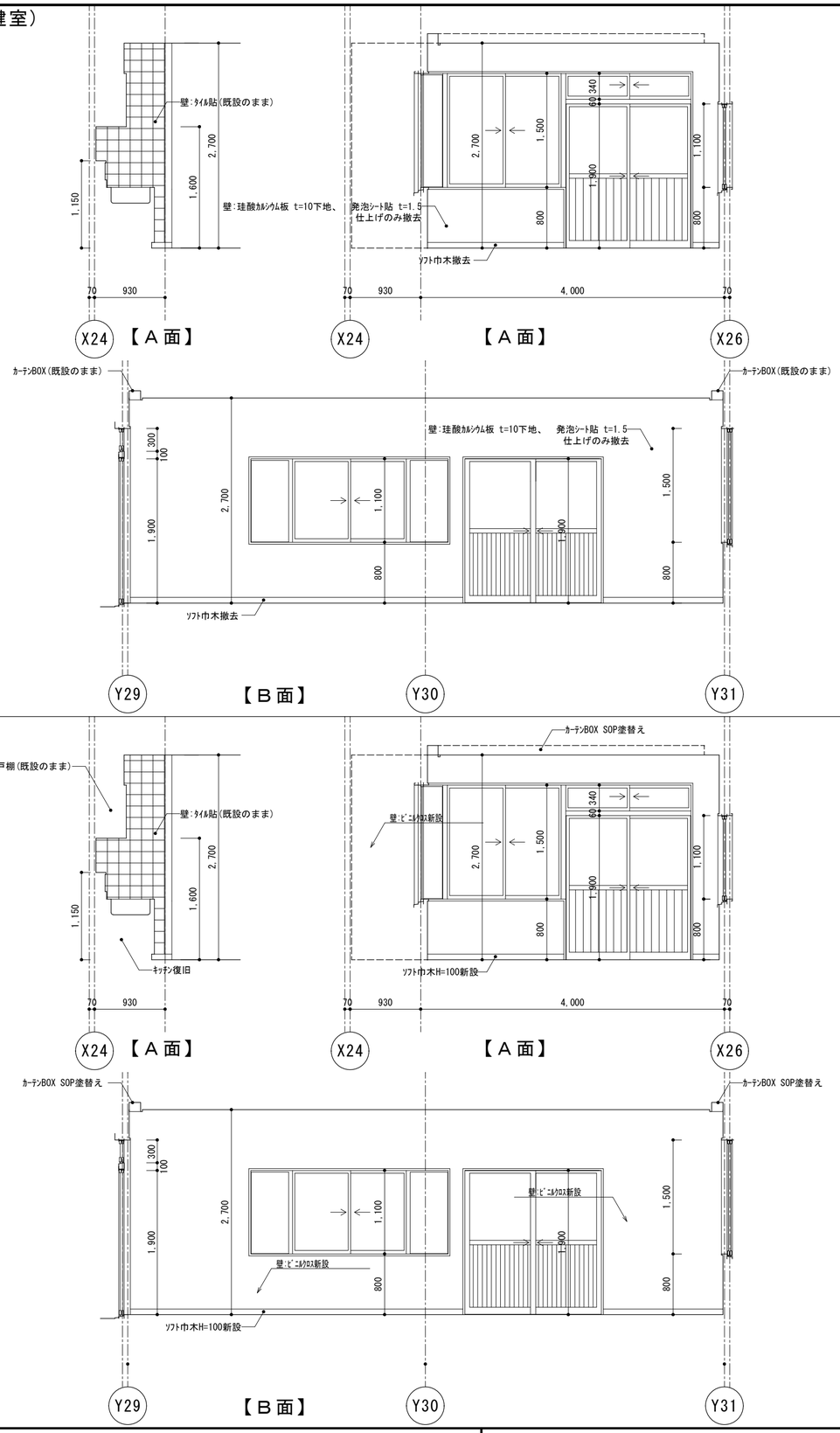


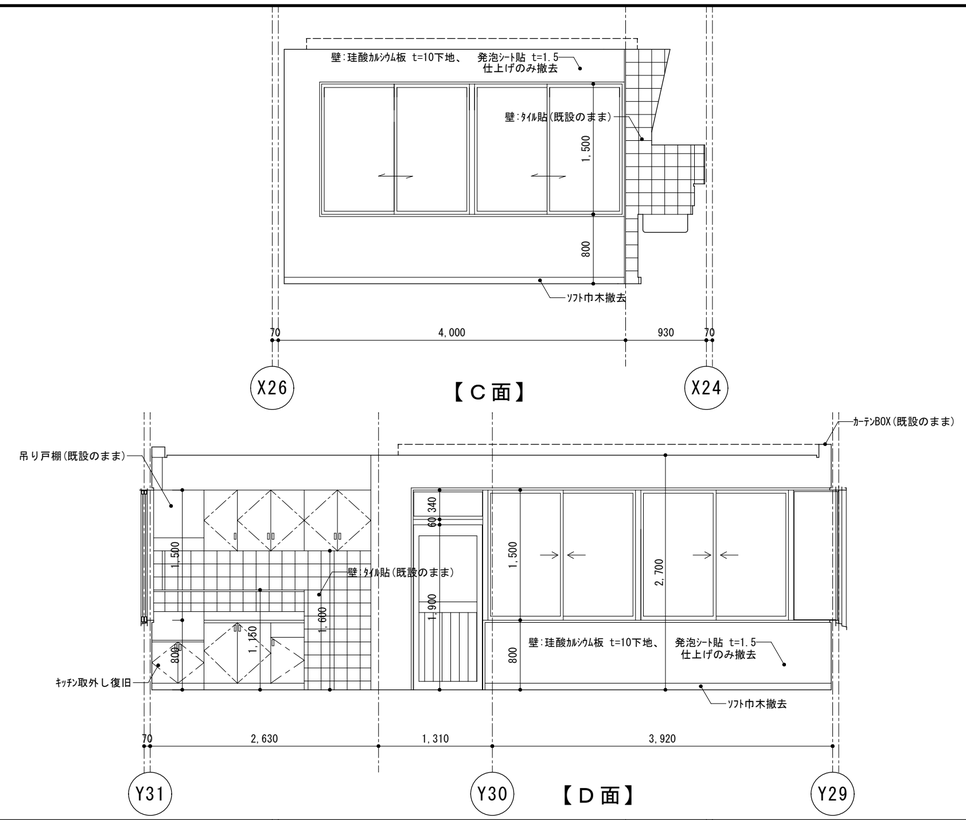
【Ｄ面】

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

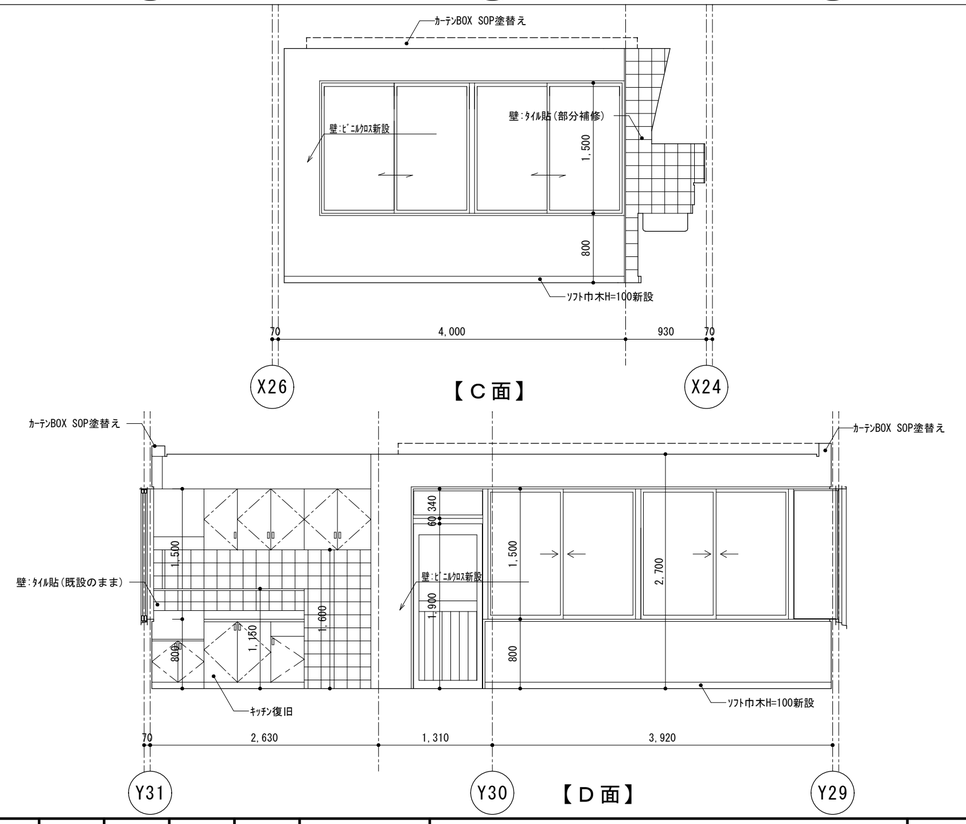
年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-089
縮　尺 1/50	図面名 2歳児保育室展開図-02	（原図A2）

改修前　旧保育園 事務室(保健室)



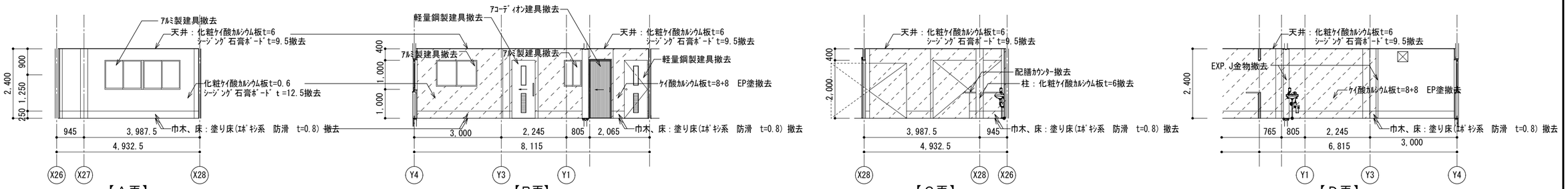


改修後　相談室(会議室)



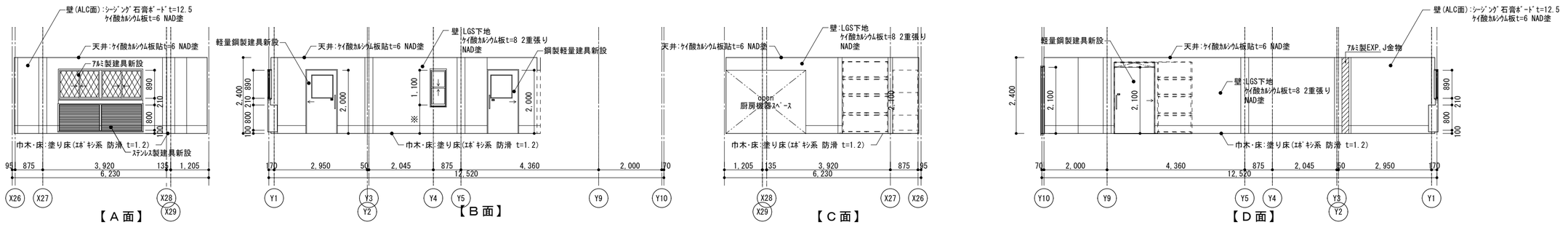
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1－1522号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085				年月日	工事名称 (仮称)一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号	
				縮 尺 1/50	図 面 名 相談室(会議室)展開図-01	A-090 (原図A2)	

改修前　旧厨房(調理室)

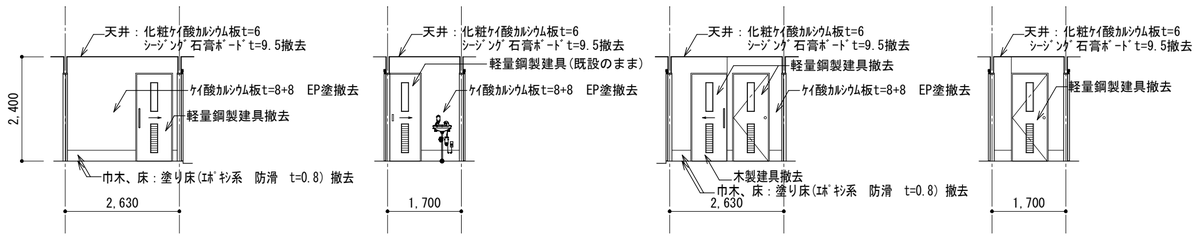


：壁撤去（LGS下地共）の範囲を示す。

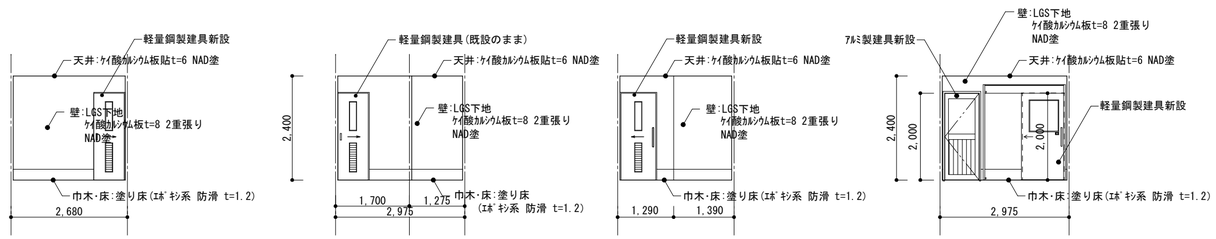
改修後　厨房(調理室･配膳室)



改修前　旧厨房(前室)



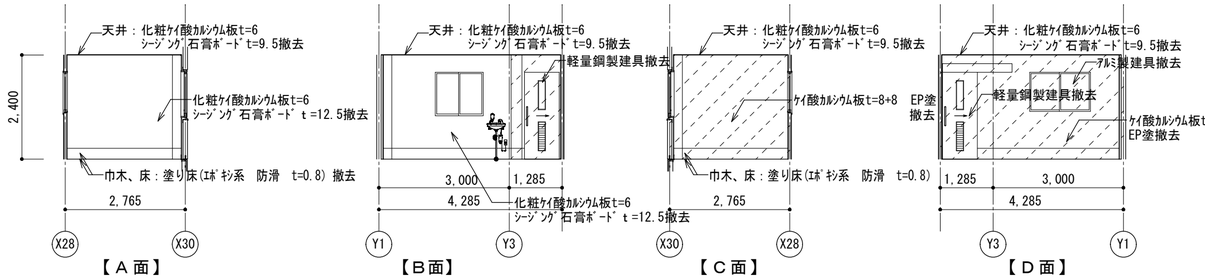
改修後　厨房(前室)



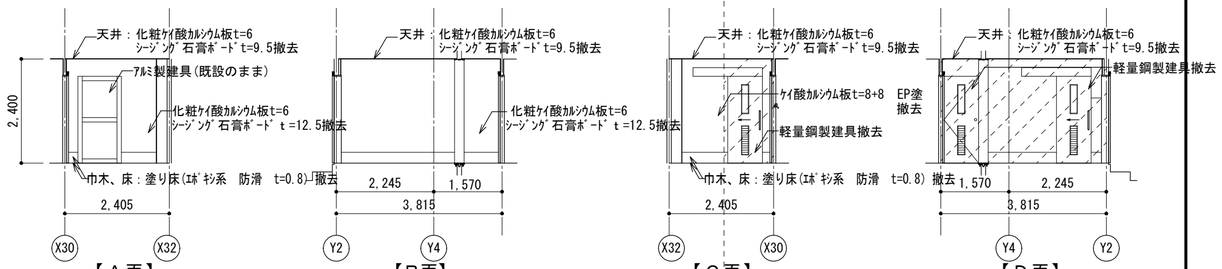
内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1 －１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-091
縮　尺 1/100	図面名 厨房 展開図-01	（原図A2）

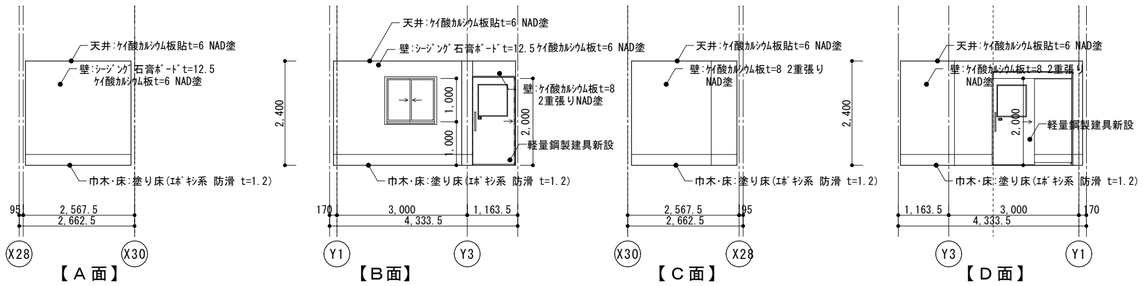
改修前　旧厨房（下処理室）



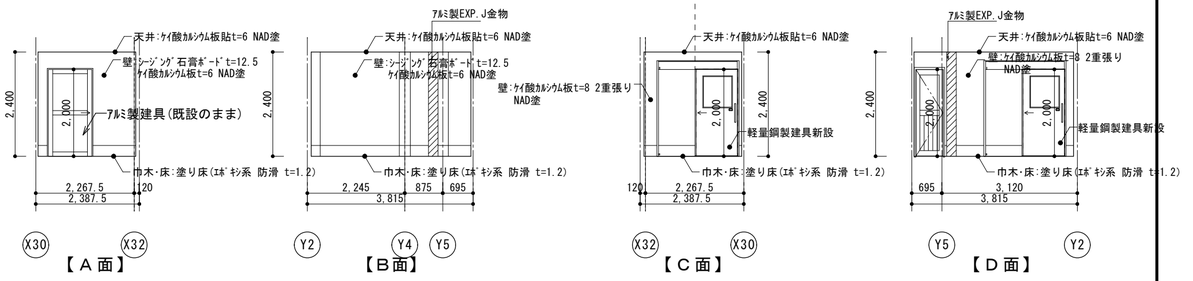
改修前　旧厨房（検収室）



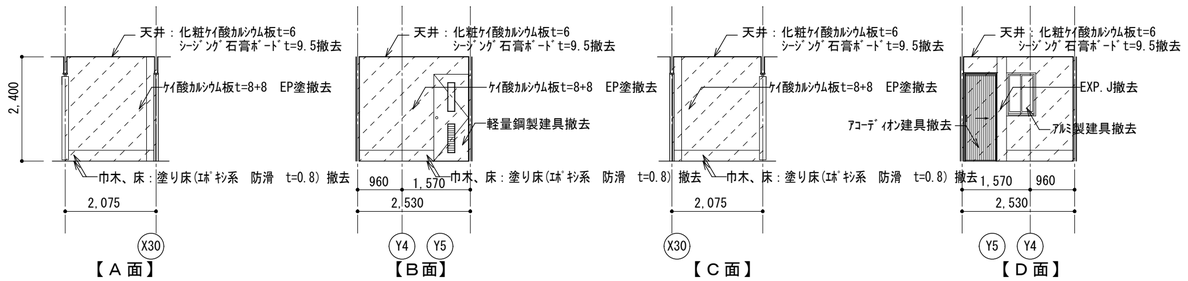
改修後　厨房（下処理室）



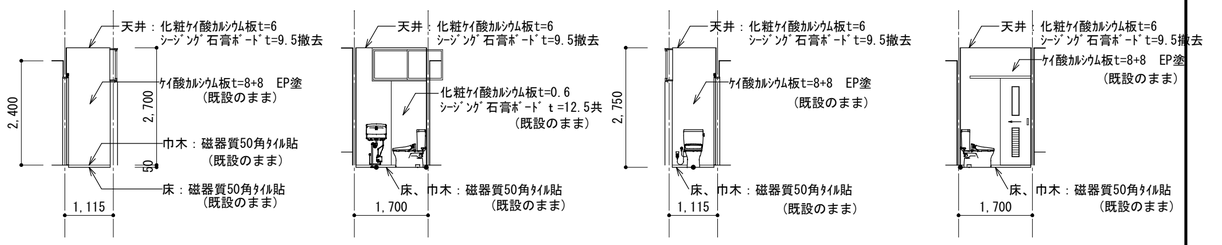
改修後　厨房（検収室）



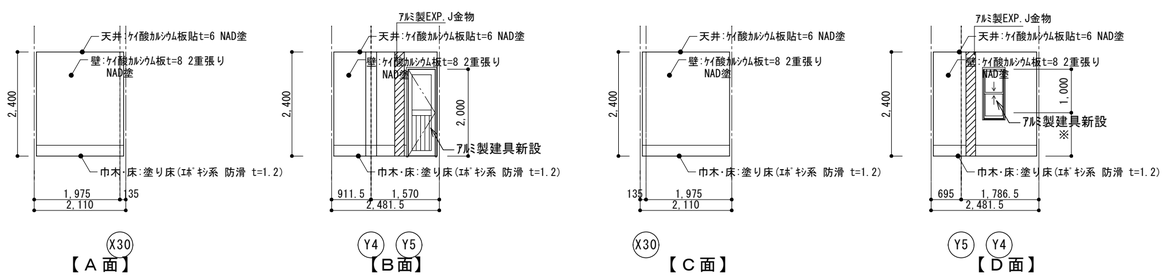
改修前　旧厨房（食品庫室）



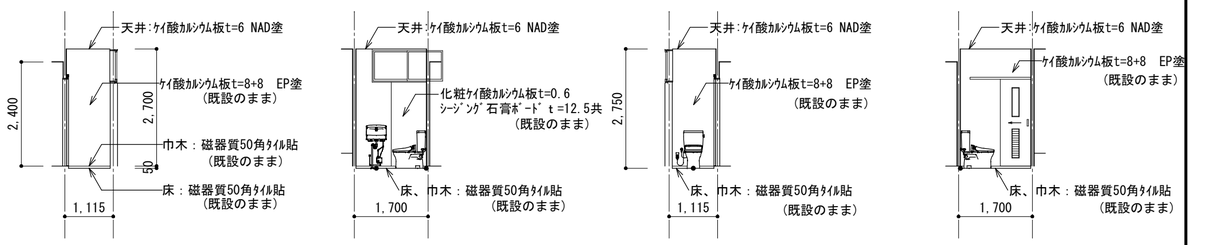
改修前　旧厨房（便所）



改修後　厨房（食品庫）



改修後　厨房（便所）

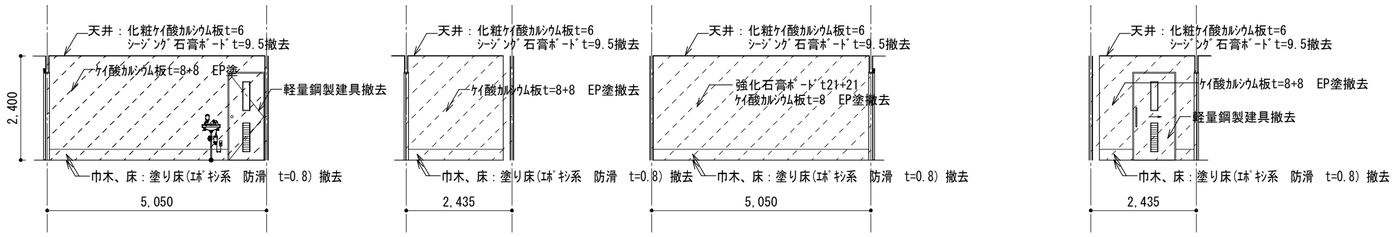


：壁撤去（LGS下地共）
範囲を示す。

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－1522号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

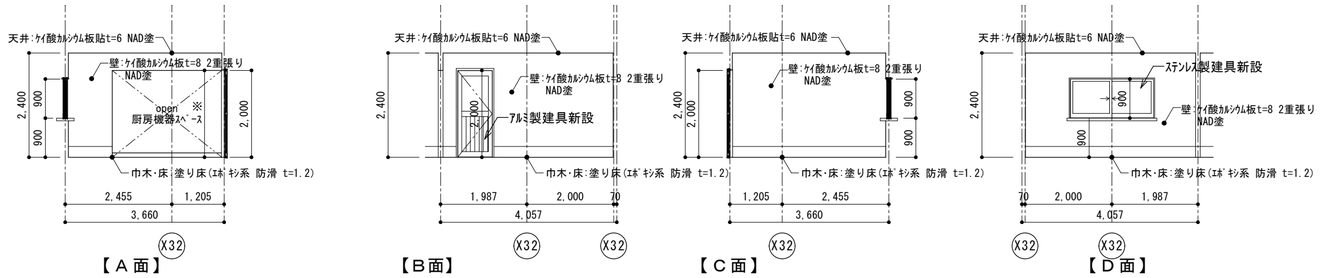
年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-092
縮　尺 1/100	図面名 厨房 展開図-02	（原図A2）

改修前　旧厨房(洗浄室)



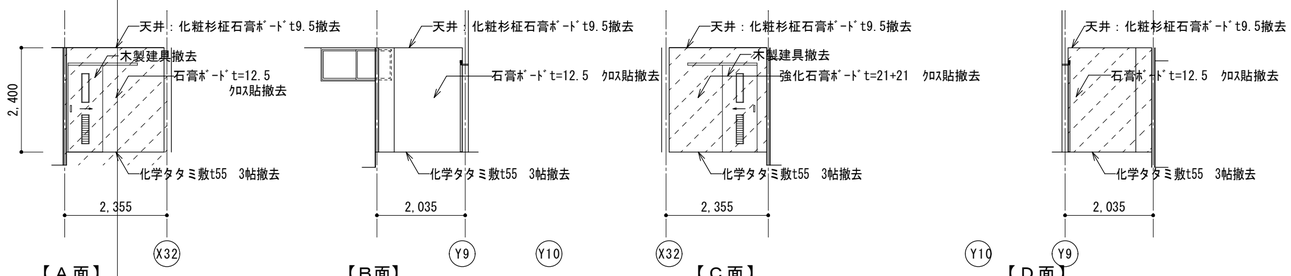
【Ａ面】　【Ｂ面】　【Ｃ面】　【Ｄ面】

改修後　厨房(洗浄室)



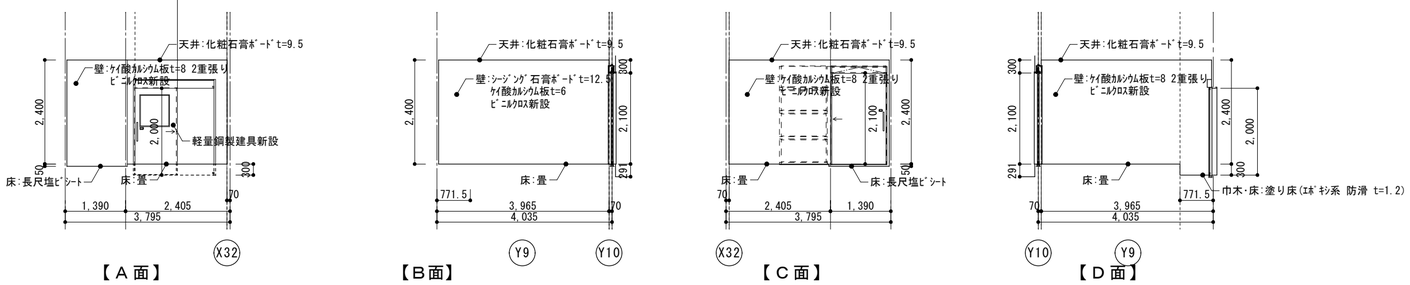
【Ａ面】　【Ｂ面】　【Ｃ面】　【Ｄ面】

改修前　旧厨房(休憩室)



【Ａ面】　【Ｂ面】　【Ｃ面】　【Ｄ面】

改修後　厨房(更衣室)

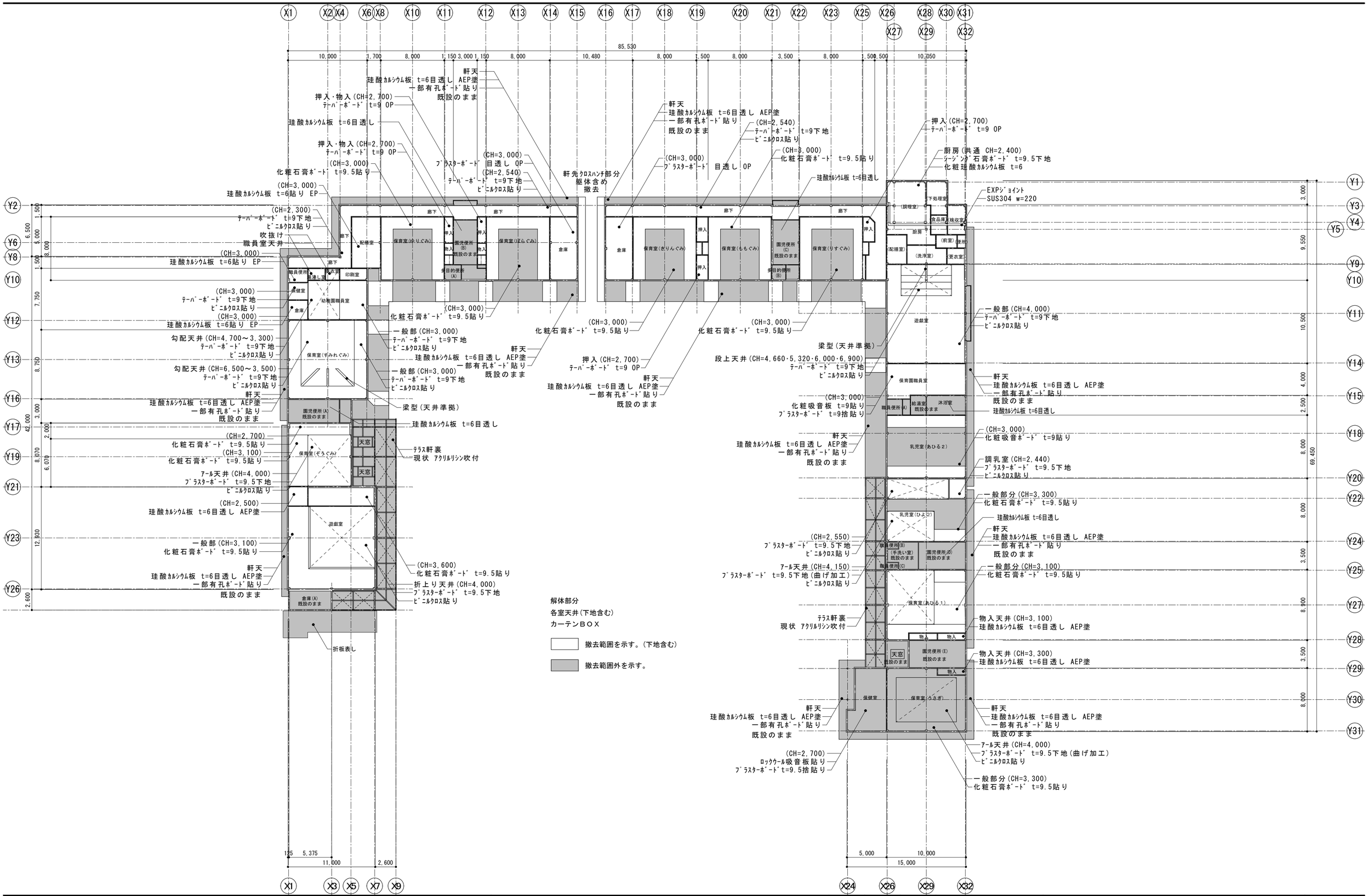


【Ａ面】　【Ｂ面】　【Ｃ面】　【Ｄ面】

：壁撤去（LGS下地共）の範囲を示す。

内田構造建築工房　一級建築士　内田　浩司
大臣登録番号　一級　№215989
三重県知事登録　第1－１５２２号
〒514-1107　三重県 津市 久居中町818　Tel　059(256)2303/Fax　059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-093
縮　尺 1/100	図面名　厨房 展開図-03	（原図A2）



解体部分

各室天井(下地含む)

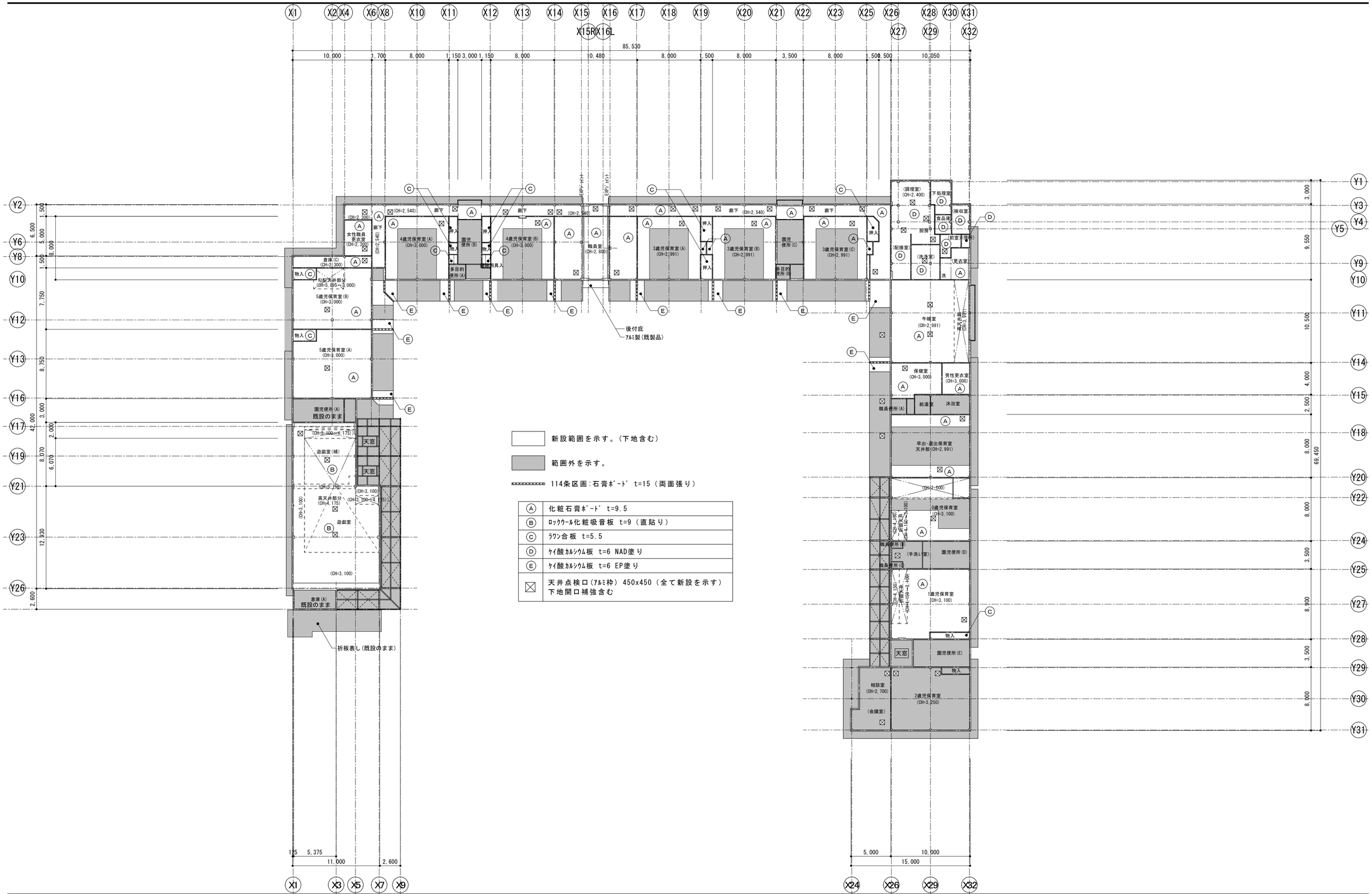
カーテンＢＯＸ

撤去範囲を示す。(下地含む)

撤去範囲外を示す。

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215689
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称	図面番号
	（仮称）一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	A-094
縮 尺 1/300	図 面 名 改修前 天井伏せ図	（原図A2）



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 －１５２２号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 (仮称) 一志こども園整備に伴う津市高野保育園及び津市立高岡幼稚園改修その他工事	図面番号
縮尺 1/300	図面名 改修後 天井伏せ図	A-095 (原図A2)